

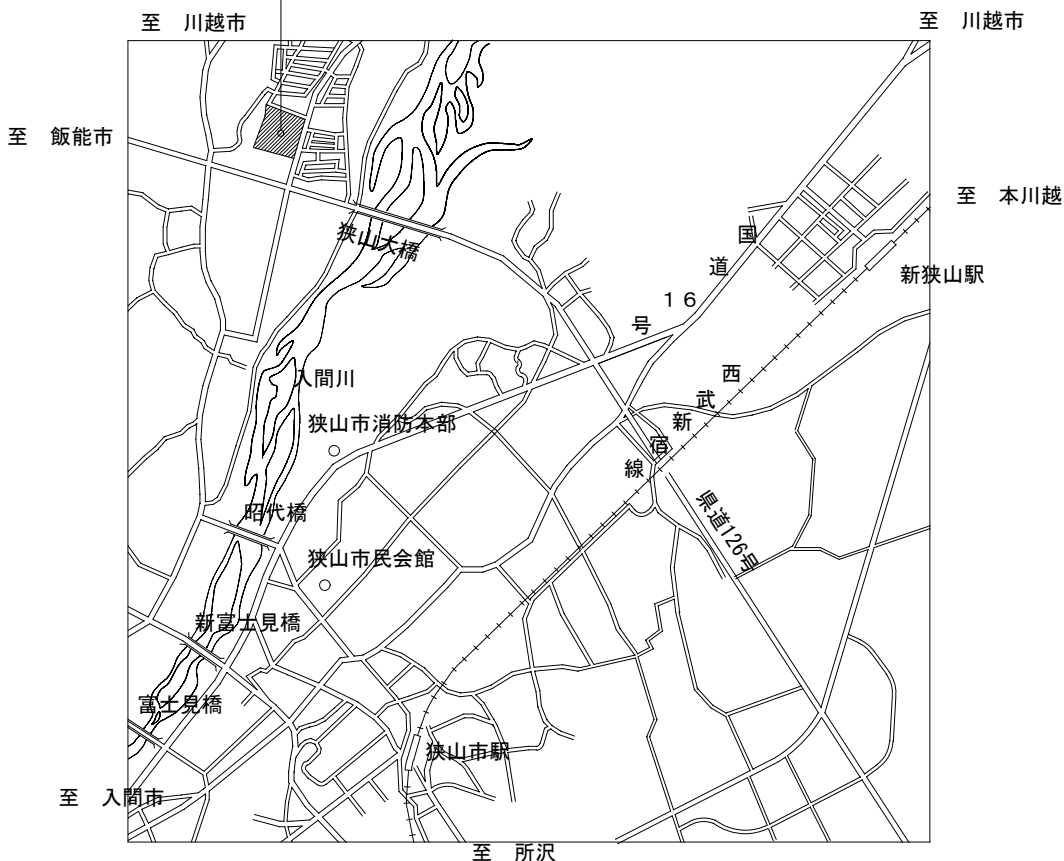
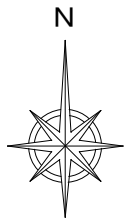
狹山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事

設計図

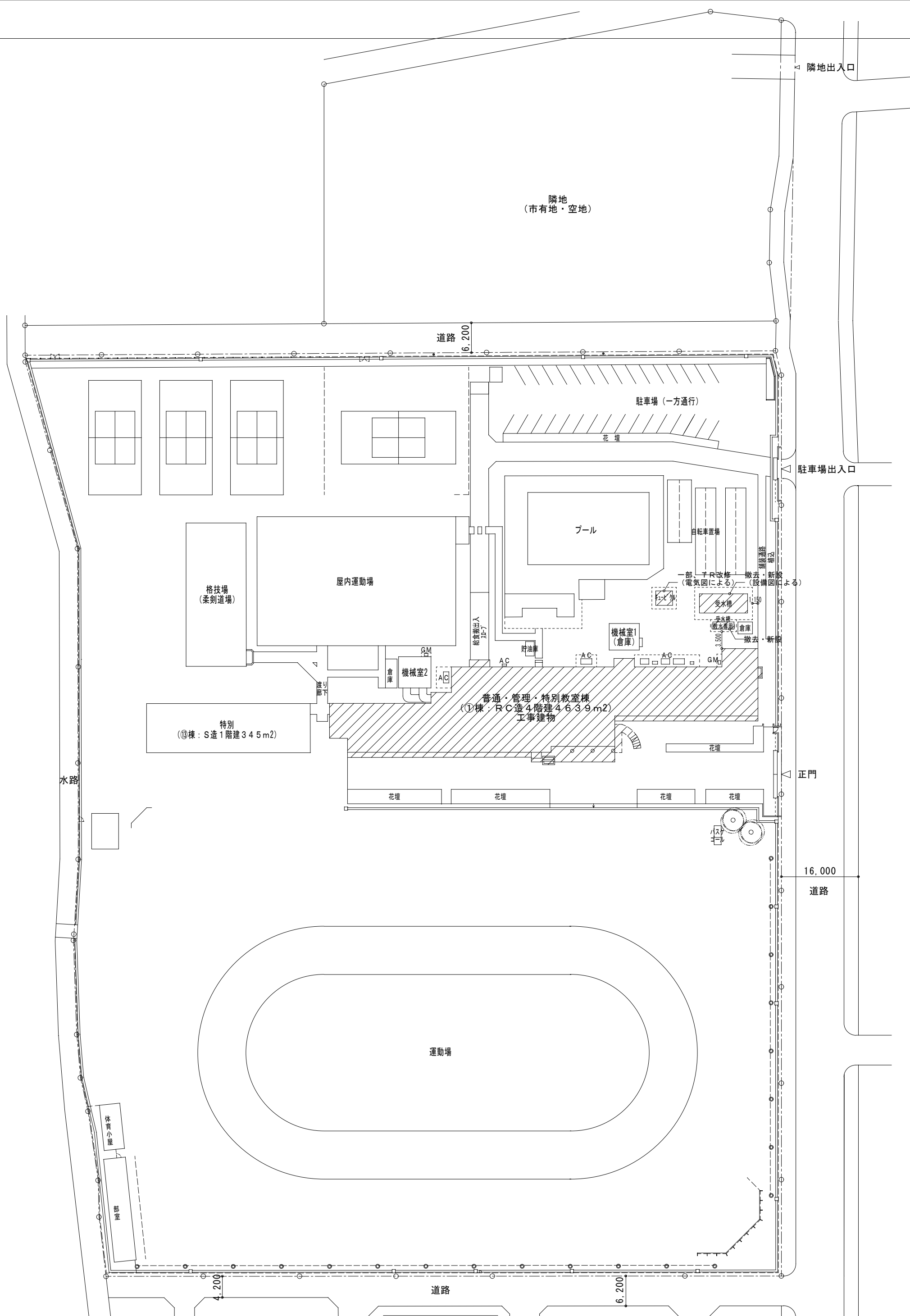
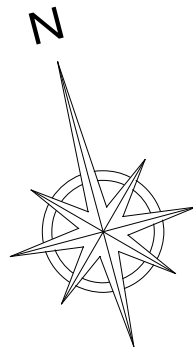
(有) 桑子建築設計事務所

工 事 名		狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事	
I 工事概要			
1.	工事場所	狭山市柏原2520番地11	
2.	敷地面積	28.054m ²	
3.	工事種目 (建物概要)	普通・管理・特別教室棟 R C造 4階建 延べ床面積 4,639m ² ・外部一式 一部、内部を含む（図示の範囲）	
4.	工事内容	・外部改修：外壁・防水、他外部一式（建築・設備共一式） 一部、内部を含む（図示の範囲）（建築） ・受水槽、高置水槽 等（設備図による）	
5.	工期	契約工期 【契約書にによる】 契 約 日から令和 年 月 日まで 共通仮設費率の算定に用いる工期 令和6年 月 日から令和6年 月 日まで 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場施工期間 令和6年 月 日から令和6年 月 日まで ただし、仮設工事等は施設との協議による	
6.	工事範囲	※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ※「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。	
工事種目			
2 仮設工事		○	
3 防水改修工事		○	
4 外壁改修工事		○	
-1 コンクリート打放し 仕上げ外壁		○	
-2 モルタル塗り仕上げ外壁		○	
-3 タイル張り仕上げ外壁			
-4 塗り仕上げ外壁		○	
-5 外壁用塗膜防水塗り			
5 建具改修工事		○	
6 内装改修工事		○	
7 塗装改修工事		○	
8 耐震改修工事			
9 環境配慮改修工事		○	
10 鉄筋工事			
11 コンクリート工事			
II 建築改修工事仕様			
(1) 質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。 なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。			
(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。			
(3) 本特記仕様書の表記			
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。			
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。			
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 ○印と※の場合は、○のみを適用する。			
3) 特記事項に記載の { . . . } 内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。			
4) 特記事項に記載の [. . .] 内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。			
5) 特記事項に記載の (. . .) 内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。			
6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、(. . .) 内は製品名を示す。			
7) 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針（令和5年2月24日変更閣議決定）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。			
8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。			
章 項 目		特 記 事 項	
①	① 適用基準等	※埼玉県建築工事業務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細計（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 最新版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。	
②	② 条件明示事項	保険の種類 [1. 1. 3] ※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事的目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間	
③	③ 工事実績情報の登録	※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録） ・行わない [1. 1. 4] [1. 1. 8]	
④	④ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力（施行令第87条関係）地表面粗度区分3(平成12年建設告示第1454号) ○積雪荷重（施行令第86条関係）垂直積雪量32cm（秩市市建築基準法施行細則第9条） ○地震力（施行令第88条関係）Zの数値1.0（第2種地震（昭和55年建設告示第1793号））	
⑤	⑤ 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主動的に調整する。 [1. 1. 7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。	
6	6 施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1. 1. 12、13]及び施工に当たっては区域法等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物	
⑦	⑦ 工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1. 2. 4] [1. 6. 6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（CD-R又はDVD-Rで1部提出） ・適用しない	
⑧	⑧ 電気保安技術者	適用する [1. 3. 3] [1. 3. 1]	
9	9 施工条件	施工時間 [1. 3. 5] ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 指定期間（ ） 施工時間以外の施工条件 ・図示による	
⑩	⑩ 施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業場が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全管理義務者）とする。[1. 3. 7]	
⑪	⑪ 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1. 3. 11]	
⑫	⑫ 発生材の処理等	引渡しを要するもの [1. 3. 12] [1. 1. 13] ※無し（全て構外搬出適正処理） ・有り（※図示） 注 a) 発生材のうちの特記により引き渡を要するものは、指示された場所に整理のうえ調査を受けて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。	
13	13 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は [1. 4. 2] 埼玉県内に本店を有する者の中から選択するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。	
⑭	⑭ 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び [1. 4. 1] [1. 4. 3]性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層積材、MDF、ハティカルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	
⑮	⑮ 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明のためのRイドライン」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を経験者に提出する。 [1. 5. 1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 ○賃与資料（ 柏原中学校アスベスト調査業務委託：分析結果報告書 ） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリントライト、クロンドライト、トレモライト	
16	16 石綿含有建材の調査	調査 [1. 5. 1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 ○賃与資料（ 柏原中学校アスベスト調査業務委託：分析結果報告書 ） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリントライト、クロンドライト、トレモライト	
分析方法		定性分析方法 JIS A 1481-1または J	

6	改質アスファルトシート防水	屋内防水 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>・P1E</td><td>・E-1</td><td></td><td>保護層 ・設ける</td></tr> <tr> <td>・P2E</td><td>・E-2</td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table> ・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位） 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示 屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類 [3.4.2、3] <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [9.2.1～3]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>・M4AS</td><td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td><td></td><td rowspan="3">/</td><td>(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様</td><td></td></tr> <tr> <td>・M3AS ・POAS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1</td><td></td><td>(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様</td><td>(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない</td></tr> <tr> <td>・M3AS ・M4AS ・POAS</td><td>・AS-J3 (POASのみ) ・AS1-T1 ・AS1-J1</td><td></td><td>(材質) ※JIS A 9521による ※改質7mm以下の製造所の仕様 (厚さ) ・</td><td>(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない</td></tr> </table> 高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・適用しない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・種類 () 個/㎡ 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・ 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない (個)	工法	種別	施工箇所	備考	・P1E	・E-1		保護層 ・設ける	・P2E	・E-2		・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材 [9.2.1～3]	仕上塗料	備考	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		/	(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様		・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	・M3AS ・M4AS ・POAS	・AS-J3 (POASのみ) ・AS1-T1 ・AS1-J1		(材質) ※JIS A 9521による ※改質7mm以下の製造所の仕様 (厚さ) ・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	② 欠損・爆型工法 改修工法 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル [4.1.4][4.2.4、7]	④-2 モルタル塗り仕上げ外壁 ① 既存モルタル塗りの撤去 ② ひび割れ部改修工法 ③ 欠損部改修工法 ④ 浮き部改修工法	※全面 ・図示の範囲 ○施弱部 ○樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5～8] <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.5未満 低</td><td>※200～300</td><td>・130</td></tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0以下 中</td><td>※200～300</td><td>・130</td></tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満 低</td><td>・50～100</td><td>・40</td></tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満 低</td><td>・100～200</td><td>・70</td></tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0以下 中</td><td>・150～250</td><td>・130</td></tr> </table> ※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形 コア抜取り検査 ・行う ・行わない 抜取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 抜取り部の補修方法 ※図示 ○シール材 ○シール材材充填工法 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ○充填工法 [4.1.4][4.3.9、10] ・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 ・現場調査材料 セメントの種類 ※普通ポルランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ☑ ・フライアッシュセメントB種 ☑ 普通ポルランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 ・既調合材料 () 既製目地材 ・使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満 低	※200～300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	※200～300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 低	・50～100	・40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満 低	・100～200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	・150～250	・130	⑤ 浮き部改修工法 [4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15] <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th><th colspan="2">アンカービンの本数 (箇所/㎡)</th><th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/㎡)</th><th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th></tr> <tr> <th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr> <tr> <td>・アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr> <tr> <td>・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25</td></tr> <tr> <td>・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※50</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※50</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> ・タイル張替え工法 [4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15] <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th><th>アンカービンの本数 (箇所/㎡)</th><th>注入口の箇所数 (箇所/㎡)</th><th>注入量 (ml/箇所)</th></tr> <tr> <td>・アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>—</td></tr> <tr> <td>・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td></tr> <tr> <td>・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>—</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> ・タイル張替え工法 ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注 入口付アンカーピン ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm ・タイル部分張替え工法 ※4 欠損部改修方法の「タイル部分張替え工法」による ・タイル張替え工法 ※4 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による ・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.5、16] ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。	工法の種類	アンカービンの本数 (箇所/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	・注入口付アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法	—	—	—	—	—	・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法	—	—	—	—	—	工法の種類	アンカービンの本数 (箇所/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)	注入量 (ml/箇所)	・アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	・注入口付アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法	—	—	—	・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法	—	—	—
工法	種別	施工箇所	備考																																																																																																																																																											
・P1E	・E-1		保護層 ・設ける																																																																																																																																																											
・P2E	・E-2		・設けない																																																																																																																																																											
工法	種別	施工箇所	断熱材 [9.2.1～3]	仕上塗料	備考																																																																																																																																																									
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		/	(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様																																																																																																																																																										
・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない																																																																																																																																																									
・M3AS ・M4AS ・POAS	・AS-J3 (POASのみ) ・AS1-T1 ・AS1-J1			(材質) ※JIS A 9521による ※改質7mm以下の製造所の仕様 (厚さ) ・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない																																																																																																																																																									
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																											
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満 低	※200～300	・130																																																																																																																																																											
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	※200～300	・130																																																																																																																																																											
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 低	・50～100	・40																																																																																																																																																											
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満 低	・100～200	・70																																																																																																																																																											
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	・150～250	・130																																																																																																																																																											
工法の種類	アンカービンの本数 (箇所/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																									
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																										
・アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																									
・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																									
・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																									
・注入口付アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																																																									
・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																									
・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																									
・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																									
・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																									
工法の種類	アンカービンの本数 (箇所/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)	注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																											
・アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—																																																																																																																																																											
・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12																																																																																																																																																											
・アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12																																																																																																																																																											
・注入口付アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—																																																																																																																																																											
・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9																																																																																																																																																											
・注入口付アンカービニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9																																																																																																																																																											
・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法	—	—	—																																																																																																																																																											
・注入口付アンカービニングエポキシ樹脂注入工法	—	—	—																																																																																																																																																											
7	合成高分子系ルーフィングシート防水	新設防水層の種類 ※各箇所 図示による [3.5.2～4][表3.5.1～3] <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [9.2.1～3]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>○POS ・S4S</td><td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ○S-M2 ・S-M3</td><td></td><td rowspan="3">/</td><td>(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない</td><td>(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない</td></tr> <tr> <td>・SSS</td><td>・S-F1 ・S-F2</td><td>・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地 ・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地</td><td>(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない</td><td>(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない</td></tr> <tr> <td>・M4S</td><td>・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td><td></td><td>(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない</td><td>(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない</td></tr> <tr> <td>・POS1 ・SSS1 ・S4S1 ・M4S1</td><td>・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2</td><td>・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地 ・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地</</td></tr></table>	工法	種別	施工箇所	断熱材 [9.2.1～3]	仕上塗料	備考	○POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ○S-M2 ・S-M3		/	(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	・SSS	・S-F1 ・S-F2	・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地 ・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地	(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3		(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	・POS1 ・SSS1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2	・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地 ・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地</																																																																																																																																			
工法	種別	施工箇所	断熱材 [9.2.1～3]	仕上塗料	備考																																																																																																																																																									
○POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ○S-M2 ・S-M3		/	(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない																																																																																																																																																									
・SSS	・S-F1 ・S-F2	・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地 ・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地		(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない																																																																																																																																																									
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			(種類・使用量) ※改質7mm以下の製造所の仕様 (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾚ) ・設ける ・設けない																																																																																																																																																									
・POS1 ・SSS1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2	・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地 ・ﾌﾟﾗｽﾄｯｸﾞｰﾄﾞ下地</																																																																																																																																																												



案内図



配置図 S=1/500

凡例:  は、工事建物を示す。

				(有) 桑子 建築設計事務所		縮 尺 A1: 1/500 A2: 1/1,000 設計年月日 2024.1.31	工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事 図面名称 案内図、配置図	No. A-09
さいたま市大宮区榎引町 1-330-4 TEL 048-783-5566 一級建築士登録第334002号 桑子 亮				承 認	設 計			

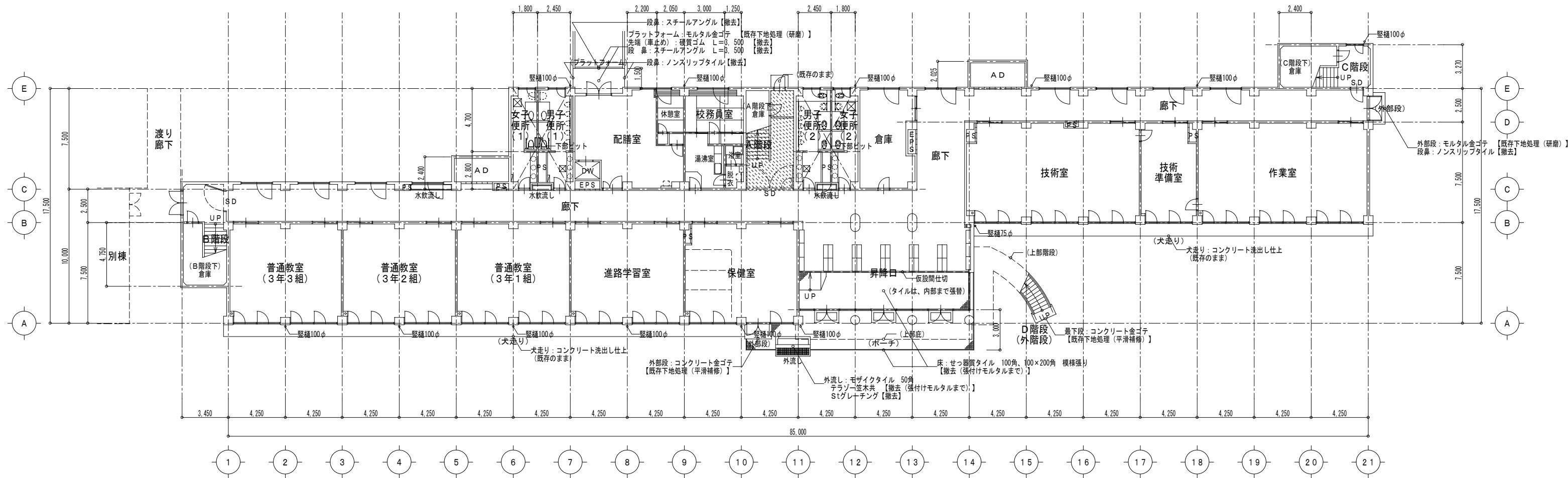
仕 上 表						
外部仕上げ						
外 壁	改修前	・外壁：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付（吹付材アスベスト含有） 一部、複層塗材（吹付材アスベスト含有） ・巾木：コンクリート打放し、モルタル金ゴテ仕上 ・上裏：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付（吹付材アスベスト含有） ・目地：15×10 ポリサルファイドコーキング 【撤去】	【既存躯体補修・下地処理】 躯体補修： ・クラック（0.2mm以上） 改修工法：特殊フィルム（粘着付）貼 ①水性速乾型エポキシ樹脂プライマー塗布 ②特殊フィルムテープ（粘着層付き、幅50mm）貼り ③シーティングガンにより加圧・密着 ④特殊アクリルゴムエマルション系樹脂塗布 ⑤砂骨ローラーにより経割調整・定着 改修工法：（脆弱部コンクリートはつり+鋼止めの塗布の上、）ポリマーセメントモルタル充填工法 改修工法：（脆弱部コンクリートはつり+鋼止めの塗布の上、）ポリマーセメントモルタル充填工法 下地処理： ・水洗い工法（10～15MPa） ・下地調整剤C-2（段差修正後、パターン還元） ・一液水性多機能型カチオンシーラー（下塗材）	機械室1・2 （対象外）	改修前 （外壁） ・外壁：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 ・巾木：コンクリート打放し、モルタル金ゴテ仕上 ・目地：15×10 ポリサルファイドコーキング	
	改修後	・外壁：躯体補修・下地処理の上、防水型保護塗材E（超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料） ・巾木：躯体補修・下地処理の上、基礎巾木専用塗料（水性アクリルシリコン樹脂系） ・上裏：躯体補修・下地処理の上、軒天専用仕上塗料（水性アクリルシリコン樹脂系（つや無し）） ・目地：15×10 ポリサルファイドコーキング 【打替】	・欠損 ・爆裂 ・（上記、欠損・爆裂部）仕上塗料除去 改修工法：集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法 下地処理： ・水洗い工法（10～15MPa） ・下地調整剤C-2（段差修正後、パターン還元） ・一液水性多機能型カチオンシーラー（下塗材）		改修後 （屋上） ・コンクリート（増打 t15）直押え、加硫ゴムシート防水 ・コンクリート（増打 t15）直押え、ウレタン塗膜防水 ・防水モルタル金ゴテ、ウレタン塗膜防水	
防 水	改修前	（屋上） ・豆砂利コンクリート t 8 0 コテ押え（ワイヤーメッシュφ6φ、＠100入り） アスファルト防水層（屋根保護防水絶縁工法 B-2） コンクリートスラブ（増打t15）、水勾配（1／7.0）タッピング ・伸縮目地（既成品）：W25（タテヨコφ3,000） ・側溝部：防水モルタル金ゴテ仕上（ワイヤーメッシュ入り） ・立上り：防水モルタル金ゴテ仕上（レンガ積み） ・笠木（天端・側面）：コンクリート打放しコテ仕上	【既存下地処理】 ・高圧水洗 ・伸縮目地撤去（キャップのみ） ・伸縮目地処理（ウレタンシール充填） ・フェンス基礎撤去、樹脂モルタル金ゴテ ・側溝部モルタル修繕（側溝部段差修正）樹脂モルタル厚付け ・下地平滑処理（平面・側溝部）：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0 ・下地平滑処理（立上り・笠木）：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0 ・煙突天端：下地平滑処理：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0 ・配管基礎：下地平滑処理：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0	【既存下地処理】 ・高圧水洗 ・下地平滑処理：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0	改修前 （昇降口ポーチ） ・床：磁器質タイル 100角、100×200角 模様張り 【タイル撤去（張付けモルタルまで）】 ・天井：LGS下地、フレキシブルボード t 6.0 VP塗（アスベスト含有） 【下地共撤去】 （ブラッドフォーム） ・モルタル金ゴテ仕上 【既存下地処理（研削研磨処理・ダイヤ研磨程度）】 ・先端（車止め）：破貫ゴム（D型） 100×100、L=3,500 【（ポルト共）撤去】 ・底 R/C底は、左記（各出入口底）による ・底上部分は、単管（Uポルト固定）+横垂木（桎木）下地の、ポリカ波板張り【下地共撤去】（軒樋共）	
	改修後	（屋上） ・高耐久塩ビシート防水機械固定工法（S-M2 t 2.0、15年耐久品+免振ディスク） （脱気筒）ステンレス製 21箇所（75m2箇所）【新設】 ・側溝部：高耐久塩ビシート機械固定工法（S-M2 t 2.0、15年耐久品+免振ディスク） ・立上り：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、耐久シリコン系保護塗料塗り） 入 隅：塩ビ被覆鋼板 W100 ・笠 木：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） ・煙突天端・配管基礎：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） 【新規仕上】 ・ヘルライン（対空表示）：高耐久高輝度再帰性反射フィルム 【新設】、（フレクターフィルム：FF-V14m×4m、角ゴシック：柏原中 文字枠4.5m×4.5m）	（昇降口底） ・高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2、高耐久シリコン系保護塗料塗り） ・立上り：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） ・笠 木：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） 【新規仕上】、壁部端末シーリング【新設】	（昇降口底） ・高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2、高耐久シリコン系保護塗料塗り） ・立上り：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） ・笠 木：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） 【新規仕上】、壁部端末シーリング【新設】	改修後 （昇降口ポーチ） ・床：磁器質タイル 100角（防汚・清掃性） 模様張り、（段部）垂付き段鼻タイル（ノンスリップ） 【タイル撤去（張付けモルタルまで）】 ・天井：LGS下地、（カラー）フレキシブルボード t6.0 目透し張（UVコート・仕上塗装） 【下地共新設】 （ブラッドフォーム） ・（屋床）水性無機質浸透型床材（屋外・NS仕様）【新規仕上】 【新規仕上】 ・先端（車止め）：破貫ゴム（D型） 100×100、L=3,500 【（ポルト共）新設】 ・底 R/C底は、左記、（各出入口底）による ・底上部分は、単管（Uポルト固定）+横垂木（桎木）下地の、ポリカ波板（網入）張【下地共新設】（軒樋共）	
	改修前	（PH屋根） ・豆砂利コンクリート t 8 0 コテ押え（ワイヤーメッシュφ6φ、＠100入り） アスファルト防水層（屋根保護防水絶縁工法 B-2） コンクリートスラブ（増打t15） ・立上り：防水モルタル金ゴテ仕上（レンガ積み） ・笠木（天端・側面）：コンクリート打放しコテ仕上	【下地処理】 ・高圧水洗 ・下地平滑処理（平面・側溝部）：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0 ・下地平滑処理（立上り・笠木）：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0 ・ハト小屋天端：下地平滑処理：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0 ・水槽基礎：下地平滑処理：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0	【既存下地処理】 ・高圧水洗 ・下地平滑処理：ポリマーセメント系樹脂モルタル塗布 t1.0	外部付属物	改修前 （昇降口ポーチ） ・床：磁器質タイル 50角 【撤去（張付けモルタルまで）】、ステール製グレーチング 500×2,400 【撤去】 （職員玄関）SUSポスト 400×220×H325 【撤去】 ・テラス底（保護室前）：（枠）アルミ形材 【既存下地調整・ブラママー】、（屋根・側面）ポリカ屋根 【ガセット撤去】 ・外返し：磁器質タイル 50角 【撤去（張付けモルタルまで）】、ステール製グレーチング 500×2,400 【撤去】
	改修後	（PH屋根） ・高粘性ウレタン塗膜防水通気緩衝工法（X-1仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） （脱気筒）ステンレス製 1箇所（75m2箇所）【新設】 ・立上り：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-1立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） ・笠 木：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） ・ハト小屋：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） ・水槽基礎：高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） 【新規仕上】	（AD屋根） ・高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） 【新規仕上】、壁部端末シーリング【新設】	（AD屋根） ・高粘性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2立上り仕様、高耐久シリコン系保護塗料塗り） 【新規仕上】、壁部端末シーリング【新設】		改修後 ・堅壁・VP（上部排除口付き）100φ、75φ（職員玄関ポーチ）、養生管：亜鉛メッキ鋼管 125φ、GLよりH=2,000 S〇P塗 【撤去（掘り金物共）】 ・R/D（タテ・ヨコ型）：鋼鉄板（キヤップ共） 【上面撤去】【ドレン開口新りモルタル修正】 ・屋上フェンス：ステンレス製ネットフェンス H=2,000（柱柱付き）、R/C基礎：500・300×300×H350 【全て撤去後、平滑処理（樹脂モルタル金ゴテ）】 ・屋上丸座：丸座 19φ 100φ ④4,500 S〇P塗 【既存下地調整・シール処理】 ・屋上PHタラップ：白ガスマン 48.6φ、鉄筋 19φ ③300/7度 S〇P塗 【既存下地調整】 ・D階段手摺：ステール製縦格子 H=1,200（柱柱付き） S〇P塗 【既存下地調整（全面ケレン）】 ・校名板：900×900、校章：2,000×2,000（アルミ複合板、ビス止め） 【撤去】 ・職員玄関：SUSポスト 400×220×H325 【撤去】 ・テラス底（保護室前）：（枠）アルミ形材 【既存下地調整・ブラママー】、（屋根・側面）ポリカ屋根 【ガセット撤去】 ・外返し：磁器質タイル 50角 【撤去（張付けモルタルまで）】、ステール製グレーチング 500×2,400 【撤去】

内部仕上げ（一部、内部を含む）											
階	室 名	床	巾 木	壁	天 井	廻り縁	天井高（CH）	室名札	備考（水廻り及び特別なユニット類を記す）		
1階	昇降口 床タイルは、 外部ポーチに合わせ 内部まで張替	改修前 ・セッ器質タイル 100角 模様張り 【撤去（張付けモルタルまで）】 →プラフロ→ラングブロック t15→ウレタン塗装 →【既存下地処理（研磨）】 改修後 ・（タイル）磁器質タイル 100角（防汚・清掃性） 模様張り 【新設】 →（フローリングブロック）下地処理の上、ウレタン塗装（3回塗） →【既存再塗装】	・セッ器質タイル 100角 【撤去（張付けモルタルまで）】 →木製 H=100→SOP塗	・モルタル金ゴテ VP塗	・LGS下地、石膏ボード t9.0+遮熱吸音板 t9.0	塩ビ製	2, 965 2, 865		・スチール製下足入		
2階	職員玄関 床タイルは、 外部ポーチに合わせ 内部まで張替	改修前 ・セッ器質タイル 100角 模様貼付 【撤去（張付けモルタルまで）】 →プラフロ→ラングブロック t15→ウレタン塗装 →【既存下地処理（研磨）】 改修後 ・（タイル）磁器質タイル 100角（防汚性・防汚性） 模様張り 【新設】 →（フローリングブロック）下地処理の上、ウレタン塗装（3回塗） →【既存再塗装】	・テラゾーブロック H=100 ・木製 H=100 SOP塗	・モルタル金ゴテ VP塗	・LGS下地、石膏ボード t9.0+遮熱吸音板 t9.0	塩ビ製	2, 950 2, 885				
		改修前									
		改修後									
		改修前									
		改修後									
		改修前									
		改修後									
		改修前									
		改修後									

特記事項	改修仕様の詳細は、「特記仕様書」「埼玉県建築工事特別共通仕様書」「公共建築工事標準仕様書（国交省）」に準ずる。	記号凡例	SOP：合成樹脂調合ペイント	DP：耐候性塗料	壁LGS：軽量鉄骨下地（特記なき限り）6 5 形、（界壁）S 6 5・R 7 5、（ライニング）LGS下地6 5 形
	既存アスベスト含有は、（外部）外壁：アクリルリシン吹付・一部、複層塗材、昇降口ポーチ天井：フレキシブルボード		EP：合成樹脂エマルジョンペイント	OS：オイルステイン	天井LGS：軽量鉄骨下地（特記なき限り）1 9 形、（屋外）2 5 形
	（内部）階段上裏：着色ひる石吹付・階段床：長尺塩ビシート、便所天井：フレキシブルボード		EP-G：つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	CL：クリヤラッカー	
	（設備）受水槽ポンプ室：給水管フランジパッキン（設備図による）		VP：塩化ビニール樹脂エナメル	WP：木材保護塗料	
	新規建築材料は、F☆☆☆☆規格品・ゼロアスベスト製品とする。		AE：アクリル樹脂エナメル	UC：ウレタンクリヤ	

			（有）桑子建築設計事務所			承認設計担当	縮尺	工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事	図面名称 仕上表	No. A-10
			さいたま市大宮区鶴引町1-330-4 TEL 048-783-5566 一級建築士登録第334002号 桑子 亮				- 設計年月日 2024.1.31			

改修前



改修前 1階平面図 S=1/200

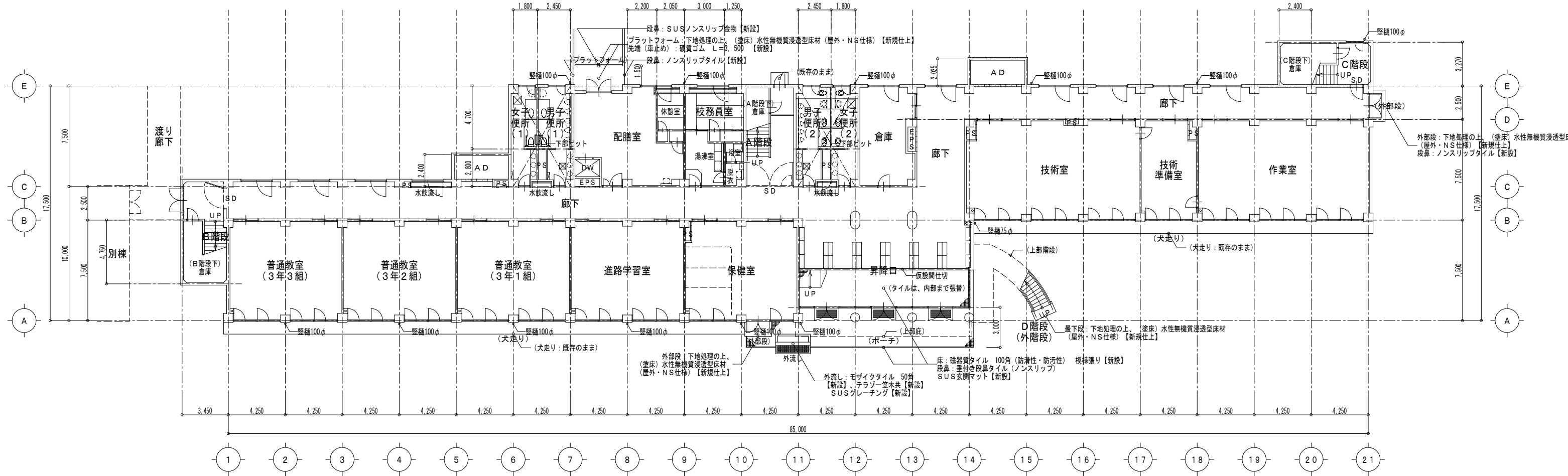
工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

仮設計画： --- は、仮設間仕切を示す。

は、床（ブルーシート）養生を示す。
(搬入出入経路を示す)

改修後



改修後 1階平面図 S=1/200

工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

(外部) 壁種：100φ、75φは、全て【撤去・新設】とする

工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽・高置水槽等（設備図による）

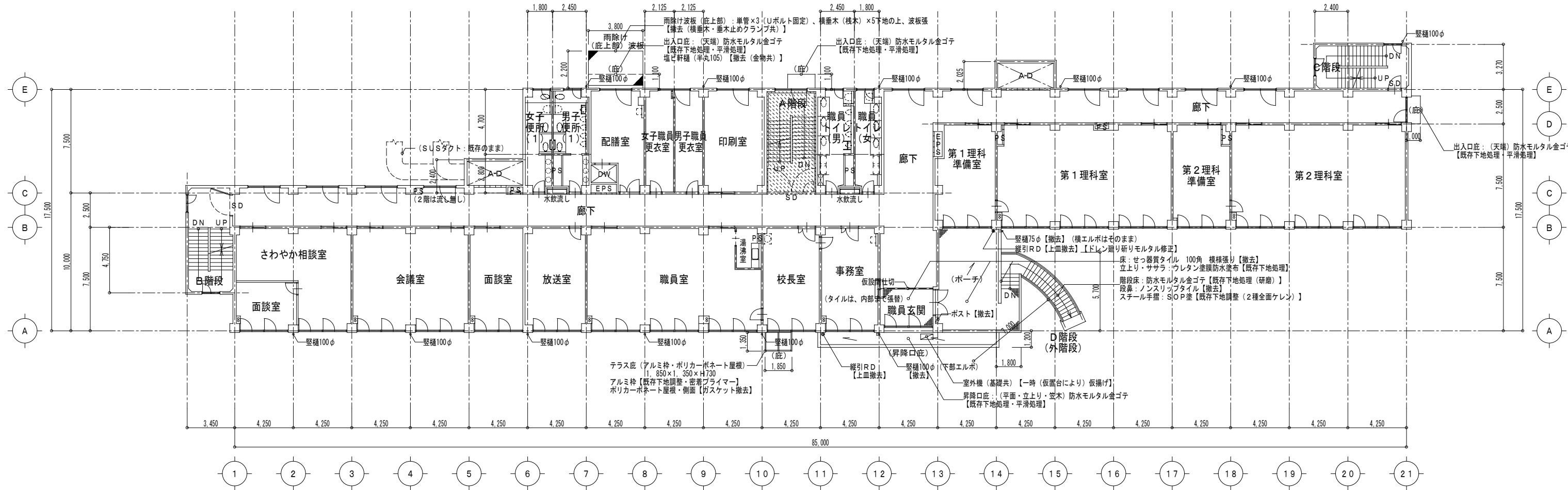
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区鶴引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第334002号 桑子 亮

承認 設計 担当

縮尺 A1:1/200
A2:1/400
設計年月日 2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校舎外壁等改修工事
図面名称 改修前・後 1階平面図

改修前



改修前 2階平面図 S=1/200

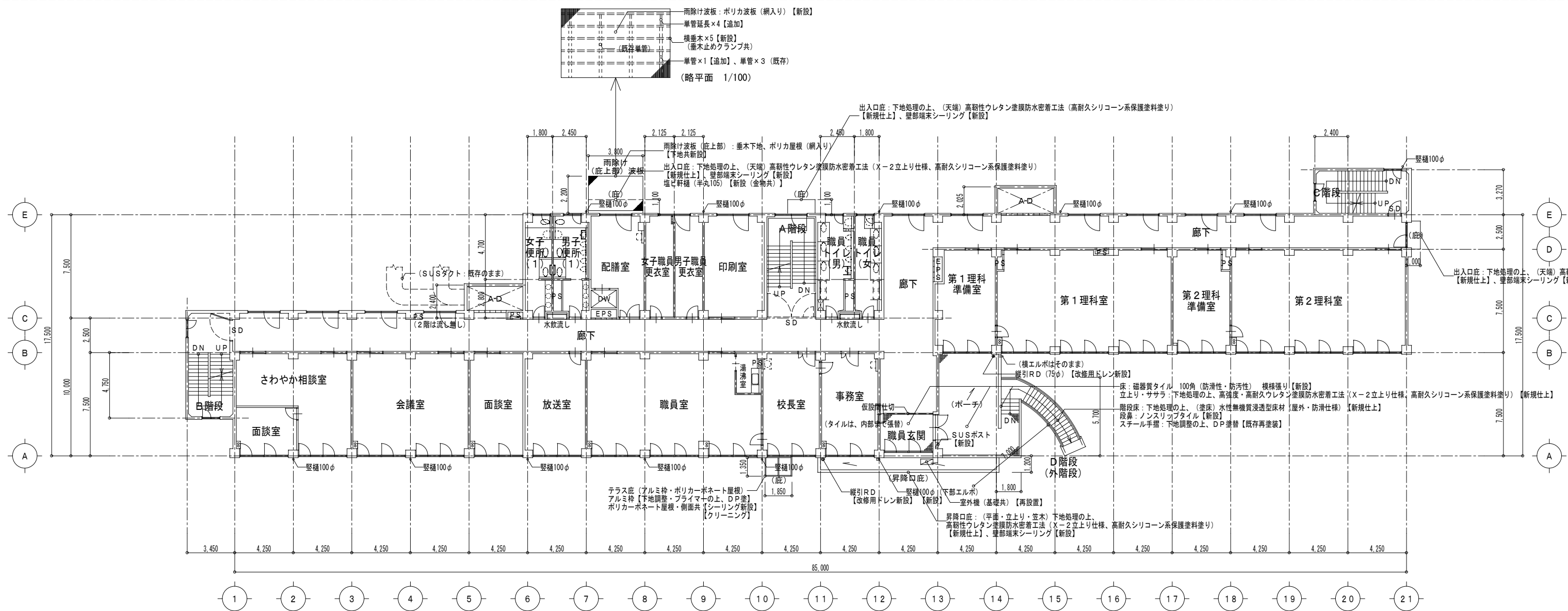
工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

仮設計画：-----は、仮設間仕切を示す。

は、床（ブルーシート）養生を示す。
（搬入経路を示す）

改修後



改修後 2階平面図 S=1/200

工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

（外部）壁：100φ、75φは、全て【撤去・新設】とする

工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽・高置水槽等（設備図による）

（有）桑子建築設計事務所

さいたま市大宮区柳町1-330-4

TEL 048-783-5566

一級建築士登録第334002号 桑子 亮

承認 設計 担当

縮尺 A1: 1/200, 100

A2: 1/400, 200

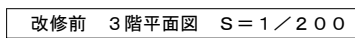
設計年月日

2024.1.31

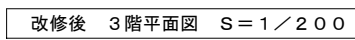
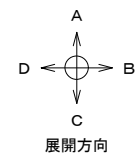
工事名称 狭山市立柏原中学校舎外壁等改修工事

図面名称 改修前・後 2階平面図

No. A-12



外部改修：外壁・防水・他外部改修一式



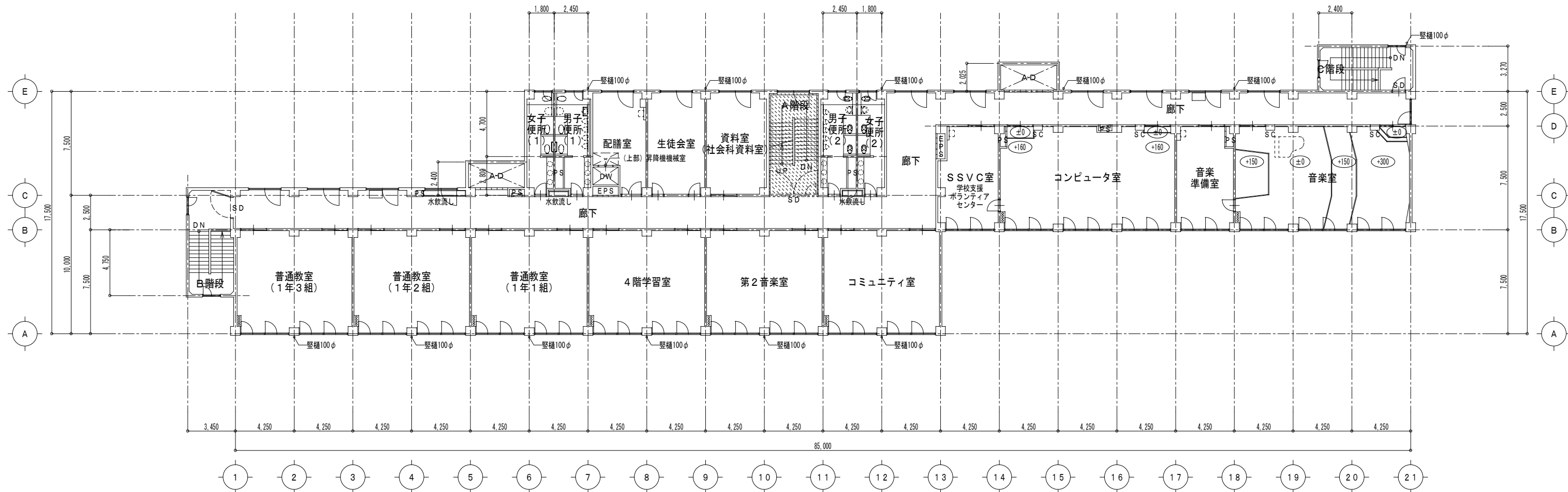
外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

承 認	設 計	担 当

図面名称 改修前・後 3階平面図

No. A-13

改修前



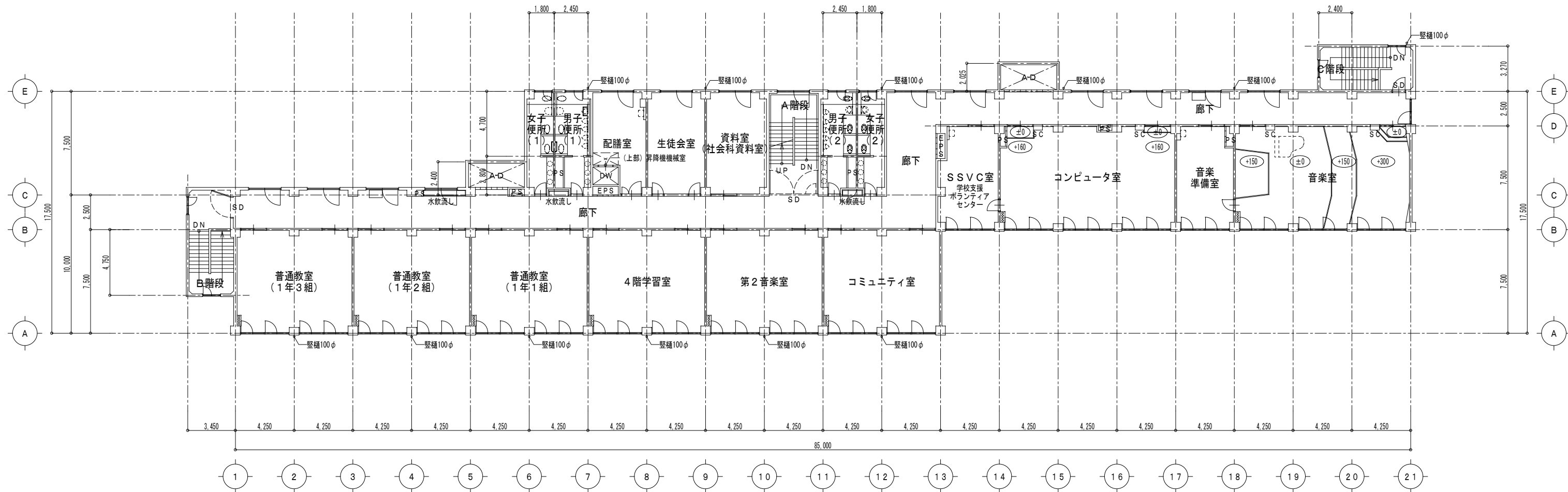
改修前 4階平面図 S=1/200

工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

仮設計画：----- は、仮設計画仕切を示す。
----- は、床（ブルーシート）養生を示す。
(搬入出入経路を示す)

改修後



改修後 4階平面図 S=1/200

工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

(外部) 壁種：100φ、75φは、全て【撤去・新設】とする

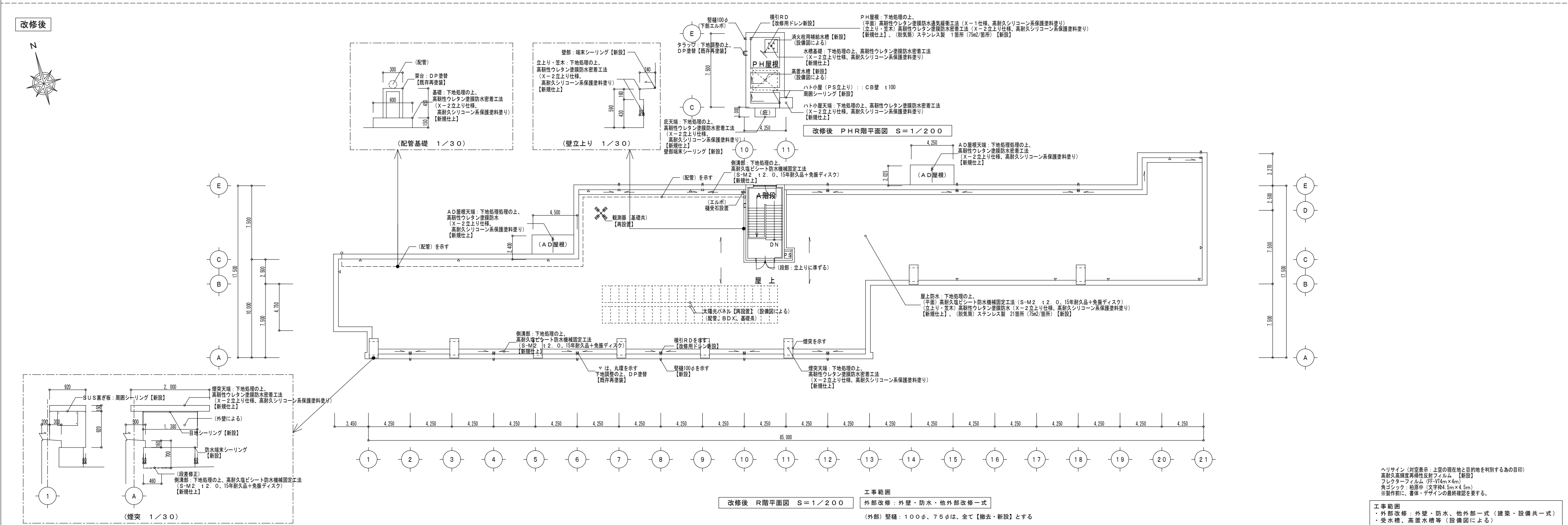
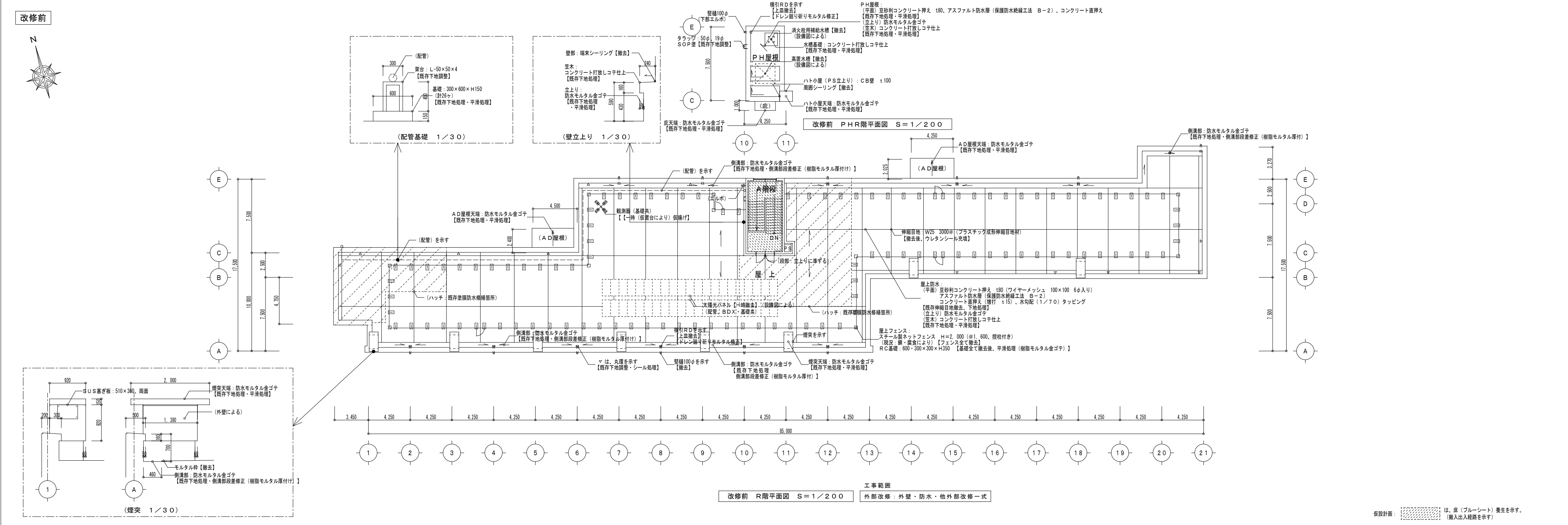
工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽・高置水槽等（設備図による）

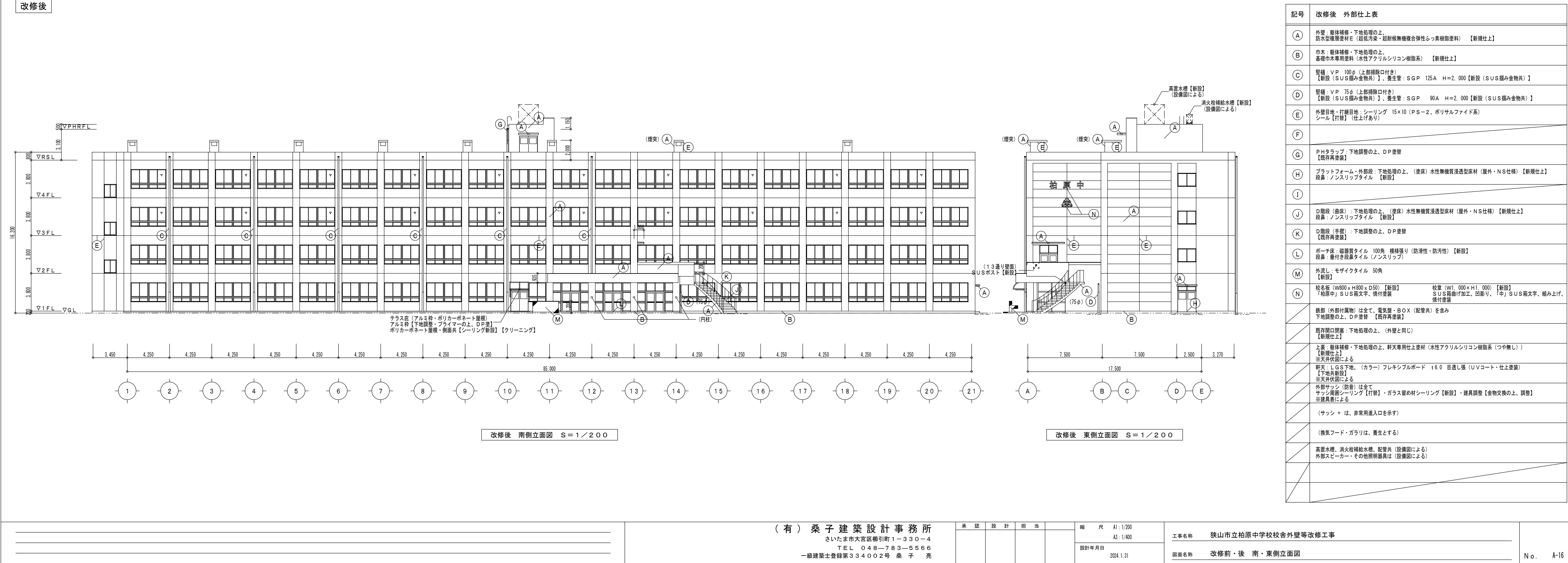
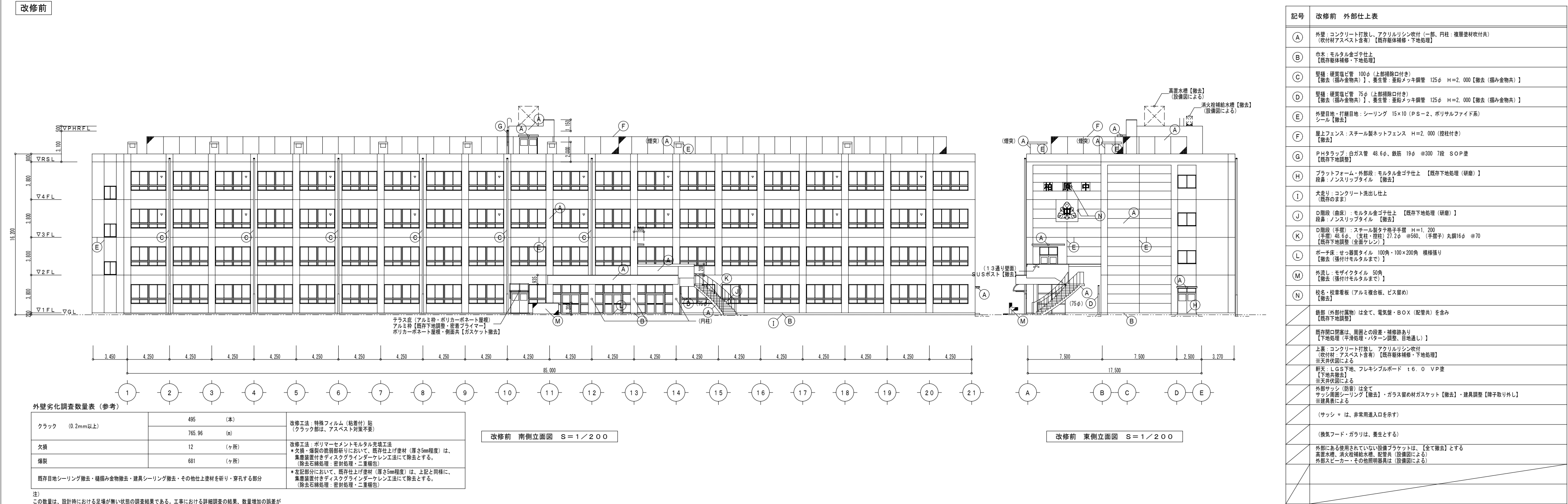
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区鶴引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第334002号 桑子 亮

承認 設計 担当

縮尺 A1:1/200
A2:1/400
設計年月日
2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 改修前・後 4階平面図

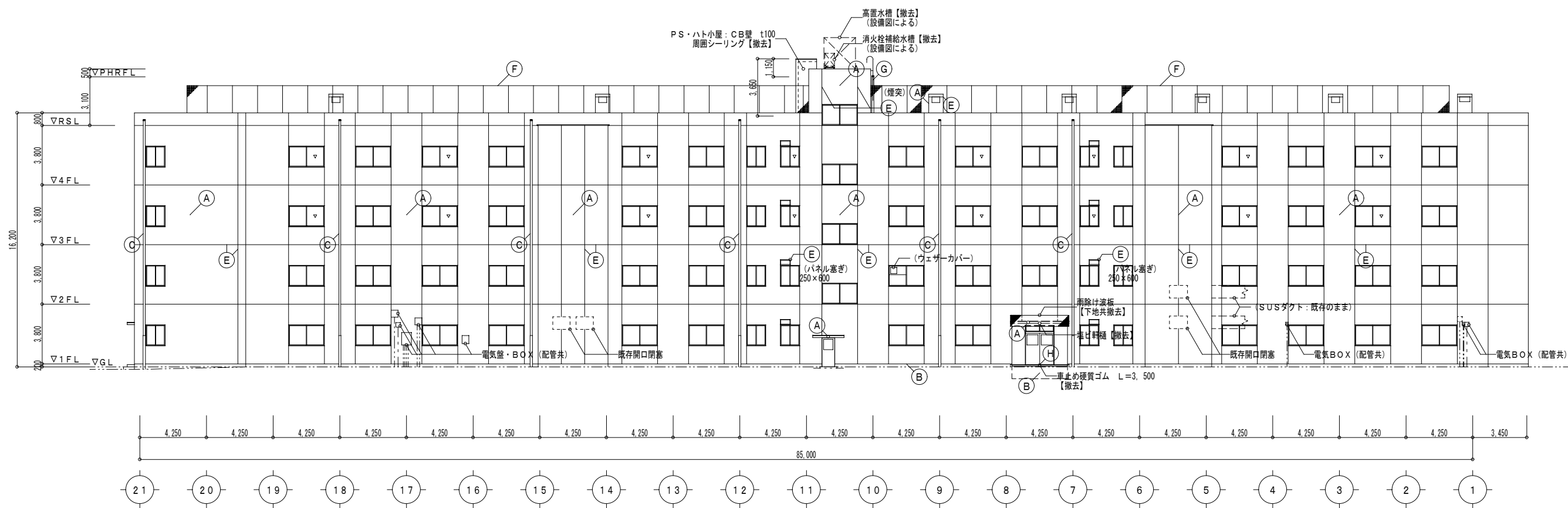




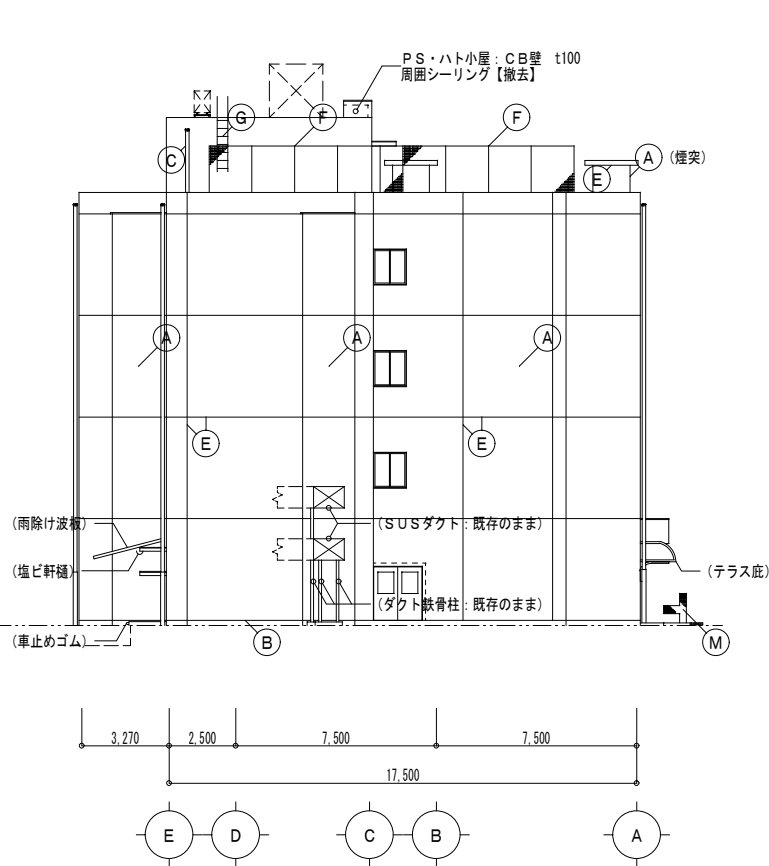
記号	改修前	外部仕上表
A	外壁：コンクリート打放し、アクリルシン収付（一部、円柱：複層塗材収付） （収付材アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】	
B	巾木：モルタル金ゴテ仕上 【既存躯体補修・下地処理】	
C	縦樋：硬質塩ビ管 100φ（上部補修口付き） 【撤去（掘み金物共）】、養生管：亜鉛メッキ鋼管 125φ H=2.000【撤去（掘み金物共）】	
D	縦樋：硬質塩ビ管 75φ（上部補修口付き） 【撤去（掘み金物共）】、養生管：亜鉛メッキ鋼管 125φ H=2.000【撤去（掘み金物共）】	
E	外壁目地・打眼目地：シーリング 15×10（PS-2、ポリサルファイド系） シール【撤去】	
F	屋上フェンス：スチール製ネットフェンス H=2.000（支柱付き） 【撤去】	
G	PHタラップ、白ガス管 48.6φ、鉄筋 19φ @300 7段 SOP塗 【撤去】	
H	プラットフォーム・外階段：モルタル金ゴテ仕上 【既存下地処理（研削）】 段鼻：ノンスリップタイル 【撤去】	
I	大入り：コンクリート流し出し仕上 （既存のまま）	
J	D階段（曲床）：モルタル金ゴテ仕上 【既存下地処理（研削）】 段鼻：ノンスリップタイル 【撤去】	
K	D階段（手摺）：スチール製タチチ手摺 H=1.200 （手摺）48.6φ、（支柱・支柱）27.2φ @600、（手摺子）丸鋼16φ @70 【既存下地調整（全面ケレン）】	
L	ポーチ床：せっ器質タイル 100角・100×200角 模様張り 【撤去（張付けモルタルまで）】	
M	外流し：モザイクタイル 50角 【撤去（張付けモルタルまで）】	
N	校名・校章看板（アルミ複合板、ビス留め） 【撤去】	
	鉄部（外付付属物）は全て、電気室・BOX（配管共）を含み 【既存下地調整】	
	既存開口閉塞は、電面との段差・補修跡あり 【下地処理（平滑処理・パターニング、目地通し）】	
	上蓋：コンクリート打放し、アクリルシン収付 （収付材アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】 ※天付状況による	
	軒天：LGS下地、フレキシブルボード t6.0 VP塗 【下地共撤去】 ※天付状況による	
	外部サッシ（防音）は全て サッシ周囲シーリング【撤去】・ガラス留め材ガasket【撤去】・建具調整【障子取り外し】 ※建具数による	
	（サッシマ）は、非常用出入口を示す	
	（換気フード・ガラリ）は、養生とする	
	外部にある使用されていない設備ブラケットは、【全て撤去】とする 高置水槽、消火栓給水機、配管共（設備図による） 外部スピーカー・その他照明器具は（設備図による）	

記号	改修後	外部仕上表
A	外壁：躯体補修・下地処理の上 防水型複層塗材E（超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料） 【新規仕上】	
B	巾木：躯体補修・下地処理の上 基礎巾木専用塗料（水性アクリルシリコン樹脂系） 【新規仕上】	
C	縦樋：VP 100φ（上部補修口付き） 【新設（SUS掘み金物共）】、養生管：SGP 125A H=2.000【新設（SUS掘み金物共）】	
D	縦樋：VP 75φ（上部補修口付き） 【新設（SUS掘み金物共）】、養生管：SGP 90A H=2.000【新設（SUS掘み金物共）】	
E	外壁目地・打眼目地：シーリング 15×10（PS-2、ポリサルファイド系） シール【打替】（仕上げあり）	
F		
G	PHタラップ：下地調整の上、DP塗替 【既存再塗装】	
H	プラットフォーム・外階段：下地処理の上、（塗床）水性無機質浸透型塗材（屋外・NS仕様） 【新規仕上】 段鼻：ノンスリップタイル 【新設】	
I		
J	D階段（曲床）：下地処理の上、（塗床）水性無機質浸透型塗材（屋外・NS仕様） 【新規仕上】 段鼻：ノンスリップタイル 【新設】	
K	D階段（手摺）：下地調整の上、DP塗替 【既存再塗装】	
L	ポーチ床：磁器質タイル 100角 模様張り（防滑性・防汚性） 【新設】 段鼻：重付き段鼻タイル（ノンスリップ）	
M	外流し：モザイクタイル 50角 【新設】	
N	校名板（W800×H800×D50） 【新設】 「柏原中」SUS箱文字、後付塗装 校章（W1,000×H1,000） 【新設】 SUS箱文字加工、凹彫り、「中」SUS箱文字、組み上げ、 後付塗装	
	鉄部（外付付属物）は全て、電気室・BOX（配管共）を含み 下地調整の上、DP塗替 【既存再塗装】	
	既存開口閉塞：下地処理の上、（外壁と同じ） 【新規仕上】	
	上蓋：躯体補修・下地処理の上、軒天専用仕上塗材（水性アクリルシリコン樹脂系（つや無し）） 【新規仕上】 ※天付状況による	
	軒天：LGS下地、（カラー）フレキシブルボード t6.0 目通し強（UVコート・仕上塗装） 【下地共新設】 ※天付状況による	
	外部サッシ（防音）は全て 周囲シーリング【打替】・ガラス留め材シーリング【新設】・建具調整【金物交換の上、調整】 ※建具数による	
	（サッシマ）は、非常用出入口を示す	
	（換気フード・ガラリ）は、養生とする	
	高置水槽、消火栓給水機、配管共（設備図による） 外部スピーカー・その他照明器具は（設備図による）	

改修前



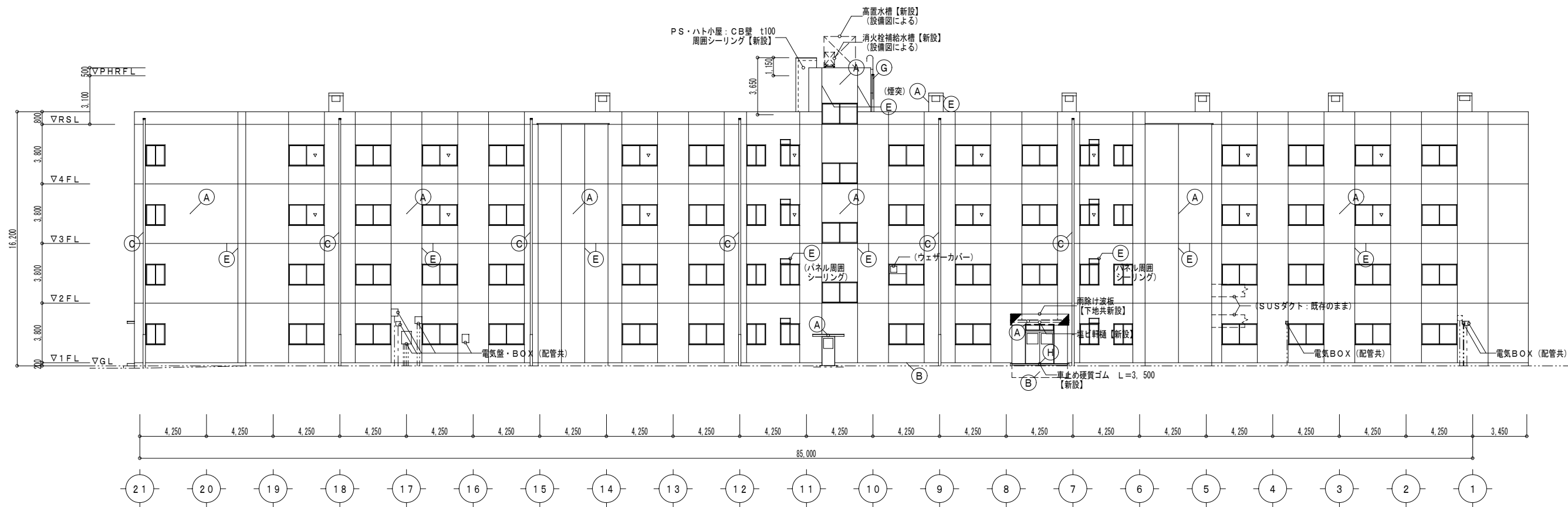
改修前 北側立面図 S=1/200



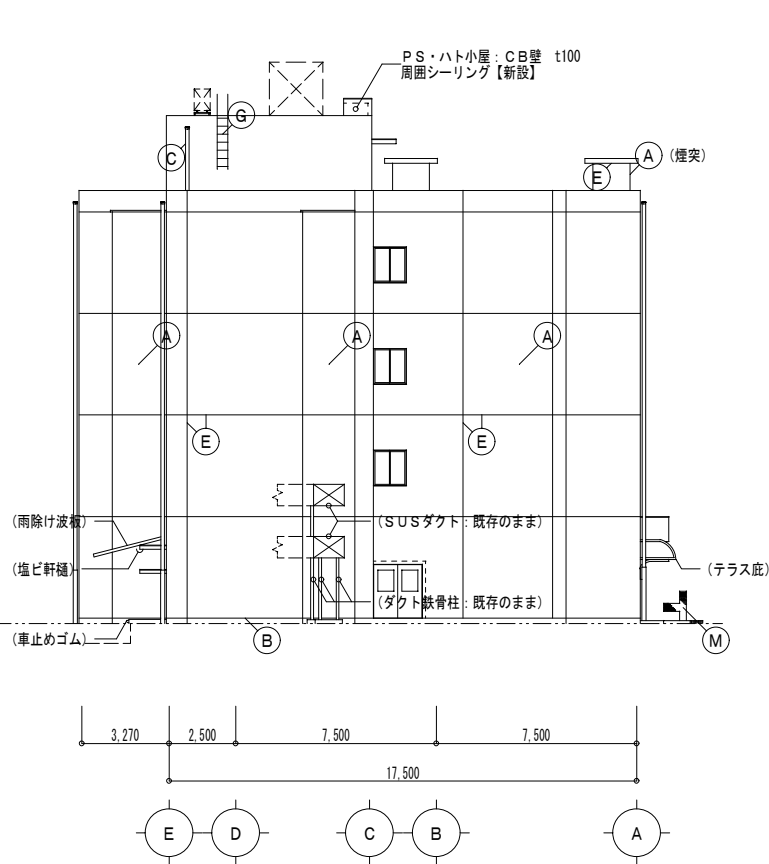
改修前 西側立面図 S=1/200

記号	改修前 外部仕上表
A	外壁: コンクリート打放し、アクリルシン収付 (一部、円柱: 複層炭材収付共) 【既存躯体補修・下地処理】
B	巾木: モルタル金ゴテ仕上 【既存躯体補修・下地処理】
C	縦樋: 硬質塩ビ管 100φ (上部補修口付き) 【撤去 (掘み金物共)】、養生管: 亜鉛メッキ鋼管 125φ H=2.000 【撤去 (掘み金物共)】
D	
E	外壁目地・打撃目地: シーリング 15×10 (PS-2、ポリサルファイド系) シール【撤去】
F	屋上フェンス: スチール製ネットフェンス H=2.000 (燈柱付き) 【撤去】
G	PHタラップ: 白ガス管 48.6φ、鉄筋 19φ @300 7段 SOP 塗 【既存下地調整】
H	プラットフォーム、外階段: モルタル金ゴテ仕上 【既存下地処理 (研磨)】 段鼻: ノンスリップタイル 【撤去】
I	
J	
K	
L	
M	外流し: モザイクタイル 50角 【撤去 (張付けモルタルまで)】
N	校名・校章看板 (アルミ複合板、ビス留め) 【撤去】
	鉄部 (外部付属物) は全て、電気壁・BOX (配管共) を含み 【既存下地調整】
	既存開口閉塞は、電面との段差・補修あり 【下地処理 (平滑処理・ハターン調整、目地通し)】
	上蓋: コンクリート打放し、アクリルシン収付 【既存躯体補修・下地処理】 ※天井伏図による
	軒天: LGS下地、フレキシブルボード t6.0 VP 塗 【下地共新設】 ※天井伏図による
	外部サッシ (防音) は全て サッシ周囲シーリング【撤去】・ガラス留め材ガスケツ【撤去】・建具調整【障子取り外し】 ※建具表による
	(サッシマは、非常用出入口を示す)
	(換気フード・ガラリは、養生とする)
	外部にある使用されていない設備ブラケットは、【全て撤去】とする
	高層水櫃、消火栓補給水櫃、配管共 (設備図による)
	外部スピーカー・その他照明器具は (設備図による)

改修後

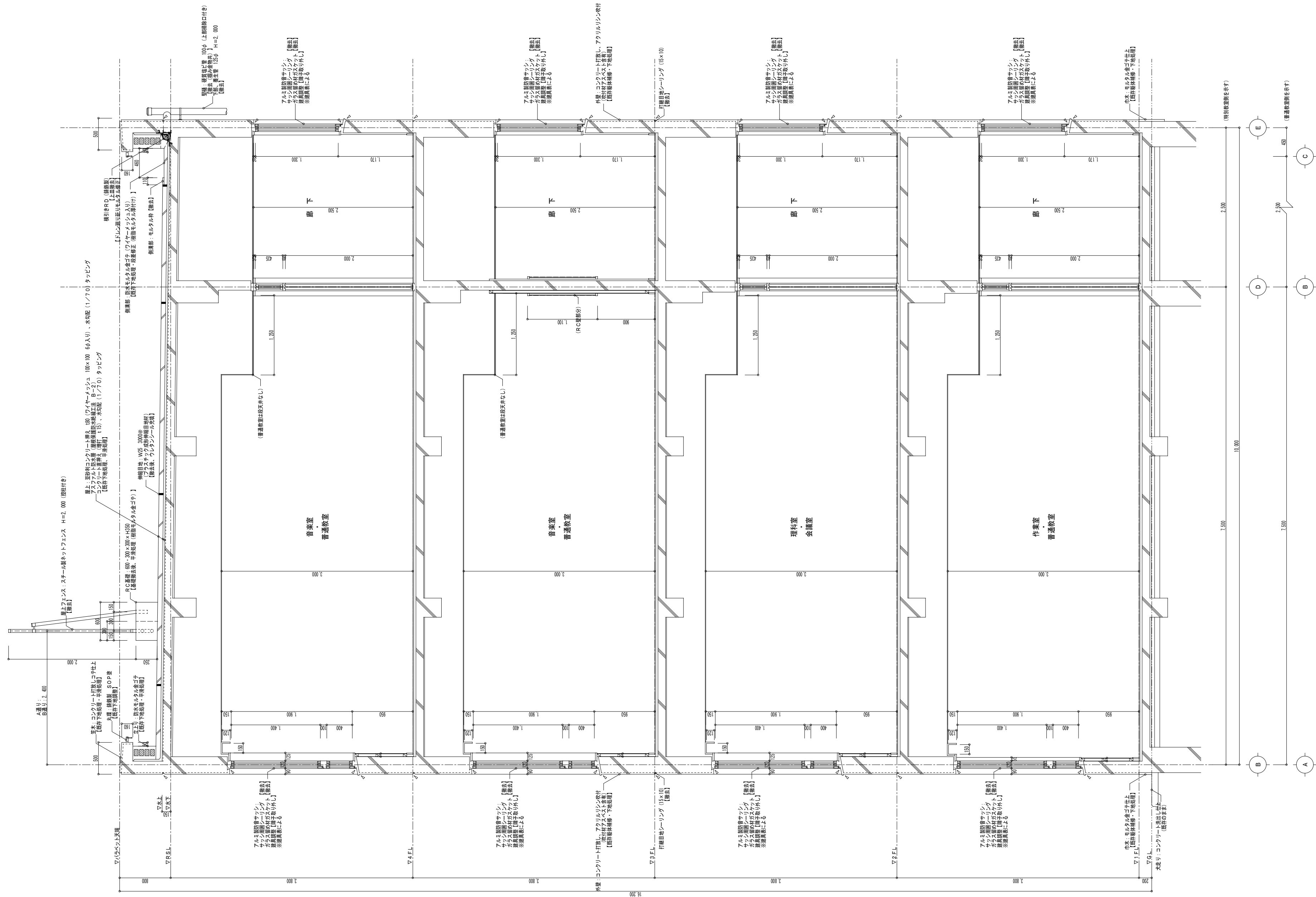


改修後 北側立面図 S=1/200



改修後 西側立面図 S=1/200

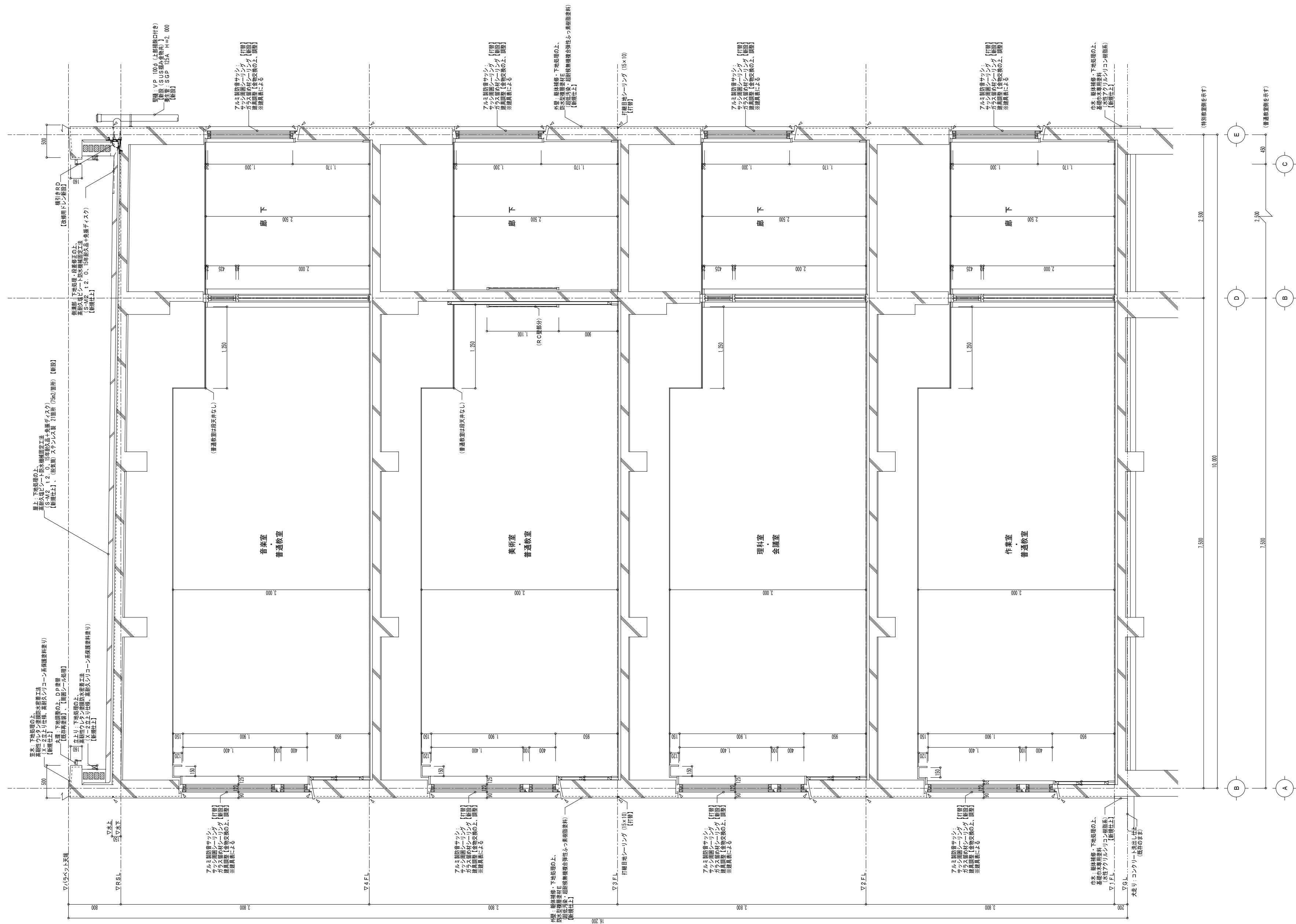
記号	改修後 外部仕上表
A	外壁: 躯体補修・下地処理の上 防水型複層塗材 E (超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料) 【新規仕上】
B	巾木: 躯体補修・下地処理の上、基礎巾木専用塗料 (水性アクリルシリコン樹脂系) 【新規仕上】
C	縦樋: VP 100φ (上部補修口付き) 【新設 (SUS掘み金物共)】、養生管: SGP 125A H=2.000 【新設 (SUS掘み金物共)】
D	
E	外壁目地・打撃目地: シーリング 15×10 (PS-2、ポリサルファイド系) シール【打替】 (仕上げあり)
F	
G	PHタラップ: 下地調整の上、DP 塗替 【既存再塗装】
H	プラットフォーム、外階段: 下地処理の上、(塗床) 水性無機質浸透型床材 (屋外・NS仕様) 【新規仕上】 段鼻: ノンスリップタイル 【新設】
I	
J	
K	
L	
M	外流し: モザイクタイル 50角 【新設】
N	校名板 (W800×H800×D50) 【新設】 校章 (W1,000×H1,000) 【新設】 「柏原中」SUS箱文字、後付塗装 SUS箱曲げ加工、凹彫り、「中」SUS箱文字、組み上げ、後付塗装
	鉄部 (外部付属物) は全て、電気壁・BOX (配管共) を含み 下地調整の上、DP 塗替 【既存再塗装】
	既存開口閉塞: 下地処理の上、(外壁と同じ) 【新規仕上】
	上蓋: 躯体補修・下地処理の上、軒天専用仕上塗材 (水性アクリルシリコン樹脂系 (つや無し)) 【新規仕上】 ※天井伏図による
	軒天: LGS下地、(カラー) フレキシブルボード t6.0 目隠し強 (UVコート・仕上塗装) 【下地共新設】 ※天井伏図による
	外部サッシ (防音) は全て サッシ周囲シーリング【打替】・ガラス留め材シーリング【新設】・建具調整【金物交換の上、調整】 ※建具表による
	(サッシマは、非常用出入口を示す)
	(換気フード・ガラリは、養生とする)
	高層水櫃、消火栓補給水櫃、配管共 (設備図による)
	外部スピーカー・その他照明器具は (設備図による)



凡例：△ は、既存シーリング【全て撤去】を示す。

承 認	股 計	担 当		縮 尺 A1: 1/30 A3: 1/60
				設計年月日 2024. 1. 31

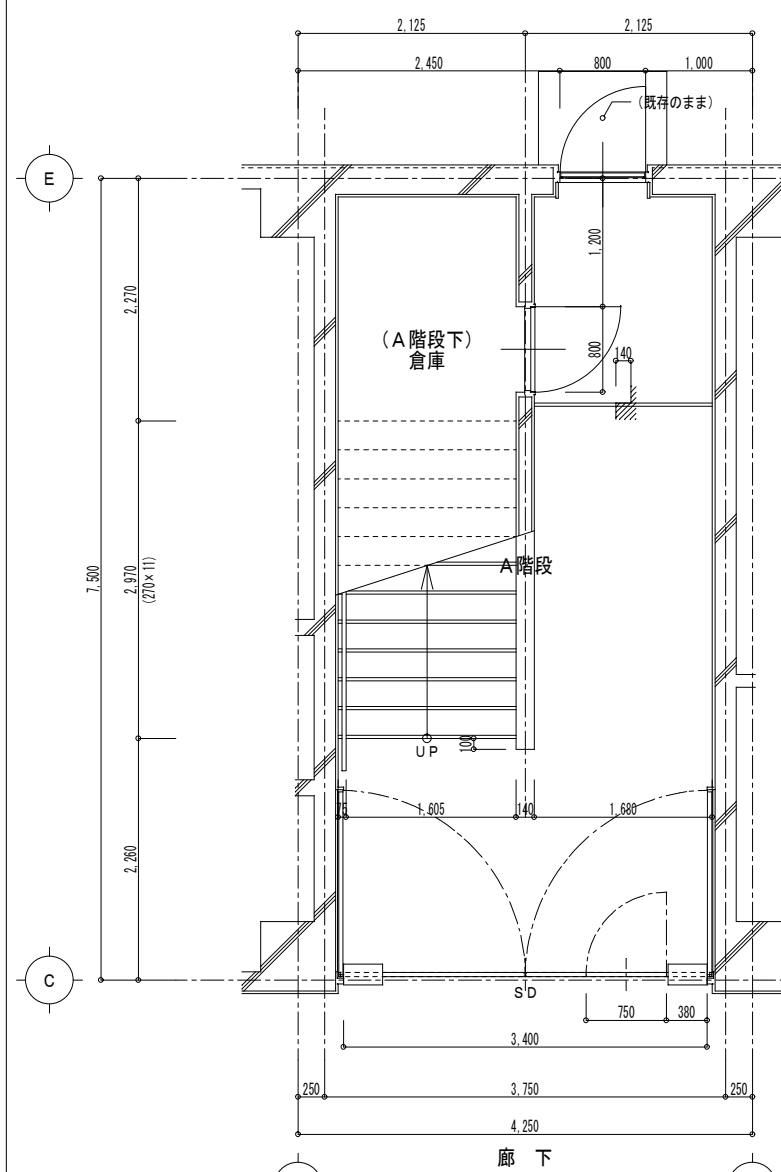
工事名称	狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称	改修前 矩計図



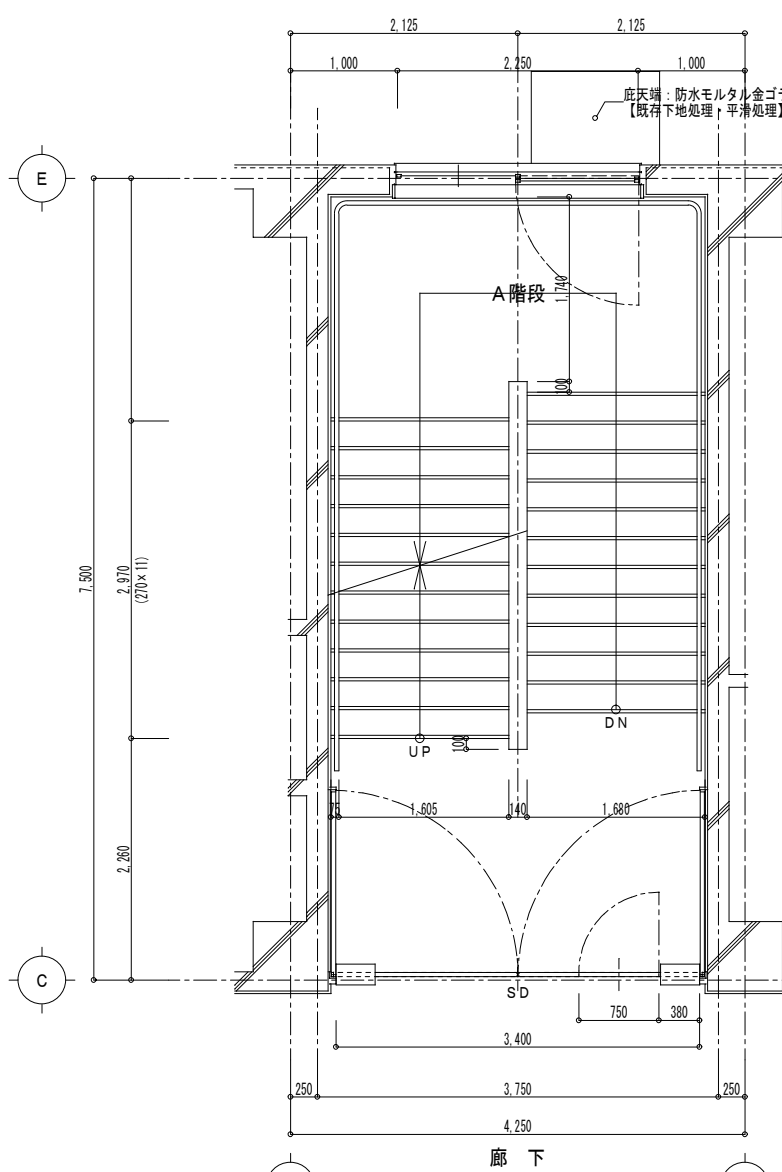
凡例：△は、シーリング【全て打替】を示す。

承 認	股 計	担 当		縮 尺 A1: 1/30 A3: 1/60
				設計年月日 2024. 1. 31

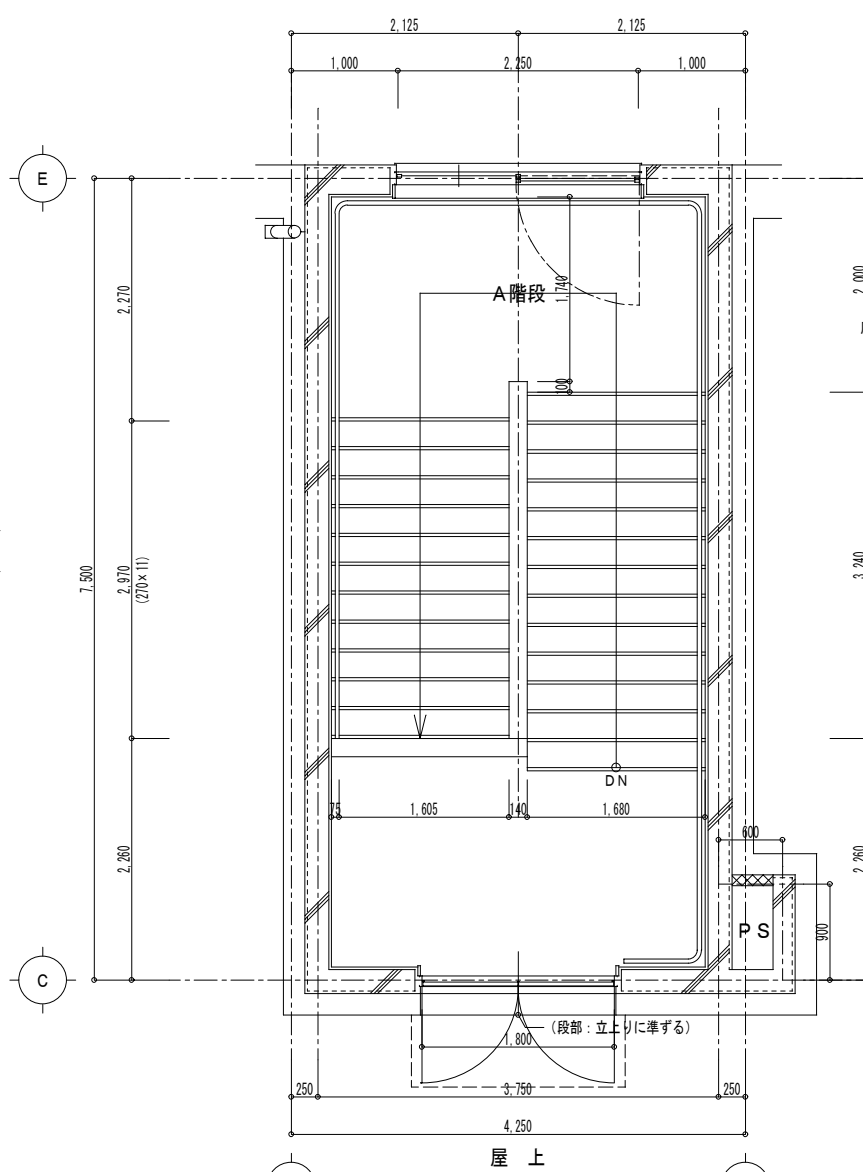
工事名称	狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称	改修後 矩計図



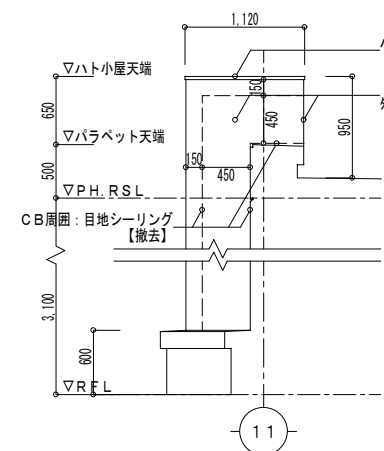
改修前 (1階) A階段 平面詳細図 S=1/50



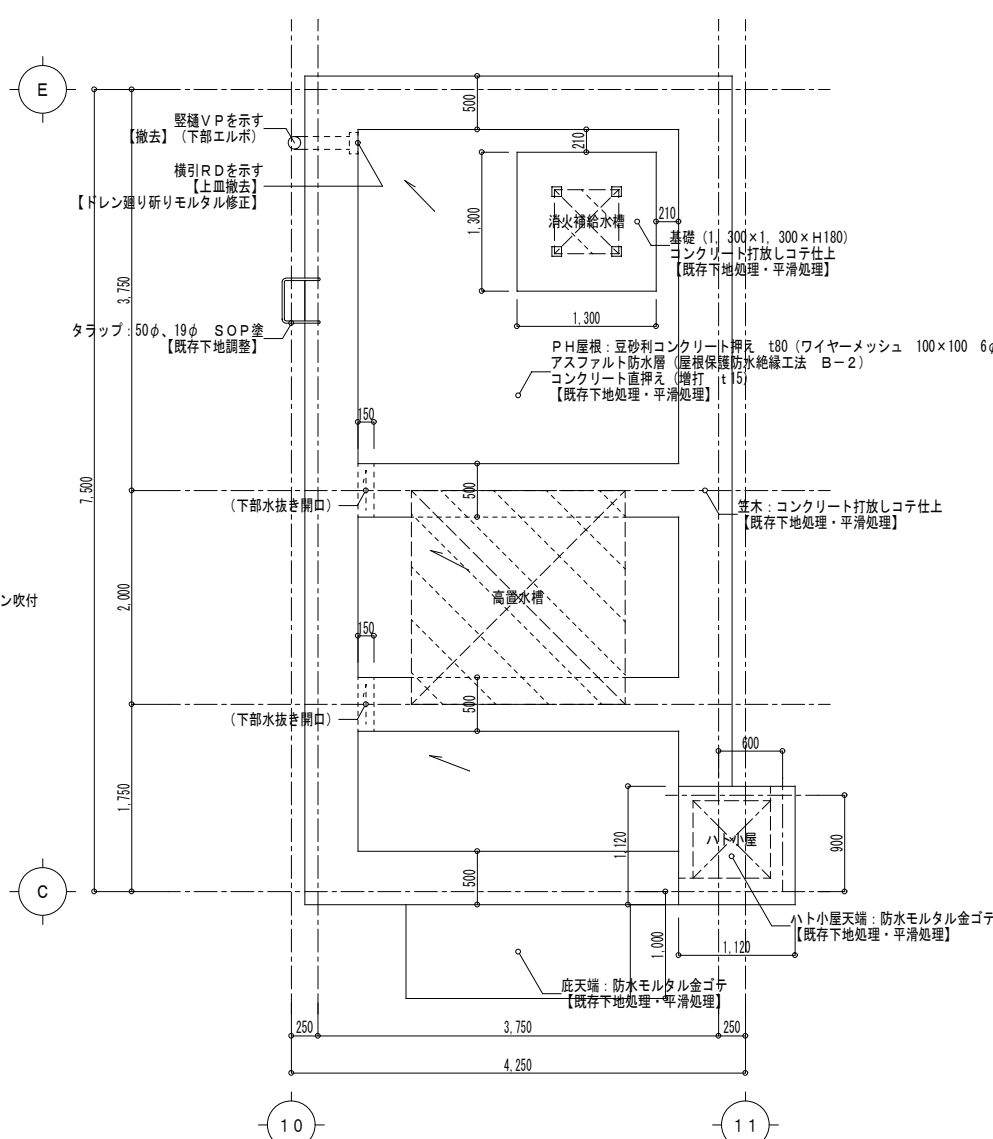
改修前 (2, 3, 4階) A階段 平面詳細図 S=1/50



改修前 (R階) A階段 平面詳細図 S=1/50

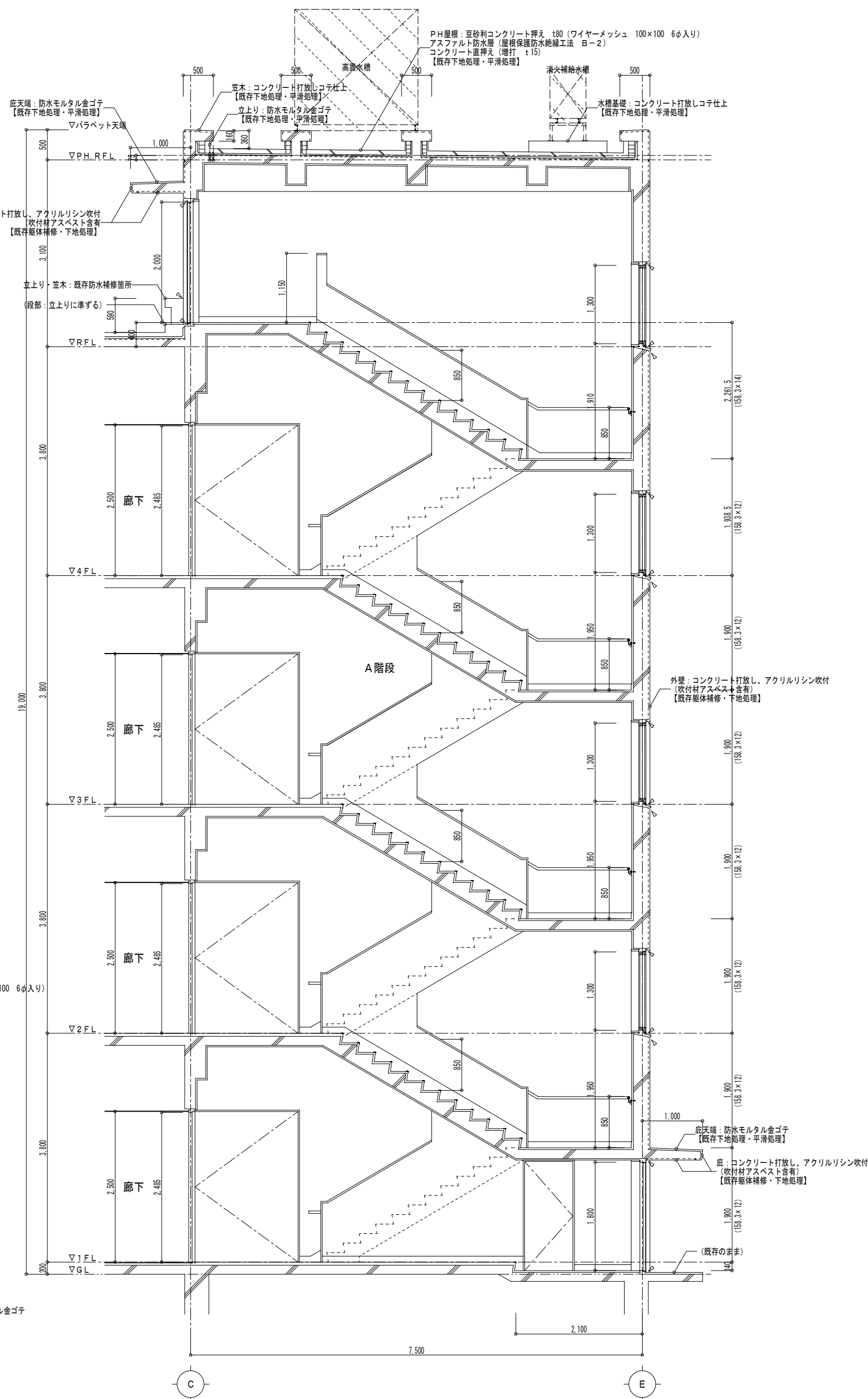


(改修前 PS・ト小屋 部分立面図 S=1/50)



改修前 (PH屋根) A階段 平面詳細図 S=1/50

(高置水槽は、別図、部分詳細図2による)

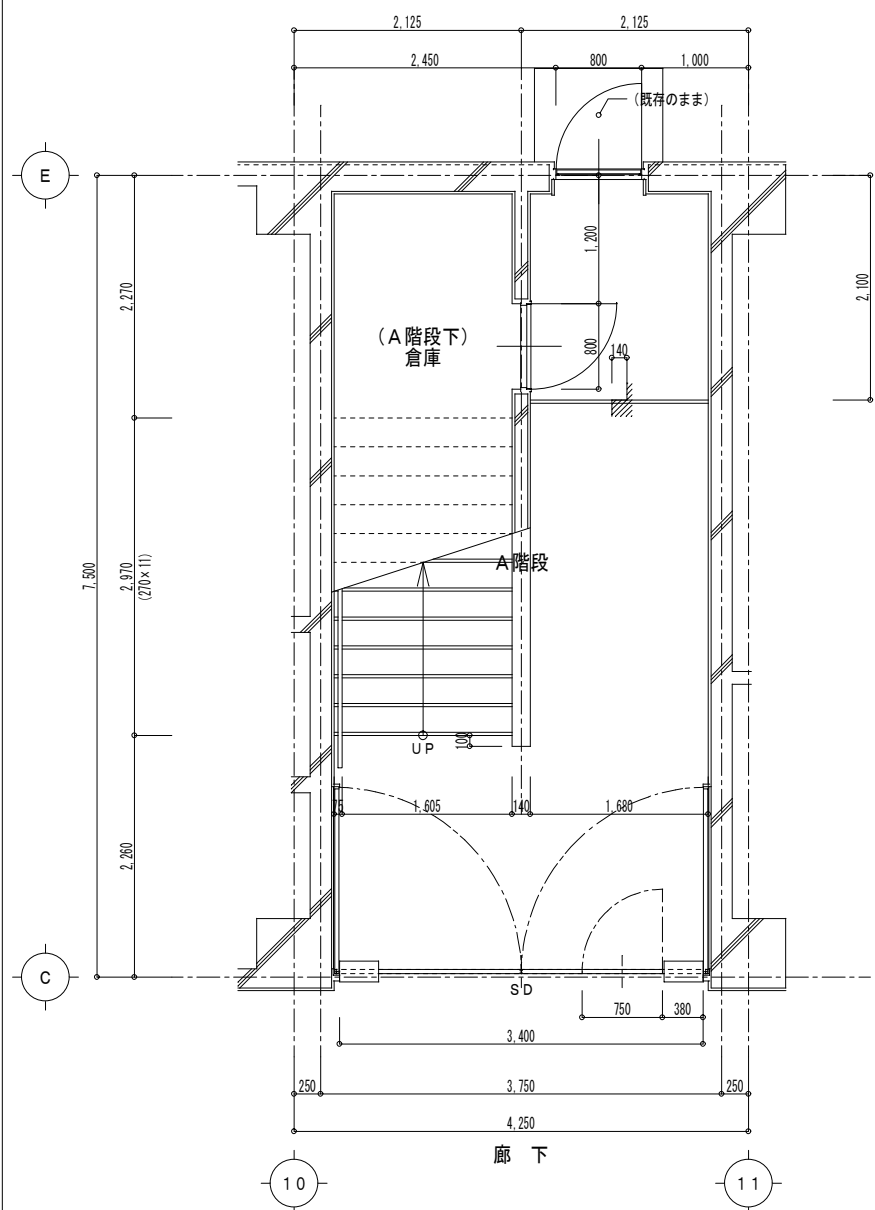


改修前 A階段 断面図 S=1/50

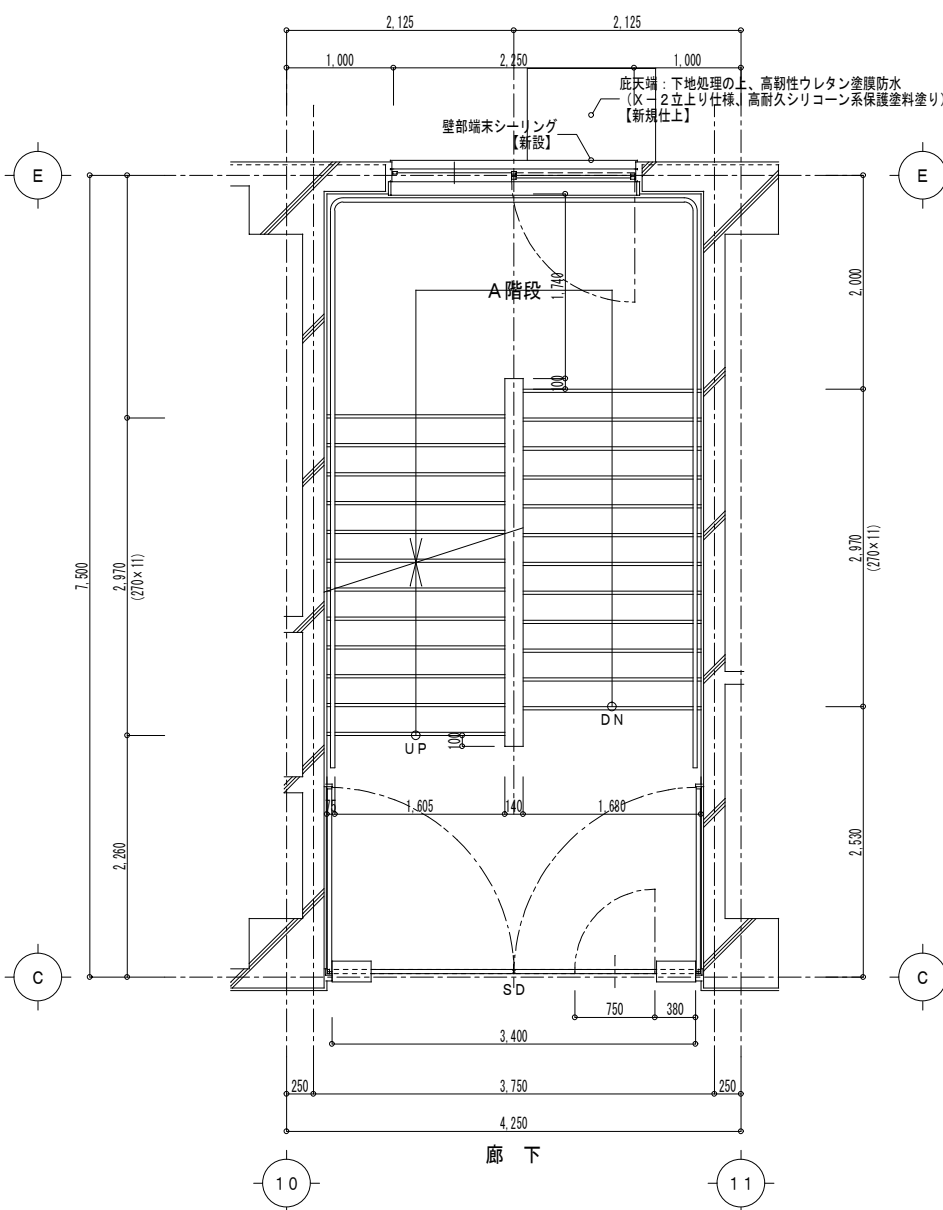
凡例： ▽ は、既存シーリング【全て撤去】を示す。

は、【撤去】を示す。

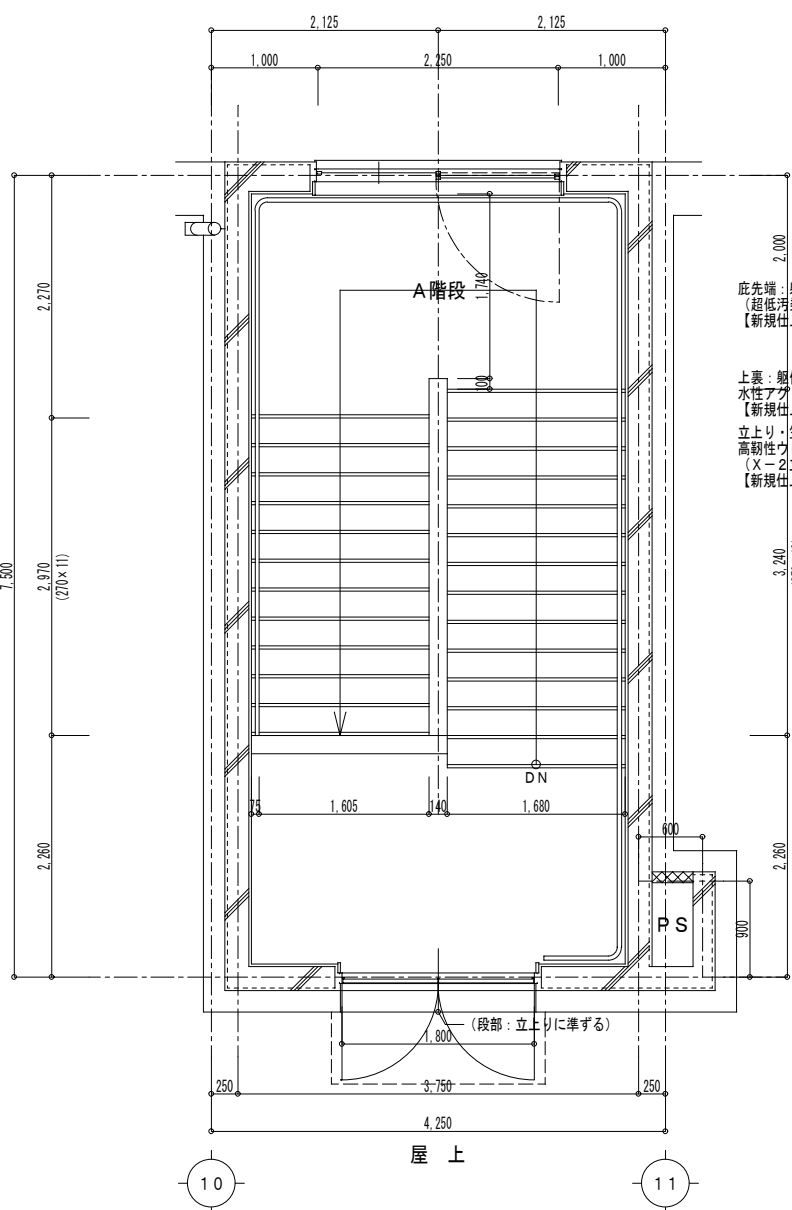
改修後



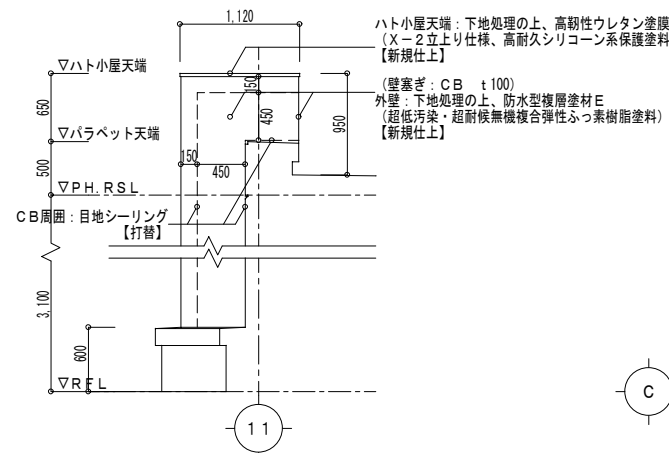
改修後 (1階) A階段 平面詳細図 S=1/50



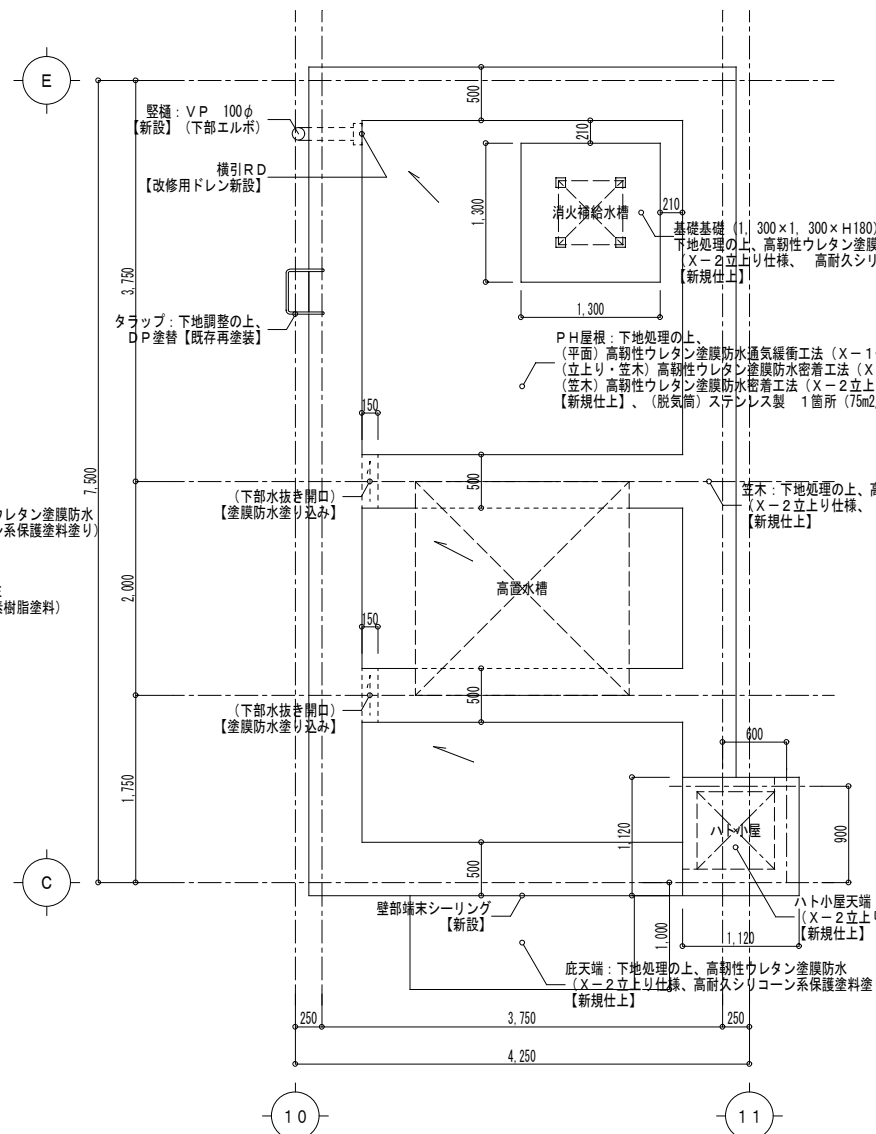
改修後 (2, 3, 4階) A階段 平面詳細図 S=1/50



改修後 (R階) A階段 平面詳細図 S=1/50

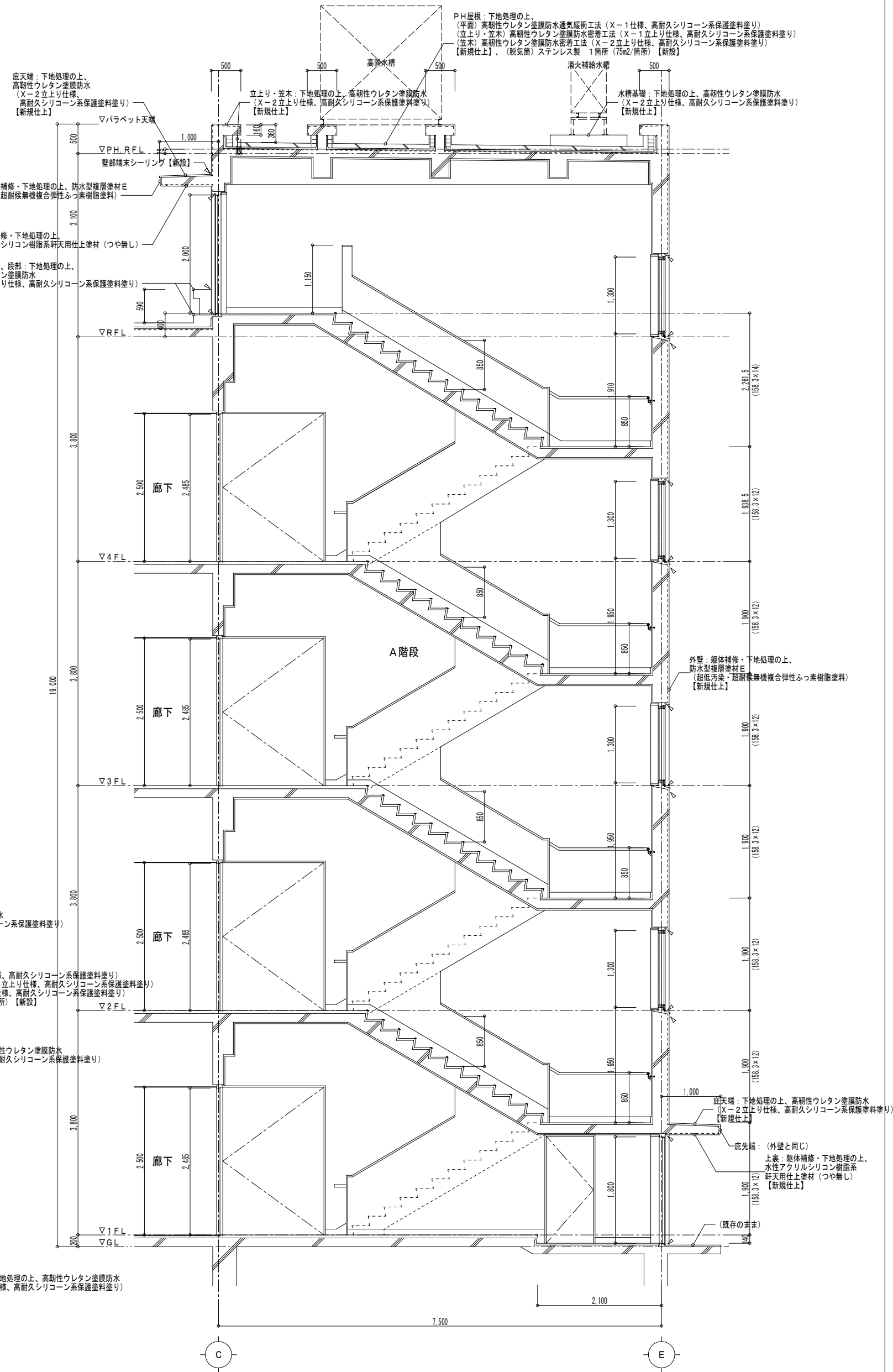


(改修後 PS・ハト小屋 部分立面図 S=1/50)



改修後 (PH屋根) A階段 平面詳細図 S=1/50

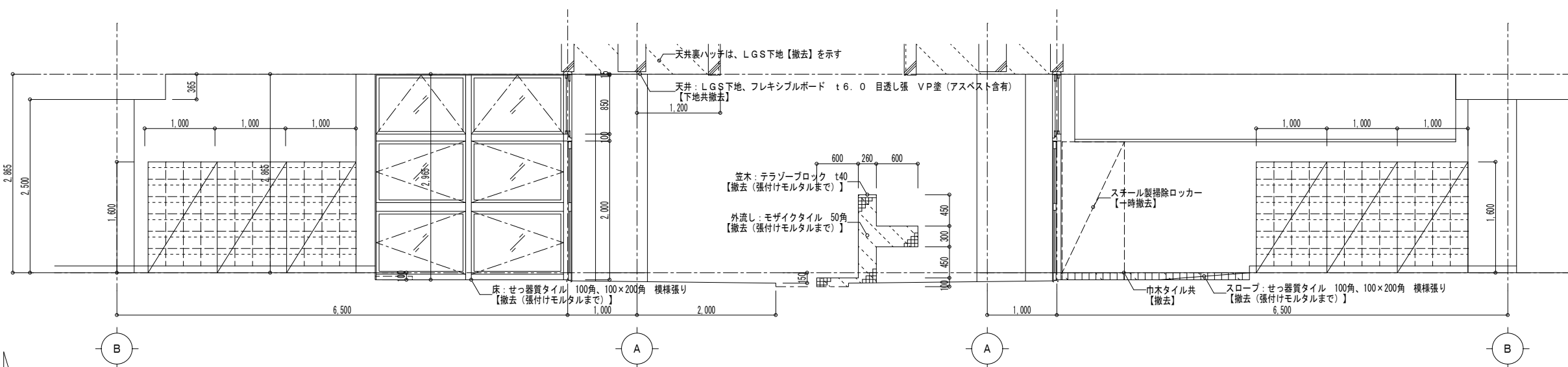
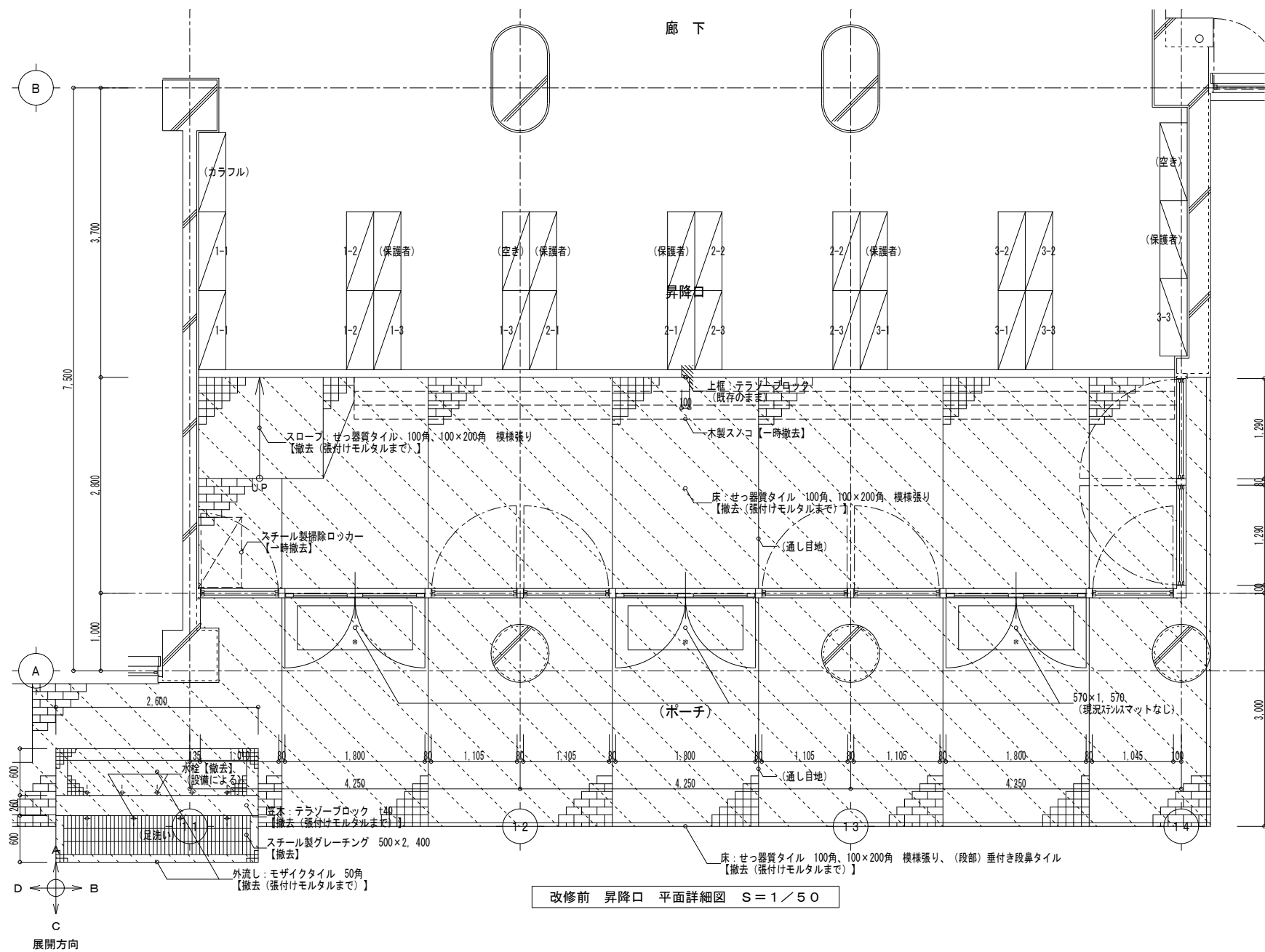
(高置水槽は、別図、部分詳細図2による)



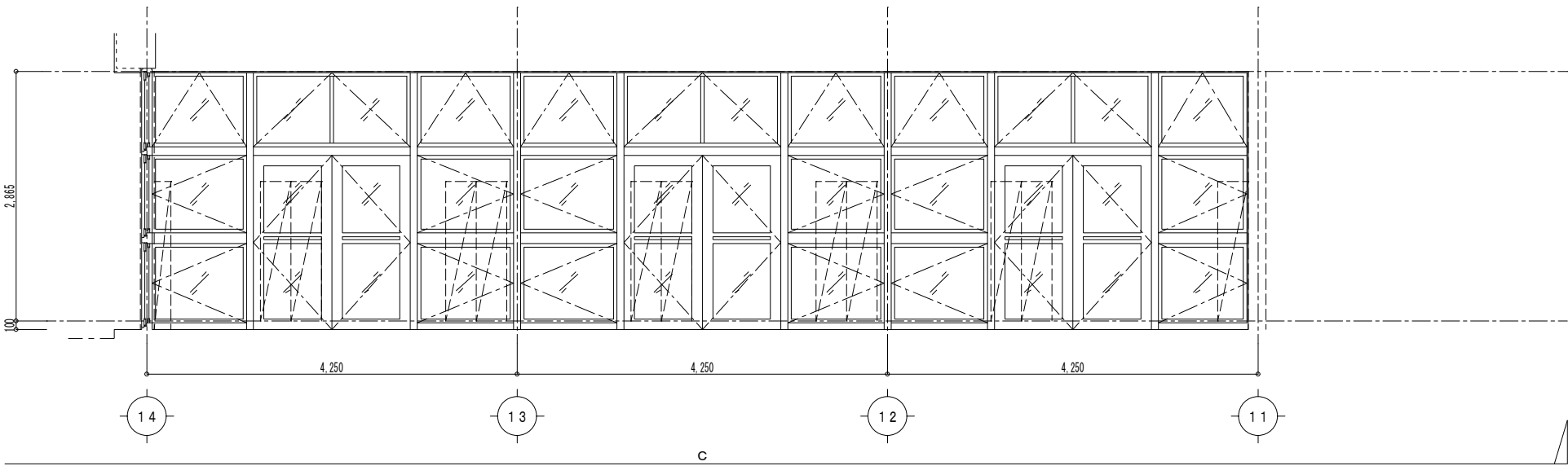
改修後 A階段 断面図 S=1/50

凡例: 〰 は、シーリング【全て打替】を示す。

改修前



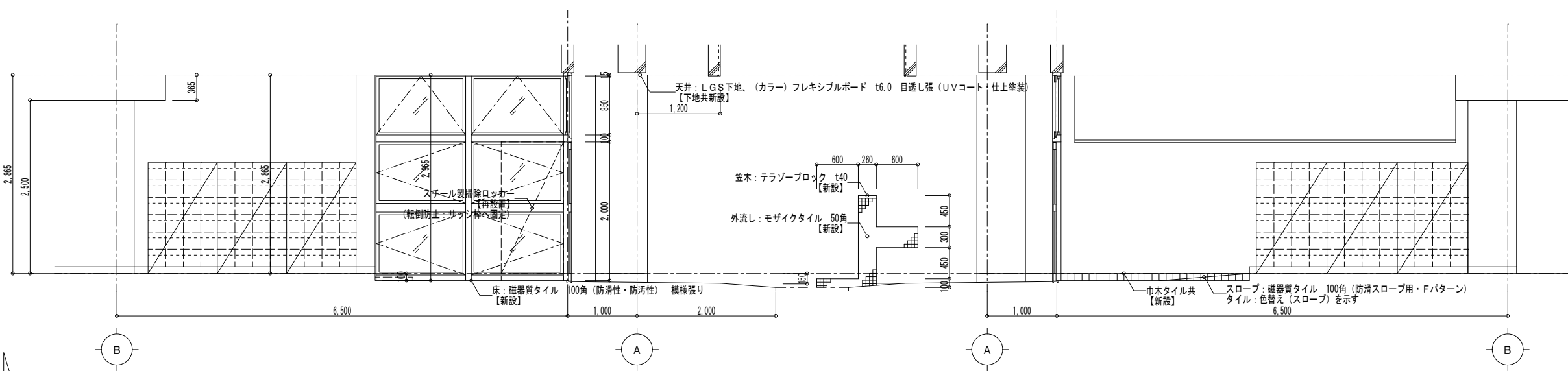
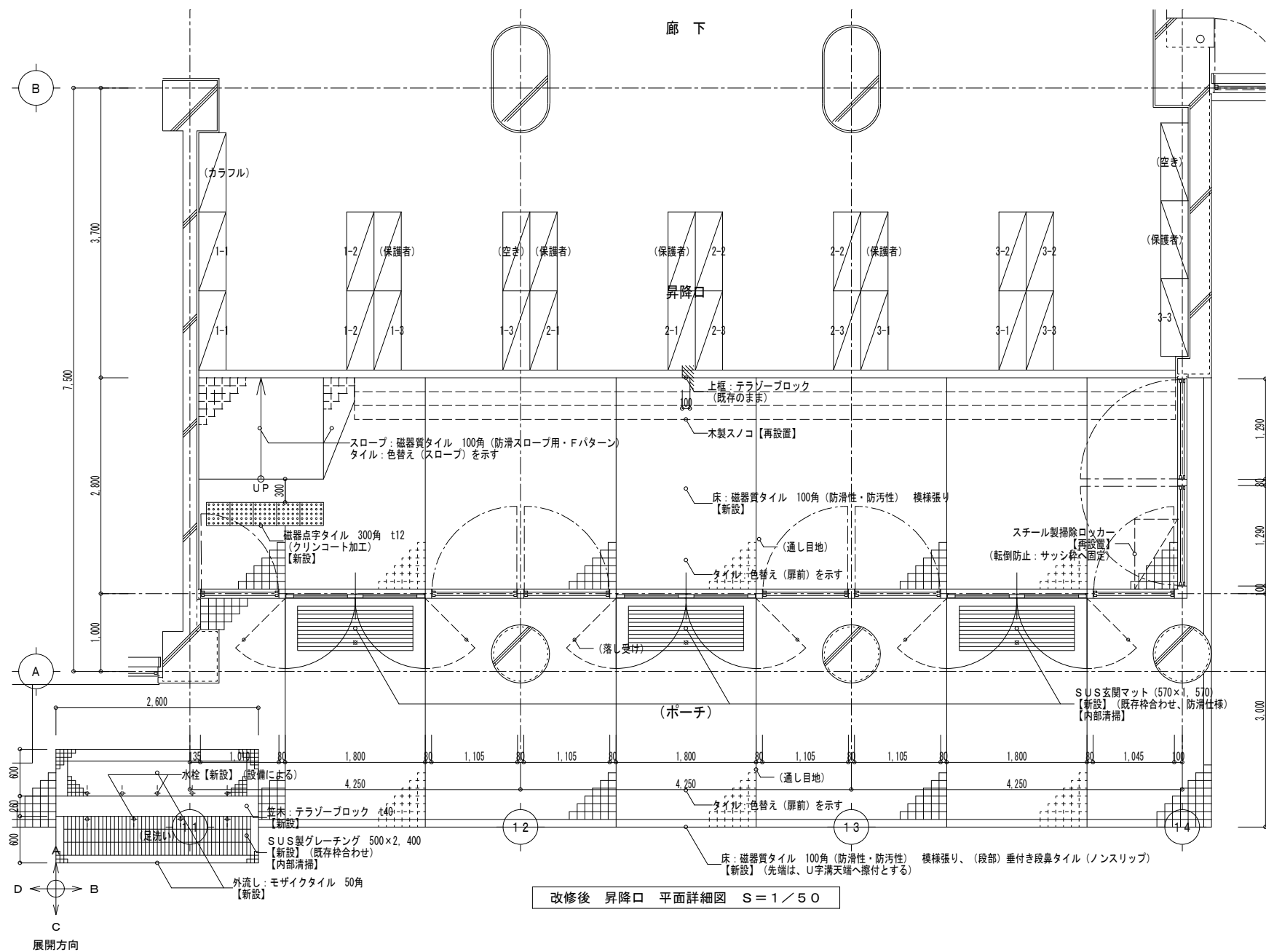
改修前 昇降口 展開図 S=1/50



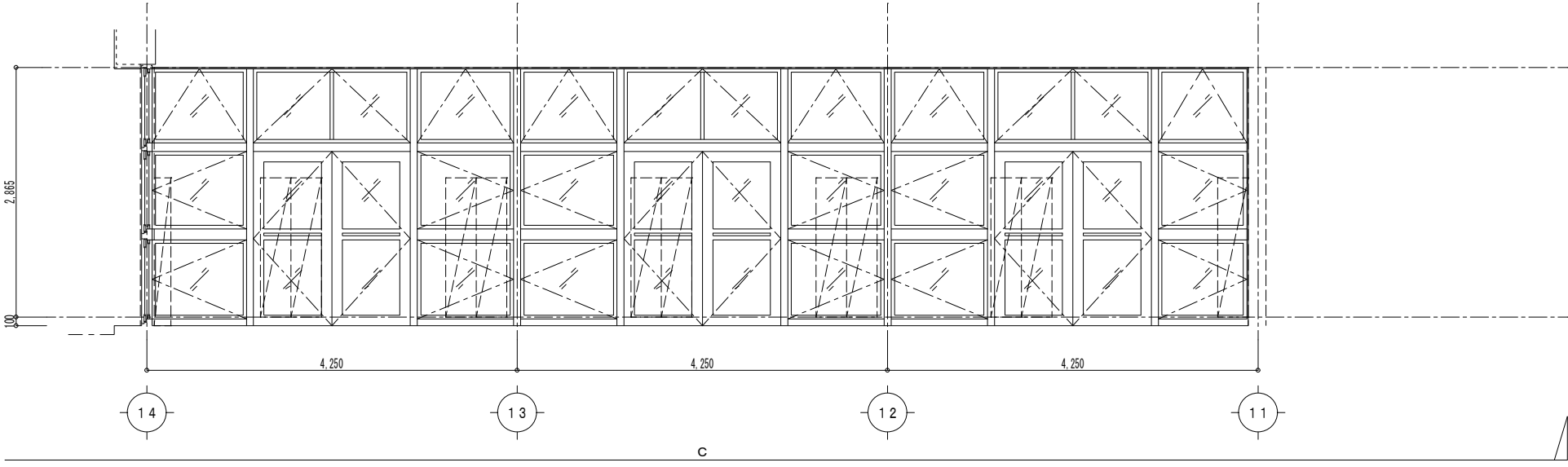
凡例: は、【撤去】範囲を示す。

床タイルは、内部昇降口とも撤去とする。

改修後



改修後 昇降口 展開図 S=1/50



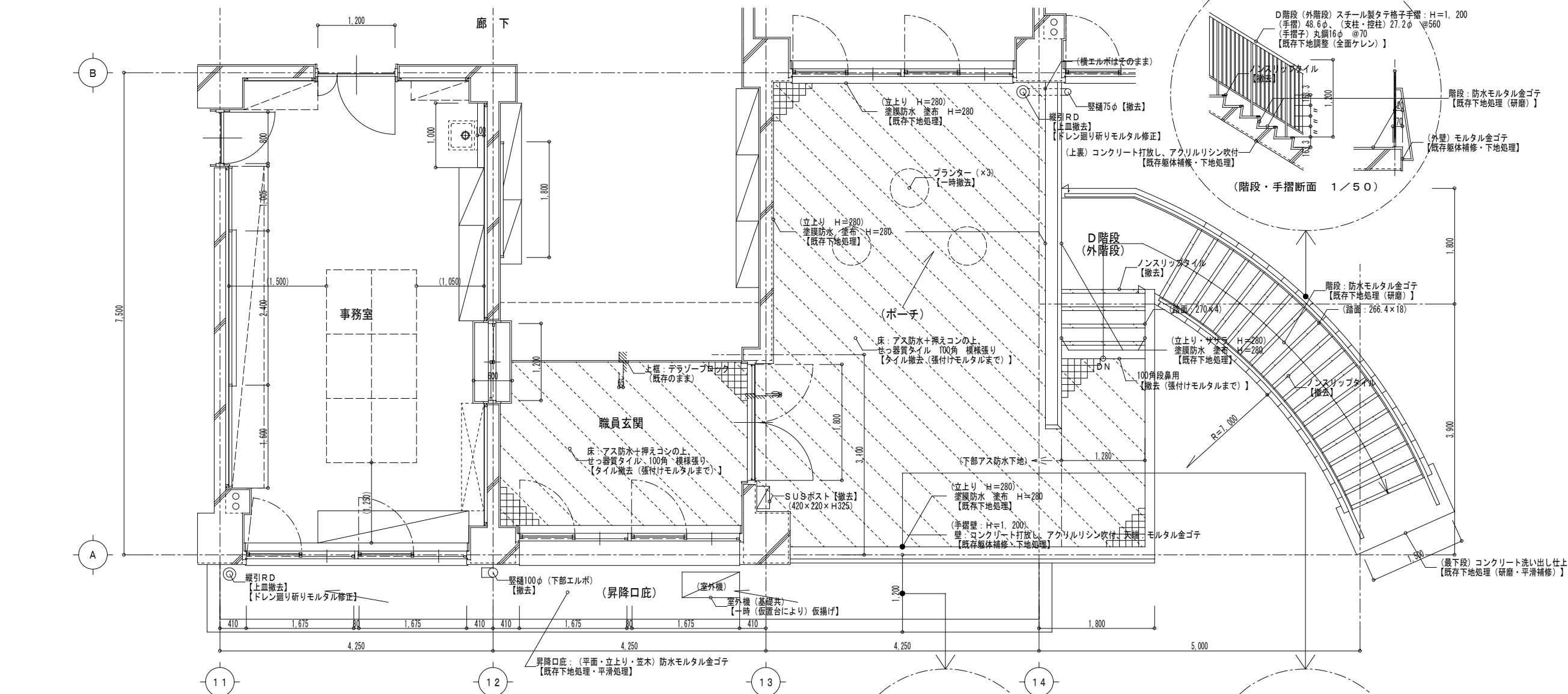
床タイルは、内部昇降口とも撤去とする。

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区南引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第334002号 桑子 亮

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/50
A3:1/100
設計年月日
2024.1.31

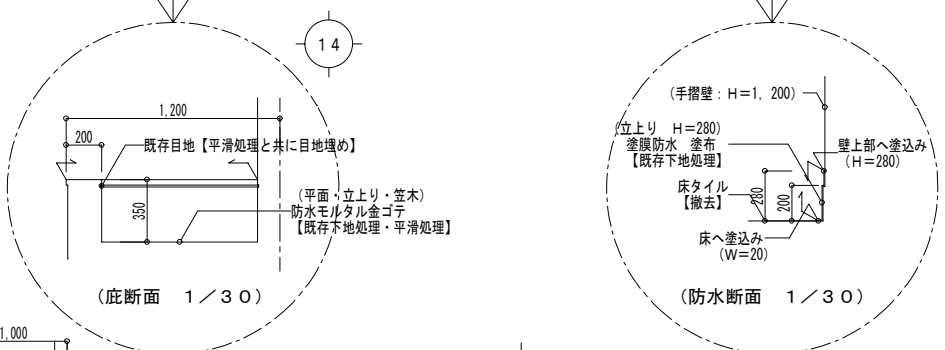
工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 改修前・後 昇降口 詳細図

改修前



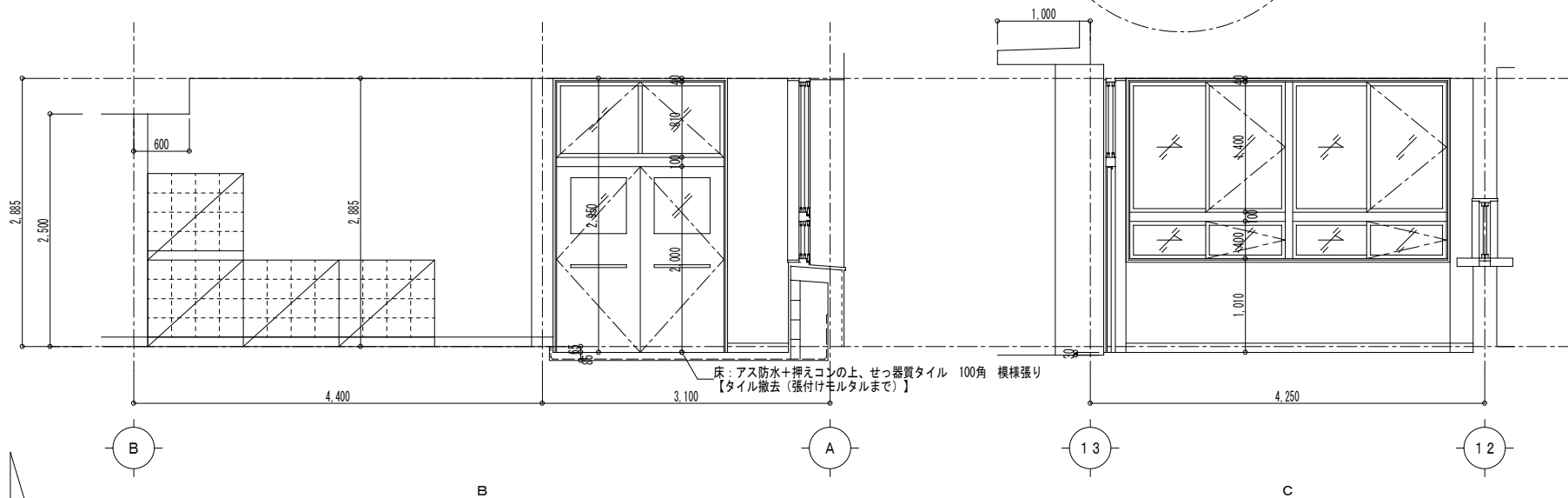
改修前 事務室、職員玄関、D階段 平面詳細図 S=1/50

A
B
C
展開方向

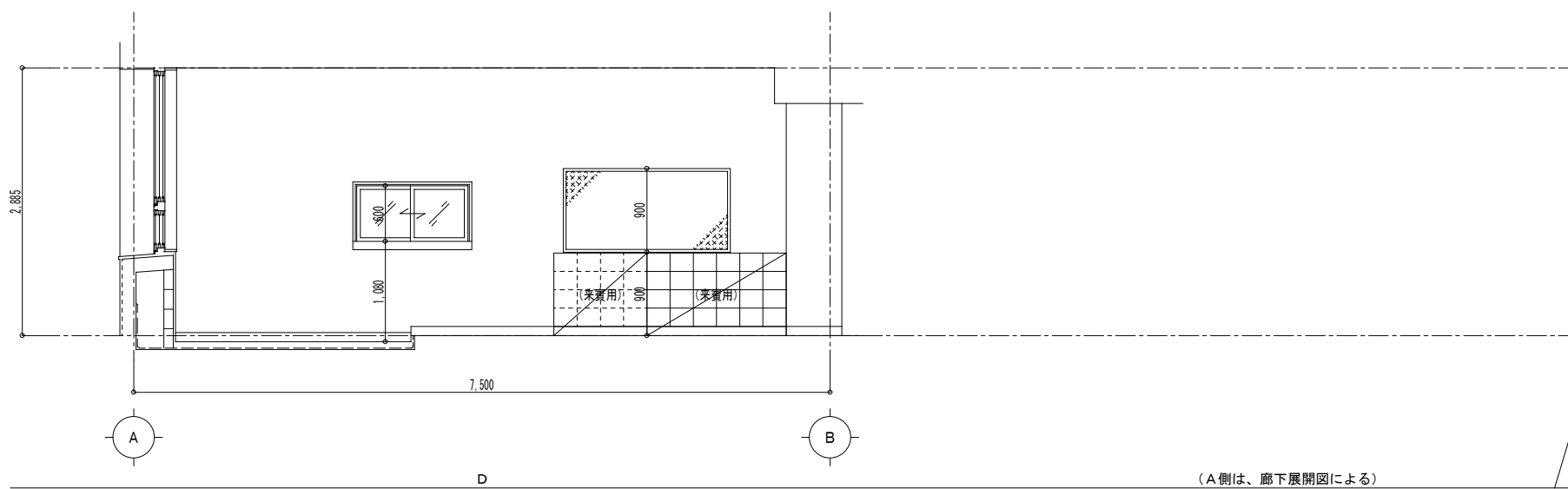


(庇断面 1/30)

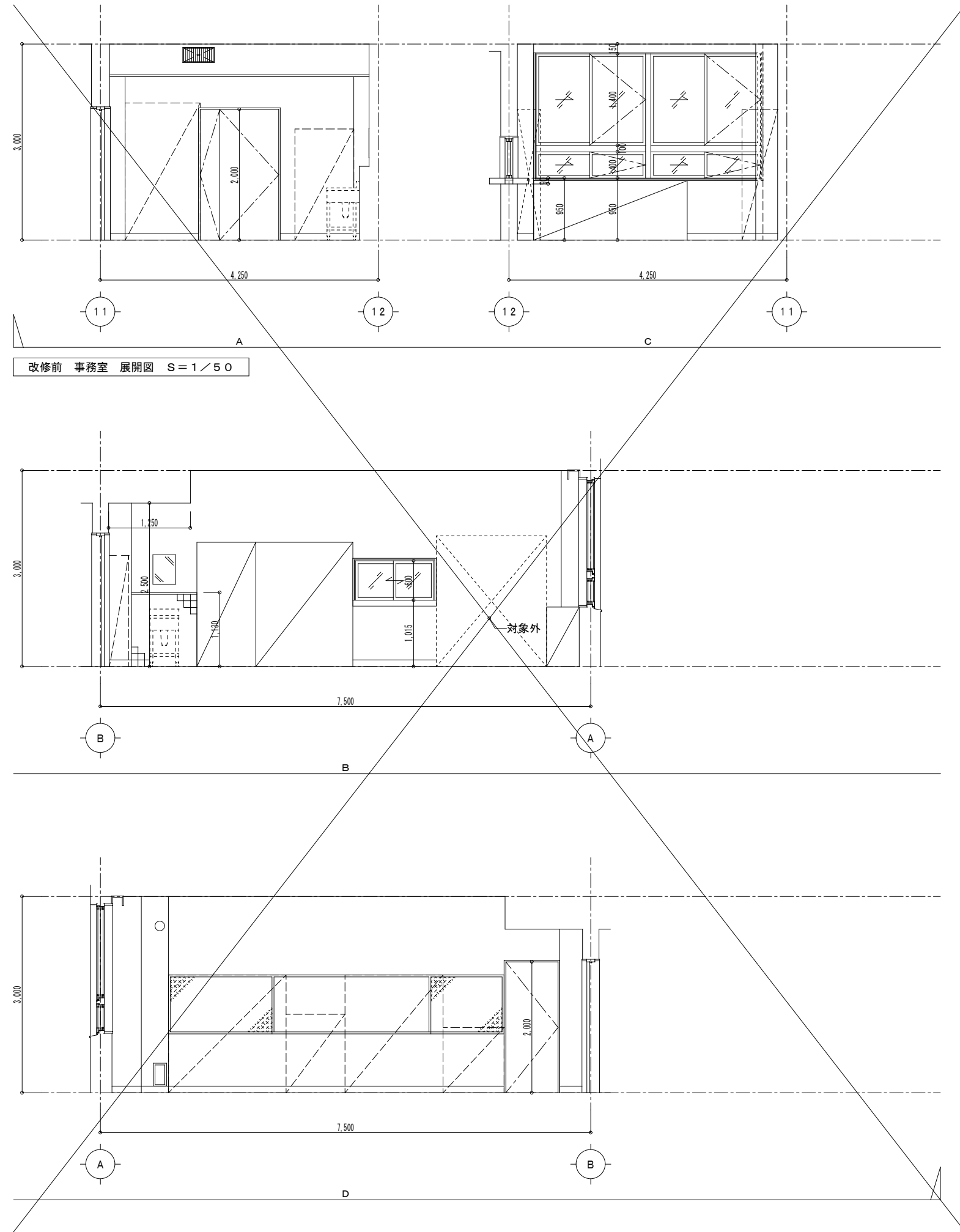
(防水断面 1/30)



改修前 職員玄関 展開図 S=1/50



(A側は、廊下展開図による)



凡例: は、【撤去】範囲を示す。

床タイルは、内部玄関とも撤去とする。

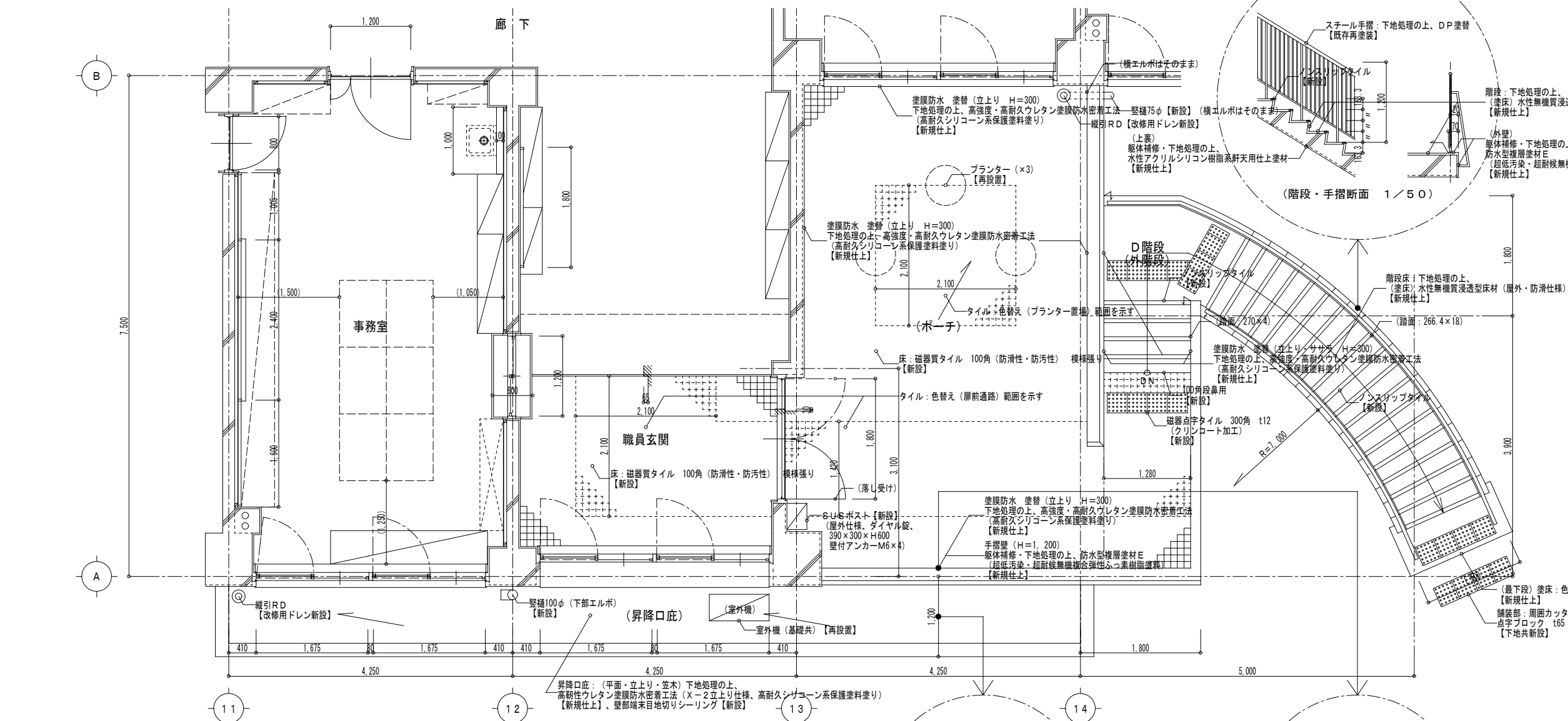
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第334002号 桑子 亮

承認 設計 担当
縮尺 A1: 1/50, 30
A3: 1/100, 60
設計年月日 2024.1.31

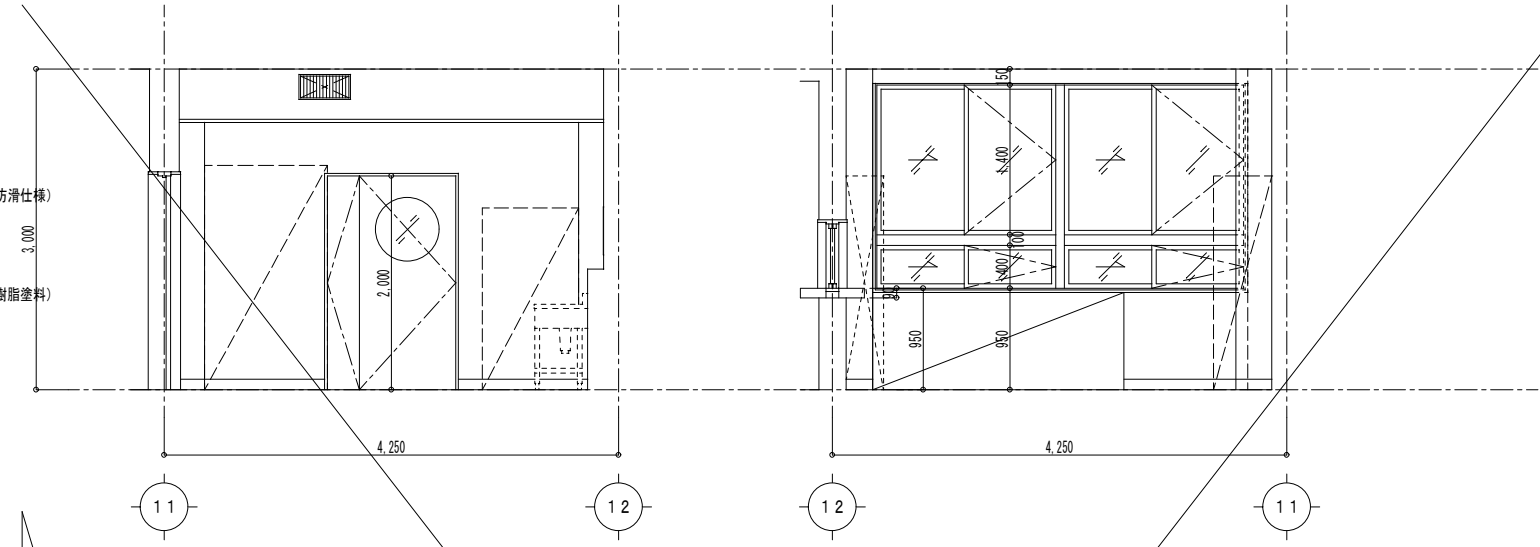
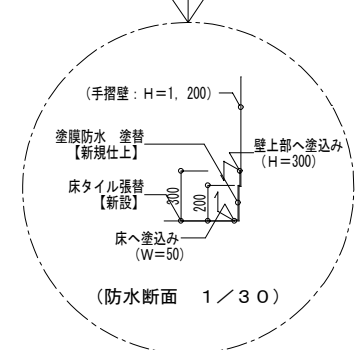
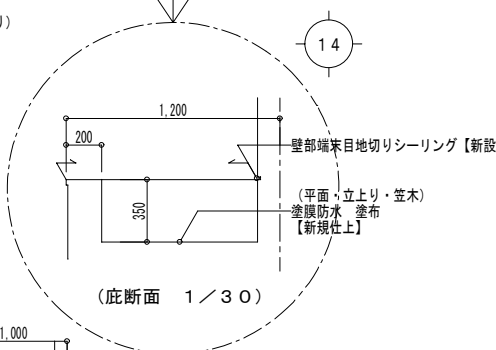
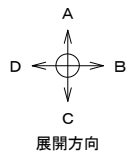
工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 改修前 事務室、職員玄関、D階段 詳細図

No. A-23

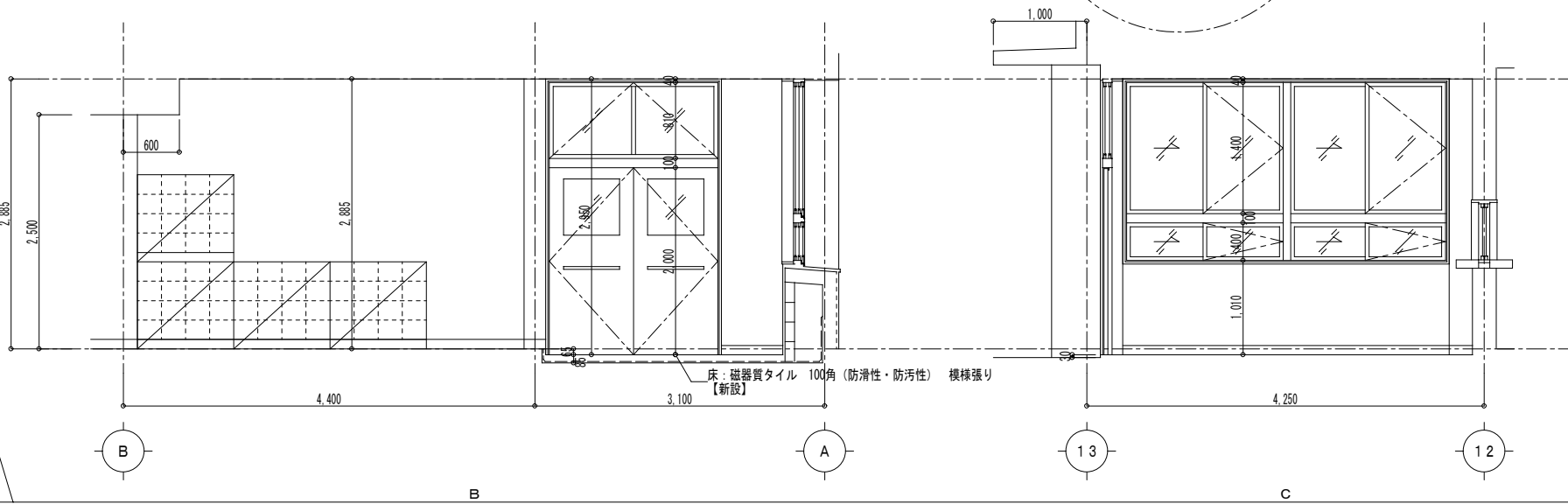
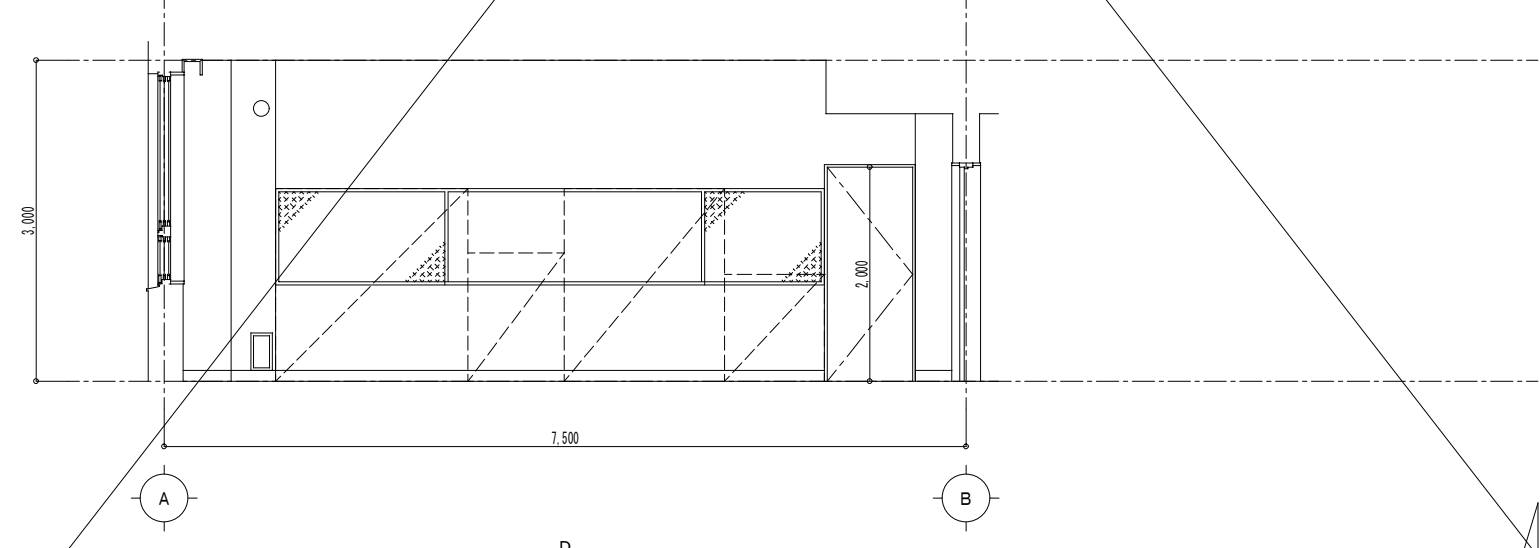
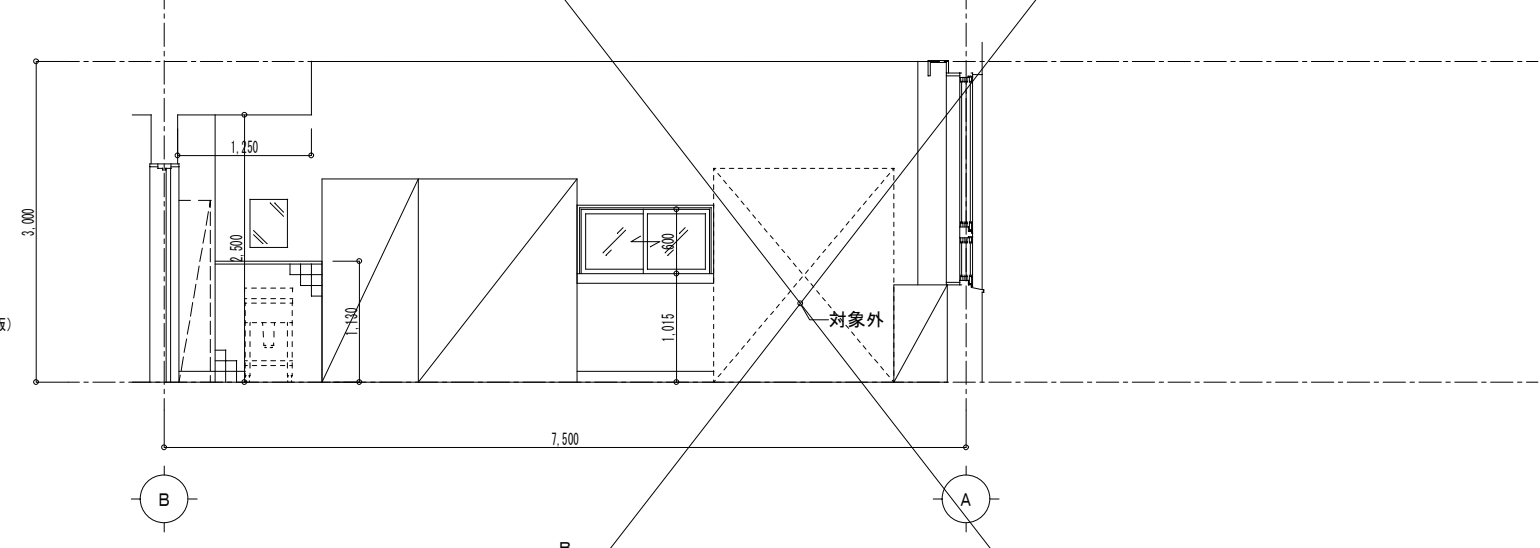
改修後



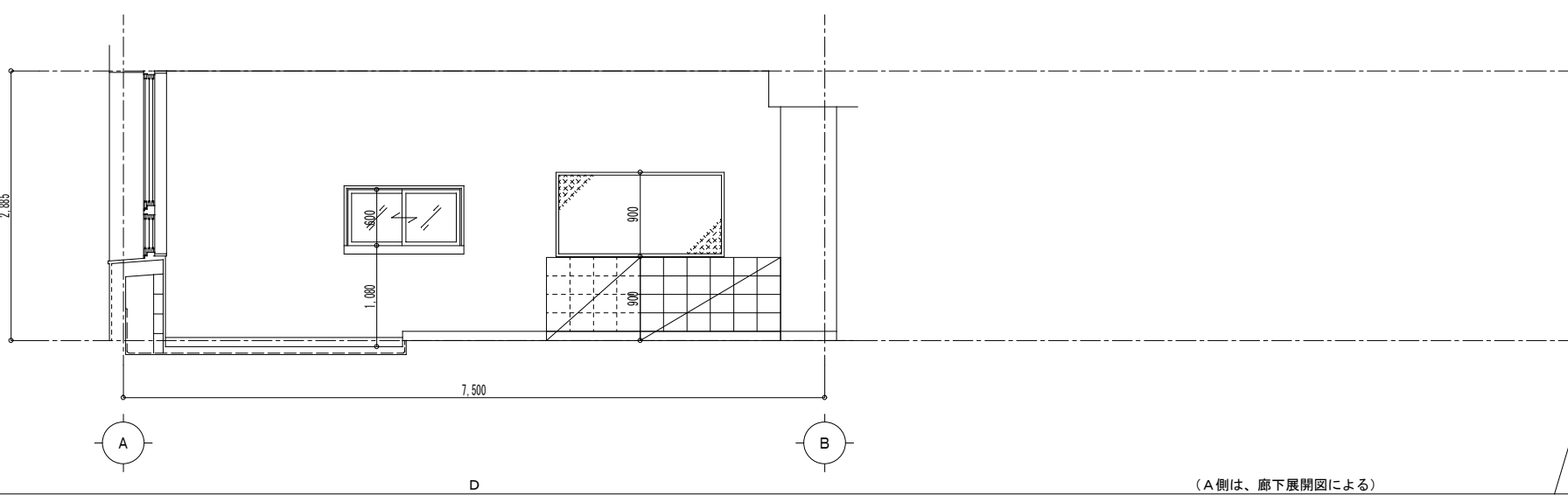
改修後 事務室、職員玄関、D階段 平面詳細図 S=1/50



改修後 事務室 展開図 S=1/50

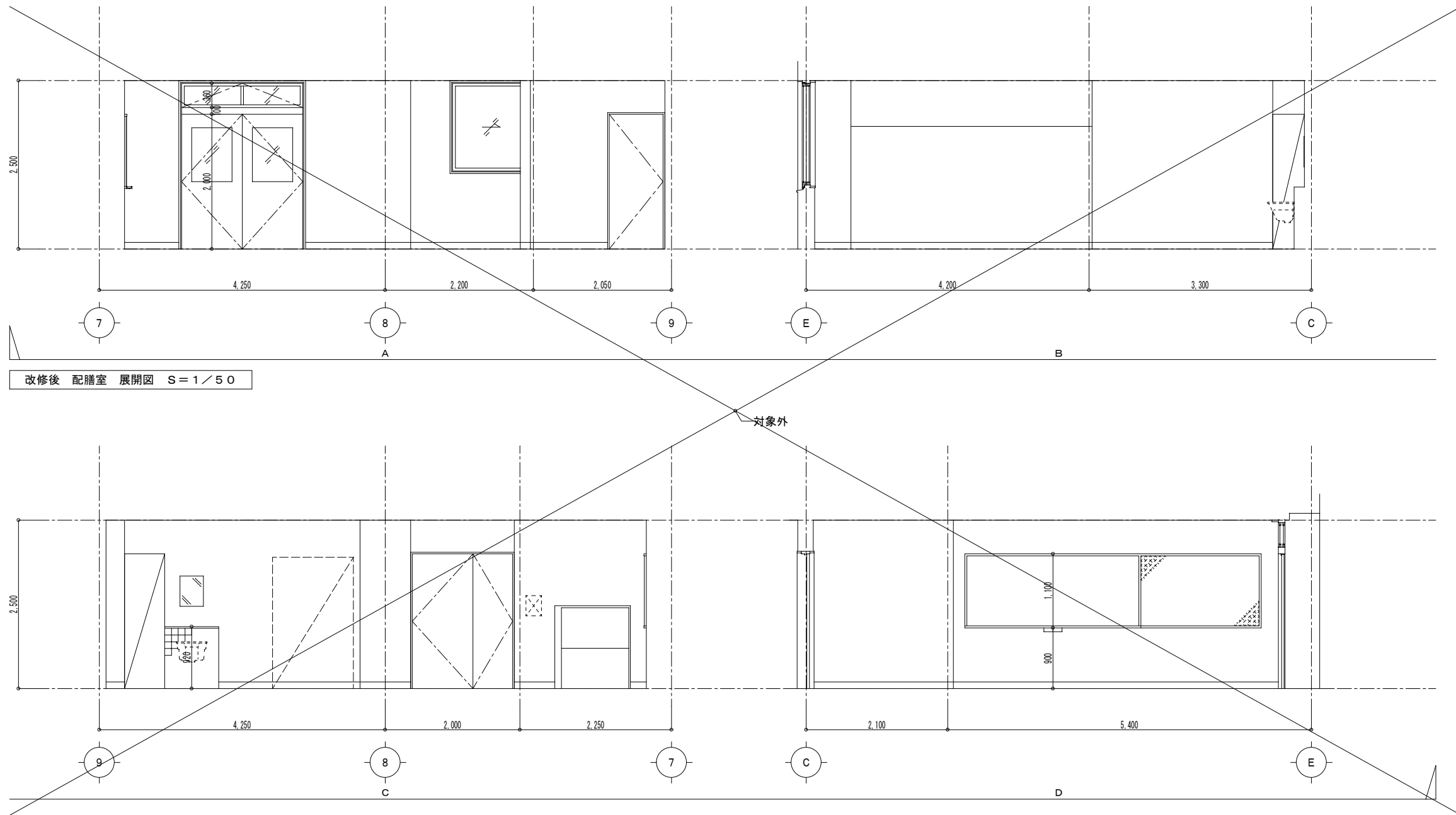
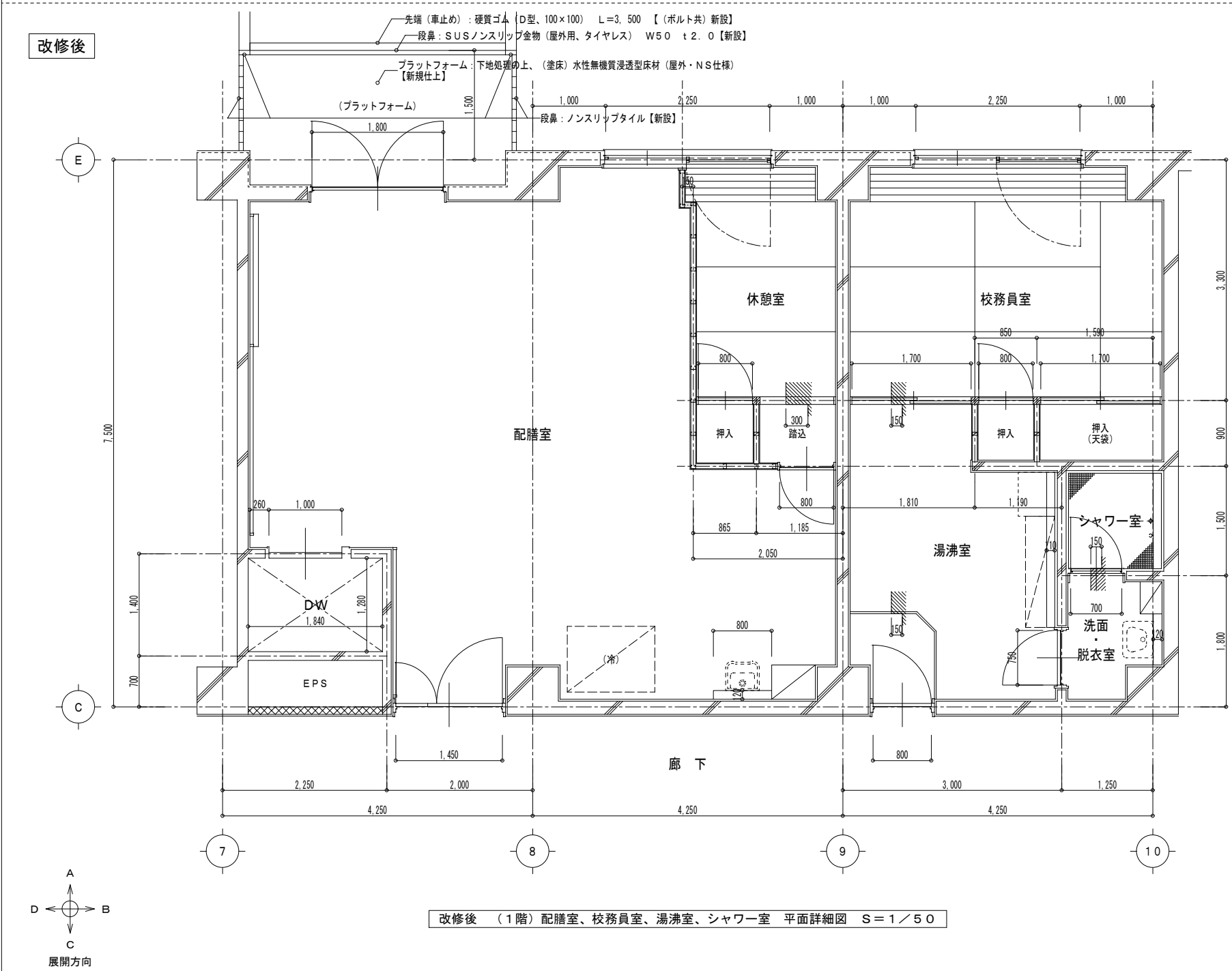
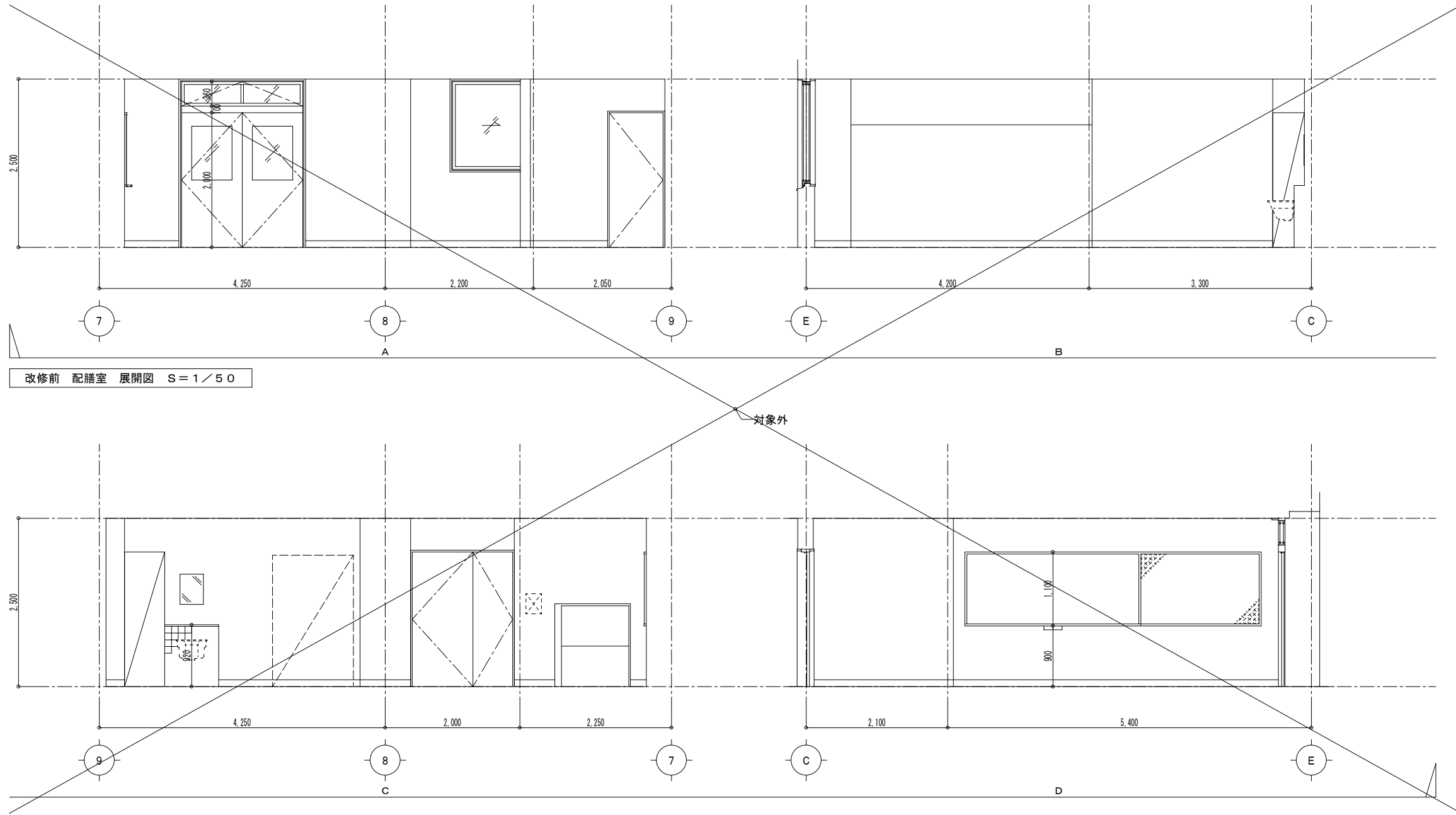
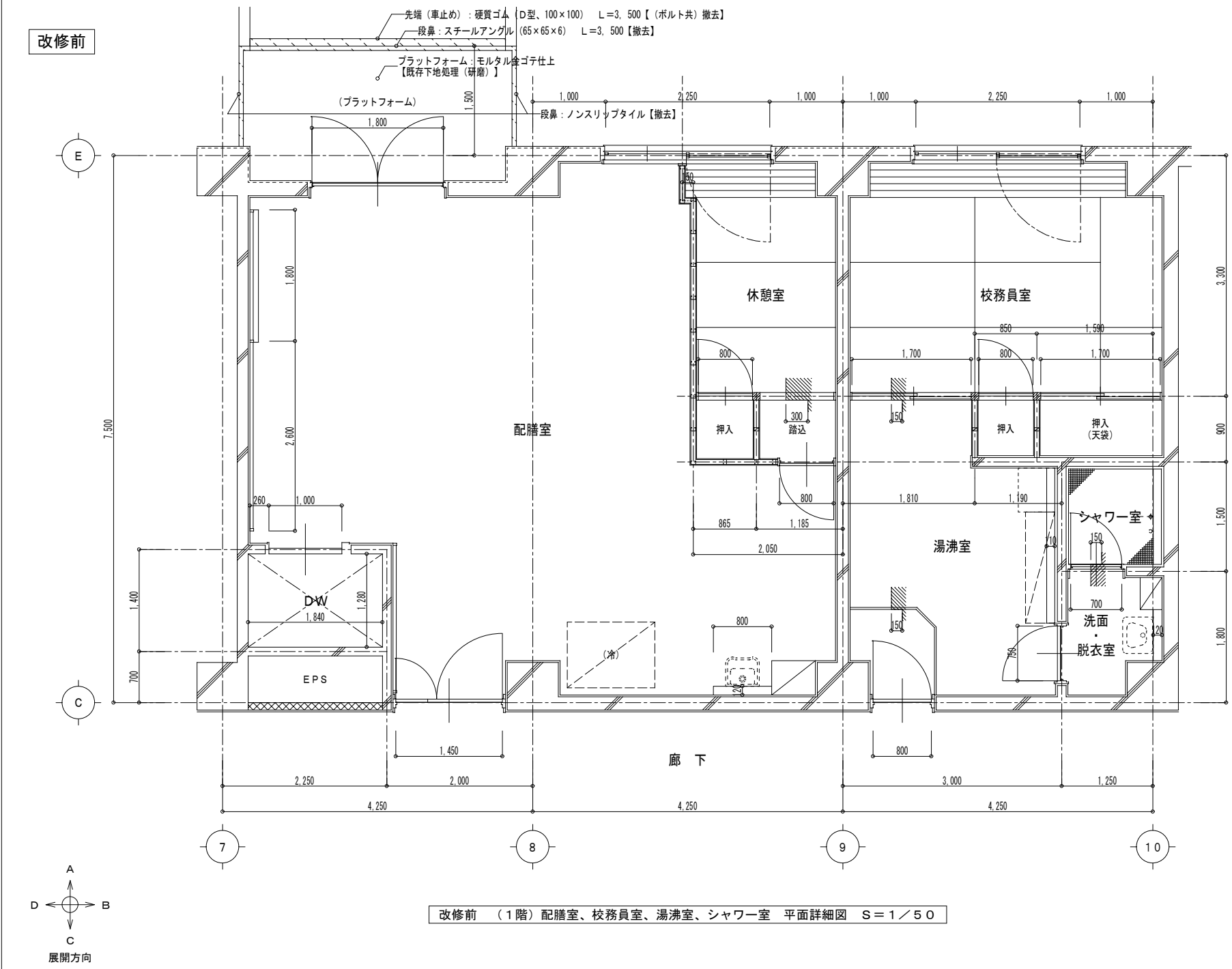


改修後 職員玄関 展開図 S=1/50



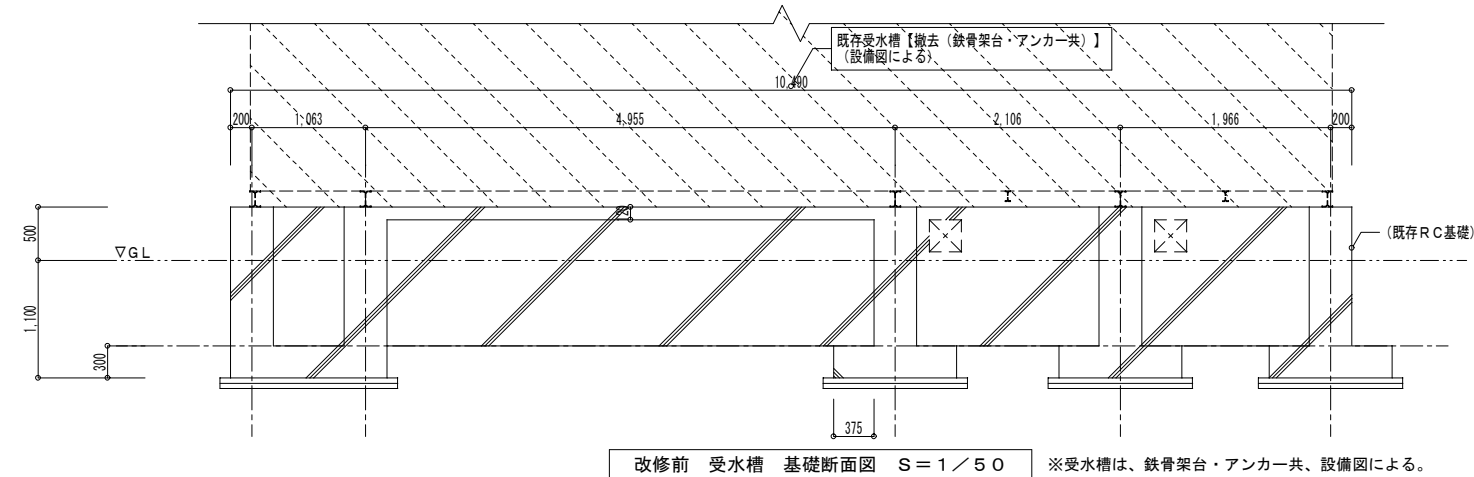
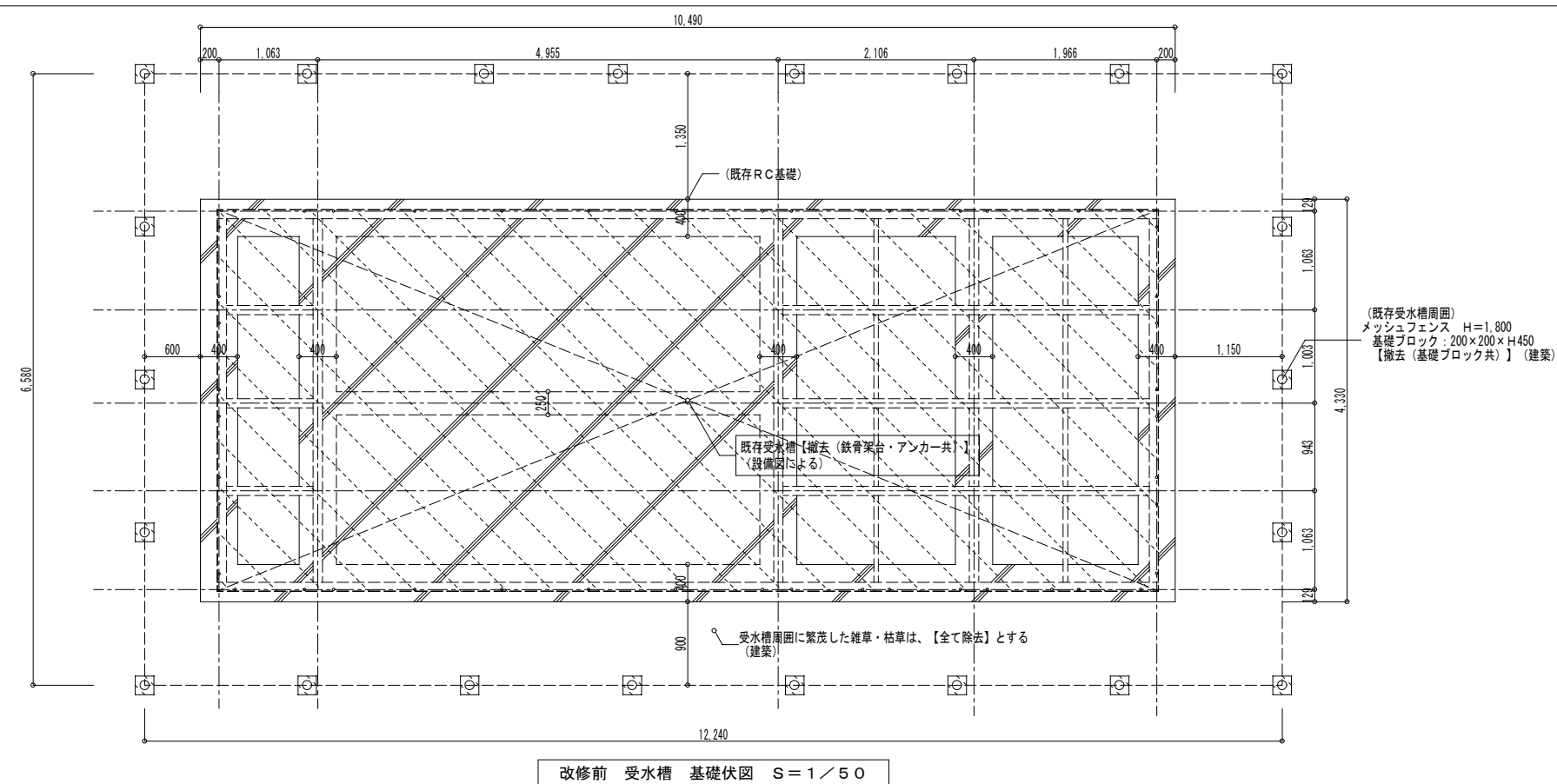
(A側は、廊下展開図による)

床タイルは、内部玄関とも張替とする。



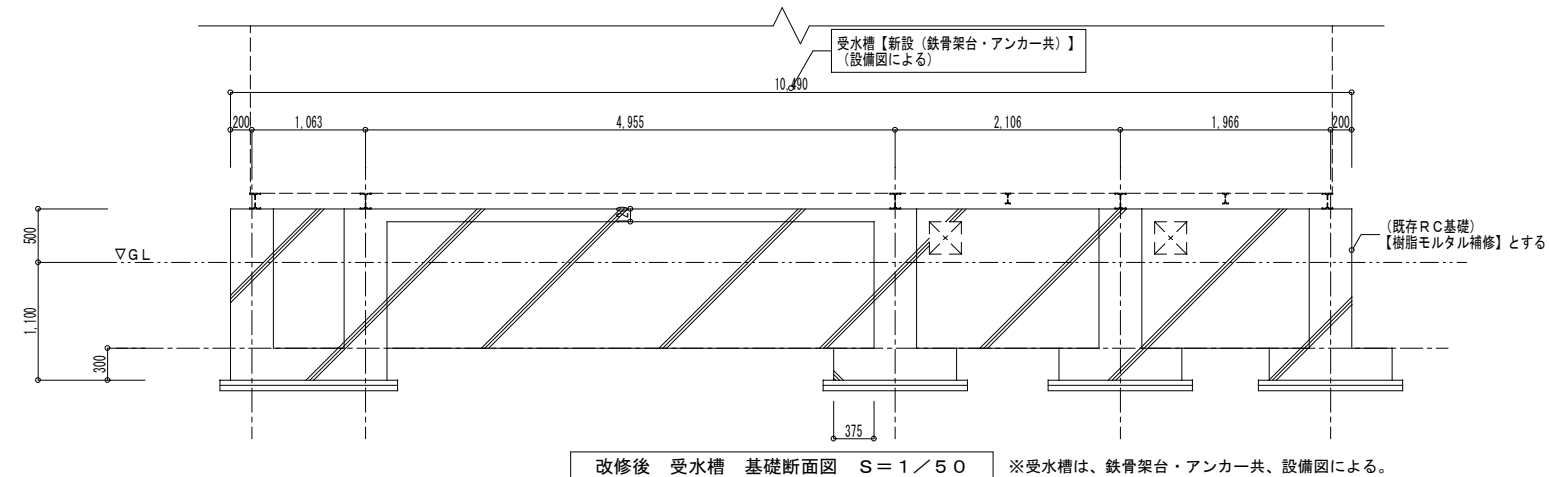
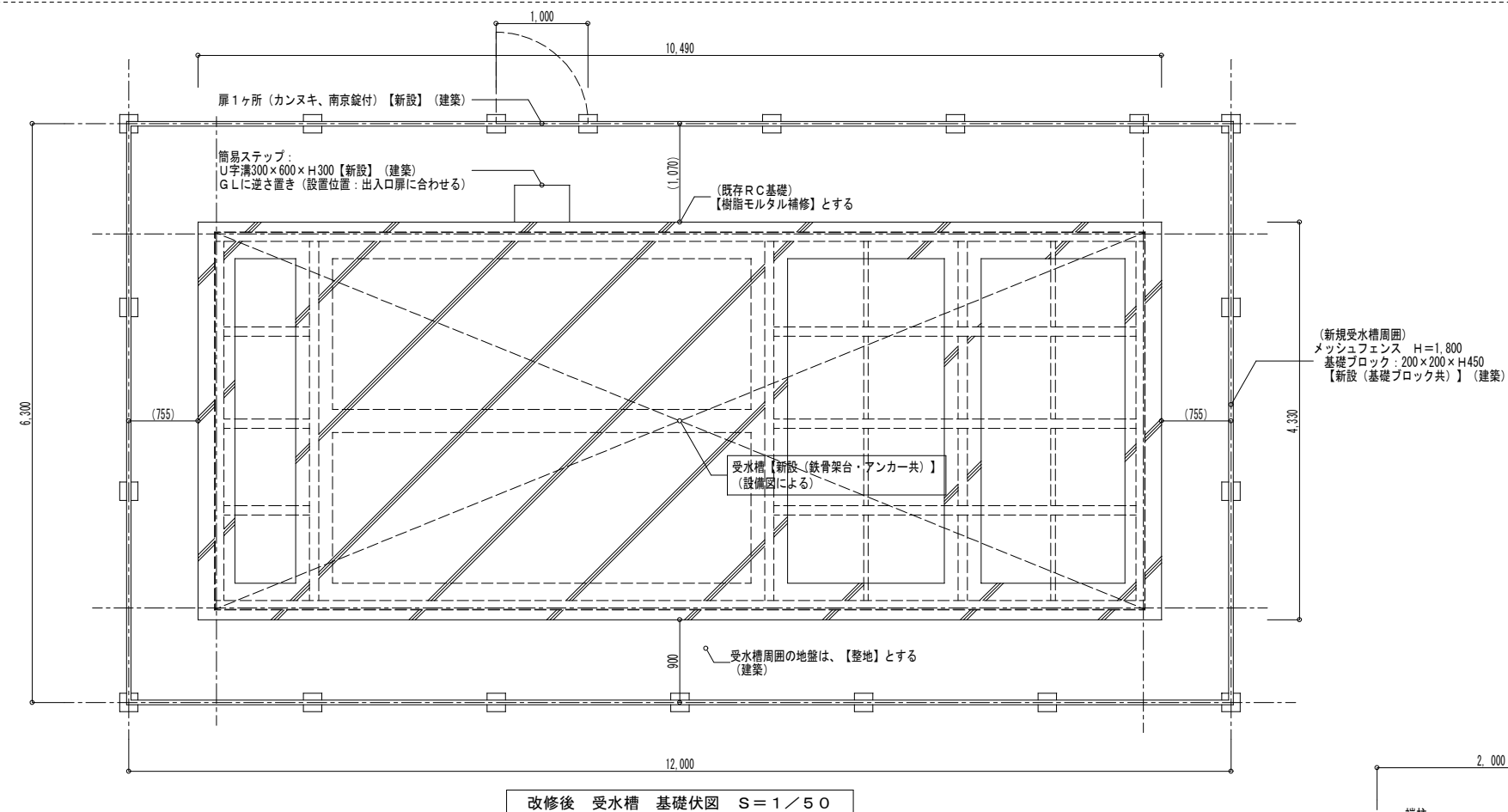
外部プラットフォームを本工事とする。

改修前

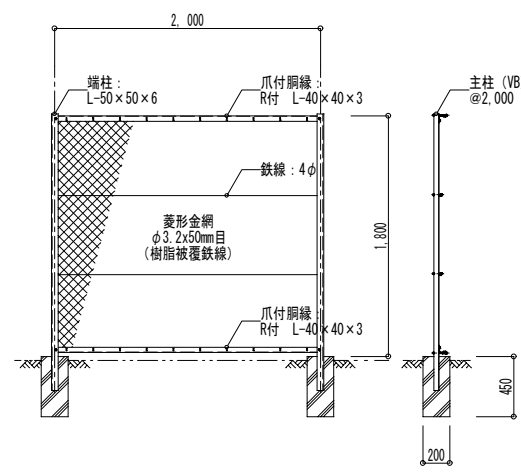


凡例： は、設備図による。
 は、【撤去】範囲を示す。

改修後

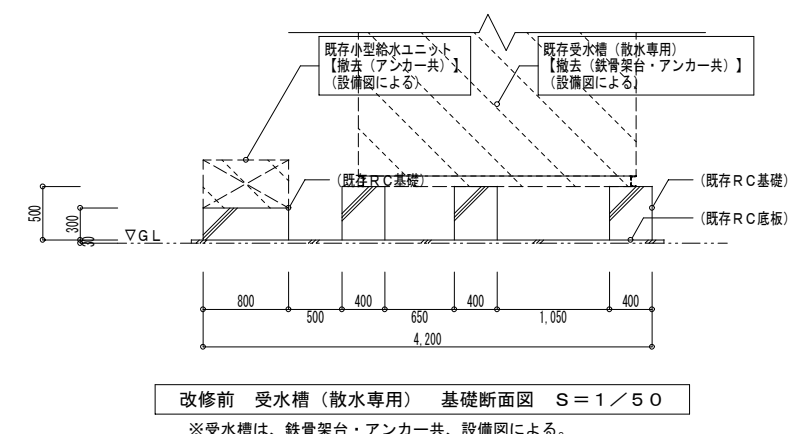
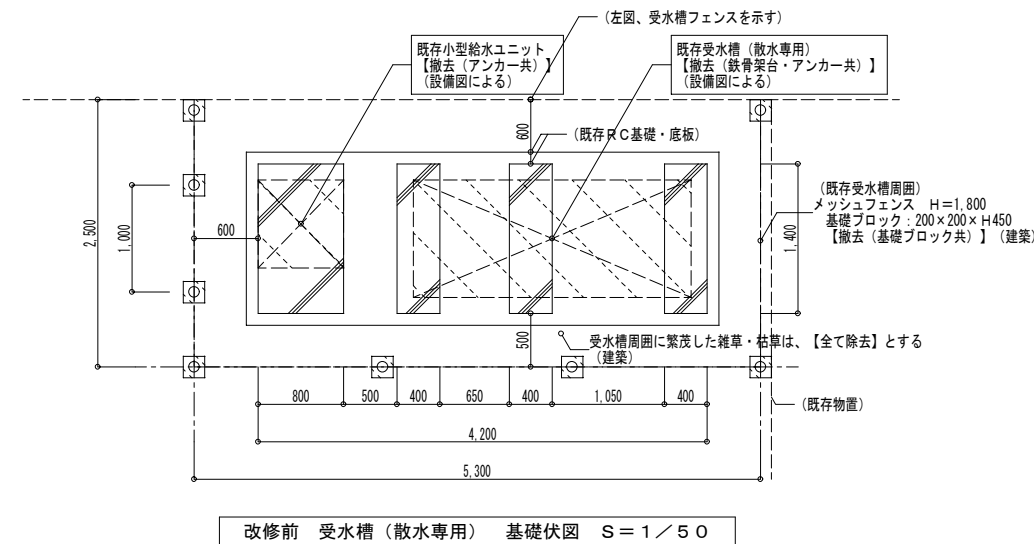


(新規受水槽周囲)
メッシュフェンス H=1,800
基礎ブロック: 200×200×H450
【新設(基礎ブロック共)】(建築)



凡例： は、設備図による。

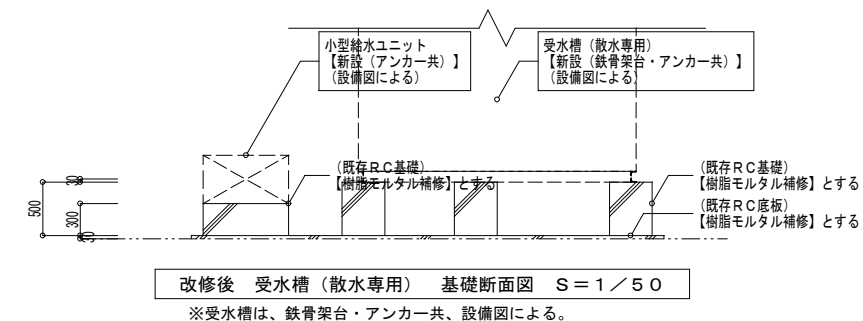
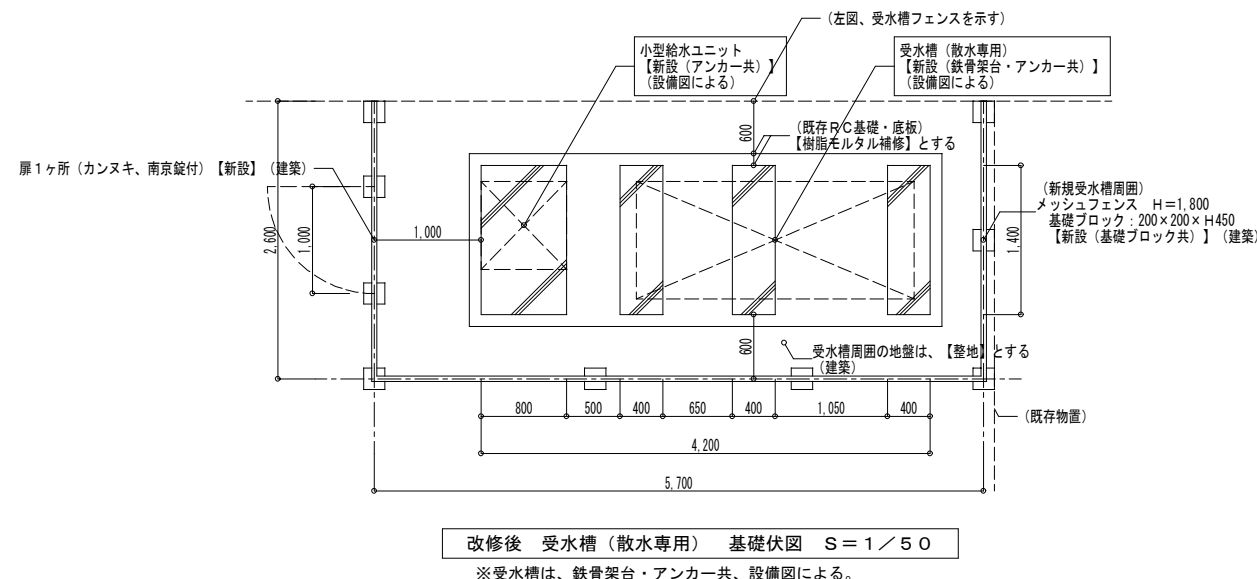
改修前



凡例： は、設備図による。

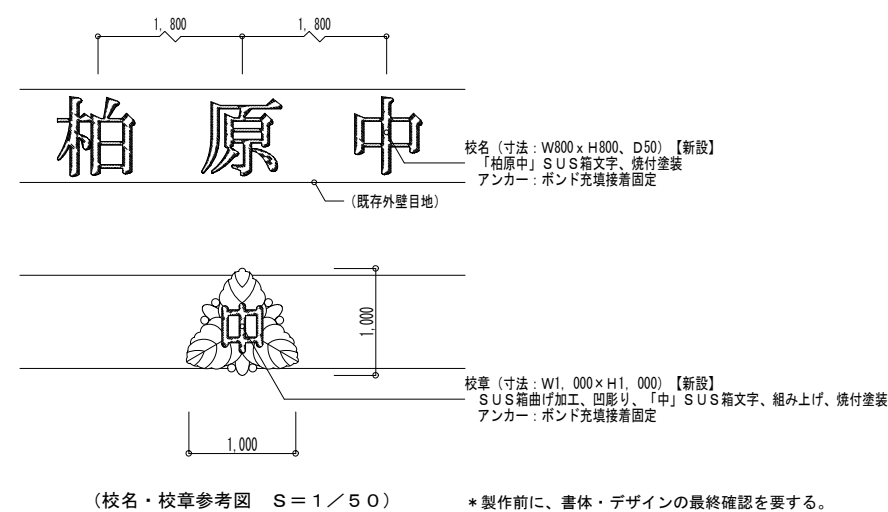
 は、【撤去】範囲を示す。

改修後



凡例： は、設備図による。

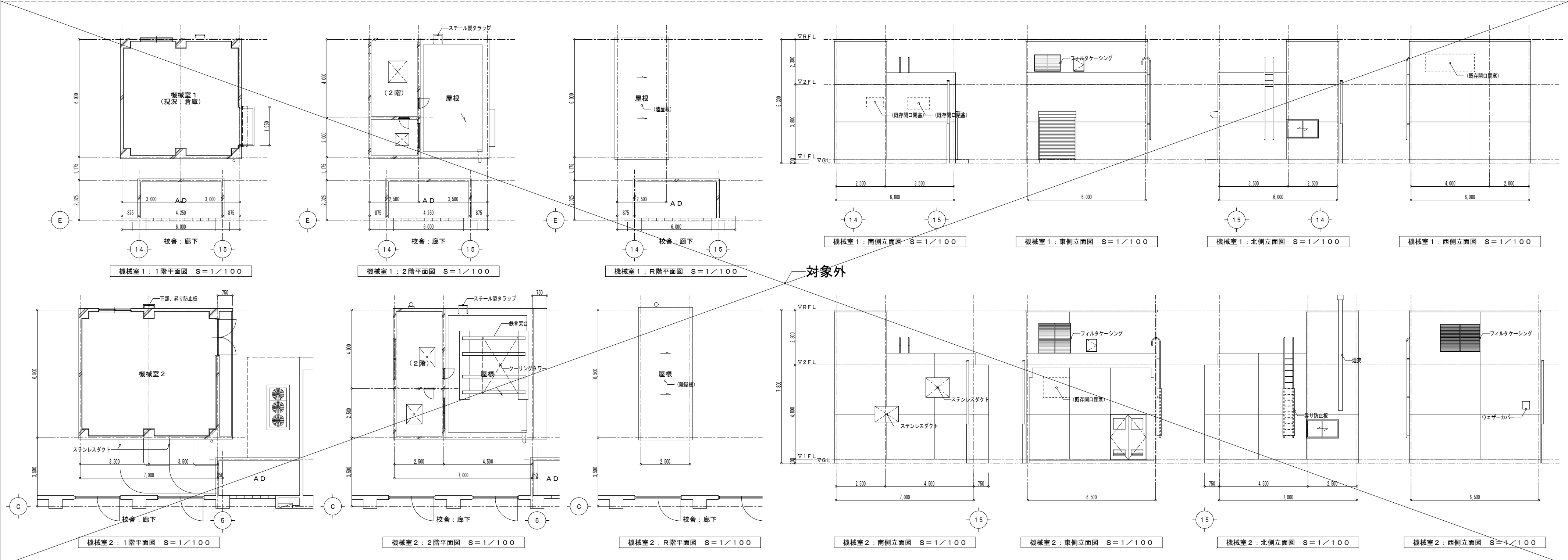
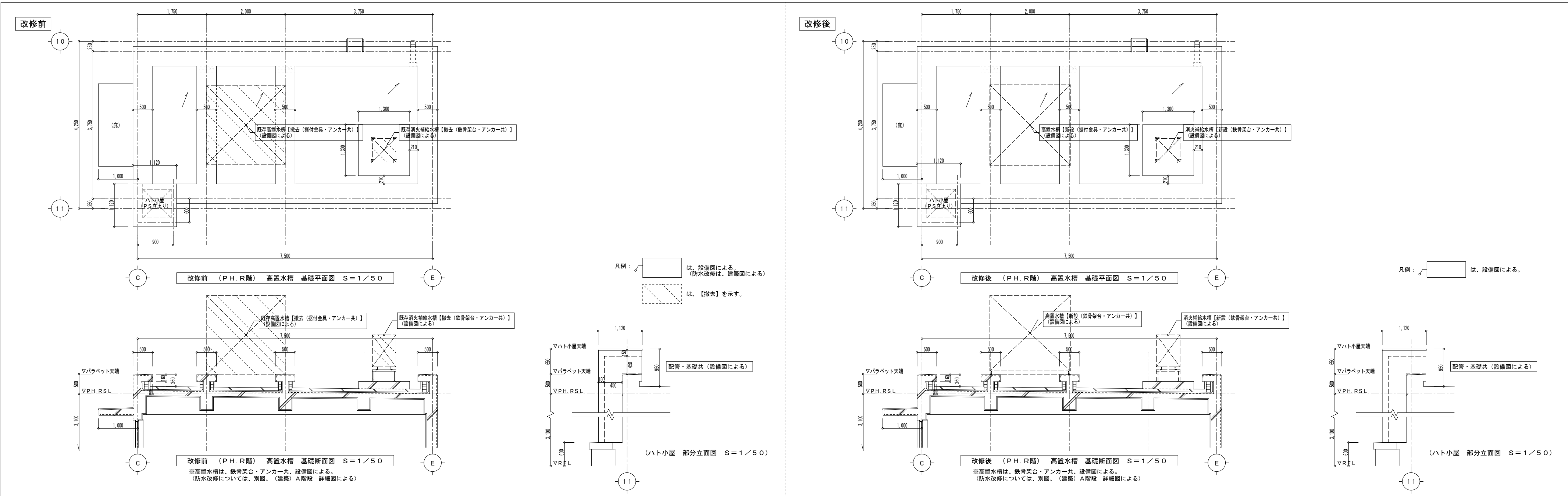
改修後



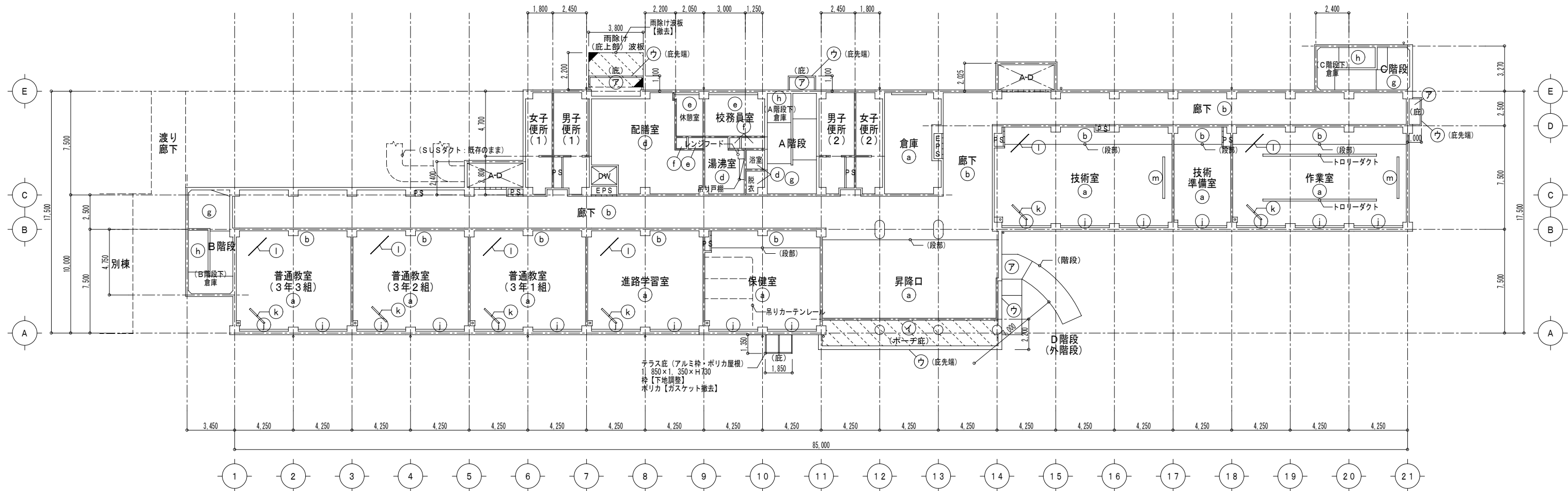
* 製作前に、書体・デザインの最終確認を要する。

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承	証	設	計	招	當			縮 尺	A1: 1/50, 40 A3: 1/100, 30	工程名稱	狹山市立柏原中学校校舍外壁等改修工事
								設計年月日	2024.1.31	圖面名稱	改修前・後 部分詳細圖 1 (受水槽他)



改修前



改修前 1階天井伏図 S=1/200

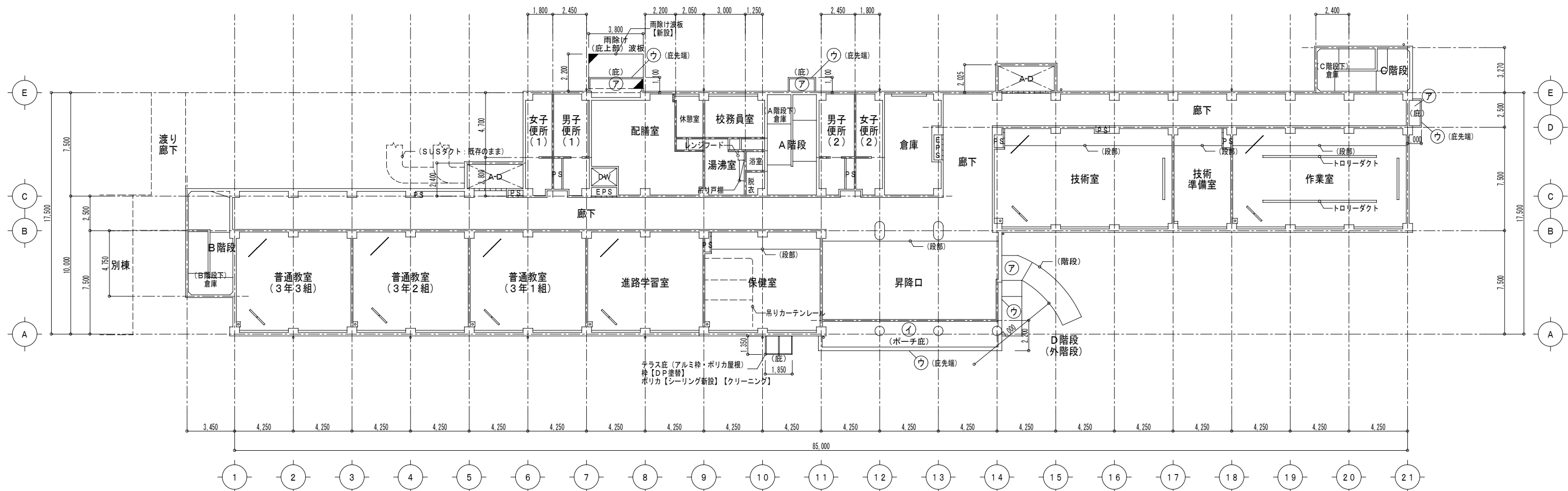
工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

記号	改修前 天井仕上表
a	LGS下地、穿孔石膏ボード（一部、平ボーター） t19.0-E P塗（段部：重直部分共）
b	LGS下地、石膏ボード t19.0±岩綿吸音板 t19.0
c	LGS下地、石膏ボード t19.0±岩綿吸音板 t12.0
d	LGS下地、フレキシブルボード t6.0-目透し強VP塗（アスベスト含有）
e	LGS下地、化粧石膏ボード t12.0（杉紐子サント）
f	LGS下地、合板 t3.0
g	コンクリート打放し 着色珪石吹付
h	コンクリート打放し補修
i	
j	木製カーテンBOX：150×120 SOP塗 カーテンレール（W）
k	吊下げロールスクリーン：L≧L500（GHP用）
l	吊下げ地図掛けパイプ：SUS製 L≧1,000
m	木製スクリーンBOX：150×150 L≧2,000 SOP塗
共通	（工事箇所のみ） 廻縁（塩ビ製）は、天井と共に【撤去】とする。
7	上蓋：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 （吹付材：アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】
イ	LGS下地、フレキシブルボード t6.0 目透し強 VP塗（アスベスト含有） 【下地共撤去】
ウ	外壁：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 （吹付材アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】

凡例：  は、【撤去】範囲を示す。

改修後



改修後 1階天井伏図 S=1/200

工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

記号	改修後 天井仕上表
a	
b	
c	
d	
e	
f	
g	
h	
i	
j	
k	
l	
m	
共通	（工事箇所のみ） 廻縁（塩ビ製） 【新設】
7	上蓋：躯体補修・下地処理の上、軒天専用仕上塗材（水性アクリルシリコン樹脂系（つや無し）） 【新規仕上】
イ	LGS下地、（カラー）フレキシブルボード t6.0 目透し強（Wコート・仕上塗装） 【下地共新設】
ウ	外壁：躯体補修・下地処理の上、防水型複層塗材E（超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料） 【新規仕上】

工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽・高置水槽等（設備図による）

（有）桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区鶴引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第334002号 桑子 亮

承認 設計 担当

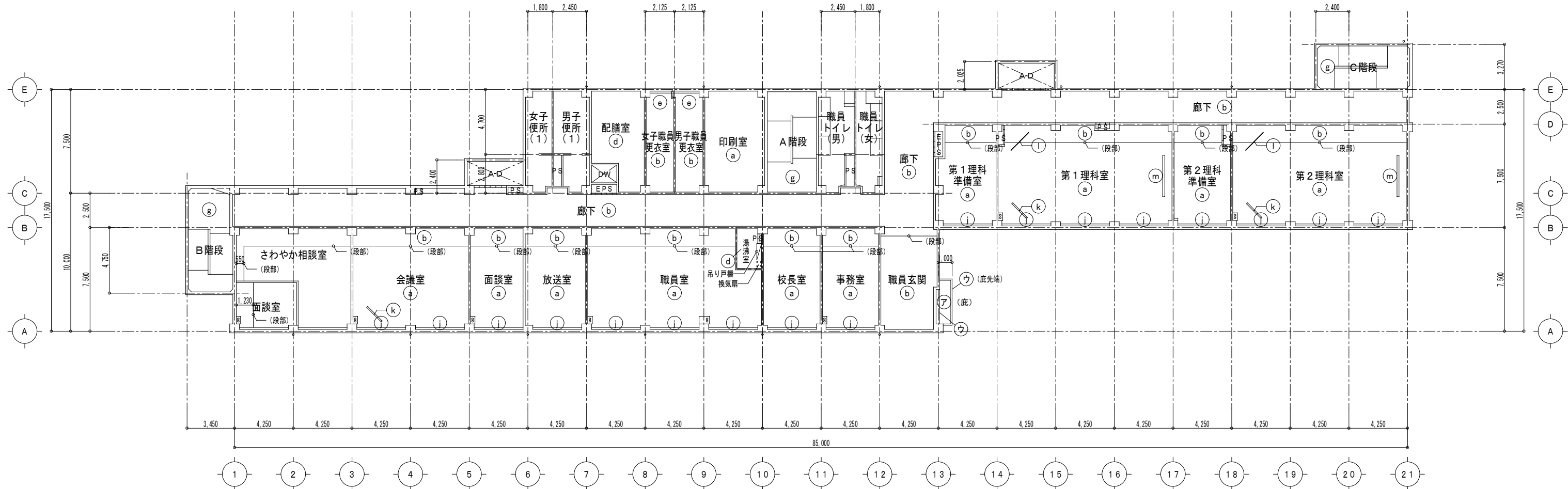
縮尺 A1：1/200
A2：1/400
設計年月日 2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事

図面名称 改修前・後 1階天井伏図

No. A-28

改修前



改修前 2階天井伏図 S=1/200

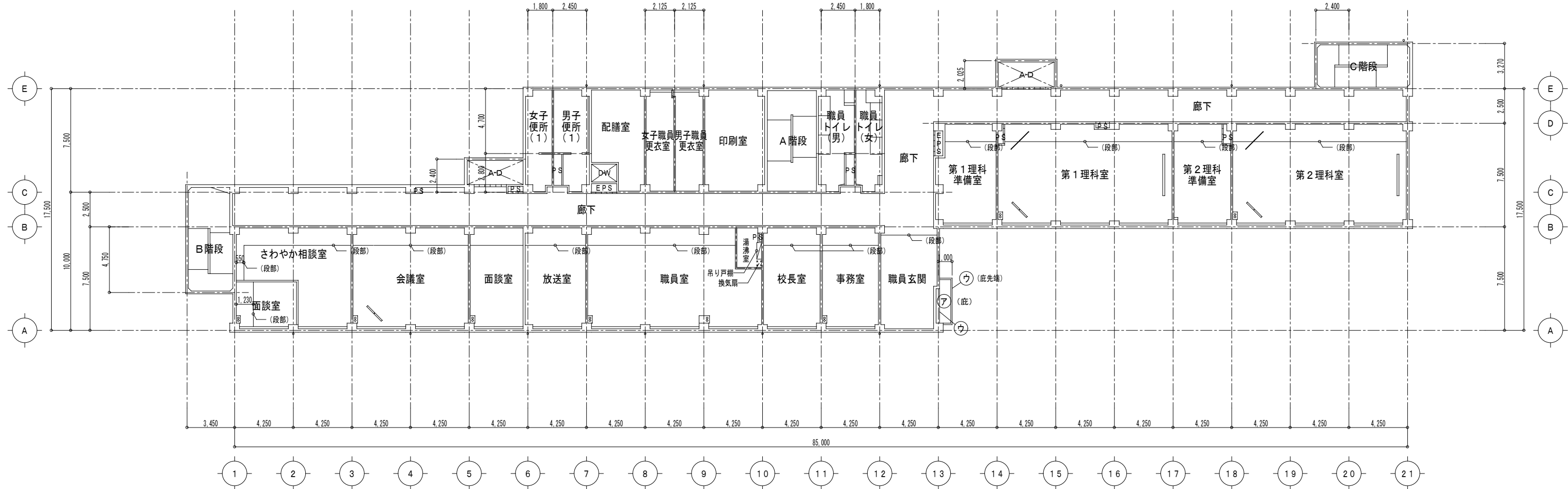
工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

記号	改修前 天井仕上表
a	LGS下地、穿孔石膏ボード（一部、平ボード） t9.0-E.P.塗（段部：重直部分共）
b	LGS下地、石膏ボード t9.0±岩綿吸音板 t9.0
c	LGS下地、石膏ボード t9.0±岩綿吸音板 t12.0
d	LGS下地、フレキシブルボード t6.0 目隠し強 V.P.塗（アスベスト含有）
e	LGS下地、化粧石膏ボード t12.0（杉趾子サント）
f	LGS下地、合板 t3.0
g	コンクリート打放し 着色珪石吹付
h	コンクリート打放し補修
i	
j	木製カーテンBOX：150×120 SOP塗 カーテンレール（W）
k	吊下げロールスクリーン：L≒L 500（GHP用）
l	吊下げ地図掛けパイプ：SUS製 L≒1,000
m	木製スクリーンBOX：150×150 L≒2,000 SOP塗
共通	（工事箇所のみ） 廻縁（塩ビ製）は、天井と共に【撤去】とする。
7	上蓋：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 （吹付材：アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】
イ	LGS下地、フレキシブルボード t6.0 目隠し強 V.P.塗（アスベスト含有） 【下地共撤去】
7	外壁：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 （吹付材アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】

凡例：は、【撤去】範囲を示す。

改修後



改修後 2階天井伏図 S=1/200

工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

記号	改修後 天井仕上表
a	
b	
c	
d	
e	
f	
g	
h	
i	
j	
k	
l	
m	
共通	（工事箇所のみ） 廻縁（塩ビ製） 【新設】
7	上蓋：躯体補修・下地処理の上、軒天専用仕上塗材（水性アクリルシリコン樹脂系（つや無し）） 【新規仕上】
イ	LGS下地、（カラー）フレキシブルボード t6.0 目隠し強（UVコート・仕上塗装） 【下地共新設】
7	外壁：躯体補修・下地処理の上、防水型複層塗材 E（超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料） 【新規仕上】

工事範囲

・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽・高置水槽等（設備図による）

（有）桑子建築設計事務所

さいたま市大宮区御引町1-330-4

TEL 048-783-5566

一級建築士登録第334002号 桑子 亮

承認 設計 担当

縮尺 A1：1/200

A2：1/400

設計年月日

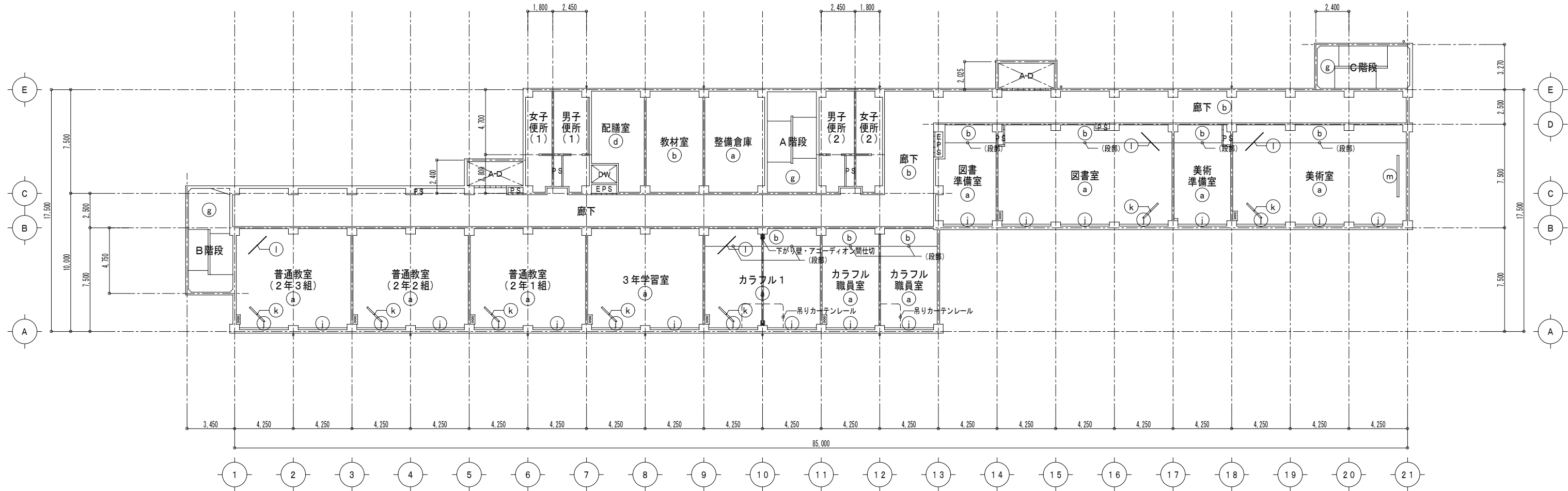
2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事

図面名称 改修前・後 2階天井伏図

No. A-29

改修前



(参考)

改修前 3階天井伏図 S=1/200

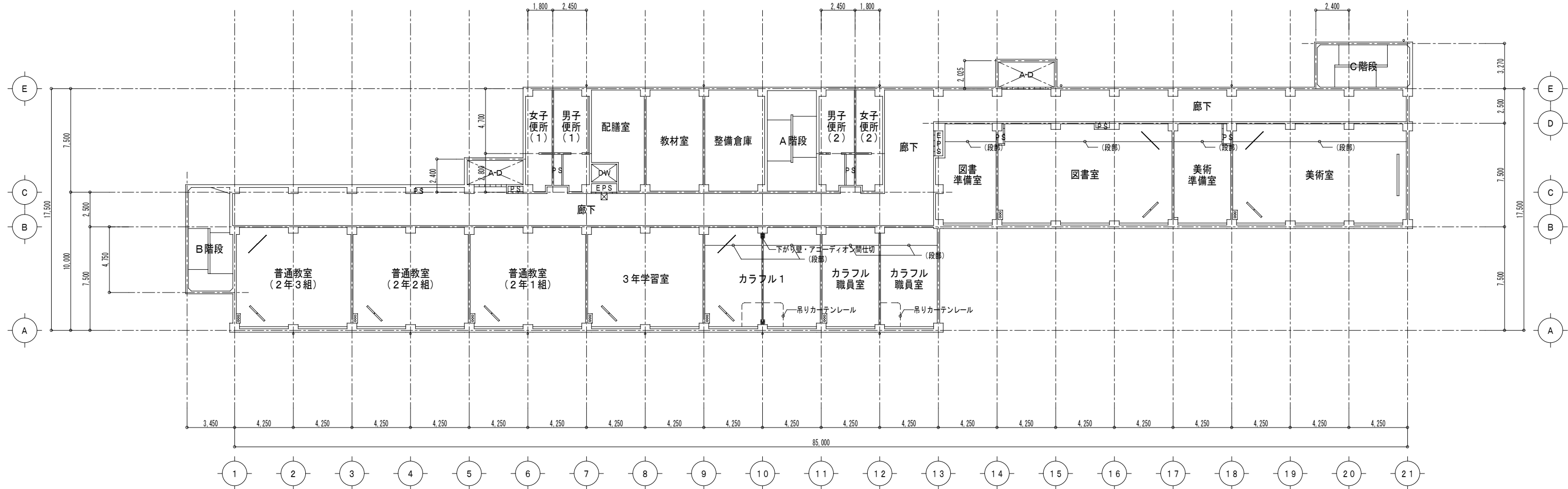
工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

記号	改修前 天井仕上表
a	LGS下地、穿孔石膏ボード（一部、平ボ―ダー） t9.0-E P塗 （段部：垂直部分共）
b	LGS下地、石膏ボード t9.0±岩綿吸音板 t9.0
c	LGS下地、石膏ボード t9.0±岩綿吸音板 t12.0
d	LGS下地、フレキシブルボード t6.0-目隠し強-V P塗（アスベスト含有）
e	LGS下地、化粧石膏ボード t12.0（杉紐サリット）
f	LGS下地、合板 t3.0
g	コンクリート打放し 着色珪石吹付
h	コンクリート打放し補修
i	
j	木製カーテンBOX：150×120 SOP塗 カーテンレール（W）
k	吊下げロールスクリーン：L≧L 500（GHP用）
l	吊下げ地図掛けパイプ：SUS製 L≧1-800
m	木製スクリーンBOX：150×150 L≧2-800 SOP塗
共通	（工事箇所のみ） 珪縁（塩ビ製）は、天井と共に【撤去】とする。
7	上蓋：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 （吹付材：アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】
イ	LGS下地、フレキシブルボード t6.0 目隠し強 V P塗（アスベスト含有） 【下地共撤去】
7	外壁：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 （吹付材アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】

凡例： は、【撤去】範囲を示す。

改修後



(参考)

改修後 3階天井伏図 S=1/200

工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

記号	改修後 天井仕上表
a	
b	
c	
d	
e	
f	
g	
h	
i	
j	
k	
l	
m	
共通	（工事箇所のみ） 珪縁（塩ビ製） 【新設】
7	上蓋：躯体補修・下地処理の上、軒天専用仕上塗材（水性アクリルシリコン樹脂系（つや無し）） 【新規仕上】
イ	LGS下地、（カラー）フレキシブルボード t6.0 目隠し強（Wコート・仕上塗装） 【下地共新設】
7	外壁：躯体補修・下地処理の上、防水型複層塗材 E（超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料） 【新規仕上】

工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽・高置水槽等（設備図による）

(有) 桑子 建築設計事務所
さいたま市大宮区鶴引町 1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第334002号 桑子 亮

承認 設計 担当

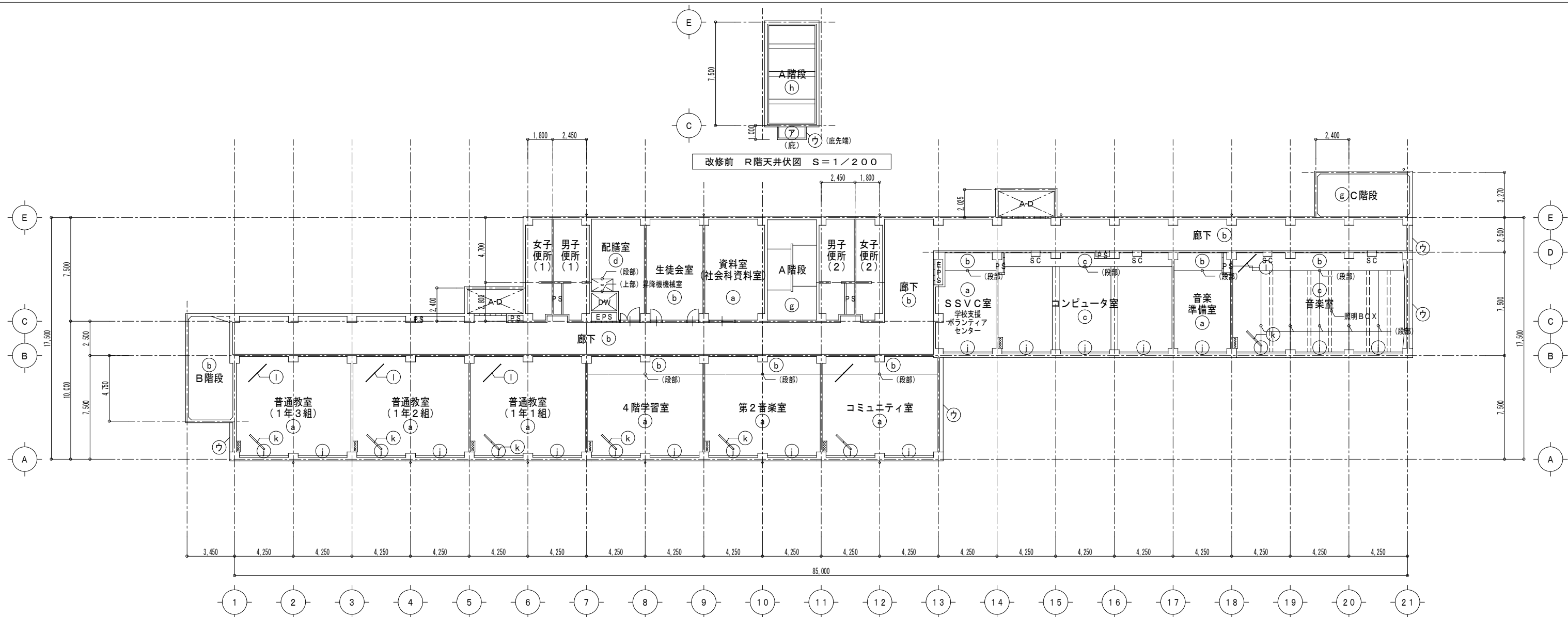
縮尺 A1:1/200
A2:1/400
設計年月日
2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事

図面名称 改修前・後 3階天井伏図 (参考)

No. A-30

改修前



改修前 4階天井伏図 S=1/200

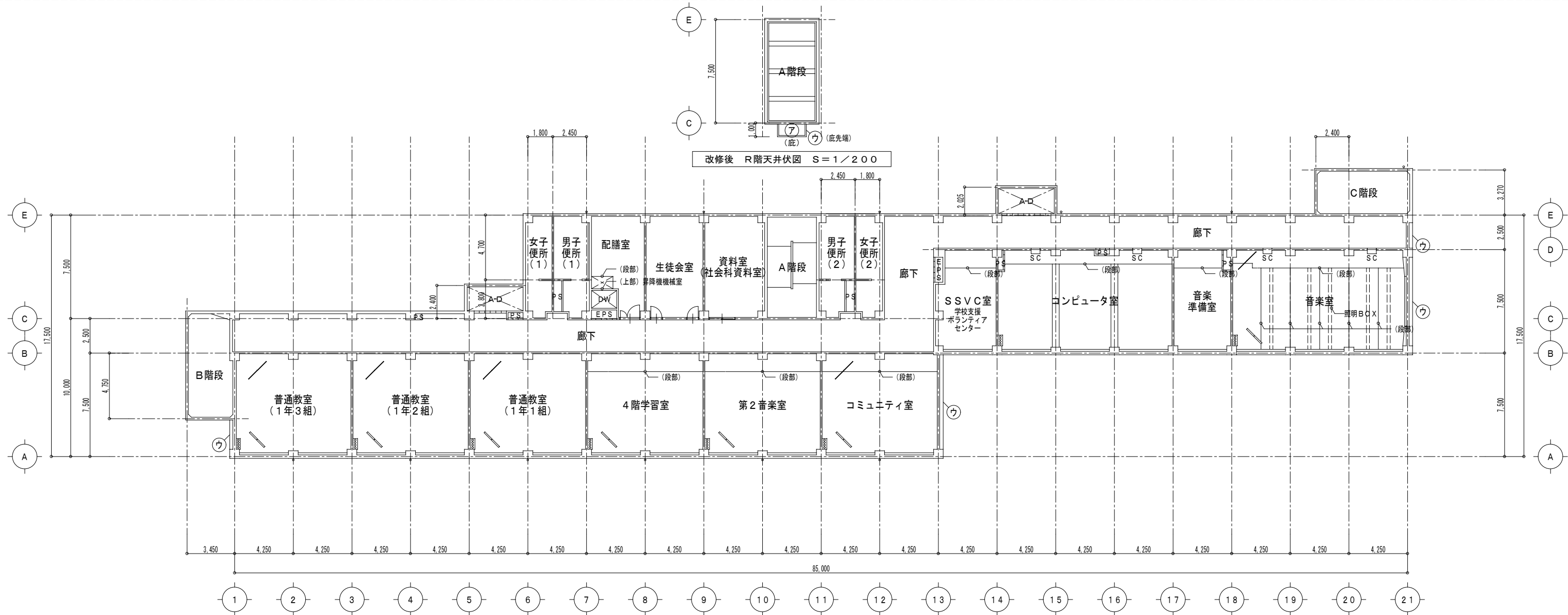
工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

記号	改修前 天井仕上表
a	LGS下地、穿孔石膏ボード（一部、平ボーター） t9.0-E.P.塗 （段部：重直部分共）
b	LGS下地、石膏ボード t9.0±岩綿吸音板 t9.0
c	LGS下地、石膏ボード t9.0±岩綿吸音板 t12.0
d	LGS下地、フレキシブルボード t6.0-目隠し強VP塗（アスベスト含有）
e	LGS下地、化粧石膏ボード t12.0（杉板子サント）
f	LGS下地、合板 t3.0
g	コンクリート打放し 着色凝石吹付
h	コンクリート打放し補修
i	
j	木製カーテンBOX：150×120 SOP塗 カーテンレール（W）
k	吊下げロールスクリーン：L≒L 500（OPP用）
l	吊下げ地図掛けパイプ：SUS製 L≒1,000
m	木製スクリーンBOX：150×150 L≒3,000 SOP塗
共通	（工事箇所のみ） 廻縁（塩ビ製）は、天井と共に【撤去】とする。
7	上蓋：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 （吹付材：アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】
イ	LGS下地、フレキシブルボード t6.0 目隠し強 VP塗（アスベスト含有） 【下地共撤去】
7	外壁：コンクリート打放し、アクリルリシン吹付 （吹付材アスベスト含有）【既存躯体補修・下地処理】

凡例：は、【撤去】範囲を示す。

改修後



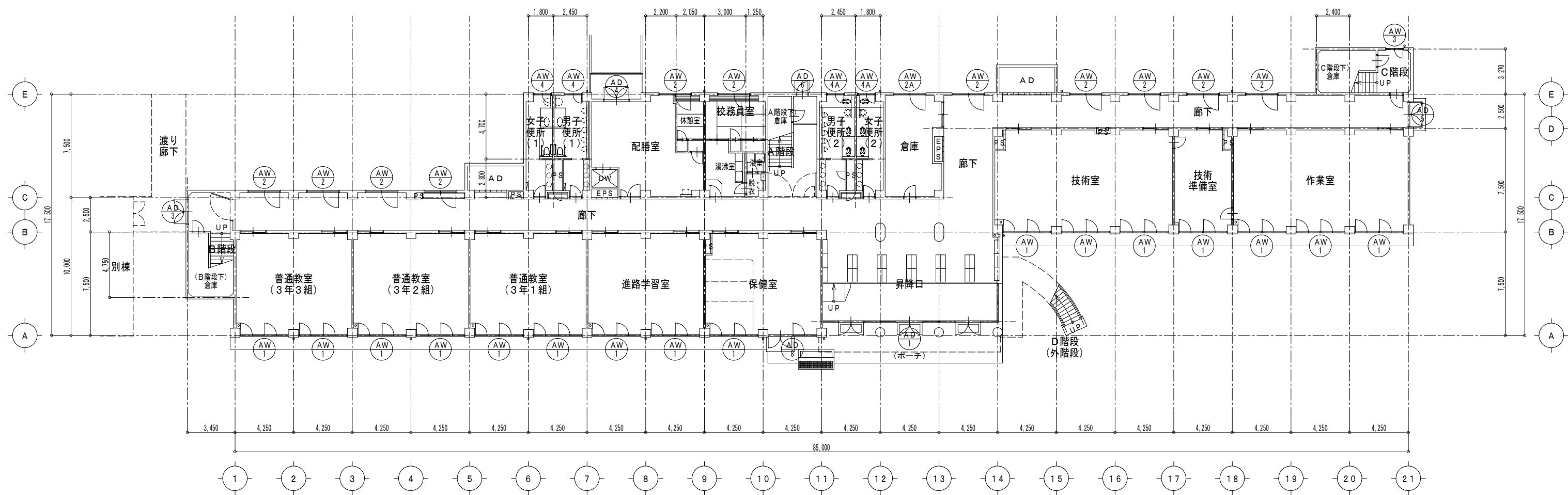
改修後 4階天井伏図 S=1/200

工事範囲

外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

記号	改修後 天井仕上表
a	
b	
c	
d	
e	
f	
g	
h	
i	
j	
k	
l	
m	
共通	（工事箇所のみ） 廻縁（塩ビ製） 【新設】
7	上蓋：躯体補修・下地処理の上、軒天専用仕上塗材（水性アクリルシリコン樹脂系（つや無し）） 【新規仕上】
イ	LGS下地、（カラー）フレキシブルボード t6.0 目隠し強（Wコート・仕上塗装） 【下地共新設】
7	外壁：躯体補修・下地処理の上、防水型複層塗材E（超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料） 【新規仕上】

工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽・高置水槽等（設備図による）

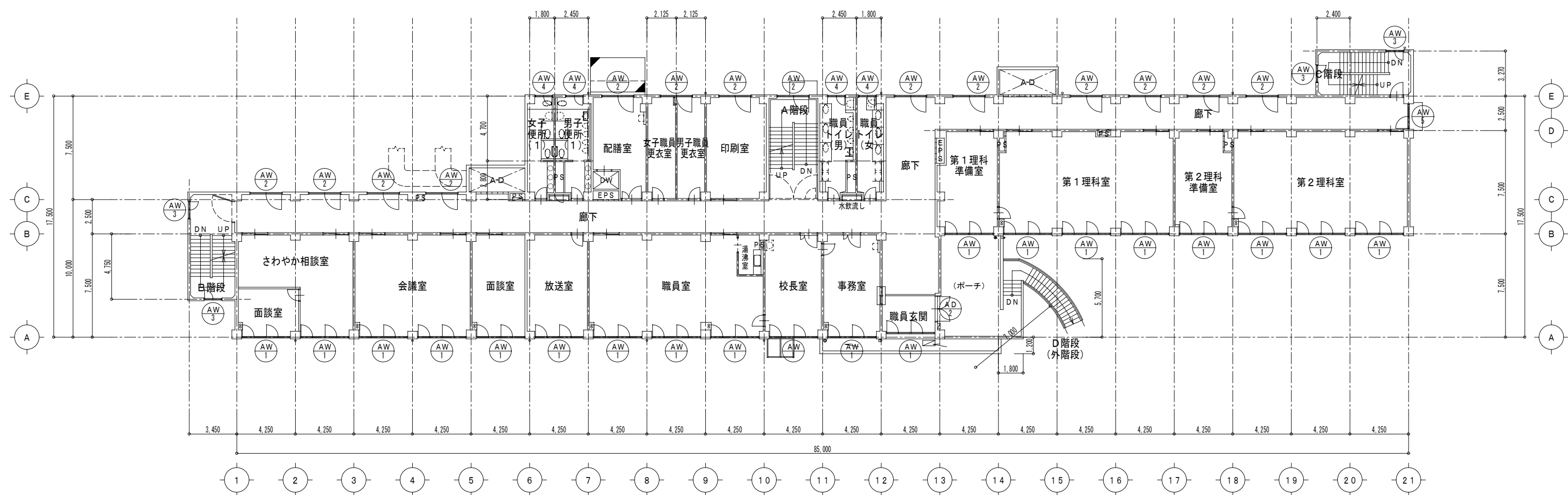


1階建具表キープラン S=1/200

工事範囲
外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽、高置水槽等（設備図による）

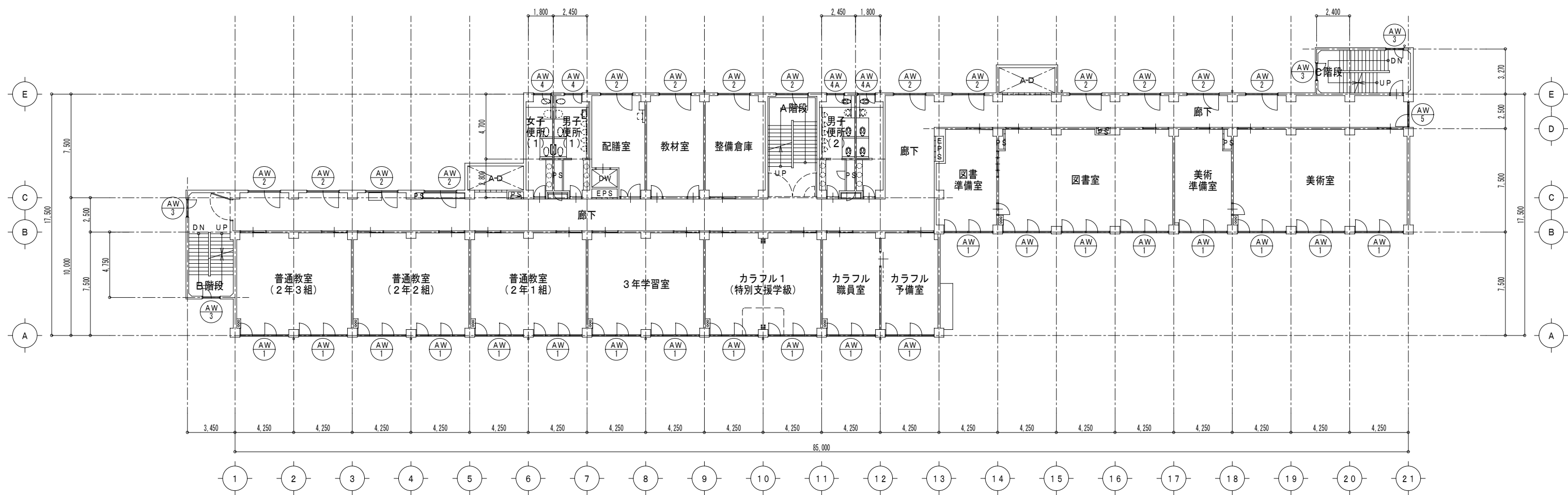
- は、既存改修（改修前・後）建具を示す。
- は、撤去（改修前）建具を示す。
- は、新設建具を示す。



2階建具表キープラン S=1/200

工事範囲
外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

- 工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽、高置水槽等（設備図による）
- は、既存改修（改修前・後）建具を示す。
○ は、撤去（改修前）建具を示す。
○ は、新設建具を示す。



3階建具表キープラン S=1/200

工事範囲
外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽、高置水槽等（設備図による）

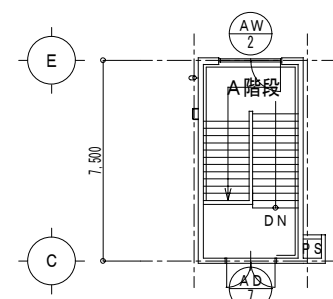
- は、既存改修（改修前・後）建具を示す。
- は、撤去（改修前）建具を示す。
- は、新設建具を示す。

（有）桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榎引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第334002号 桑子 亮

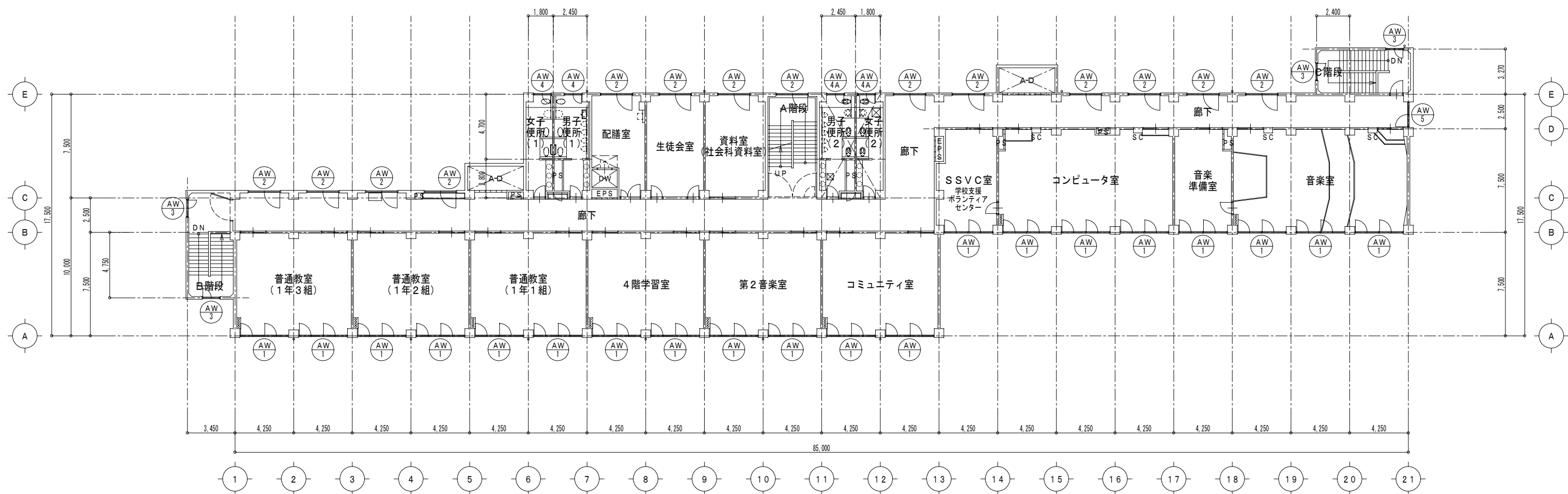
承認 設計 担当

縮尺 A1:1/200
A2:1/400
設計年月日 2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 3階建具表キープラン



R階建具表キープラン S=1/200



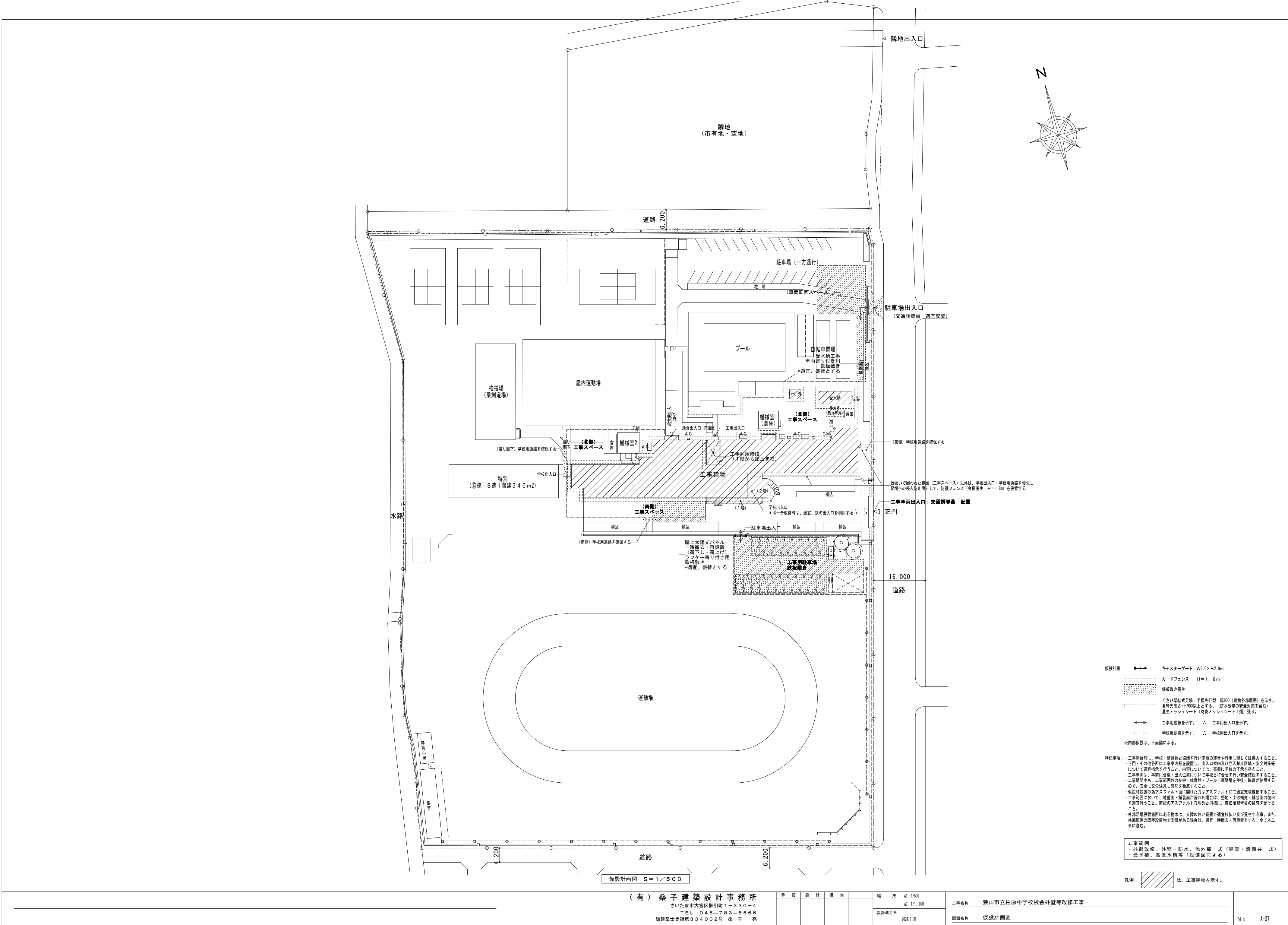
4階建具表キープラン S=1/200

工事範囲
外部改修：外壁・防水・他外部改修一式

工事範囲
・外部改修：外壁・防水・他外部一式（建築・設備共一式）
・受水槽、高置水槽等（設備図による）

- は、既存改修（改修前・後）建具を示す。
- は、撤去（改修前）建具を示す。
- は、新設建具を示す。

改修前・後 建具表 S＝1／100		凡例： は、既存改修（改修前・後）建具を示す。 は、撤去（改修前）建具を示す。 は、新設建具を示す。 は、【撤去】箇所を示す。		注）外部アルミ製サッシは、【全面クリーニング】（アルミ面の汚れ落とし、適宜、薬剤による点触落とし）																	
記号・型式	AD1	アルミ製両開き戸・袖・欄間窓（袖・欄間窓 2重窓：（外）FIX・（内）片開き・撥ね上げ） 防雨省・一般防音仕様	AD2	アルミ製両開きフラッシュ戸・欄間窓（欄間窓 2重窓：（外）FIX・（内）撥ね上げ） 防雨省・一般防音仕様	AD3	アルミ製両開きフラッシュ戸 防雨省・一般防音仕様	AD4	アルミ製両開きフラッシュ戸・欄間窓（欄間窓 2重窓：（外）FIX・（内）撥ね上げ） 防雨省・一般防音仕様	AD5	アルミ製両開きフラッシュ戸・欄間窓（欄間窓 2重窓：（外）FIX・（内）撥ね上げ） 防雨省・一般防音仕様	AD6	アルミ製片開きフラッシュ戸 防雨省・一般防音仕様	AD7	アルミ製両開きフラッシュ戸 防雨省・一般防音仕様							
姿 図																					
場所・数量	1階 昇降口	1 箇所	2階 職員玄関	1 箇所	1階 B階段	1 箇所	1階 配膳室	1 箇所	1階 廊下	1 箇所	1階 A階段	1 箇所	R階 A階段	1 箇所							
仕上・見込	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm							
ガラス	既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス								
金 物	SUS丁番、レバーハンドル・サムターン付シリンダー本締め、床面回転戸当り（開放固定）、フランス差し、D.C. 握り棒 L＝600、他付属金物一式		SUS丁番、グレモンハンドル・サムターン付シリンダー本締め、床面回転戸当り（開放固定）、フランス差し、D.C. 握り棒 L＝600、他付属金物一式		ヒポットヒンジ、グレモンハンドル・サムターン付シリンダー本締め、フランス差し、D.C. 戸当り、他付属金物一式		SUS丁番、グレモンハンドル・サムターン付シリンダー本締め、フランス差し、D.C. 戸当り、他付属金物一式		SUS丁番、グレモンハンドル・サムターン付シリンダー本締め、フランス差し、D.C. 戸当り、他付属金物一式		SUS丁番、グレモンハンドル・サムターン付シリンダー本締め、フランス差し、D.C. 戸当り、他付属金物一式		SUS丁番、グレモンハンドル・サムターン付シリンダー本締め、D.C. 戸当り、他付属金物一式								
改 修 内 容	外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】 常時開放用: SUS製後付け差し棒・（外部開放時）差し受け【新設】x2, 3箇所		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】 常時開放用: SUS製後付け差し棒・（外部開放時）差し受け【新設】x2		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】 常時開放用: SUS製後付け差し棒・（外部開放時）差し受け【新設】x2		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】 常時開放用: SUS製後付け差し棒・（外部開放時）差し受け【新設】x2		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】 常時開放用: SUS製後付け差し棒・（外部開放時）差し受け【新設】x2		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】 常時開放用: SUS製後付け差し棒・（外部開放時）差し受け【新設】x2		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】 常時開放用: SUS製後付け差し棒・（外部開放時）差し受け【新設】x2		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】 常時開放用: SUS製後付け差し棒・（外部開放時）差し受け【新設】x2						
記号・型式	AD8	アルミ製両開きフラッシュ戸・欄間窓 2重窓：（外）FIX・（内）片開き・撥ね上げ） 防雨省・一般防音仕様																			
姿 図																					
場所・数量	1階 保健室	1 箇所																			
仕上・見込	既存シルバー	120 mm																			
ガラス	既存ガラス																				
金 物	SUS丁番、グレモンハンドル・サムターン付シリンダー本締め、フランス差し、D.C. 戸当り、AW: 戸車、締めハンドル、開口制限ストッパー、他付属金物一式																				
改 修 内 容	外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】																				
記号・型式	AW1	アルミ製2重2段片引き窓（引込部2重窓：（外）FIX・（内）片開き） 防雨省・一般防音仕様	AW2	アルミ製片引き窓（引込部2重窓：（外）FIX・（内）片開き） 防雨省・一般防音仕様	AW3	アルミ製片引き窓（引込部2重窓：（外）FIX・（内）片開き） 防雨省・一般防音仕様	AW4	アルミ製片引き窓（引込部2重窓：（外）FIX・（内）片開き） 防雨省・一般防音仕様	AW4A	アルミ製片引き窓（引込部2重窓：（外）FIX・（内）片開き） 防雨省・一般防音仕様	AW5	アルミ製片引き窓（引込部2重窓：（外）FIX・（内）片開き） 防雨省・一般防音仕様									
姿 図																					
場所・数量	1～4階 各教室	76 箇所	1～4階 廊下、A階段、各寝室 1階 倉庫	AW-2 53 AW-2A 1 箇所	各階 B・C階段	13 箇所	各階 男子・女子便所(1)、2階 職員トイレ(男・女)	10 箇所	1, 3, 4階 男子・女子便所(2)	6 箇所	2～4階 廊下	3 箇所									
仕上・見込	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm	既存シルバー	120 mm									
ガラス	既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス		既存ガラス										
金 物	戸車、締めハンドル、開口制限ストッパー、他付属金物一式		戸車、締めハンドル、開口制限ストッパー、他付属金物一式		戸車、締めハンドル、開口制限ストッパー、他付属金物一式		戸車、締めハンドル、開口制限ストッパー、他付属金物一式		戸車、締めハンドル、開口制限ストッパー、他付属金物一式		戸車、締めハンドル、開口制限ストッパー、他付属金物一式										
改 修 内 容	外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】		外部シーリング【撤去・新設】、ガラス留め材【ガスケット撤去・シーリング新設】 既存建具調整【上記、金物交換の上、調整】、既存サッシ【クリーニング】										
記号・型式	SD1	スチール製片開きフラッシュ戸・滑り戸・戸嵌付 （特定防火設備・臨時閉鎖型）	SD2	スチール製両開きフラッシュ戸・滑り戸・戸嵌付 （特定防火設備・臨時閉鎖型）	SD3	スチール製片開きフラッシュ戸 （特定防火設備・臨時閉鎖型）	SD4	スチール製片開きフラッシュ戸 （特定防火設備・臨時閉鎖型）	SD4A	スチール製片開きフラッシュ戸 （特定防火設備・臨時閉鎖型）											
姿 図																					
場所・数量	各階 B階段	4 箇所	各階 A階段	4 箇所	各階 C階段	4 箇所	1階 (A・B・C階段下) 倉庫	3 箇所													
仕上・見込	スチール SOP塗	枠120 戸厚45 mm	スチール SOP塗	枠120 戸厚45 mm	スチール SOP塗	枠120 戸厚40 mm	スチール SOP塗	枠120 戸厚40 mm													
ガラス	-		-		-		-														
金 物	SUS各機、煙感知器連動、他付属金物一式		SUS各機、煙感知器連動、他付属金物一式		SUS各機、他付属金物一式		標準付属金物一式														
改 修 内 容	【既存点検調整】、【既存下地調整の上、SOP塗替】		【既存点検調整】、【既存下地調整の上、SOP塗替】		【既存点検調整】、【既存下地調整の上、SOP塗替】		【既存下地調整の上、SOP塗替】														
記号・型式	WD1	木製引違いフラッシュ戸・欄間引違い窓	WD2	木製引違いフラッシュ戸・欄間引違い窓	WD3	木製引違いフラッシュ戸・欄間引違い窓	WD4	木製引違いフラッシュ戸・欄間引違い窓	WD5	木製引違いフラッシュ戸・欄間引違い窓	WD6	木製親子開きフラッシュ戸	WD7	木製親子開きフラッシュ戸	WD8	木製片開きフラッシュ戸					
姿 図																	(開き方向は各室による)				
場所・数量	1, 3, 4階 普通教室	18 箇所	1階 倉庫	1 箇所	1階 技術室・準備室、作業室 2階 第1, 2理科室・身体室、3階 図書室・準備室、美術室・準備室	17 箇所	各階 講堂（普通教室側） 4階 コンピュータ室・SVC室、音楽準備室	26 4 箇所	4階 音楽室	2 箇所	2階 校長室、事務室	2 箇所	各階 配膳室	4 箇所	2階 校長室x2、各階 講堂（普通教室側） 各階（特別教室）準備室	11 8 箇所					
仕上・見込	ポリエステル化粧合板、欄間窓・枠 SOP塗	枠120 戸厚40 mm	ポリエステル化粧合板、欄間窓・枠 SOP塗	枠120 戸厚40 mm	ポリエステル化粧合板、欄間窓・枠 SOP塗	枠120 戸厚40 mm	ポリエステル化粧合板、欄間窓・枠 SOP塗	枠120 戸厚40 mm	ポリエステル化粧合板、欄間窓・枠 SOP塗	枠120 戸厚40 mm	ポリエステル化粧合板、欄間窓・枠 SOP塗 （校長室側：木目調）	枠120 戸厚40 mm	ポリエステル化粧合板、枠 SOP塗	枠120 戸厚40 mm	ポリエステル化粧合板、枠 SOP塗 （校長室側：木目調）	枠120 戸厚40 mm					
ガラス	透明 t3.0		透明 t3.0		透明 t3.0		透明 t3.0		透明 t3.0		-		-		-						
金 物	SUSレール、アルミガラリ、他付属金物一式		SUSレール、アルミガラリ、他付属金物一式		SUSレール、（アルミガラリ）ベニヤ蓋、他付属金物一式		SUSレール、（アルミガラリ）ベニヤ蓋、他付属金物一式		SUSレール、（アルミガラリ）ベニヤ蓋、ピンチブロック、他付属金物一式		SUS丁番、握玉付シリンダー本締め、フランス差し、D.C. 戸当り、SUS各機、他付属金物一式		SUS丁番、握玉付シリンダー本締め、フランス差し、D.C. 戸当り、SUS各機、他付属金物一式		SUS丁番、握玉付シリンダー本締め、フランス差し、D.C. 戸当り、SUS各機、他付属金物一式						
改 修 内 容	出入口扉【撤去】（SUSレールそのまま） 既存欄間窓、建具枠【既存下地調整】		出入口扉【撤去】（SUSレールそのまま） 既存欄間窓、建具枠【既存下地調整】		出入口扉【撤去】（SUSレールそのまま） 既存欄間窓、建具枠【既存下地調整】		出入口扉【撤去】（SUSレールそのまま） 既存欄間窓、建具枠【既存下地調整】		出入口扉【撤去】（SUSレールそのまま） 既存欄間窓、建具枠【既存下地調整】		出入口扉【撤去】（SUS各機そのまま） 既存建具枠【既存下地調整】		出入口扉【撤去】（SUS各機そのまま） 既存建具枠【既存下地調整】		出入口扉【撤去】（SUS各機そのまま） 既存建具枠【既存下地調整】						
（有）桑子建築設計事務所 さいたま市大宮区御引町1-330-4 TEL 048-783-5566 一級建築士登録第334002号 桑子 亮										承認設計担当		縮尺 A1:1/100 A2:1/200 設計年月日 2024.1.31		工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事 図面名称 改修前・後 建具表		No. A-36					



仮設計画図

●→●

キャスターゲート W3.6×H2.0m

ガードフェンス H=1.8m

鉄板敷き養生

くさび型結束式足場：手摺先行型 幅900（建物各部周囲）を示す。
各材先高さ+H900以上とする。（防水改修の安全対策を含む）
養生メッシュシート（防災メッシュシート1張）張り。

↔

工事用動線を示す。 △ 工事用出入口を示す。

○→○

学校用動線を示す。 △ 学校用出入口を示す。

※内部仮設は、平面図による。

特記事項

- ・工事開始前に、学校・監督員と協議を行い施設の運営や行事に關しては協力すること。
- ・正門・その他各所に工事案内板を設置し、出入口案内及び立入禁止区域、安全対策等について適宜指示を行うこと。内容については、事前に学校の了解を得ること。
- ・工事車両は、事前に台数・出入位置について学校と打合せを行い安全確認をすること。
- ・工事期間中も、工事範囲外の校舎・体育館・プール・運動場を生徒・職員が使用するもので、安全に充分注意し管理を徹底すること。
- ・仮設材設置の為アスファルト面に開けた孔はアスファルトにて適宜充填復旧すること。
- ・工事範囲において、他箇所・建築物が損壊した場合は、整地・土砂補充・舗装面の復旧を適宜行うこと。前記のアスファルト処理と同様に、復旧後監督員の検査を受けること。
- ・外部足場設置箇所にある樹木は、支障の無い範囲で適宜枝払い及び養生する事。また、外部周囲の既存設置物で支障がある場合は、適宜一時撤去・再設置とする。全て本工事に含む。

工事範囲

- ・外部改修：外壁・防水、他外部一式（建築・設備共一式）
- ・受水槽、高置水槽等（設備図による）

凡例

は、工事建物を示す。

	(有) 桑子建築設計事務所 さいたま市大宮区櫛引町1-330-4 TEL 048-783-5566 一級建築士登録第334002号 桑子 亮	承認 設計 担当	縮尺 A1:1/500 A2:1/1,000 設計年月日 2024.1.31	工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事 図面名称 仮設計画図	No. A-37
--	--	---	---	--	---------------------

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1. 1 工事名 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
1. 2 工事場所 狭山市柏原2520番地11
1. 3 工期 契 約 日 から 令和 年 月 日 まで
現場施工期間 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで
現場施工期間、施設管理者との調整により変更することがある。
1. 4 工事科目 (●印の付いたものを適用する)

● 電灯設備 ● 動力設備 ● 電熱設備 ● 雷保護設備 ● 受変電設備 ● 電力貯蔵設備 ● 発電設備 ● 構内情報通信網設備 ● 構内交換設備 ● 情報表示設備 ● 映像、音響設備 ● 拡声設備（非常放送設備） ● 誘導支援、呼出し設備	● テレビ共同受信設備 ● テレビ電波障害防除設備 ● 監視カメラ設備 ● 駐車場管制設備 ● 防犯、入室管理設備 ● 自動火災報知設備 ● 自動閉鎖設備 ● ガス漏れ火災警報設備 ● 電話配管設備 ● 中央監視制御設備 ● 医療関係設備 ● 昇降機設備
--	--

1. 5 指定部分 ○ 無 ・ 有 (工期: 令和 年 月 日)
1. 6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
- 1 専任期間の始期
- 請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで (現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 ・ 令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 2 専任期間の終期
- 工事完成後、検査が終了 (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 3 専任期間の中断
- 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施工令別表第一
校舎	RC造	4階	—	—

1. 8 工事概要
- ・水槽の電極棒及び配線は改修とする。
 - ・外壁の照明・ベランダは改修とする。
 - ・インパ・時計設備は改修とする。
 - ・太陽光パネルは取り外し・復旧とする。
1. 9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事
- ## 2 工事仕様
2. 1 共通仕様書
- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督官の指示に従い施工する。
- なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを用いる。
2. 2 特別仕様（特記事項の選択項目は、●印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。）
- 印と(※)印の付いた場合は、共に適用する。)

項	目	特 記 事 項
①	機材等	本工事に使用する機材等は、設計図面に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、機材所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等を使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第9号）に定める行政機関の休日以外。上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③	工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などは使用出来るものとし、その仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。
④	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
⑤	足場・さんばし類	・別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ※本工事とする。
6	監督員事務所	本工事で ・設ける（規模 ） ※設けない
⑦	保 險	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等のかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8	再使用機材	取出し再使用機材は、清掃及び絡線抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付ける。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9	建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） 適用しない
10	完成図書の電子納品	完成図書の電子納品がガイドライン ※ 適用する ・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする
①	発生材処理	取捨を要するもの以外は構内に撤出し、適切に処理する。 （構外撤出処理費は、※本工事 ・別途） (1) 引渡しを要するもの（ ） (2) 買取処分をするもの（銅屑・鉄屑） (3) 再生資源化を図るもの（蛍光管） 蛍光管等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。

- ② 金属電線管の
塗装
- ③ 鍵

- #### 14 地中電線路

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。

また、屋外で溶融鉛亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。

ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。

盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。

- (1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE)
	耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE)
	波付硬質合成樹脂管 (FEP)
	ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

- (2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。
- (3) 地中電線路の敷設は管方式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

ハンドホール、ブルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。

上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

- ## 17 電線管の接続

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

- ## 18 残土処分

埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。

- 19 再生砂·再

- 契約図書中の山砂の類、砂利、碎石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、・使用できる。 ※使用できない。
- 再生砂使用に先立ち、1 購入あたり 1 検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

- ## 20 耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

- (1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度		特定の施設		一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器

- ・配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
- ・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置

上層階の定義は次による。

2～9階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

(2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の $1/2$ とし、水平地震力と同時に働くものとする。

- ## 2.1 あと施工アンカー

機器・設備等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。

重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。

施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。

金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。

接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マスキング、カプセ挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。

（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）

あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- ## 22 はつり及びあと 施工アンカー打設

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。

- ### 2.3 改修部分の足場

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。

(1) 内部足場 ※ 脚立足場

(2) 外部足場 ※ A種(手組足場)・B種・C種・D種・E種・F種

※足場を設ける場合は、「(3)手すり施工法等に関するガイドライン」について(厚生労働省発第0424001号平成24年4月24日)の「手すり施工法等に関するガイドライン」を、順次又は必要に応じて心感ある足場に関する基準に適合する事とし、中さ及び積木の機能による足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり施工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり施工専用足場方式により行うものとする。

- ②④ 墜落制止用器具
(フルハーネス型)

※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン
(平成30年6月22日付け基発0622第2号)による

・使用を要しない

- 25 その他

(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。

- (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
 - (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
 - (4) 本工事にかかる官公庁への諸手續はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
 - (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
 - (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に接地抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
 - (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
 - (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
 - (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せにて設定すること。
 - (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
- 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、●印のついたものを適用する）

項目	特 記 事 項
① 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は適用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新築工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 経枠 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は経枠を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、経枠を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はL R 1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 (端末処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用) 受 電 電 圧 柱上用高圧気中負荷開閉器(PAS) 主 遮 断 装 置 変圧器設備容量 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA× 台 電灯用 kVA× 台 高圧直相コンデンサ kVA× 台 直列リアクトル ・ 6% ・ 1.3% kVA× 台
5 構内情報通信設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ (概要)
⑦ 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給(コージェネレーション)発電装置 ○ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
⑧ 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備(非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ (一般)	床上～中心	1,300	1,200
〃 (身体障害者用)	〃	1,100	1,000
〃 (人感センサー切換用)	〃	2,000	2,000
コンセント、電話用アットレド、直列エント (一般)	〃	300	400
〃 (和室)	〃	150	200
〃 (台上)	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床上～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	(上端1,900以下) 1,500	(上端1,900以下) 1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	〃	900	900
復帰ボタン (〃)	〃	1,800	1,800
廊下表示灯 (〃)	〃	2,000	2,000
端子盤	〃	(上端1,900以下) 1,500	2,000

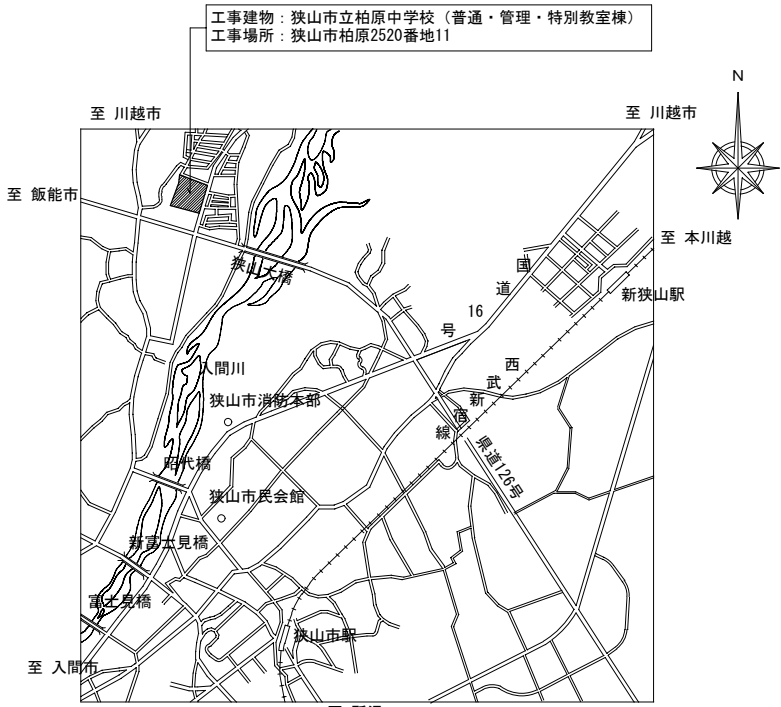
- ### 3 その他

3. 1. 他工事との取合区分
免注図又は工事区分表による。
3. 2. 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。
3. 3. 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

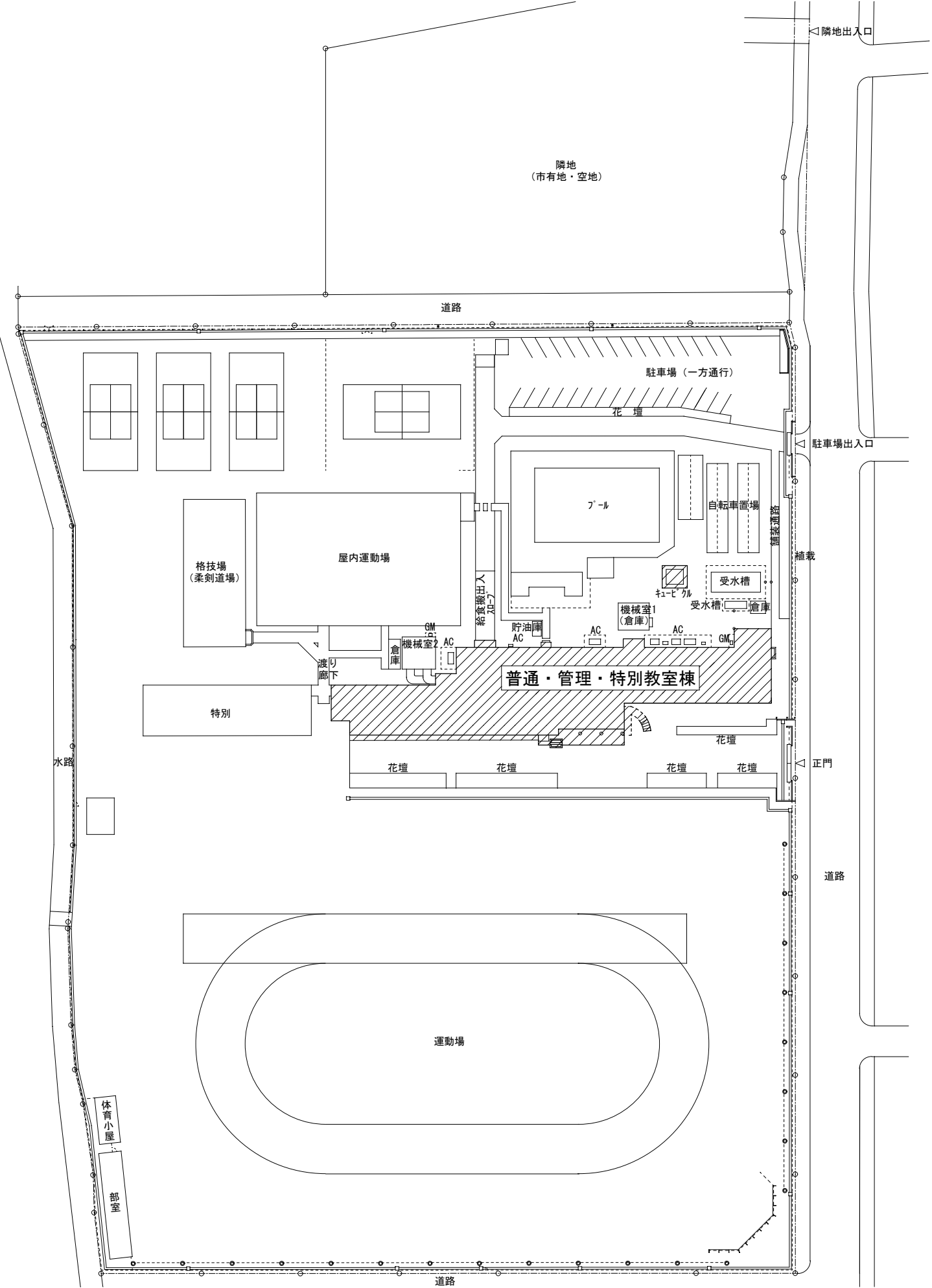
舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

- 第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する漏水（以下「漏水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。
- 第2条 受注者は、回収した漏水を次のとおり処理するものとする。
- ・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） m3
 - ・中間処理施設 市 地内、（株）
 - ・処理方法 ① 中間処理後、最終処分場にて搬入（処理に焼却又は溶融を含む）
② 中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
- 第3条 受注者は、別の中間処理施設を指定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
- 第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら漏水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した漏水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
- 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
- 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
- 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理系（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
- 第5条 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
- 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。
- 第6条 漏水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計量等の対象とならないものとする。
- 受注者は、舗装版切断時に漏水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
- この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

				(有) 桑子建築設計事務所 さいたま市大宮区櫛引町1-330-4 TEL 048-783-5566 一級建築士登録第67048号 桑子 喬				承認		設計		担当		縮尺 A1 :- A3 :-		工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事		E-01	
				設計年月日		2024.1.31		図面名称		電気設備特記仕様書								No.	



案内図



配置図

凡例：  は、工事範囲を示す。

電灯分電盤結線図（改修後）

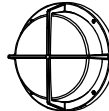
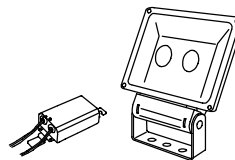
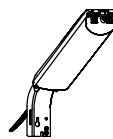
盤名称 盤形式	回路 構成	結線図	負荷表				分岐遮断器				主 回路	リモコン機器		中央監視盤				備考	
			回路 番号	電圧 (V)	負荷容量 (VA)	負荷 区分	種 類	極 数	AF	AT		Ry 個数	制御 機器	発 停	RL	OL			
L1-2 電灯盤 (屋内埋込型) 1階 (EPS)	①																		
																			L1-3
			1	100	500(想定)	L	M	1	50	20	①								廊下便所電灯
			2		500(想定)														昇降口電灯
			3		1,000(想定)	C													予備室電灯コンセント
			4		500(想定)	L													誘導灯
			5		1,000(想定)	C													廊下コンセント
			6		500(想定)	L													東側機械室
			7		1,000(想定)	C													昇降口廊下コンセント
8		32.1	L													外部LEDスポットライト			
合計:5,032VA																			

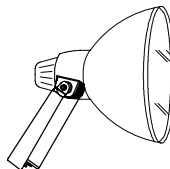
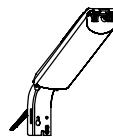
電灯分電盤結線図（改修前）

盤名称 盤形式	回路 構成	結線図	負荷表				分岐遮断器				主 回路	リモコン機器		中央監視盤				備考	
			回路 番号	電圧 (V)	負荷容量 (VA)	負荷 区分	種 類	極 数	AF	AT		Ry 個数	制御 機器	発 停	RL	OL			
L1-2 電灯盤 (屋内埋込型) 1階 (EPS)	①	合計:5,000VA																	
																			L1-3
			1	100	500(想定)	L	M	1	50	20	①								廊下便所電灯
			2		500(想定)														昇降口電灯
			3		1,000(想定)	C													予備室電灯コンセント
			4		500(想定)	L													誘導灯
			5		1,000(想定)	C													廊下コンセント
			6		500(想定)	L													東側機械室
7		1,000(想定)	C													昇降口廊下コンセント			

凡例
:増設範囲

照 明 器 具 姿 図（新 設）※型名は参考とする。

A	LEDﾌﾟﾗﾝｼﾞｯﾄ 20形直管蛍光灯 1 灯器具相当	11.0W	B	ﾌﾟﾗﾝｼﾞｯﾄ 30形丸形蛍光灯1灯器具相当	10.7W	C	LEDｽﾀﾝﾄﾞﾏｳﾝﾄ電源別置型ｼｬｲﾝ用 水銀灯400器具相当	66.5W	D	LED防犯灯 蛍光灯FHP32形相当	9.0W
 器具光束 1,062lm、電圧100V 昼白色 (5,000K)、Ra83 拡散ｼﾞﾔﾝﾌﾞ、防雨型、天井直付型・壁直付型、ﾌﾞﾗｽｼｰﾌﾞ方式 本体：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ (ﾎﾙﾀｲﾄ) ｶﾊﾞｰ：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ (乳白) ﾊﾞｰｼﾞｬﾝ：LGN80190LE1			 LEDﾌﾗｯﾄﾏｳﾝﾄ φ205 ｸﾞﾗｽ1,200 1灯 (口金GX53-1a) 昼白色 (5,000K)、Ra83 器具光束：920lm、電圧：100V 拡散ｼﾞﾔﾝﾌﾞ、防雨型、ｼｰﾌﾞｶｯﾌﾟ式 ﾌﾗｽﾁｯｸ ﾍｵｽﾄ (ﾌﾞﾗｯｸ)、ｶﾊﾞｰ：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ (乳白) 光源寿命40,000時間 (光束維持率70%) W=280 H=280 出しろ115 ﾊﾞｰｼﾞｬﾝ：XLGE8113CF1			 昼白色、5,000K、Ra85、広角ｼﾞﾔﾝﾌﾞ配光 光束6,210lm、電圧100～242V 光源寿命60,000時間(光束維持率70%) 本体：ﾌﾗｽﾁｯｸ ﾍｵｽﾄ (ｼﾙｸ ﾉｰｸﾞﾘｯﾌﾟ) ﾊﾞｰｼﾞｬﾝ：8 ﾉｰｸﾞ ﾉｰｸﾞ (透明つや消し) 電源別置型ｼｬｲﾝ用、耐湿ｼｰｼﾞ 15kV、耐風速60m/s 電源接続部灯具内収納可能、電源別置型 (2.2kg) ﾊﾞｰｼﾞｬﾝ：XY6820ZLE9			 光束1,070lm、電圧100V 昼白色、5,500K、Ra80、光源寿命6万時間 (光束維持率80%) 本体：ASA樹脂 (ｸﾞｰﾙﾀｲﾄ) 前面ﾊﾞｰｼﾞ：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ 防雨型、明るさをﾍﾞｰｼﾞなし、優良防犯機器R8SS認定品 電力会社申請入力容量9.2VA、雷ｼｰｼﾞ 15kV、明光色 ﾊﾞｰｼﾞｬﾝ：MNY20343LE1		

照 明 器 具 姿 図（撤 去）					※型名は参考とする。				
A1 バーストレス水銀灯		B1 プラケット		C1 防犯灯					
防雨型 									

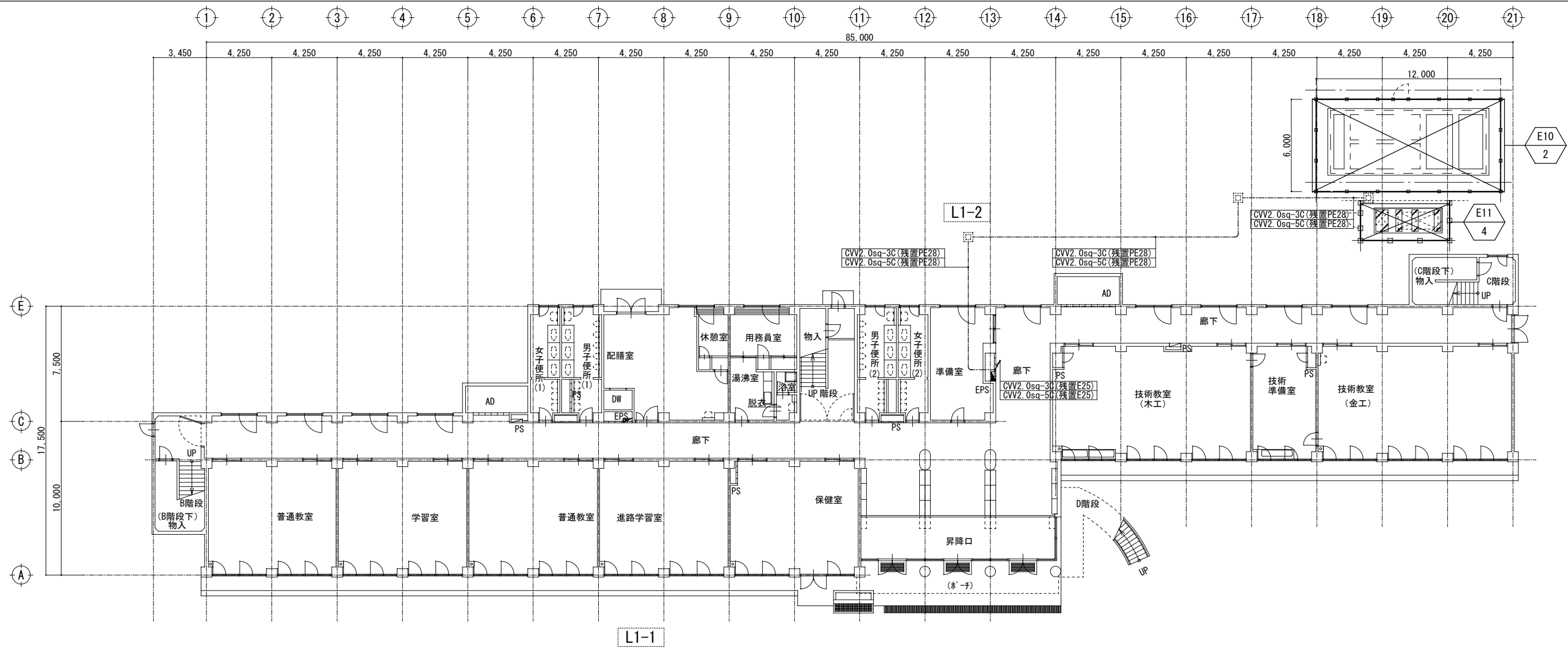
改修後



1階平面図

記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
	天井点検口 (450 × 450)	
	区画貫通処理 (25φ)	
	点検は既設残置又は別途工事を示す。	
	点検以外は本工事を示す。	
	天井20φ'配線を示す。	
	廊べい配線・配管を示す。	
	EM-EFF2 0-2C	(30φ' 2')

改修前



1階平面図

記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
	点検は既設残置又は別途工事を示す。	
	点検以外は本工事を示す。	
	天井20φ'配線を示す。	
	廊べい配線・配管を示す。	
	EEFF1 6-3C	(30φ' 3')
	EEFF2 0-2C × 2	(30φ' 3')
	EEFF2 0-2C × 3C	(30φ' 3')

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑 子 喬

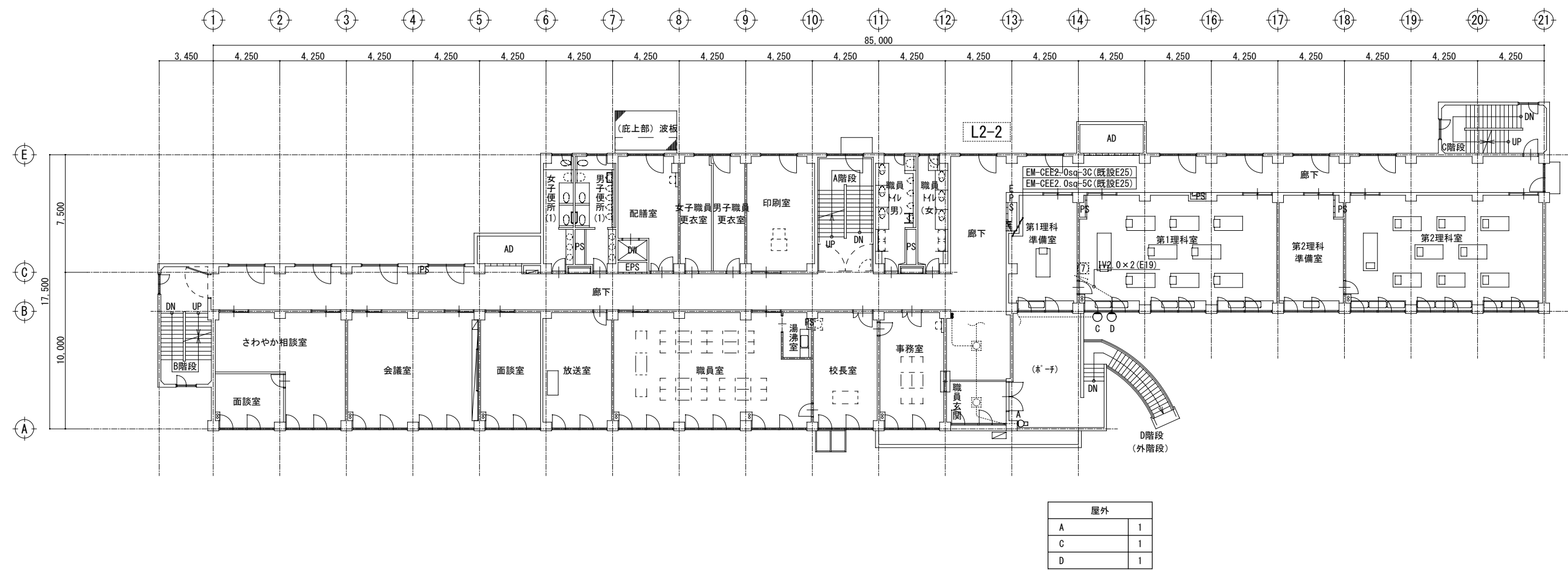
承認 設計 担当

縮尺 A1 : 1/200
A3 : -
設計年月日 2024. 1. 31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 動力・電灯設備 1階平面図

E-05
No.

改修後

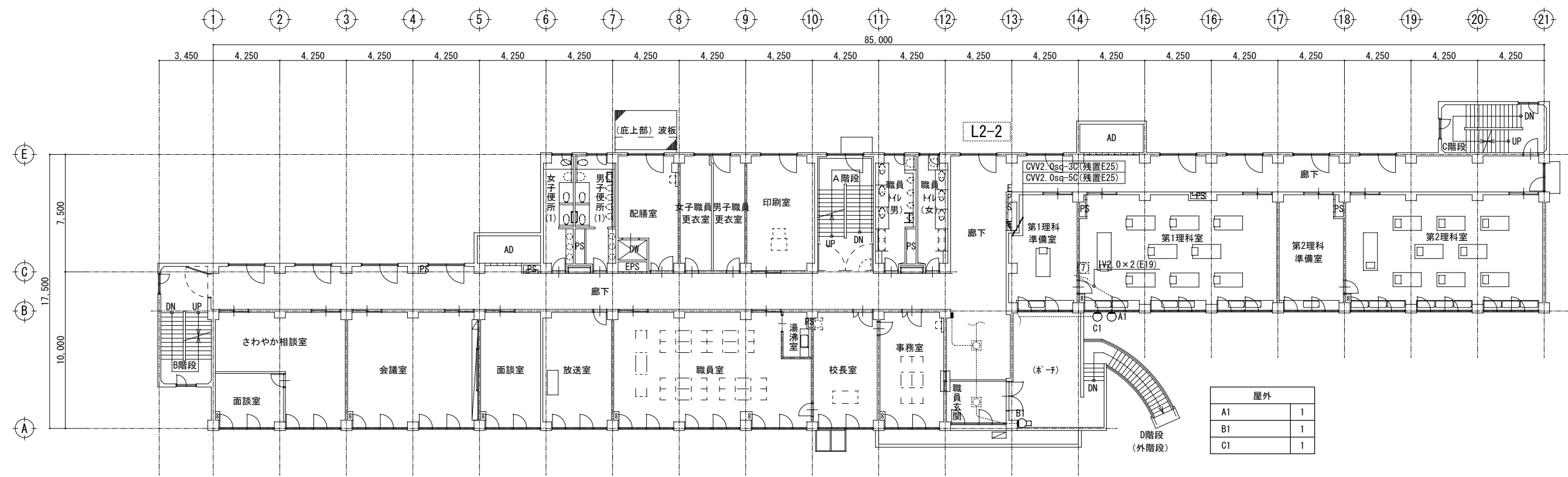


2階平面図

屋外	
A	1
C	1
D	1

記 号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
○	照明器具	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	

改修前



2階平面図

屋外	
A1	1
B1	1
C1	1

記 号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
○	照明器具	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	

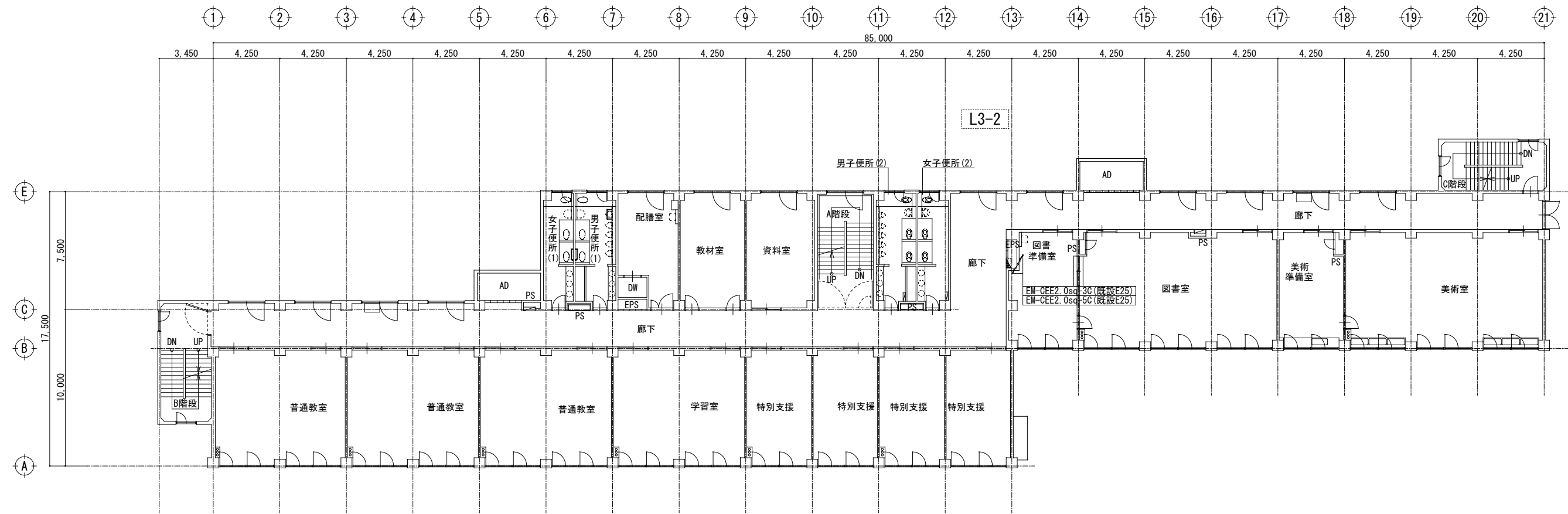
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑 子 喬

承認	設計	担当

縮尺 A1 : 1/200
A3 : -
設計年月日 2024. 1. 31

工事名称	狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称	動力・電灯設備 2階平面図

改修後



3階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	

改修前



3階平面図

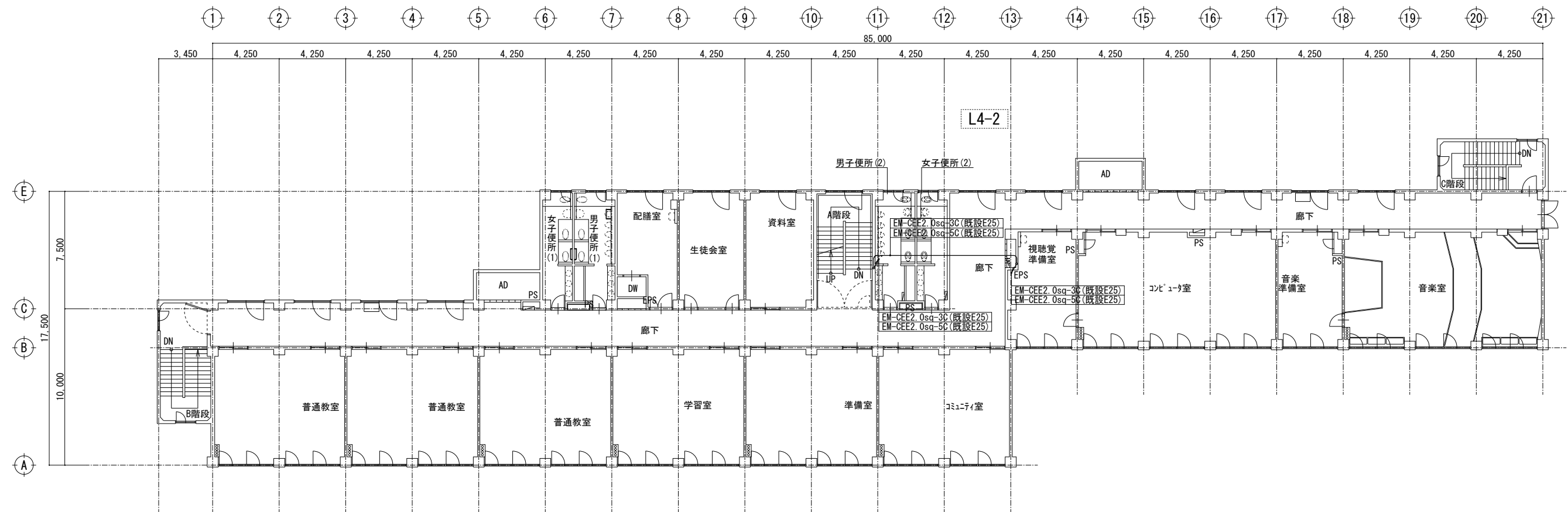
凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑 子 喬

承認	設計	担当

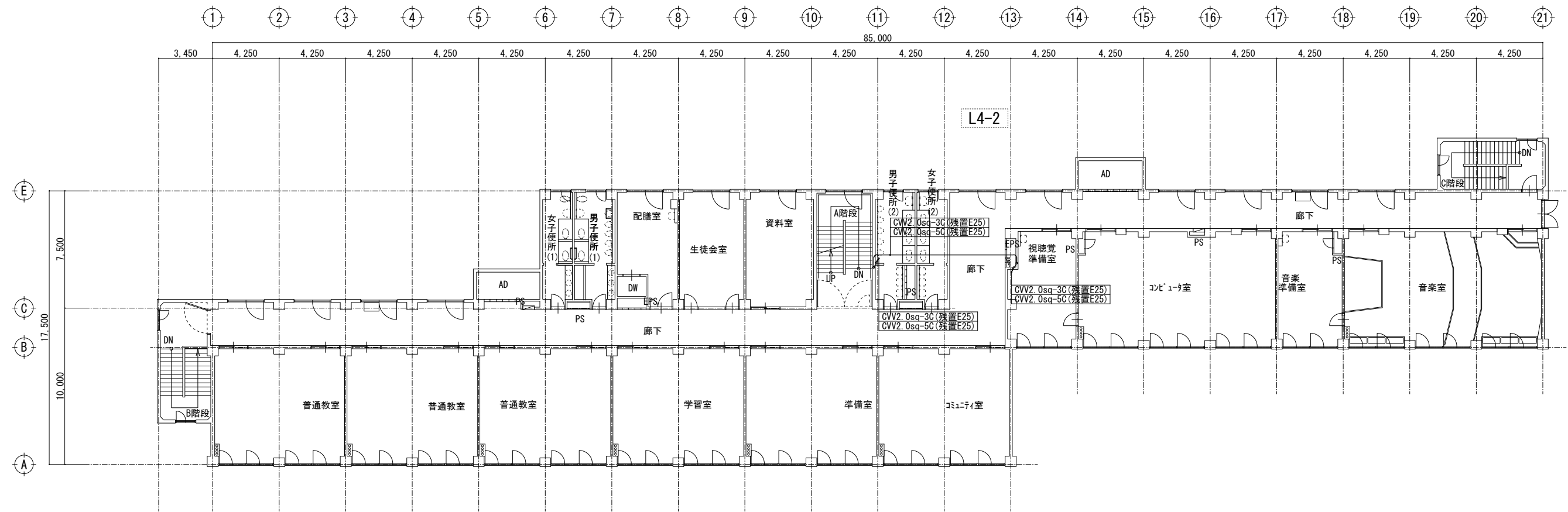
縮尺 A1 : 1/200
A3 : -
設計年月日 2024. 1. 31

工事名称	狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称	動力・電灯設備 3階平面図



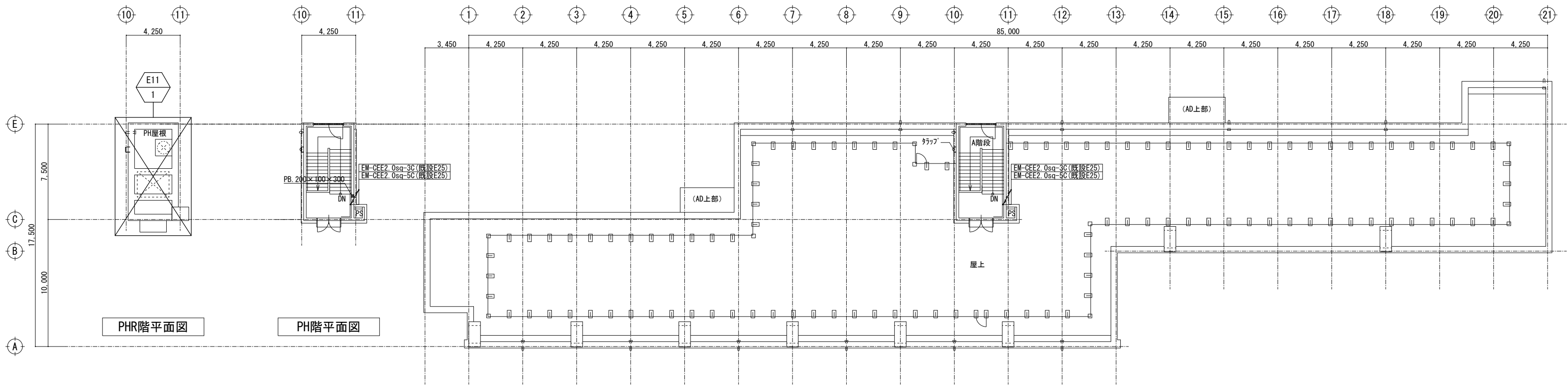
4階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	



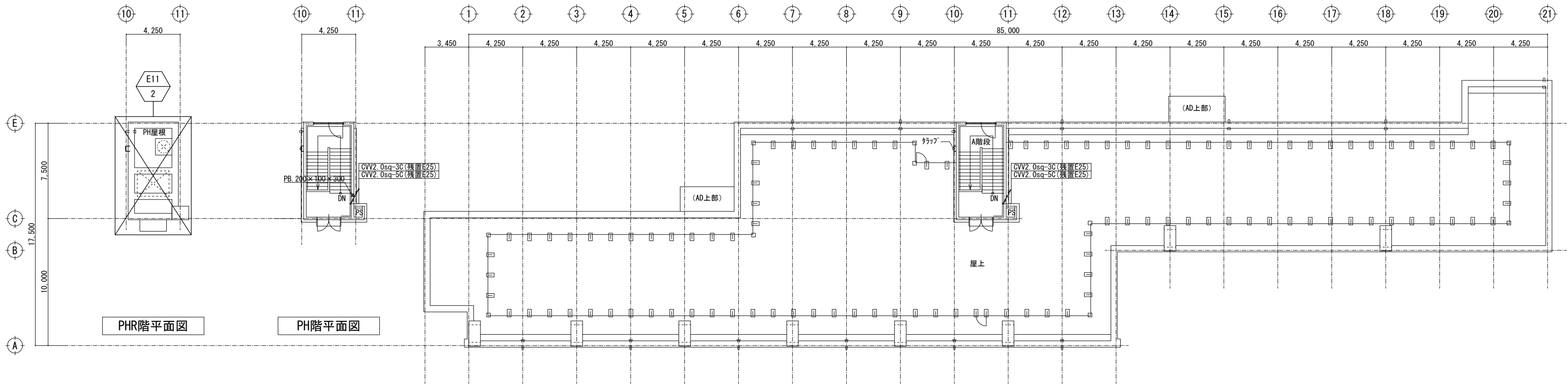
4階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	



R階平面図

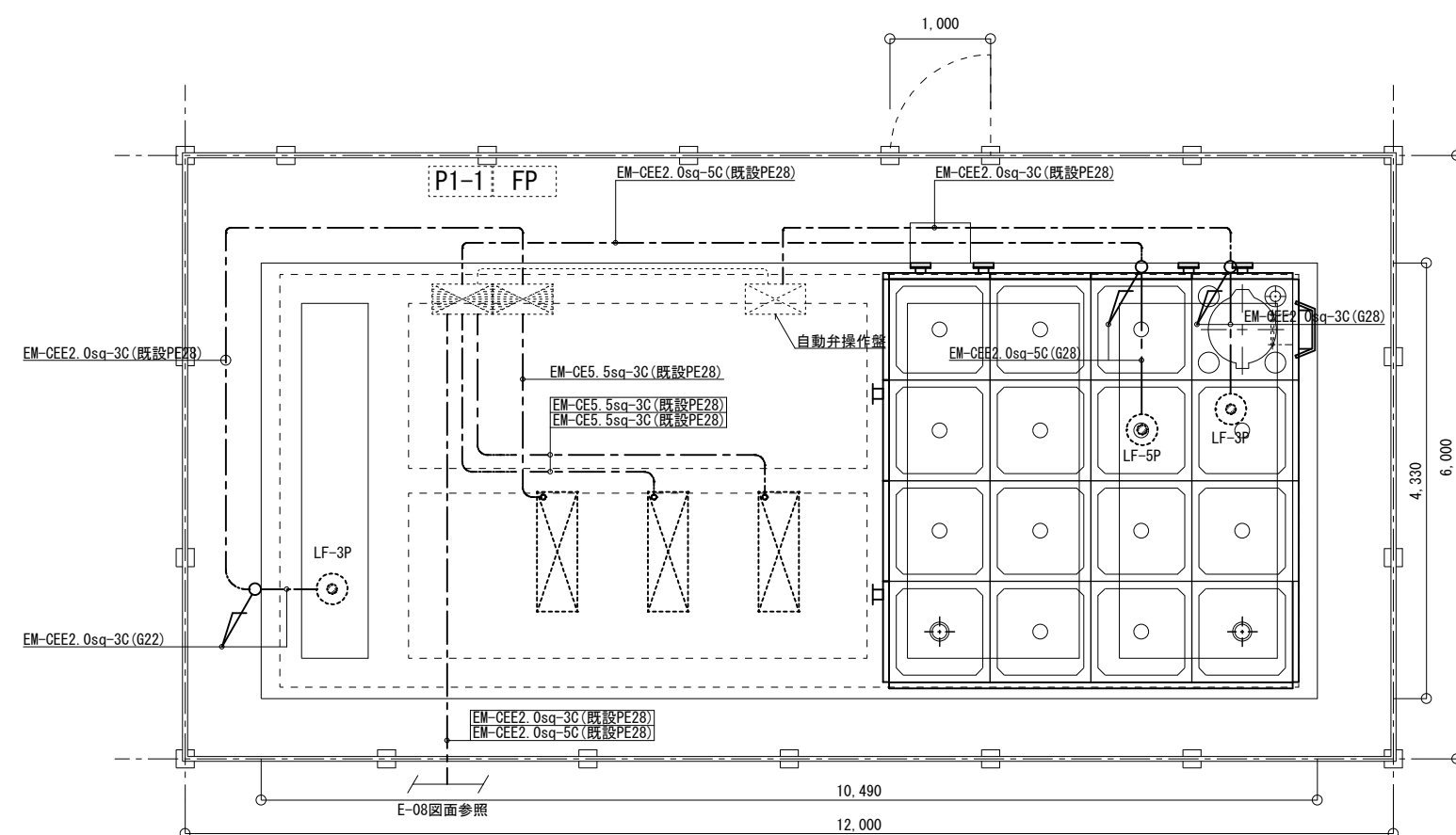
凡 例		
記 号	名 称	備 考
図	ﾌﾛｱﾌﾟﾗﾝ	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	



R階平面図

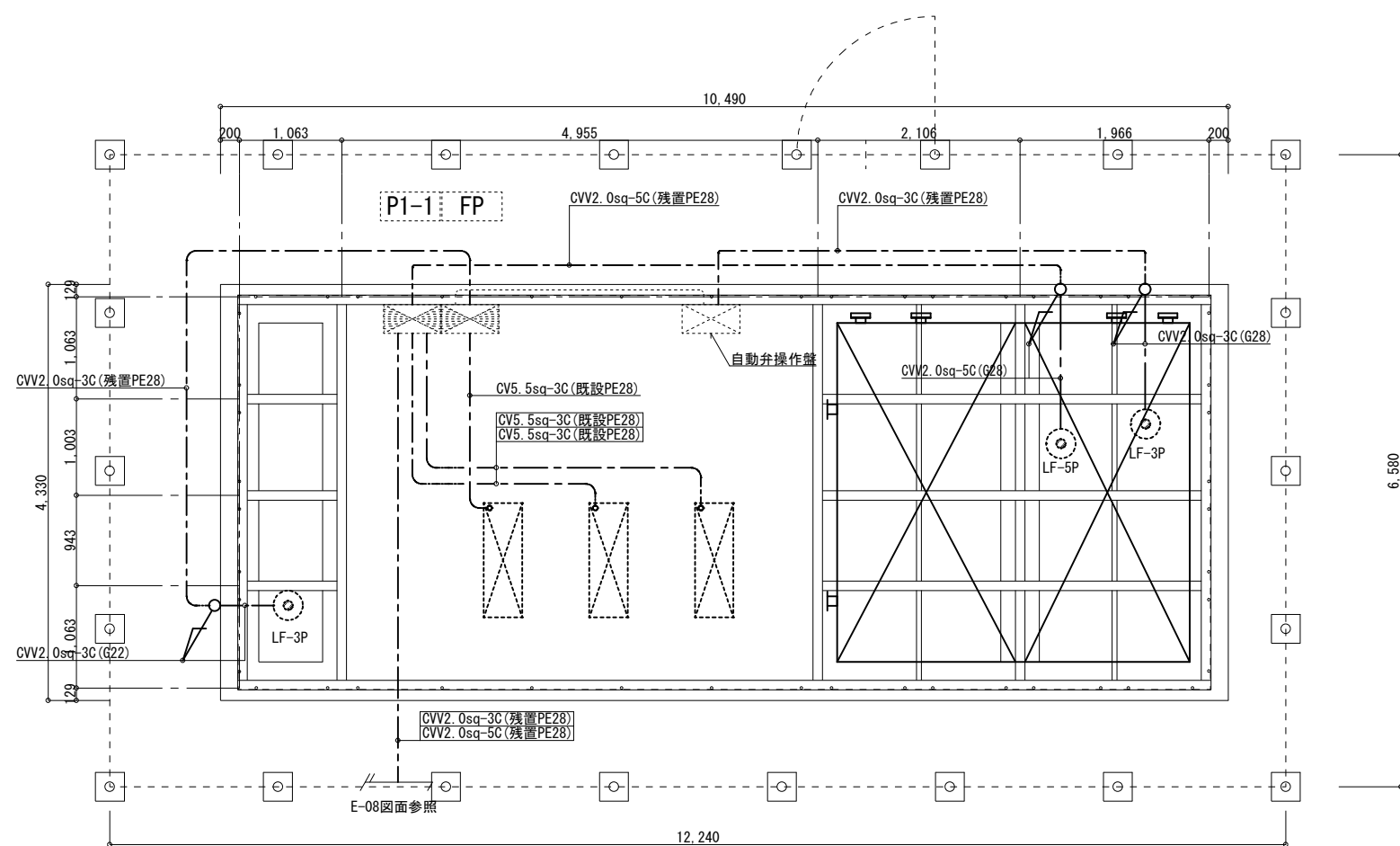
凡 例		
記 号	名 称	備 考
図	ﾌﾛｱﾌﾟﾗﾝ	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	

改修後



記 号	名 称	備 考
	動力源	
	電極棒	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
———	点線以外は本工事を示す。	
———	露出配線・配管を示す。	
— — —	地中埋設配線・配管を示す。	

改修前

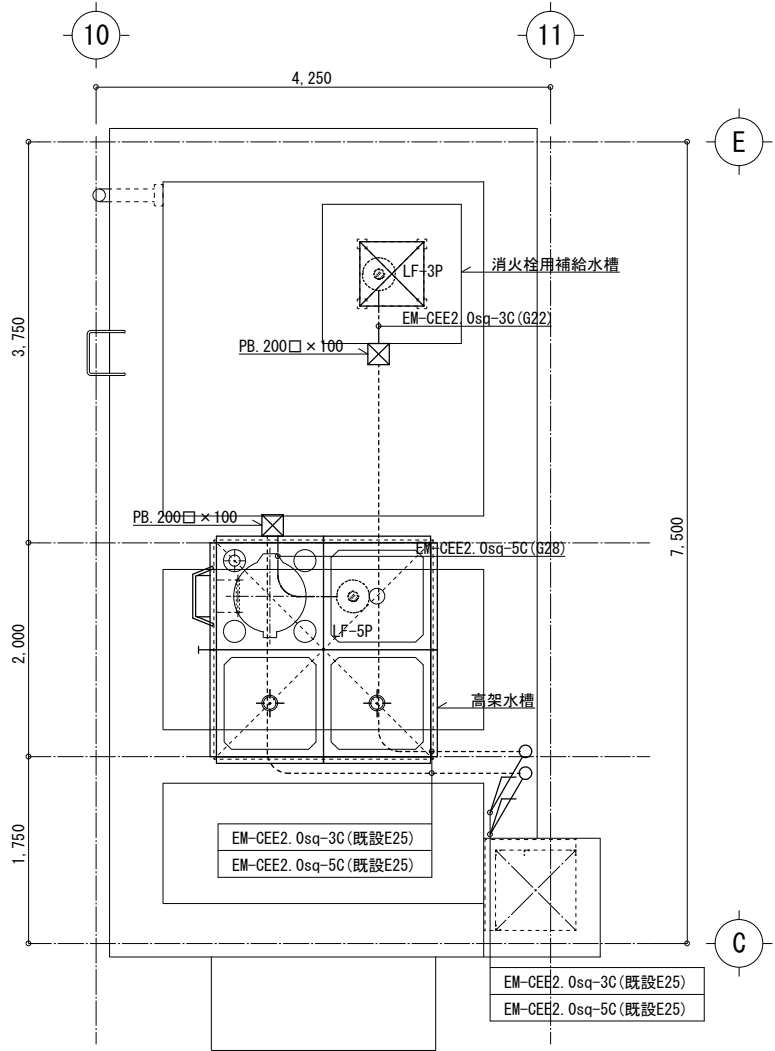





記 号	名 称	備 考
	動力盛	
	電極棒	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
————	点線以外は本工事を示す。	
———	露出配線・配管を示す。	
— — —	地中埋設配線・配管を示す。	

1 塔屋高置水槽

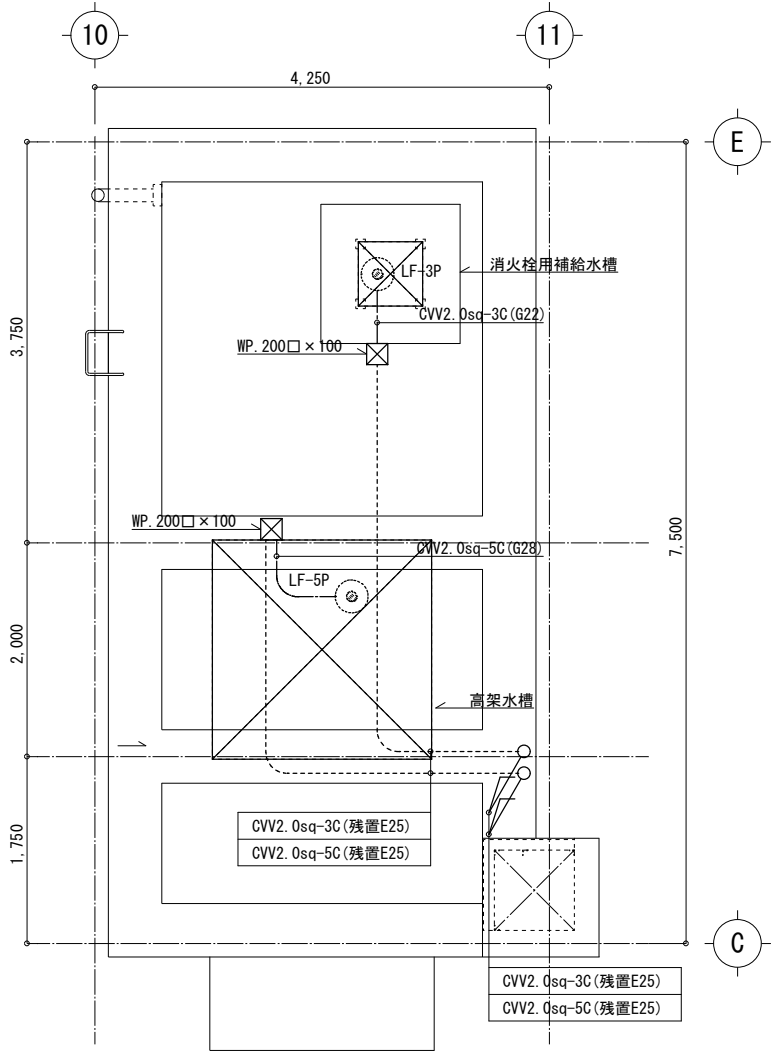
改修後



記 号	名 称	備 考
⊙	電極棒	
☒	ﾌﾞﾚｯｸｽ	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
.....	点線以外は本工事を示す。	
———	露出配線・配管を示す。	
-----	床下隠ぺい配線・配管を示す。	

2 塔屋高置水槽

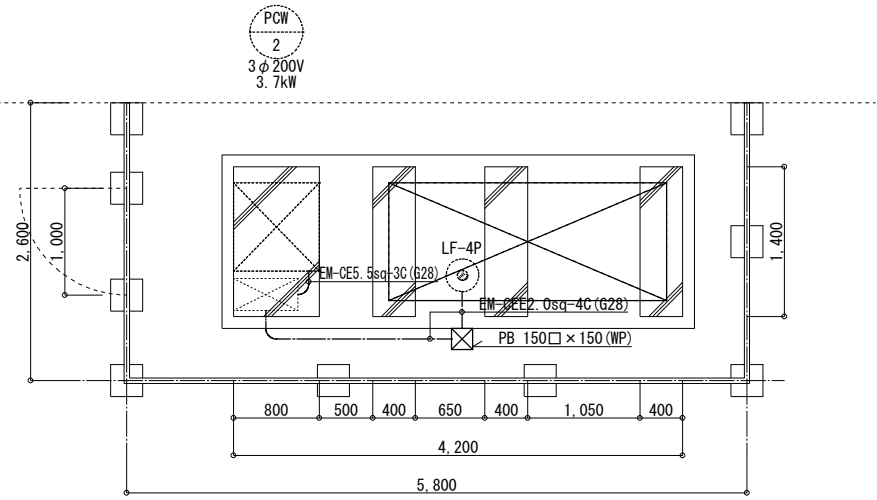
改修前



記 号	名 称	備 考
⊙	電極棒	
☒	ﾌﾞﾚｯｸｽ	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
.....	点線以外は本工事を示す。	
———	露出配線・配管を示す。	
-----	床下隠ぺい配線・配管を示す。	

3 受水槽(散水専用)

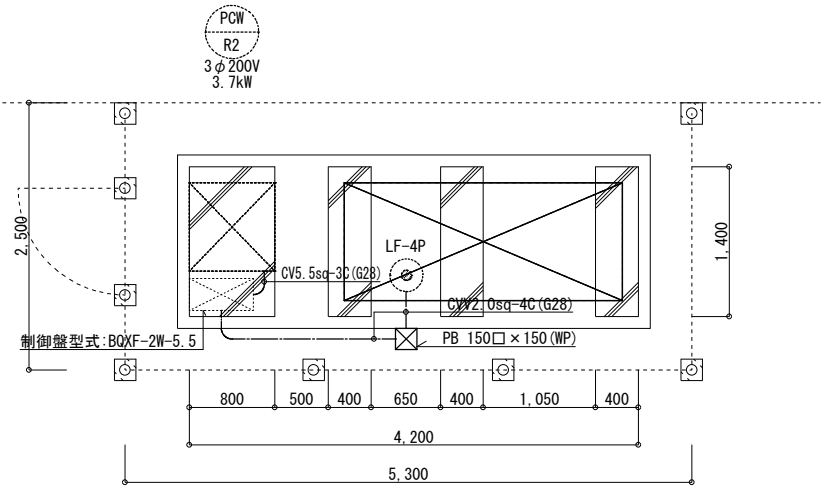
改修後



記 号	名 称	備 考
⊙	電極棒	
☒	ﾌﾞﾚｯｸｽ	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
.....	点線以外は本工事を示す。	
———	露出配線・配管を示す。	

4 受水槽(散水専用)

改修前



記 号	名 称	備 考
⊙	電極棒	
☒	ﾌﾞﾚｯｸｽ	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
.....	点線以外は本工事を示す。	
———	露出配線・配管を示す。	

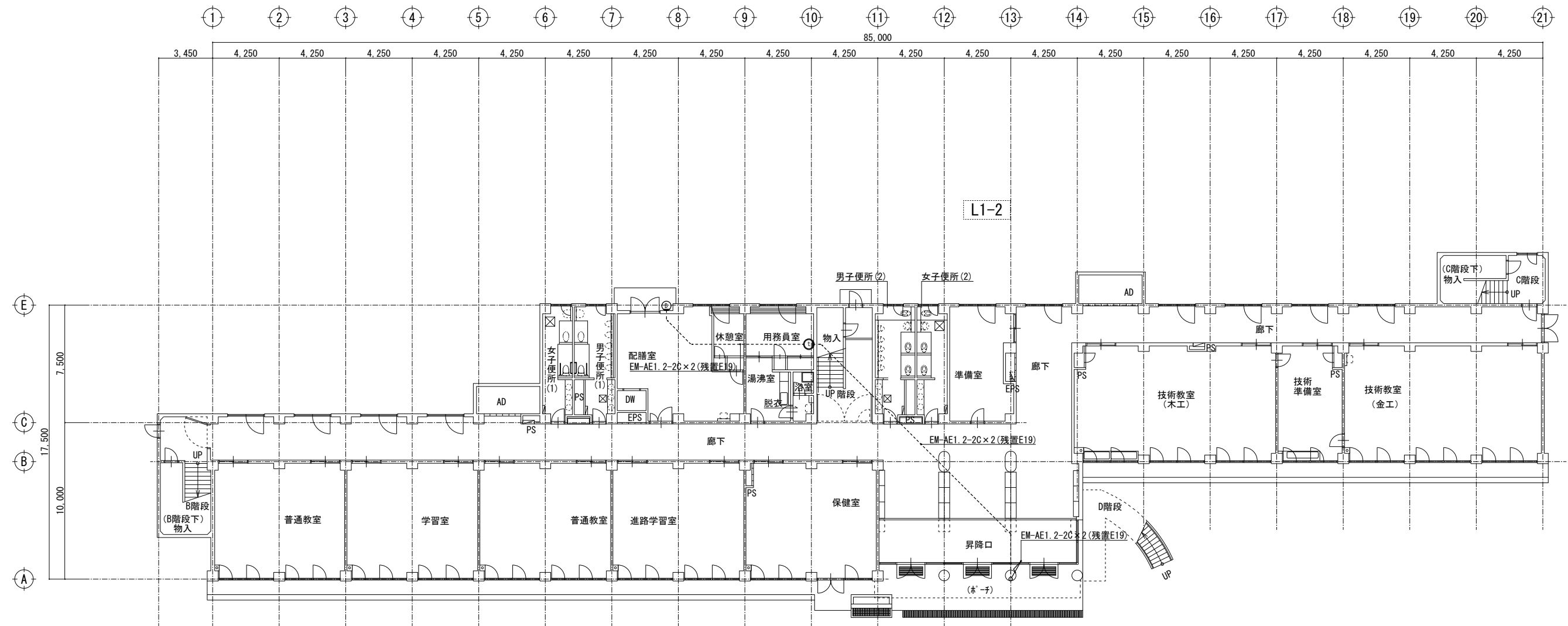
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当

縮尺 A1 : 1/50
A3 : -
設計年月日 2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 動力設備 詳細図 (2)

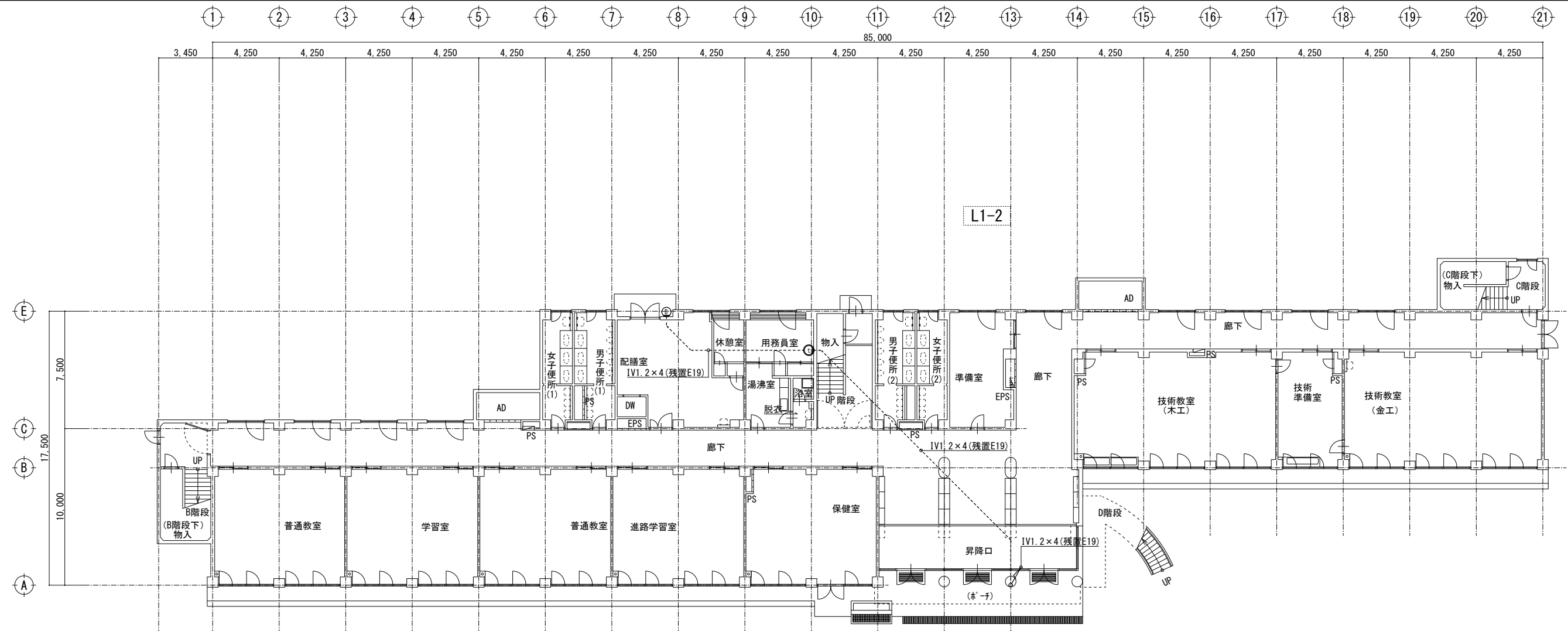
改修後



1階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
①	ドアホン	子機
②	インターホン	親機
-----	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	

改修前



1階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
①	ドアホン	子機
②	インターホン	親機
-----	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
	点線以外は本工事を示す。	

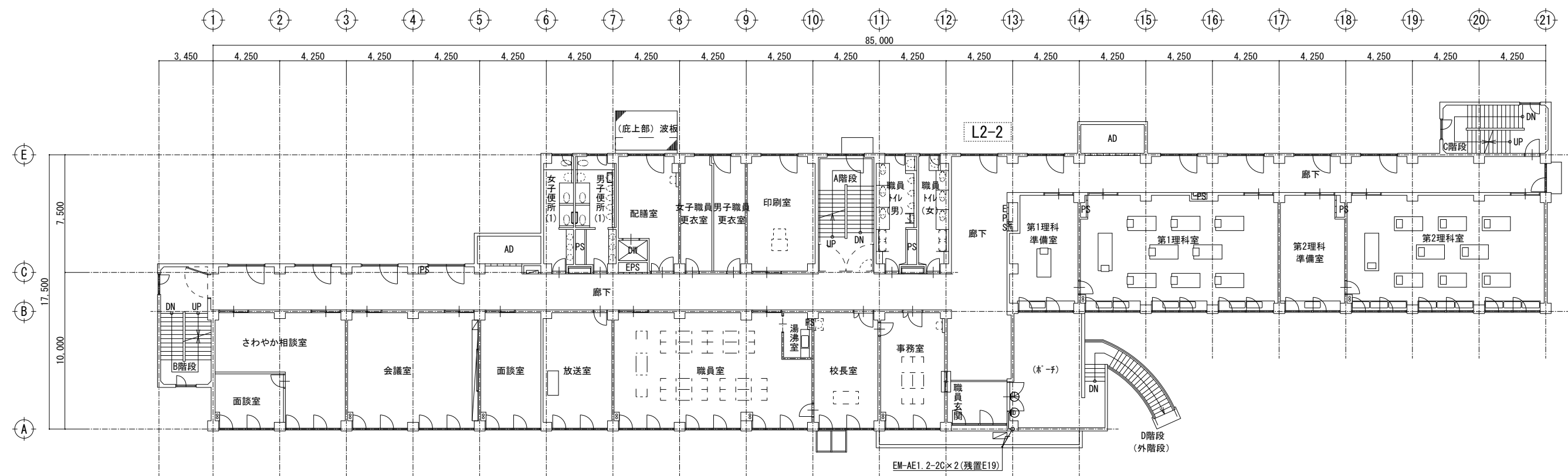
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑 子 喬

承認	設計	担当

縮尺 A1 : 1/200
A3 : -
設計年月日 2024.1.31

工事名称	狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称	弱電設備 1階平面図

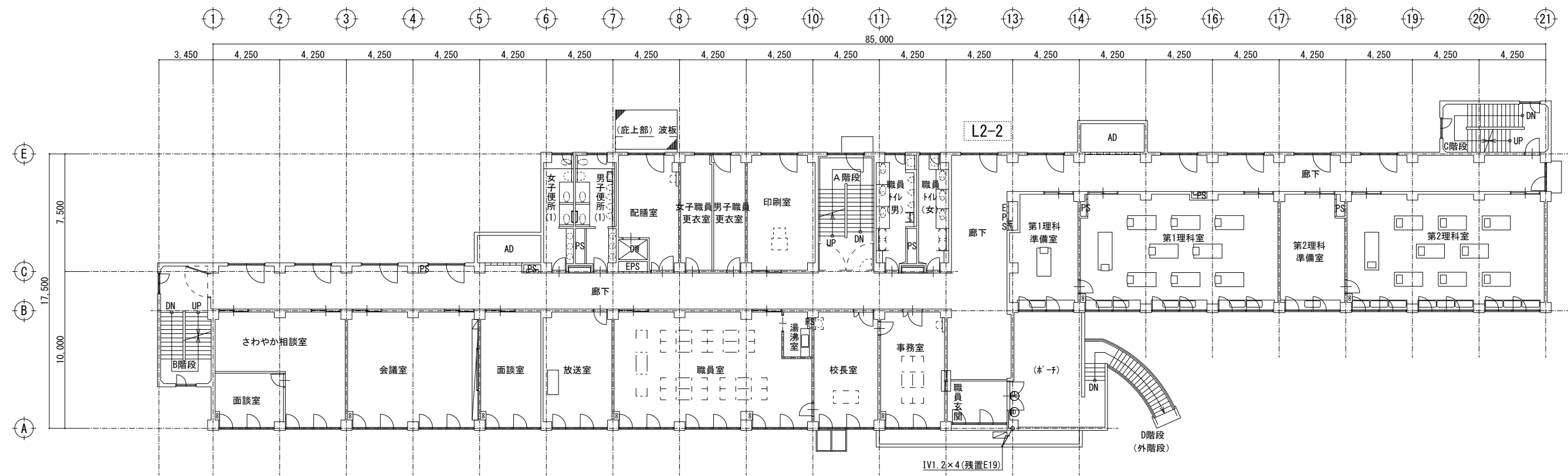
改修後



2階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
□	端子盤	
①	1'7株	子機
⊕	時計	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
.....	点線以外は本工事を示す。	

改修前



2階平面図

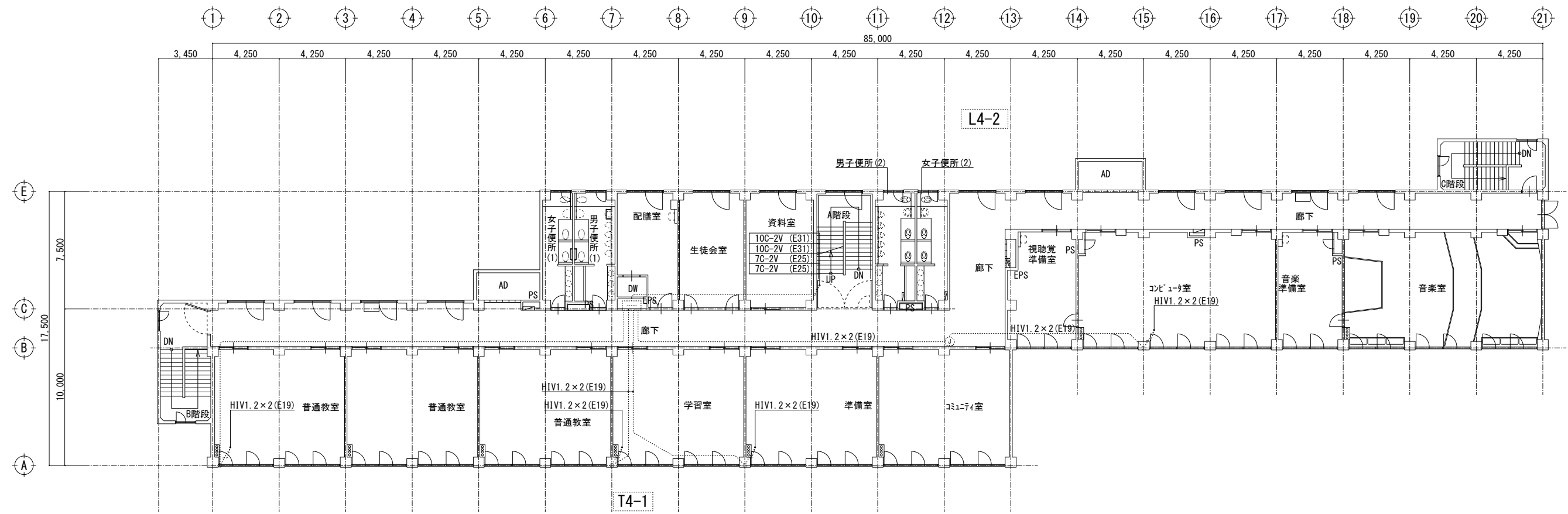
凡 例		
記 号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
□	端子盤	
①	1'7株	子機
⊕	時計	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
.....	点線以外は本工事を示す。	

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑 子 喬

承認	設計	担当

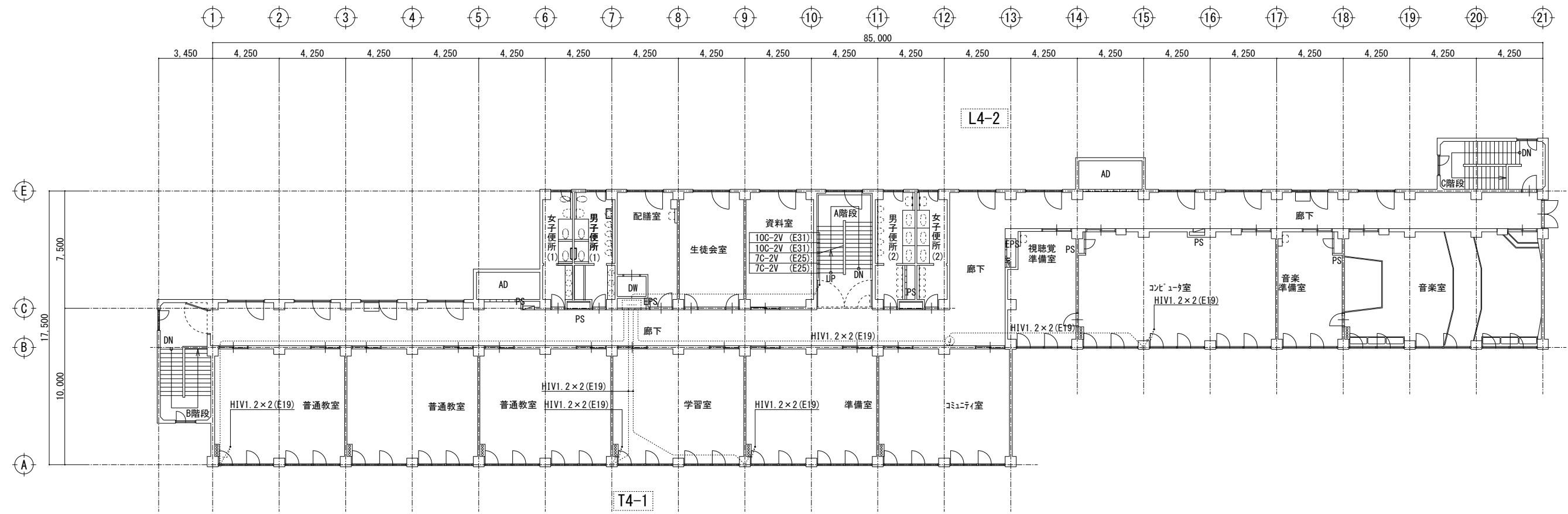
縮尺 A1 : 1/200
A3 : -
設計年月日 2024. 1. 31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 弱電設備 2階平面図



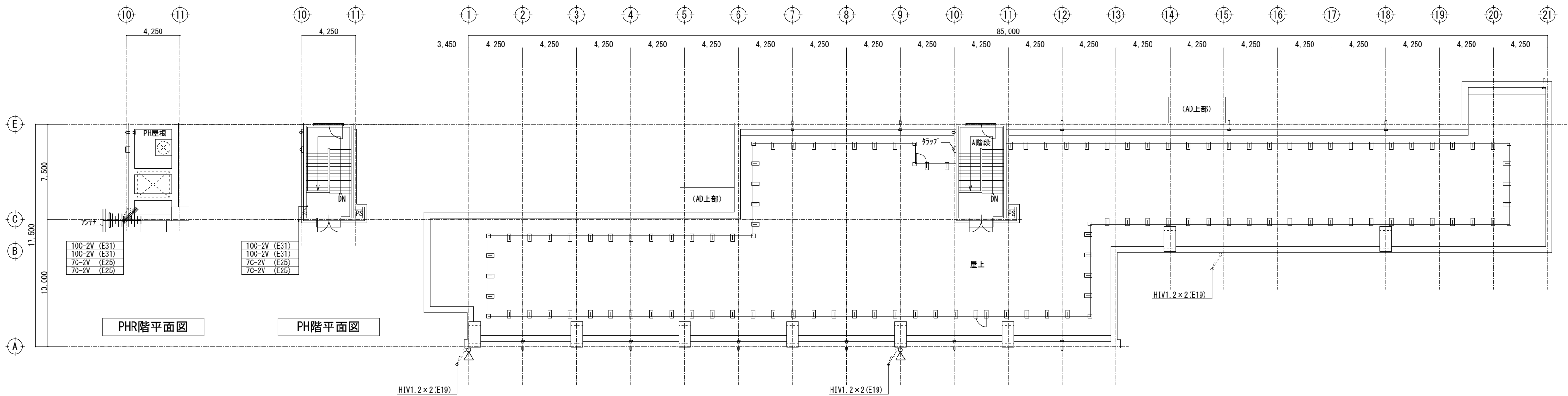
4階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
	端子盤	
	ワイเลสビーカ	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
.....	点線以外は本工事を示す。	



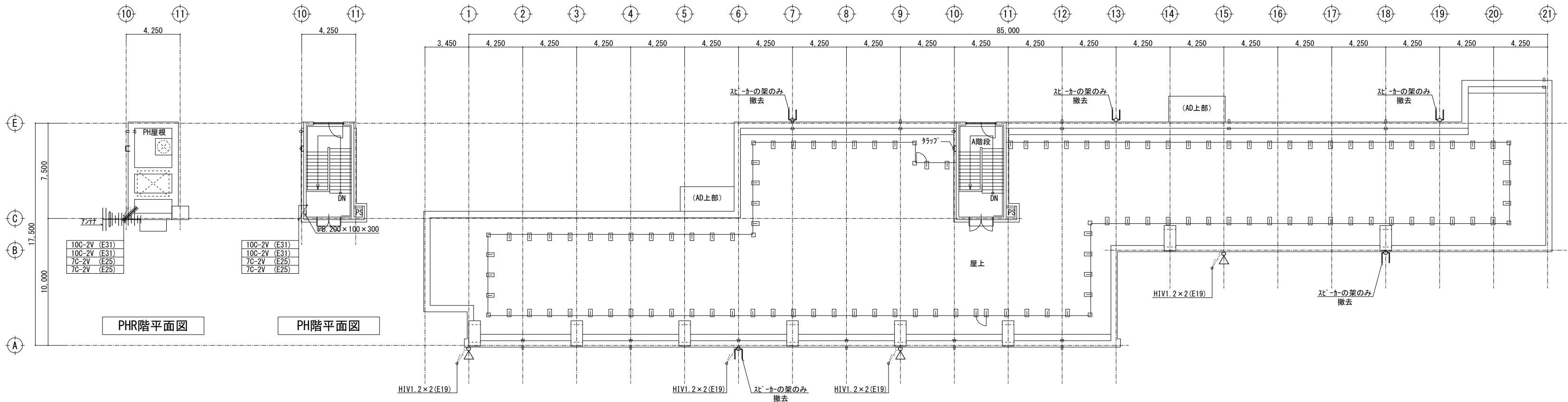
4階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
	端子盤	
	ワイเลสビーカ	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
.....	点線以外は本工事を示す。	



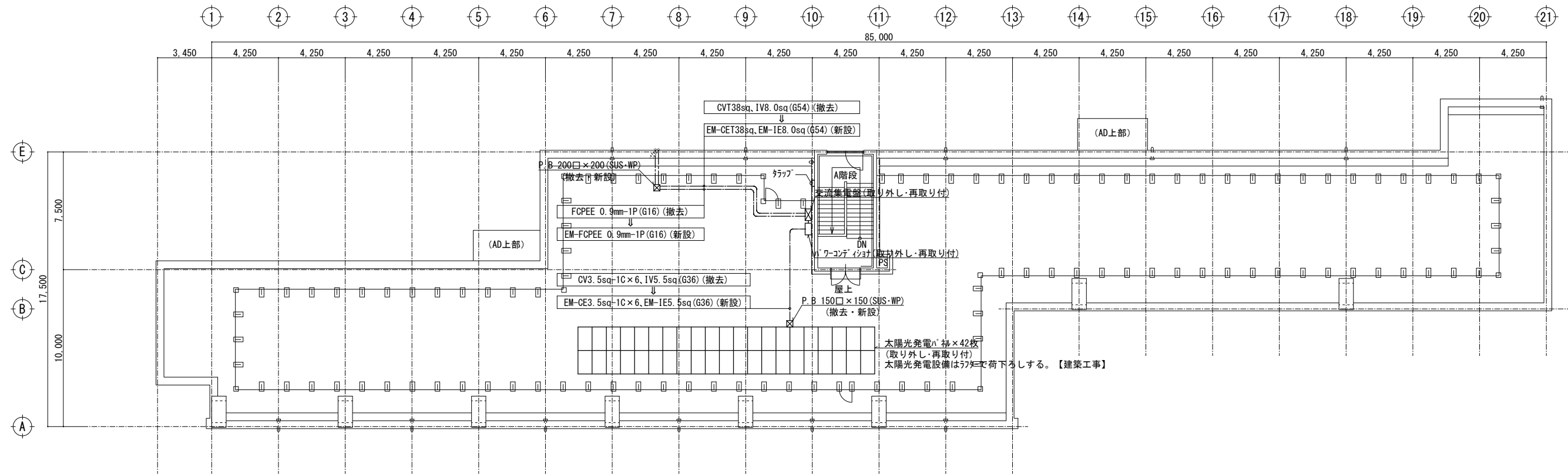
R階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	端子盤	
	ワイド・ゾーンスピーカー	
	防火ベル	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
●	点線以外は本工事を示す。	

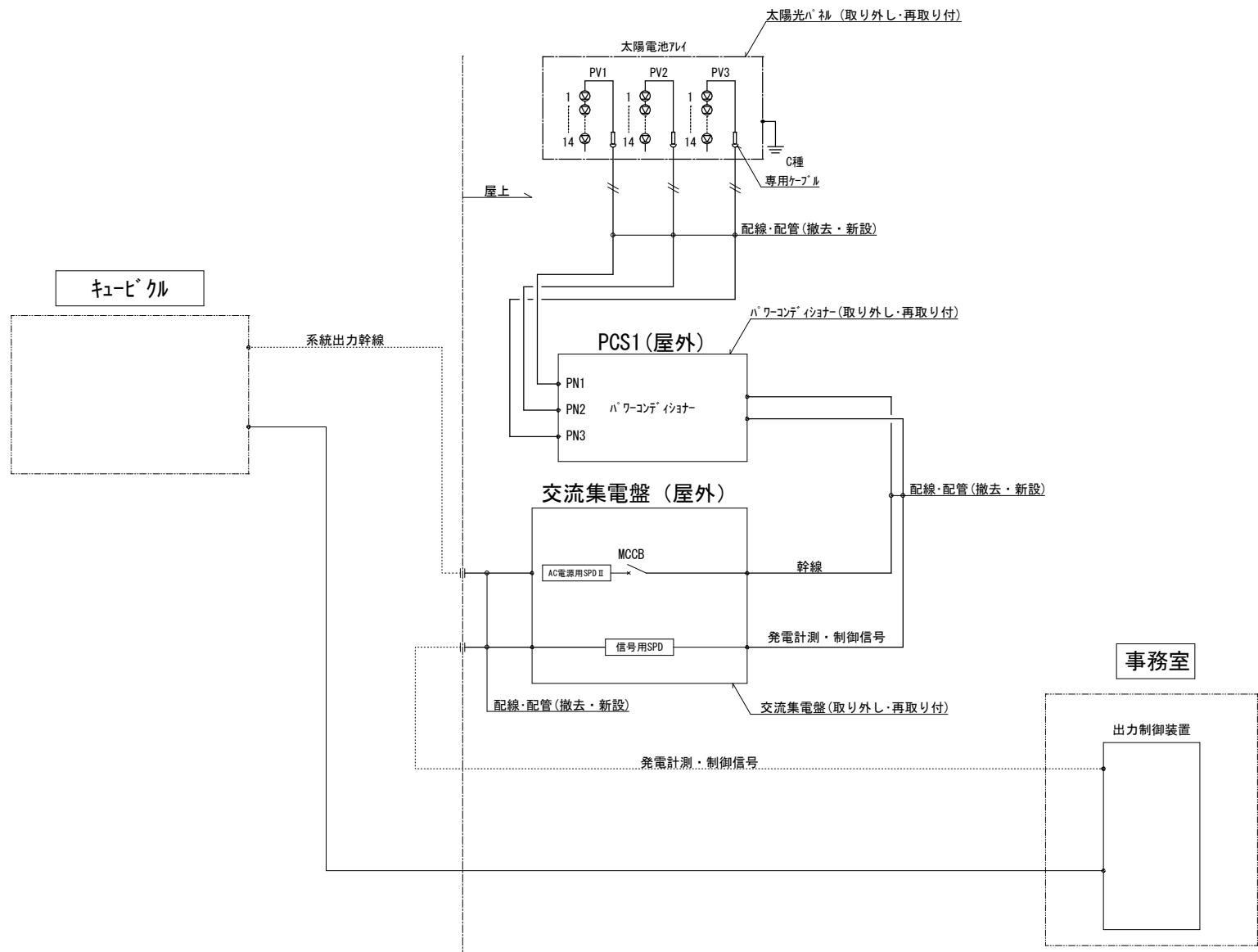


R階平面図

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	端子盤	
	ワイド・ゾーンスピーカー	
	スピーカーの架	
	防火ベル	
.....	点線は既設残置又は別途工事を示す。	
●	点線以外は本工事を示す。	



R階平面図



単線結線図 (太陽光発電設備) (想定)

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榑引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当

縮尺 A1 : 1/200
A3 : -
設計年月日 2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 太陽光発電設備 R階平面図

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1	工事名称	狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
2	工事場所	埼玉県狭山市柏原2520番地11
3	工期	契約日から令和年月日
	現場施工期間	令和年月日から令和年月日

4 建物概要

現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行 令別表第一	備 考
① 校舎	R C	4 階	4,752.09		
②					
③					
④					
⑤					

5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 工事種目		工事種別					
		①	②	③	④	⑤	屋外
○	空気調和設備						
○	換気設備						
○	排煙設備						
○	自動制御設備						
●	衛生器具設備	一 式					
●	給水設備	一 式					
●	排水設備	一 式					
○	給湯設備						
●	消火設備						
○	厨房機器設備						
○	ガス設備						
●	撤去	一 式					

6 指定部分 ※無 ・有
対象部分： 工期：令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2 専任期間の終期
工事完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲 図示のとおり

9 機械設備工事概要
受水槽一式、高置水槽等の更新

埼玉県環境配慮方針の適用項目 (12) (該当項目数：)	・長寿命機材の選定（2-3-③） ・設備更新を踏まえた計画（2-3-④） ・再生品の優先使用（2-3-⑥） ・有害物質の放散量が少ない材料の使用（2-4-②） ・発生材の再資源化を推進（3-1-⑥） ・フロン等の回収、破壊を行う（4-1-①） ・代替フロンの使用抑制（4-1-②） ・新冷媒の採用（4-1-③） ・太陽熱利用システムの導入（5-1-②） ・高効率機器の採用（5-2-②） ・ソーニングの工夫（5-3-①） ・外気冷房制御の導入（5-3-②） ・搬送動力の低減（5-3-③） ・ヒートポンプの採用（5-3-④） ・熱回収システムの導入（5-3-⑤） ・コージェネレーションの導入（5-4-①） ・節水機器の採用（6-1-①） ・雨水利用（6-1-③） ・排水再利用（6-1-④） ・アスコン廃材の再利用（6-3-②） ・再生塩ビ管の採用（6-3-③）
-------------------------------------	---

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。

11 同時期発注の関連工事
・建築工事 ・電気設備工事

II 工事仕様

1 共通仕様
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を採用する。
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2 特記仕様
（1）章は●印の付いたもの、項目は番号に●印の付いたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

項 目		特 記 事 項																																																							
①	機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7aペ 士含有の有無を確認し、7aペ 士を含む機材は、使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 ・置く ・置かない																																																							
2	電気保安技術者																																																								
3	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。																																																							
4	技能士の適用	・配管施工（配管工事） ・建築板金施工（風道制作及び取付け） ・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空調調和機器施工（冷凍空調機器の据付け）																																																							
⑤	機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。																																																							
⑥	監督員事務所	本工事で ・設ける（規模 ） ※設けない																																																							
⑦	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。また、届出にかかる費用は受注者の負担とする。																																																							
⑧	工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などは使用できるものとし、その仮設にかかる費用は、すべて受注者の負担とする。																																																							
⑨	工事用仮設備	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない																																																							
⑩	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ○本工事とする。																																																							
11	残土処分	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。																																																							
12	埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類																																																							
13	再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1棟体の六面クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																																							
⑭	発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は ※本工事 ・別途） （1）引渡しを要するもの（ ） （2）買取処分をするもの（ ） （3）再生資源化を図るもの（ ・硬質塩化ビニル管 ） （4）特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。																																																							
⑮	容量等の表示	（1）機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。																																																							
16	配 管	（1）地中埋設配管（排水管を除く） 1）地中埋設標（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要 2）地中埋設紙（キャッツアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要 3）埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要																																																							
⑰	耐震施工	設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計 ・施工指針2 0 1 4年版」により行う。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度K _h 及び設計用鉛直震度K _v （K _h /2）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 <table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">＜特定の施設＞</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th></th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="2">上層階</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td></tr><tr><td rowspan="2">屋上及び塔屋</td><td><2.0></td><td><1.5></td><td><1.5></td><td>1.0</td></tr><tr><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">中間階</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td></tr><tr><td><1.5></td><td><1.0></td><td><1.0></td><td><0.6></td></tr><tr><td rowspan="2">1階及び地下階</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td></tr><tr><td></td><td><1.5></td><td><1.0></td><td><1.0></td><td><0.6></td></tr></table> （注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < >内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階） 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し） 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器	設置場所	耐震安全性の分類				＜特定の施設＞		一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	2.0	1.5	1.5	1.0	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)	屋上及び塔屋	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0	1.5	1.0	1.0	0.6	中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
設置場所	耐震安全性の分類																																																								
	＜特定の施設＞		一般の施設																																																						
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																					
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0																																																					
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)																																																					
屋上及び塔屋	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0																																																					
	1.5	1.0	1.0	0.6																																																					
中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)																																																					
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																					
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4																																																					
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																					
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																					
⑰-1	あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量1 0 0 k gを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築業あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。																																																							

⑱ 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

空気調和設備工事の保温の種別		
区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
ド レ ン 管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（ハ）・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・（ハ）・Ⅶ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・（ロ）・Ⅶ
	浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
蒸 気 管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・（イ）・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B・（イ）・Ⅱ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・（ロ）・Ⅱ
	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	D・（ロ）・Ⅱ E3・（イ）・Ⅱ
冷水・冷温水管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・（ハ）・Ⅲ
	機械室、書庫、倉庫	B・（ハ）・Ⅲ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C1・（イ）・Ⅲ
	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	D・（ハ）・Ⅲ E3・（ハ）・Ⅲ
温 水 管 （膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・（イ）・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・（ロ）・Ⅰ
	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	D・（ロ）・Ⅰ E3・（イ）・Ⅰ

(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。

屋内露出部 ※保温化粧カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ銅板製 ・SUS製）

屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング

・保温化粧カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ銅板製 ・SUS製）

2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。

3. 機器類の保温材の種別は、（※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材）とする。

ダクトの保温の種別

区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
長 方 形 ダ ク ト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・（イ）・XⅠ
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・（イ）・XⅠ
	屋内隠ぺい、D S内	I・（ロ）・XⅠ
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	K3・（イ）・XⅠ
円 形 ダ ク ト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・（イ）・XⅠ
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・（イ）・XⅠ
	屋内隠ぺい、D S内	N・（ロ）・XⅠ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	P3・（イ）・XⅠ
消音内貼り	サブライチャンパー	M・（ロ）・Ⅸ
	消音チャンパー・消音エルボ	L・（ロ）・Ⅸ

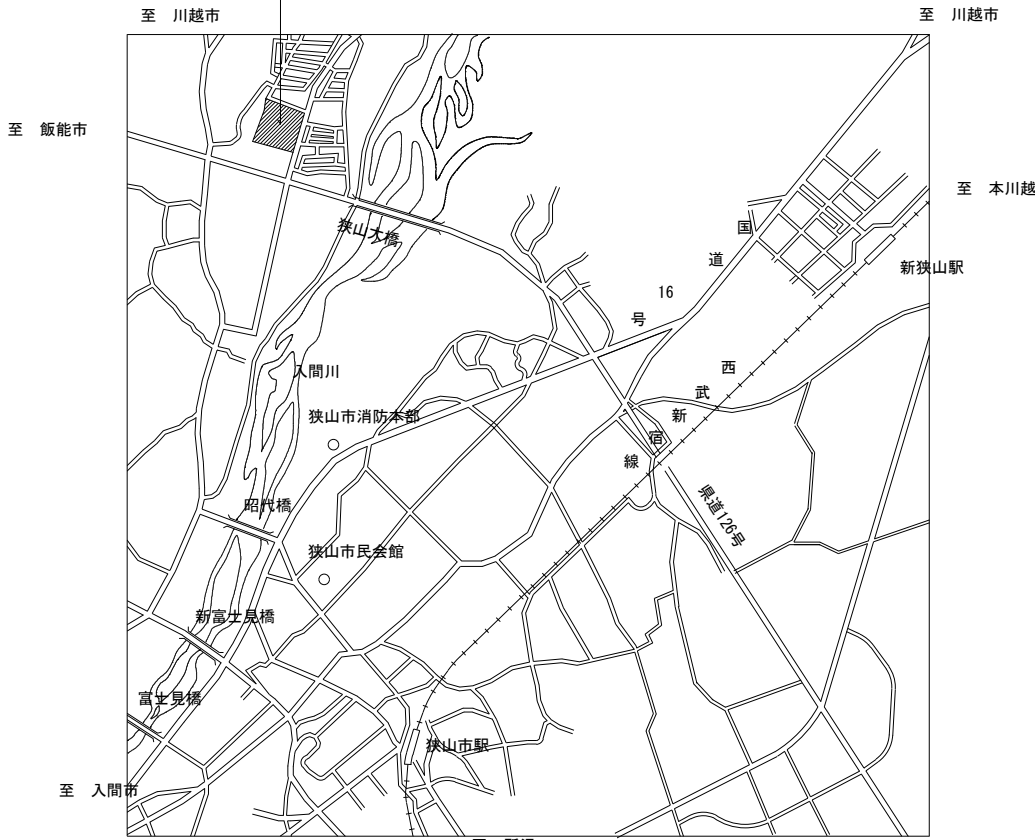
給排水衛生設備工事の保温の種別

区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
給 水 管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（ハ）・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・（ハ）・Ⅶ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
排水及び通気管	県営住宅P S内	c2・（ハ）・Ⅶ
	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	—
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
排水及び通気管	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（ハ）・Ⅶ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・（イ）・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・（イ）・Ⅰ
	天井内	c2・（ロ）・Ⅰ
	P S内及び空隙壁中	d・（ロ）・Ⅰ
排水及び通気管	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・（イ）・Ⅰ
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・（ロ）・Ⅶ
給 湯 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボイラー等への補給 水管を含む。）	P S内及び空隙壁中	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</	

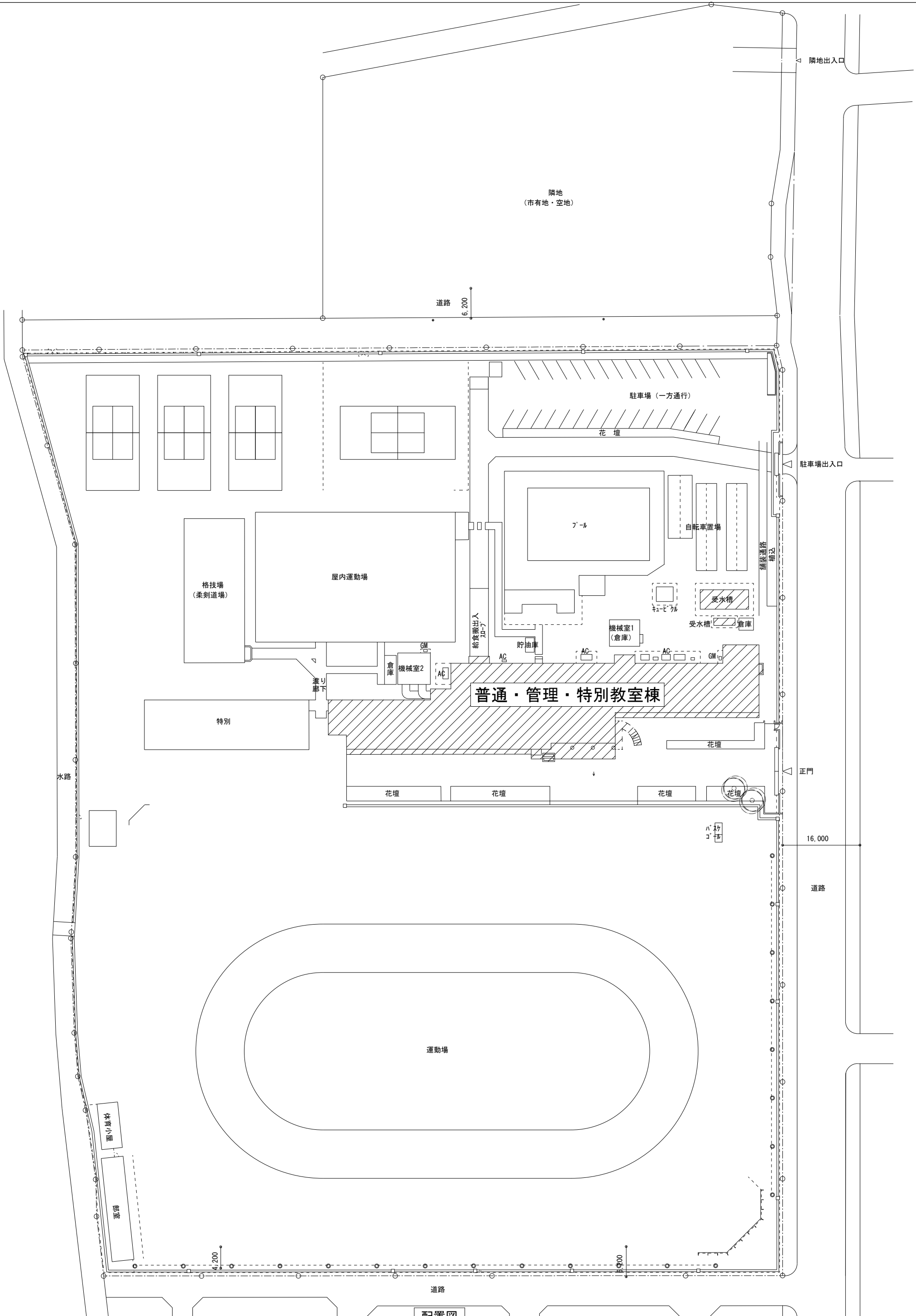
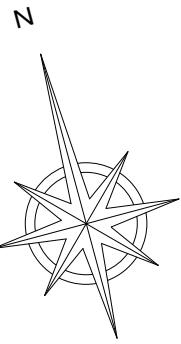
[illegible]



工事建物：狭山市立柏原中学校外壁等改修工事
工事場所：埼玉県狭山市柏原2520番地11



案内図



凡例

記号	名称	配管材料（改修後）	配管材料（改修前）	規格
---	揚水管	一般：φ127管 屋外：SUS管（SUS拡管式） 埋設：HVP管	水道用塩ビライン管 鋼管	
---	給水管	一般：φ127管 屋外：SUS管（SUS拡管式） 埋設：HVP管	-	
---	給湯管	水道用銅管（φ47）	水道用銅管（φ47）	JWWA-H-101
---	給湯管	配管用炭素鋼鋼管（白）	配管用炭素鋼鋼管（白）	JIS-G-3452
---	消火栓管	-	-	JIS-G-3442
---	汚水管	硬質塩化ビニル管（一般管VP）	排水用鍍鉄管	JIS-G-5525
---	排水管	-	配管用炭素鋼鋼管（白）	JIS-G-3452
---	通気管	-	-	
▽	仕切弁	呼び径50mm以下径 込・65mm以上フランジ 形 ・水道直結部力が消火系統はJIS10K	呼び径50mm以下径 込・65mm以上フランジ 形 ・水道直結部力が消火系統はJIS10K	
▽	逆止弁	-	-	
▽	防振継手	ステンレス製	ステンレス製	
▽	地中埋設弁	鍍鉄製弁類共	鍍鉄製弁類共	
▽	給水栓	-	-	
▽	流山排水金物	-	-	
▽	床排水金物	-	-	
▽	床上掃除口	-	-	
▽	通気金物	埋込型	埋込型	
▽	汚水樹	インポート樹	インポート樹	

特記仕様書の配管材料：
1. 排水管の防火区画貫通部は耐火VP使用

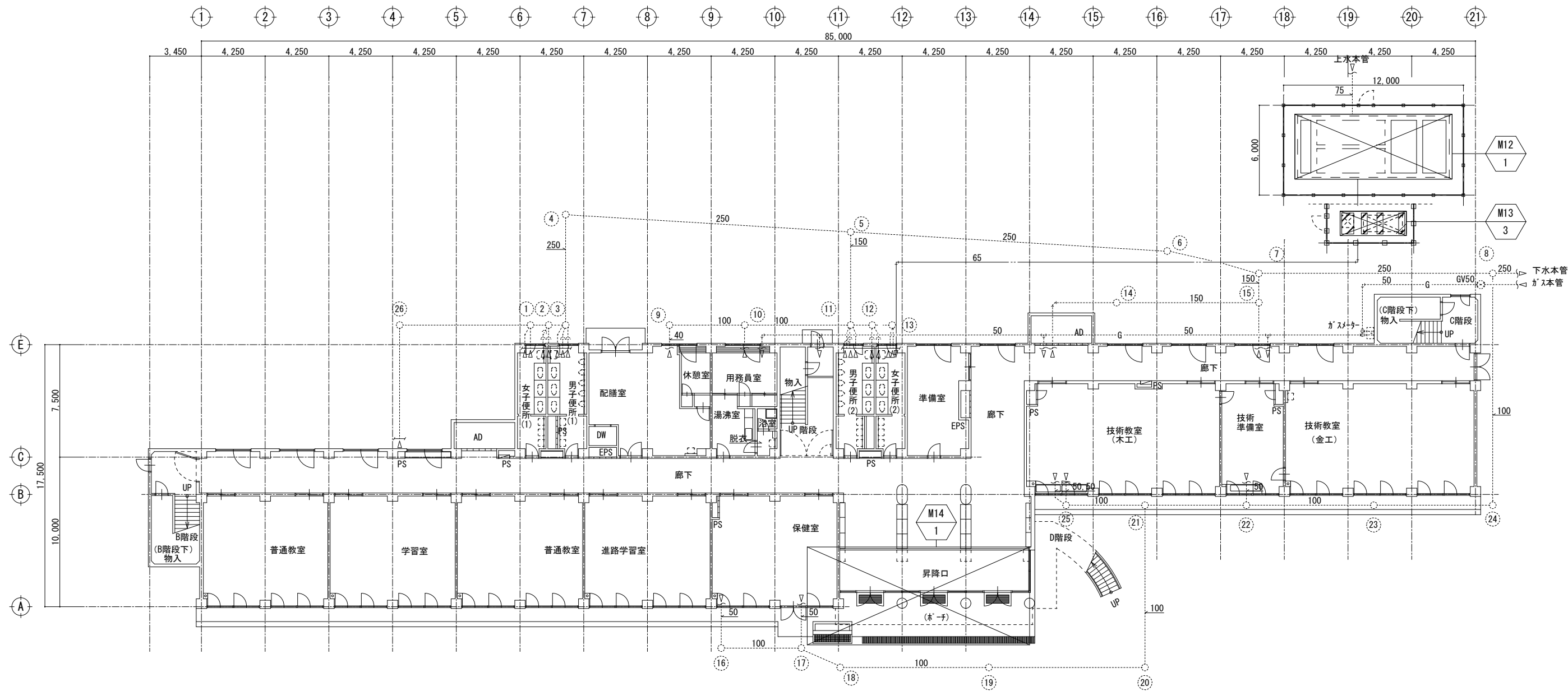
凡例： は、工事建物を示す。

配置図

（有）桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

縮尺 A1：1/500
A3：-
設計年月日 2024.1.31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 案内図、配置図



外構図

排水樹リスト

記号	樹 名 称	樹 種 類	管径-樹径	GL	樹深さ		樹 型 式	マ ン ホ ー ル	残置or新設	
					BL- 【mm】	管底 【mm】			残置	新設
①	汚水樹	鉄筋製中耐重70×4安	250 - 500φ	±0.00		920	90° 合流 90Y	鉄筋製中耐重70×4安	○	
②	"	"	250 - 500φ	±0.00		940	90° 合流 90Y	"	○	
③	"	"	250 - 500φ	±0.00		980	90° 合流 90Y	"	○	
④	"	"	250 - 600φ	±0.00		1,150	90° 合流 90L	"	○	
⑤	"	"	250 - 600φ	±0.00		1,340	90° 合流 90Y	"	○	
⑥	"	"	250 - 600φ	±0.00		1,580	ST	"	○	
⑦	"	"	250 - 600φ	±0.00		1,630	90° 合流 90Y	"	○	
⑧	"	"	250 - 900φ	±0.00		1,670	90° 合流 90Y	"	○	
⑨	"	"	100 - 400φ	±0.00		660	90° 合流 90L	"	○	
⑩	"	"	100 - 500φ	±0.00		1,880	90° 合流 90Y	"	○	
⑪	"	"	150 - 500φ	±0.00		1,990	90° 合流 90Y	"	○	
⑫	"	"	100 - 500φ	±0.00		970	90° 合流 90Y	"	○	
⑬	"	"	100 - 500φ	±0.00		950	90° 合流 90Y	"	○	
⑭	"	"	150 - 500φ	±0.00		890	ST	"	○	
⑮	汚水樹	鉄筋製中耐重70×4安	150 - 500φ	±0.00		920	90° 合流 90L	鉄筋製中耐重70×4安	○	
⑯	"	"	100 - 500φ	±0.00		950	90° 合流 90L	"	○	

記号	樹 名 称	樹 種 類	管径-樹径	GL	樹深さ		樹 型 式	マ ン ホ ー ル	残置or新設	
					BL- 【mm】	管底 【mm】			残置	新設
⑰	汚水樹	鉄筋製中耐重70×4安	100 - 500φ	±0.00		1,020	90° 合流 90Y	鉄筋製中耐重70×4安	○	
⑱	"	"	100 - 500φ	±0.00		1,040	90° 合流 90L	"	○	
⑲	"	"	100 - 500φ	±0.00		1,120	ST	"	○	
⑳	"	"	100 - 500φ	±0.00		1,100	90° 合流 90L	"	○	
㉑	"	"	100 - 500φ	±0.00		1,090	90° 合流 90Y	"	○	
㉒	汚水樹	鉄筋製中耐重70×4安	100 - 500φ	±0.00		1,160	90° 合流 90Y	"	○	
㉓	"	"	100 - 600φ	±0.00		1,170	ST	"	○	
㉔	"	"	100 - 600φ	±0.00		1,200	90° 合流 90L	"	○	
㉕	"	"	100 - 500φ	±0.00		870	90° 合流 90Y	"	○	
㉖	"	"	100 - 500φ	±0.00		600	90° 合流 90Y	"	○	

注) 1. 設計基準管底は設計GL=±0を基準とする。
注) 2. 樹深さは参考とし現場調整をする。
注) 3. 屋外、汚水管の勾配は 100A-2.0/100、125A-1.7/100、150A-1.5/100 とする。
注) 4. 樹内スリーブは20mmとする。
注) 5. 200φは小口径埋込とする。(樹内スリーブは10mm)
注) 6. 重荷重蓋はDタイプとする。

凡例

———	実線は新設を示す
.....	点線は既存残置を示す
.....I.....	既設配管に接続を示す
———	給水配管
———	排水配管
———G———	給水配管
———C———	排水配管
———V———	通気配管

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当

縮尺 A1: 1/200
A3: -
設計年月日 2024. 1. 31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 外構図

衛生設備 機器表		【新設】									
記号	機器名	機器仕様	電源 (50Hz)			台数	設置場所		備考		
			φ	V	消費電力 kW		設置階	室名			
TW 1	受水槽	型 式 : FRP水槽 有効容量 : 34m³ 寸 法 : 4,000×4,000×2,500H 耐 震 : 1.0 G 付 属 品 : マンホ-Ⅱ、内外梯子、電極棒配付座、通気口 (ステンレス製防虫網付)、 その他一式、標準付属品一式	-	-	-	1	1階	屋外			
TW 2	高置水槽	型 式 : FRP水槽 有効容量 : 6.8m³ 寸 法 : 2,000×2,000×2,000H 耐 震 : 1.5 G 付 属 品 : マンホ-Ⅱ、内外梯子、電極棒配付座、通気口 (ステンレス製防虫網付)、 その他一式、標準付属品一式	-	-	-	1	PH階	屋上			
TW 3	受水槽 (散水専用)	型 式 : FRP水槽 有効容量 : 4m³ 寸 法 : 2,500×1,000×2,000H 耐 震 : 1.0 G 付 属 品 : マンホ-Ⅱ、内外梯子、電極棒配付座、通気口 (ステンレス製防虫網付)、 その他一式、標準付属品一式	-	-	-	1	1階	屋外			
TX 1	消火水槽	型 式 : FRP水槽 有効容量 : 8m³ 寸 法 : 1,000×4,000×2,500H 耐 震 : 1.0 G 付 属 品 : マンホ-Ⅱ、内外梯子、電極棒配付座、通気口 (ステンレス製防虫網付)、 その他一式、コンクリート基礎台500H、標準付属品一式	-	-	-	1	1階	屋外			
TX 2	消火用補給水槽	型 式 : FRP水槽 有効容量 : 1m³ 寸 法 : 1,000×1,000×1,000H 耐 震 : 1.5 G 付 属 品 : マンホ-Ⅱ、更替棒取付座、通気口 (ステンレス製防虫網付)、 標準付属品一式	-	-	-	1	PH階	屋上			
PCW 1	揚水ポンプ	型 式 : 多段ポンプ 能 力 : 65φ×320L/min×31mAq 寸 法 : 1,031×300×445H 重 量 : 166.0 kg 付 属 品 : 自動支互運転、防振架台、標準付属品一式	3	200	3.7	2	1階	ポンプ室	参考型番 : 65MS353.7B (荏原製作所)		
PCW 2	揚水ポンプ (散水専用)	型 式 : 定圧給水ユニット 能 力 : 50φ×400L/min×45.0m 寸 法 : 1,070×612×840mmH 重 量 : 228.0kg 付 属 品 : 自動支互運転、防振架台、標準付属品一式	3	200	5.5	1台	1階	屋外	参考型番 : 50BORME55.5 (荏原製作所)		
PX 1	屋内消火栓ポンプ	型 式 : エレクトリク 能 力 : 65φ×300L/min×60mAq 寸 法 : 700×400×1,127mmH 重 量 : 192.0kg 付 属 品 : 呼水槽100L、流量試験装置、水温上昇防止用遠し配管、 圧力計、連成計その他一式消防法適合品、制御盤 コンクリート基礎台300H、標準付属品一式	3	200	7.5	1	1階	ポンプ室	参考型番 : 65MEFL357.5 (荏原製作所)		

衛生設備 機器表		【撤去】									
記号	機器名	機器仕様	電源 (50Hz)			台数	設置場所		備考		
			φ	V	消費電力 kW		設置階	室名			
TW R1	受水槽	型 式 : 銅板製ポンプ 有効容量 : 34m³ 寸 法 : 4,000×4,000×2,500H 耐 震 : 0.6 G 質量 : 1,780kg (参考)	-	-	-	1	1階	屋外			
TW R2	高置水槽	型 式 : 銅板製ポンプ 有効容量 : 6.8m³ 寸 法 : 2,000×2,000×2,000H 耐 震 : 1.0 G	-	-	-	1	PH階	屋上			
TW R3	受水槽 (散水専用)	型 式 : 銅板製ポンプ 有効容量 : 4m³ 寸 法 : 2,500×1,000×2,000H 耐 震 : 1.0 G	-	-	-	1	1階	屋外			
TX R1	消火水槽	型 式 : 銅板製ポンプ 有効容量 : 8m³ 寸 法 : 1,000×4,000×2,500H 耐 震 : 0.6 G 質量 : 540kg (参考)	-	-	-	1	1階	屋外			
TX R2	消火用補給水槽	型 式 : 銅板製ポンプ 有効容量 : 1m³ 寸 法 : 1,000×1,000×1,000H 耐 震 : 1.0 G 質量 : 120kg (参考)	-	-	-	1	PH階	屋上			
PCW R1	揚水ポンプ	型 式 : 多段ポンプ 能 力 : 65φ×320L/min×31mAq 寸 法 : 1,071×326×455H 重 量 : 168.0 kg	3	200	3.7	2	1階	ポンプ室	型番 : M型 M65-Ⅲ-2 (ヤマ)		
PCW R2	揚水ポンプ (散水専用)	型 式 : 小型給水ユニットポンプ 能 力 : 50φ×300L/min×35.0m 寸 法 : 680×520×520mmH 重 量 : 85.0kg	3	200	5.5	1台	1階	屋外	型番 : BOXF-2W-5.5 (ヤマ)		
PX R1	屋内消火栓ポンプ	型 式 : エレクトリク 能 力 : 65φ×300L/min×60mAq 寸 法 : 700×400×1,127mmH 重 量 : 192.0kg	3	200	7.5	1	1階	ポンプ室	型番 : MF型 M65-V-2 (KYOKUTO)		

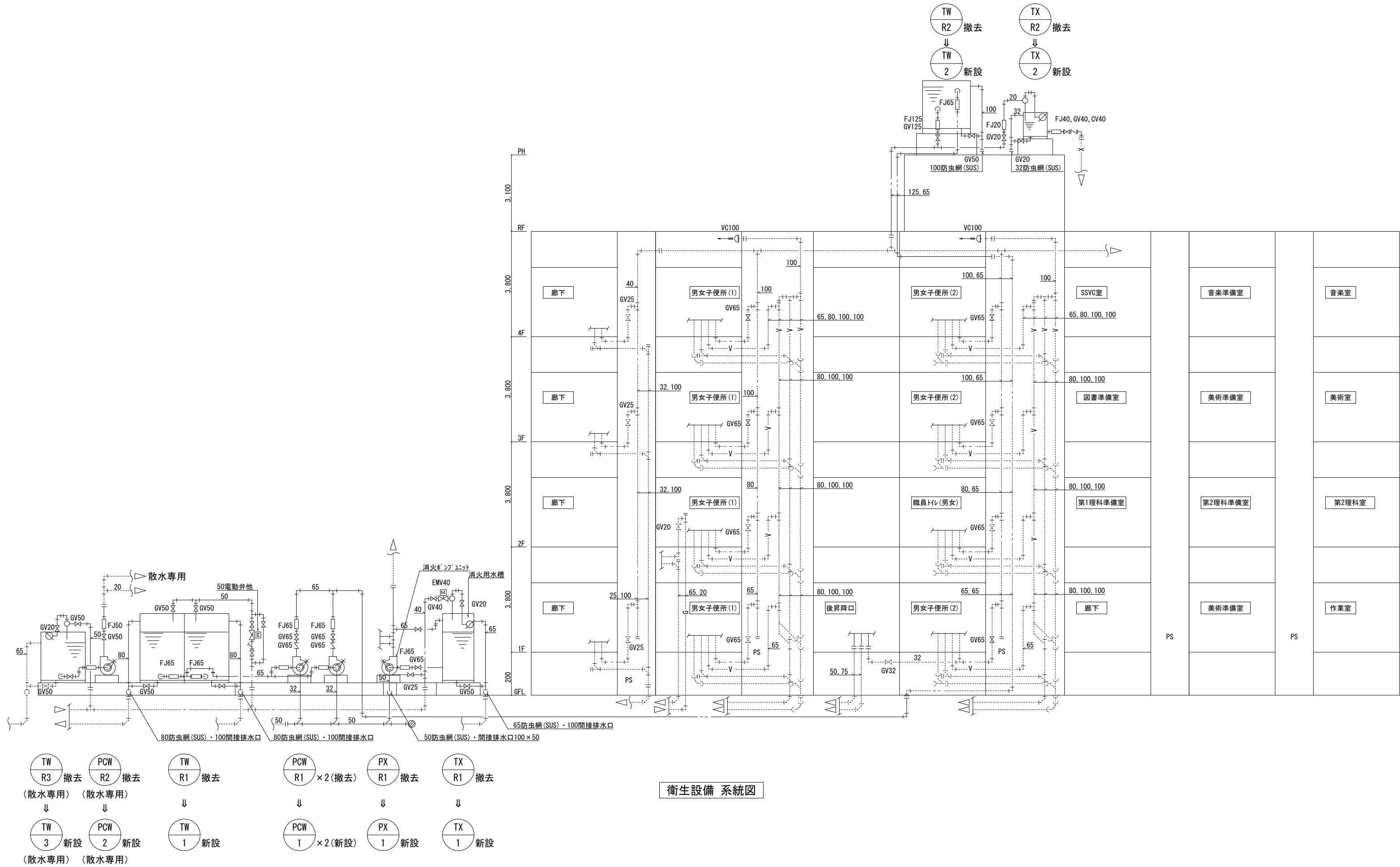
衛生設備 器具表 【新設】

器具名	型番・主要付属品	消費電力 (W)	合 計	1階		3階		4階		備考
				昇降口						
単水栓	TL19(自閉式横水栓 13A)	一	9	9						

※型番は参考型番の為、採用メーカーの機器承諾図提出の上、監督員の承諾を受け発注のこと。

衛生設備 器具表 【撤去】

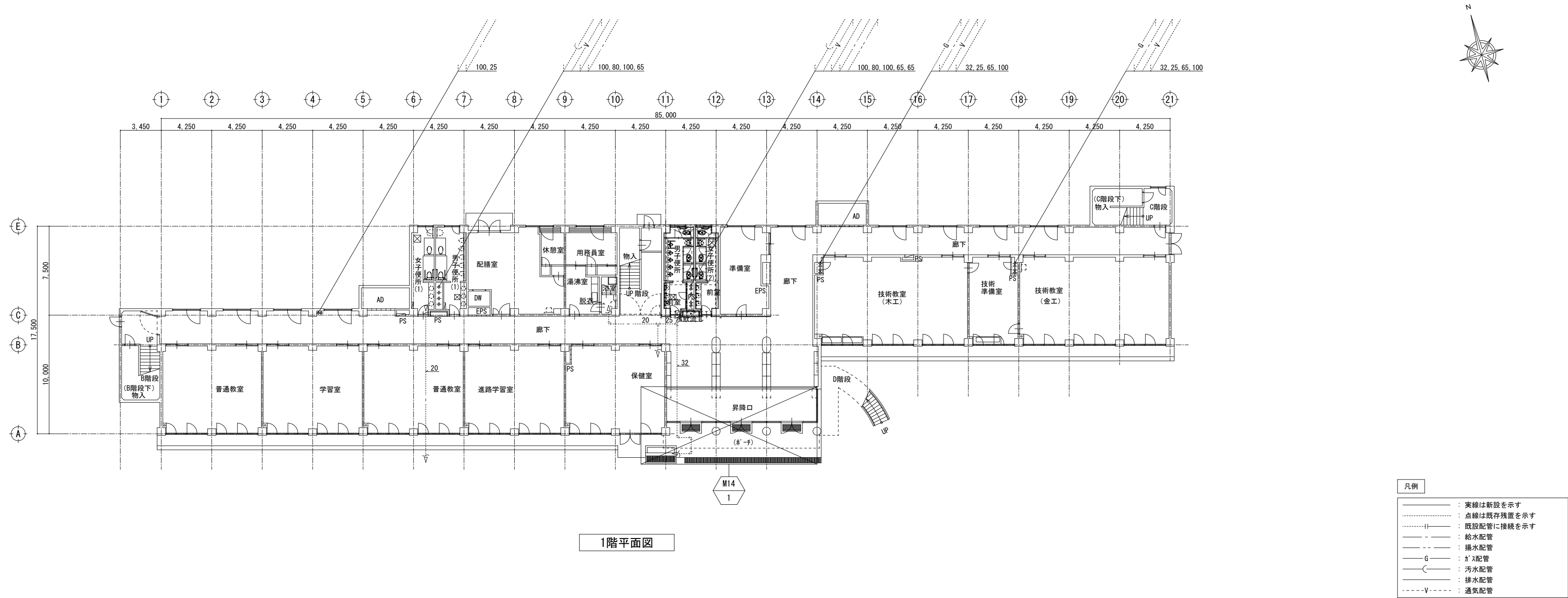
器具名	型番・主要付属品	消費電力 (W)	合 計	1階		3階		4階		備考
				昇降口						
単水栓	T200ESNR13C	—	9	9						



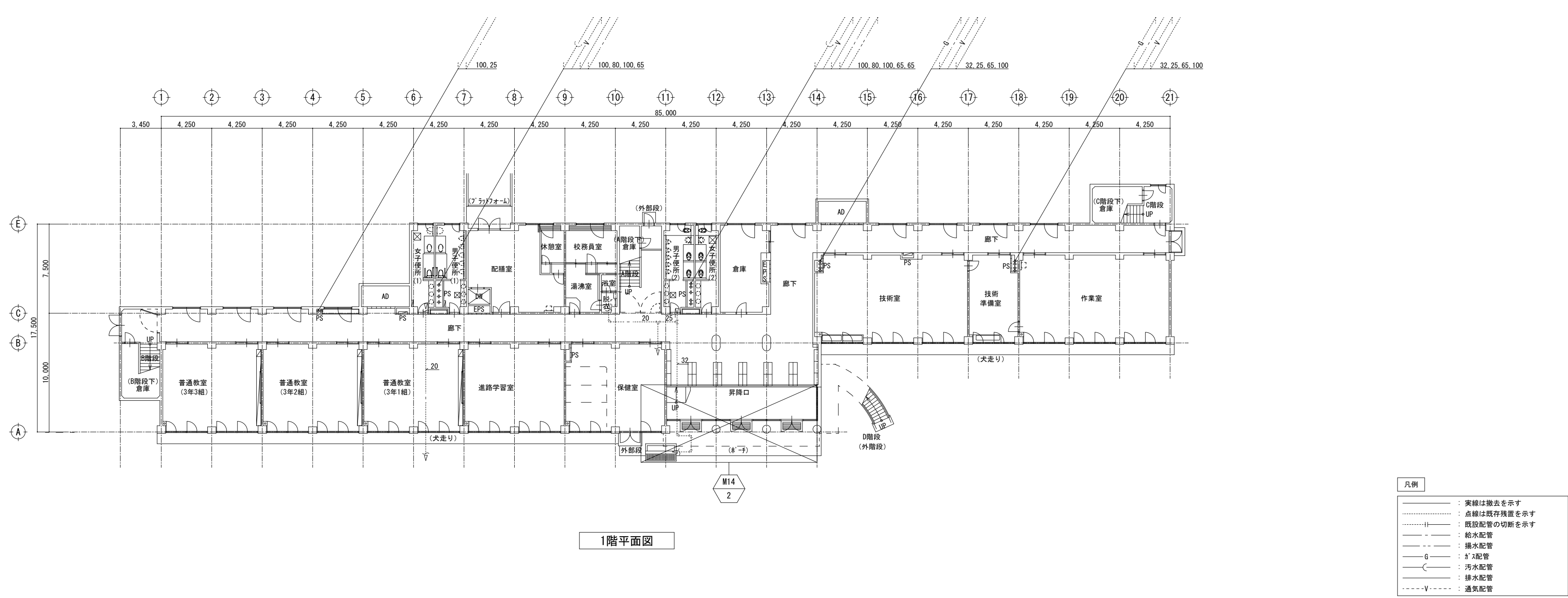
- 凡例
- : 実線は新設を示す
 - : 点線は既存残置を示す
 -()..... : 既設配管に接続を示す
 - — — : 給水配管
 - — — — — : 排水配管
 - — — — — : 排水配管
 - — — — — : 通気配管
 - G — : ガス配管
 - X — : 消火配管

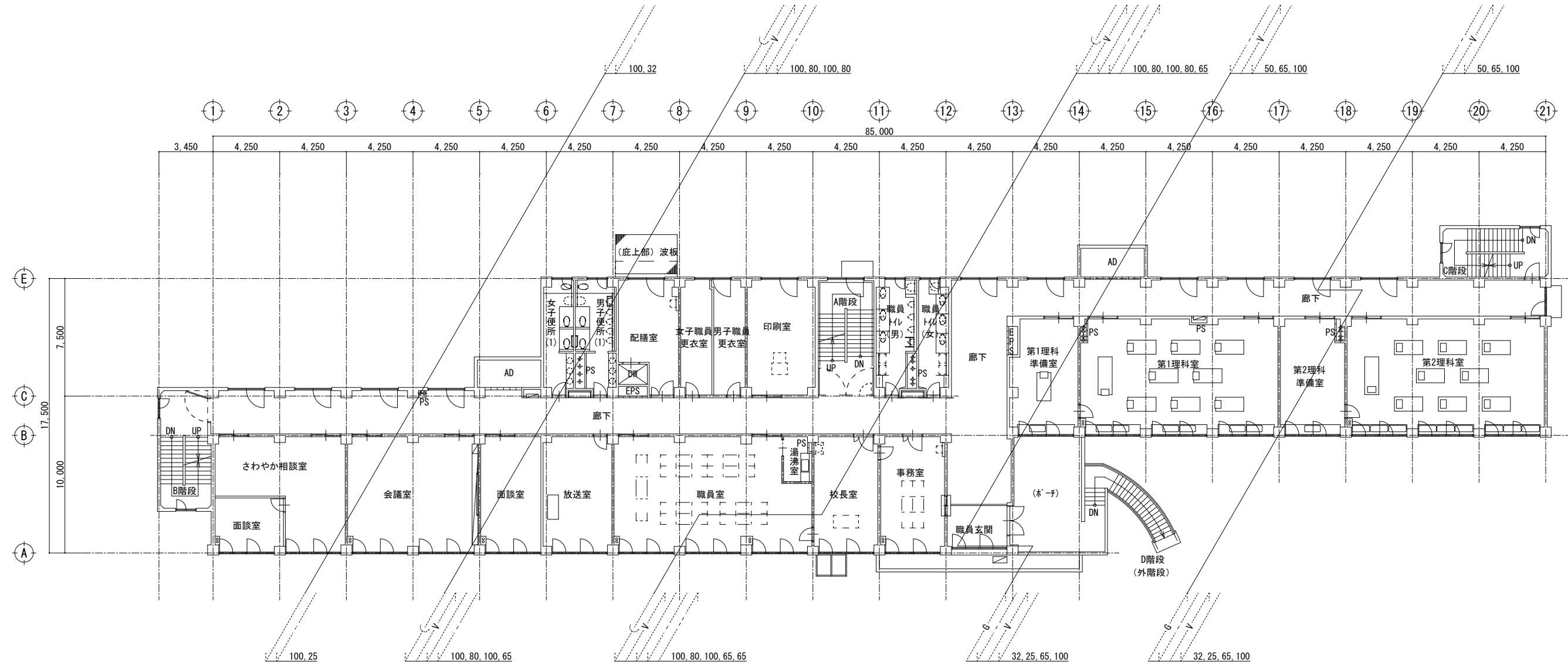
衛生設備 系統図

改修後



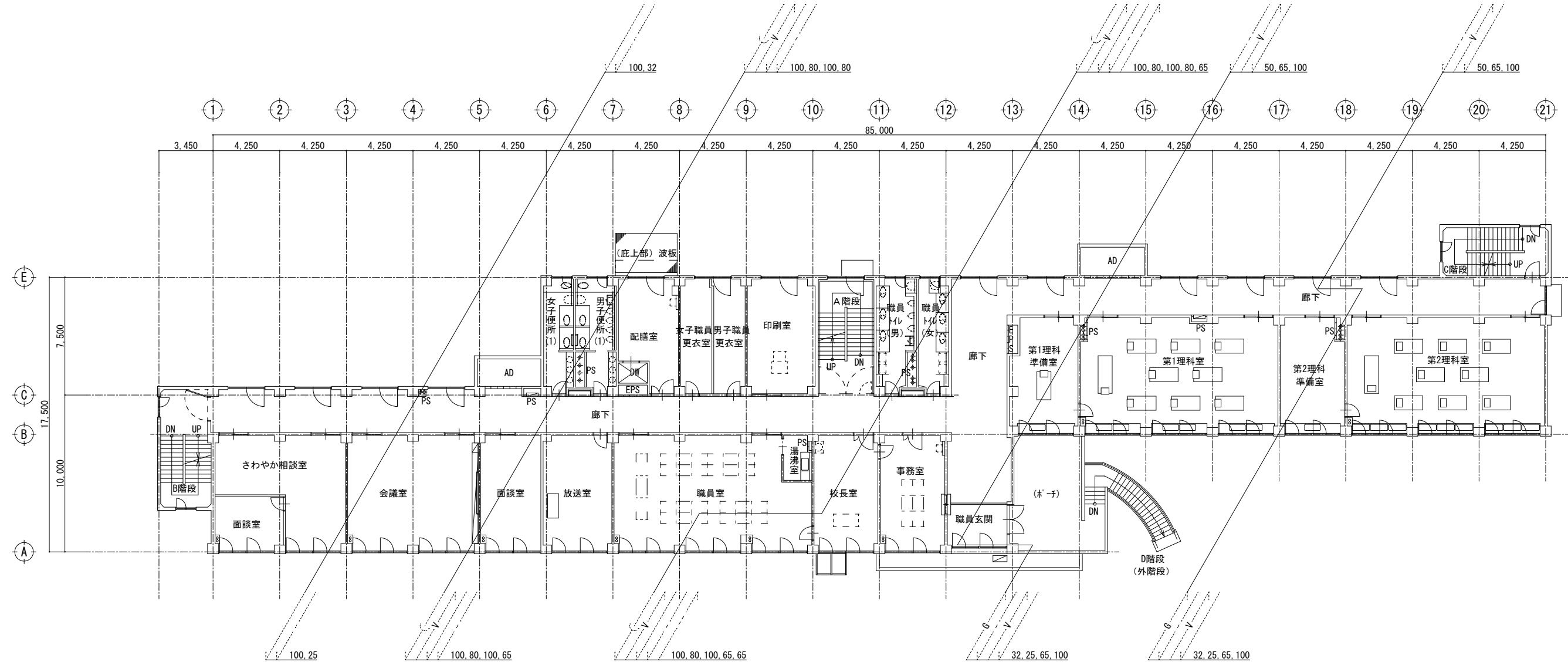
改修前





2階平面図

凡例	
	実線は新設を示す
	点線は既存残置を示す
	既設配管に接続を示す
	給水配管
	排水配管
	ガス配管
	汚水配管
	排水配管
	通気配管



2階平面図

凡例	
	実線は撤去を示す
	点線は既存残置を示す
	既設配管の切断を示す
	給水配管
	排水配管
	ガス配管
	汚水配管
	排水配管
	通気配管

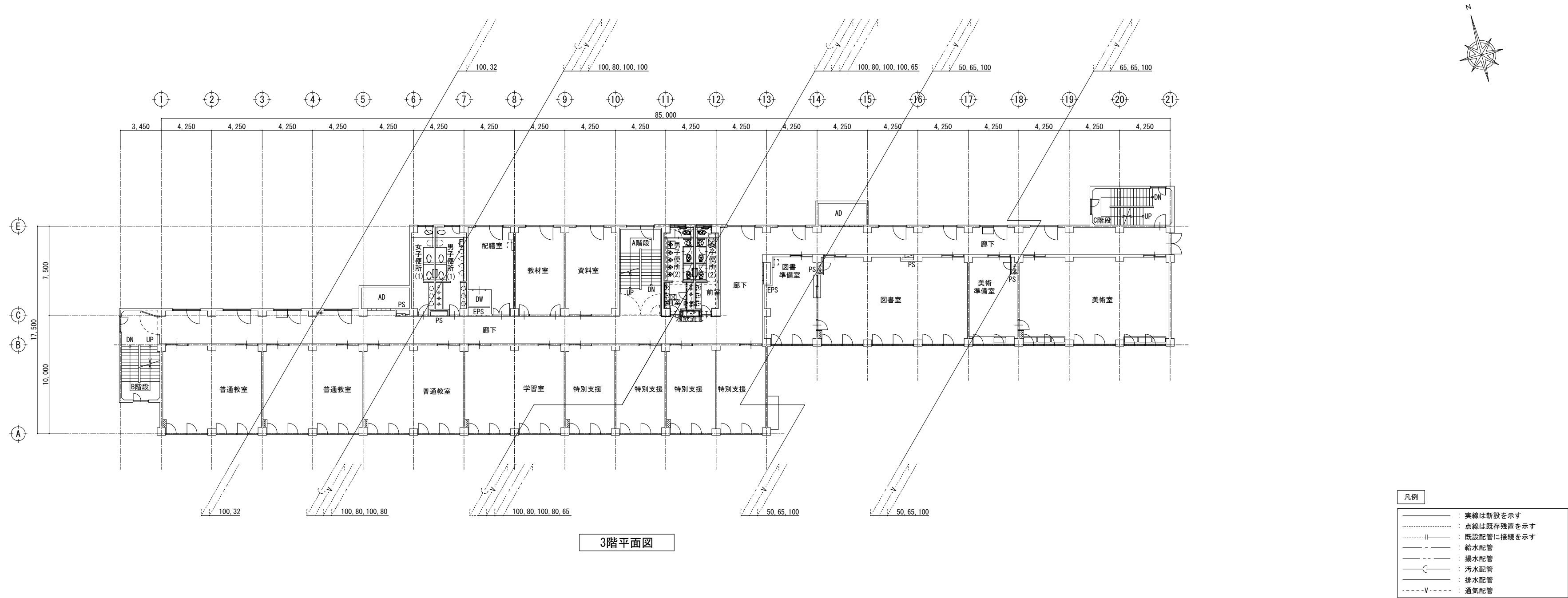
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当

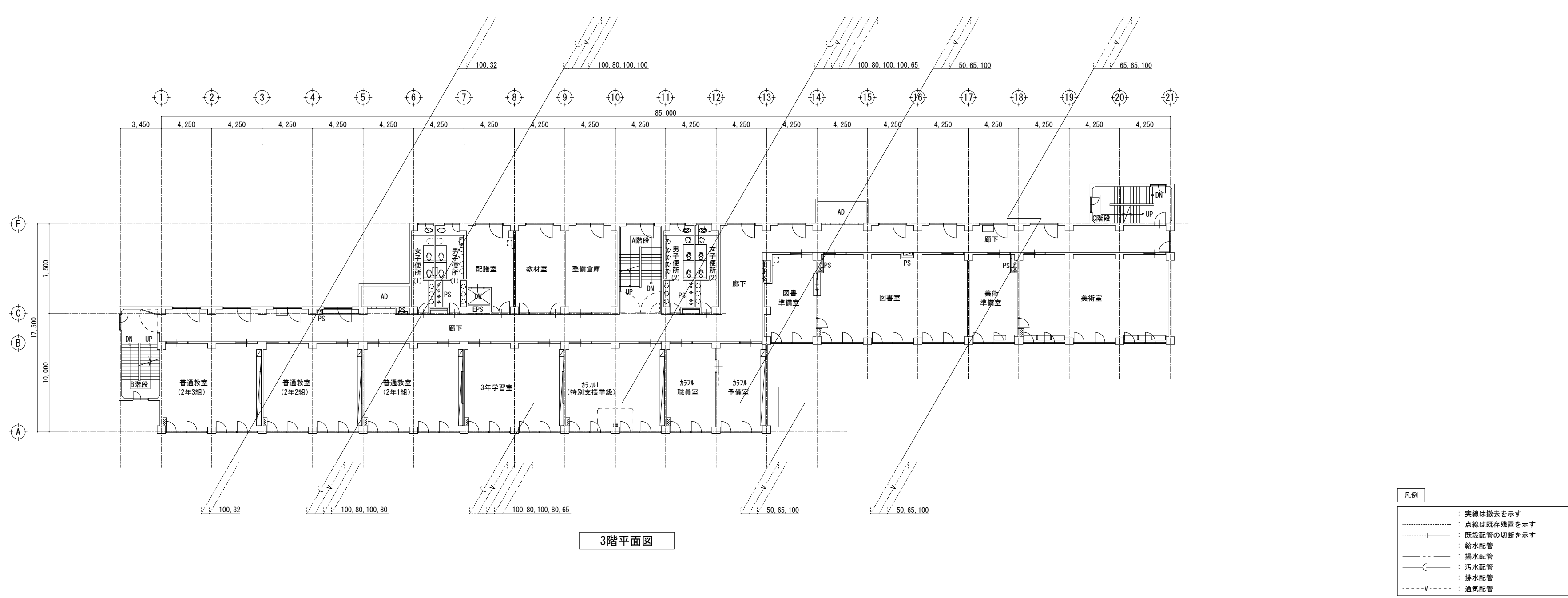
縮尺 A1 : 1/200
A3 : -
設計年月日 2024. 1. 31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 衛生設備 2階平面図【改修】

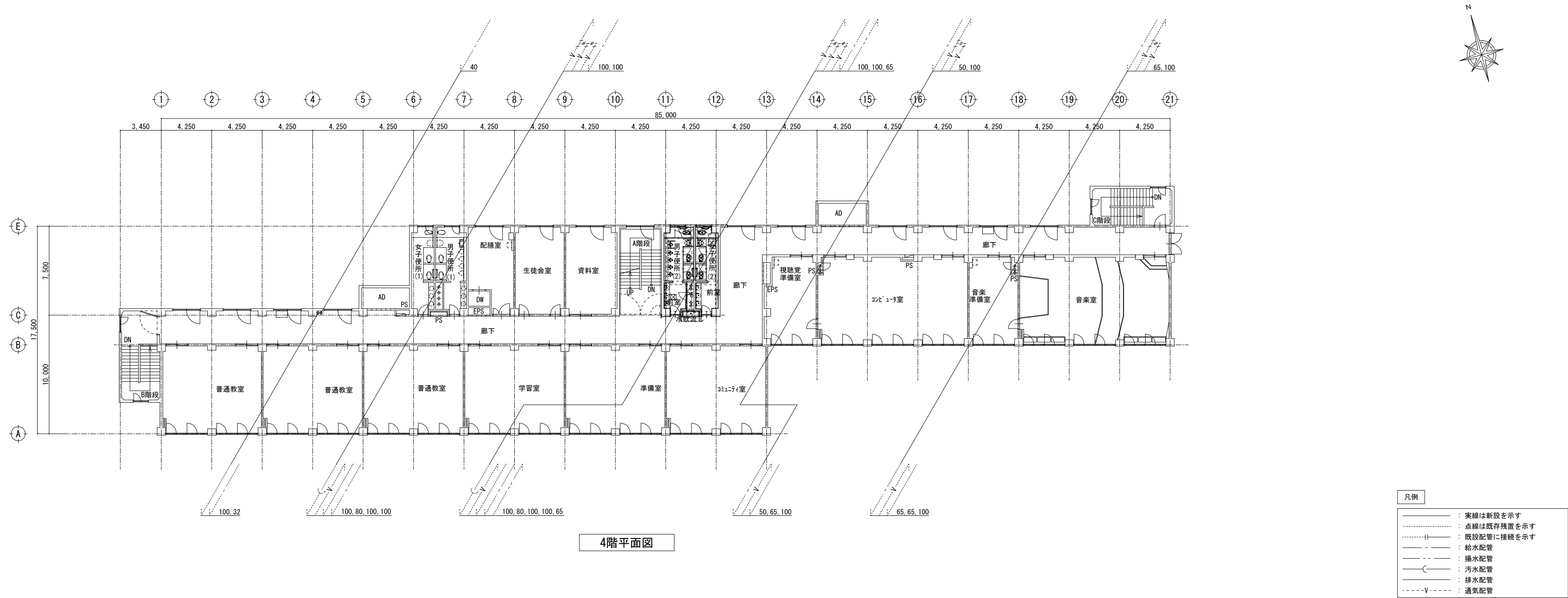
改修後



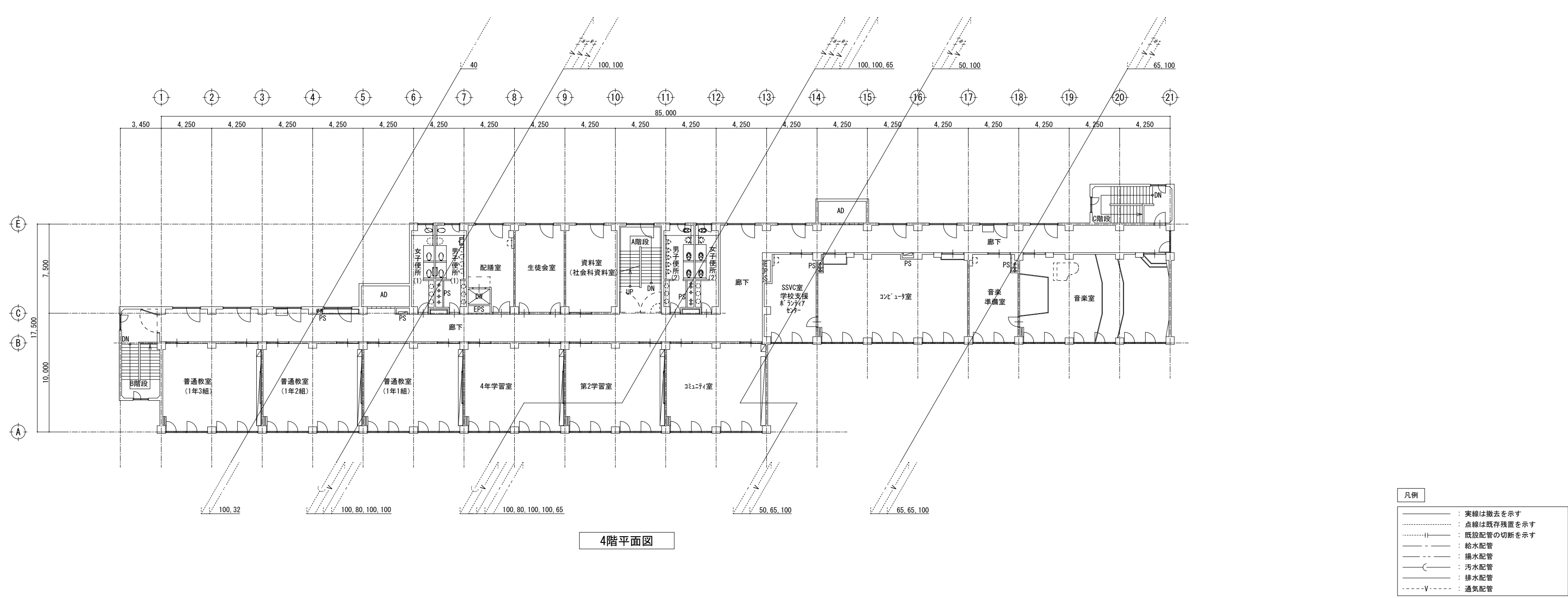
改修前



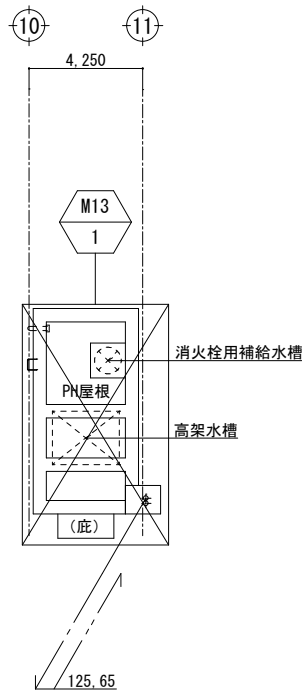
改修後



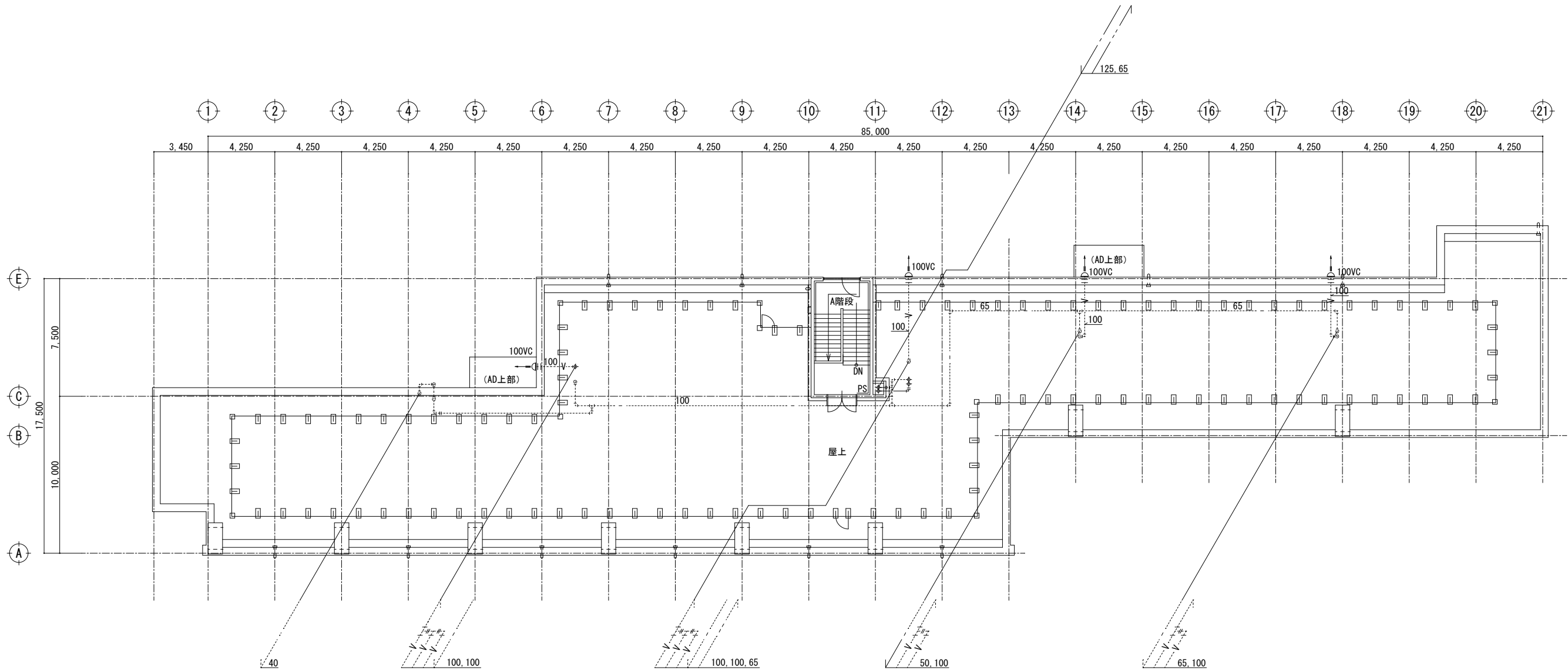
改修前



改修後



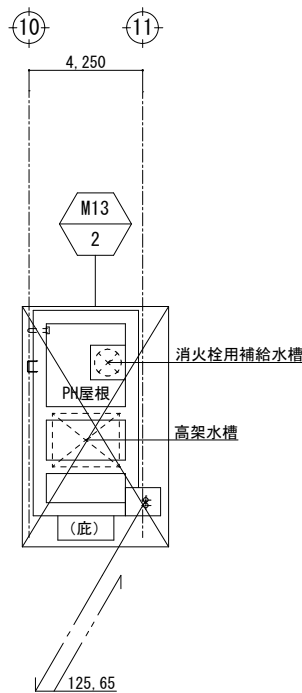
PHR階平面図



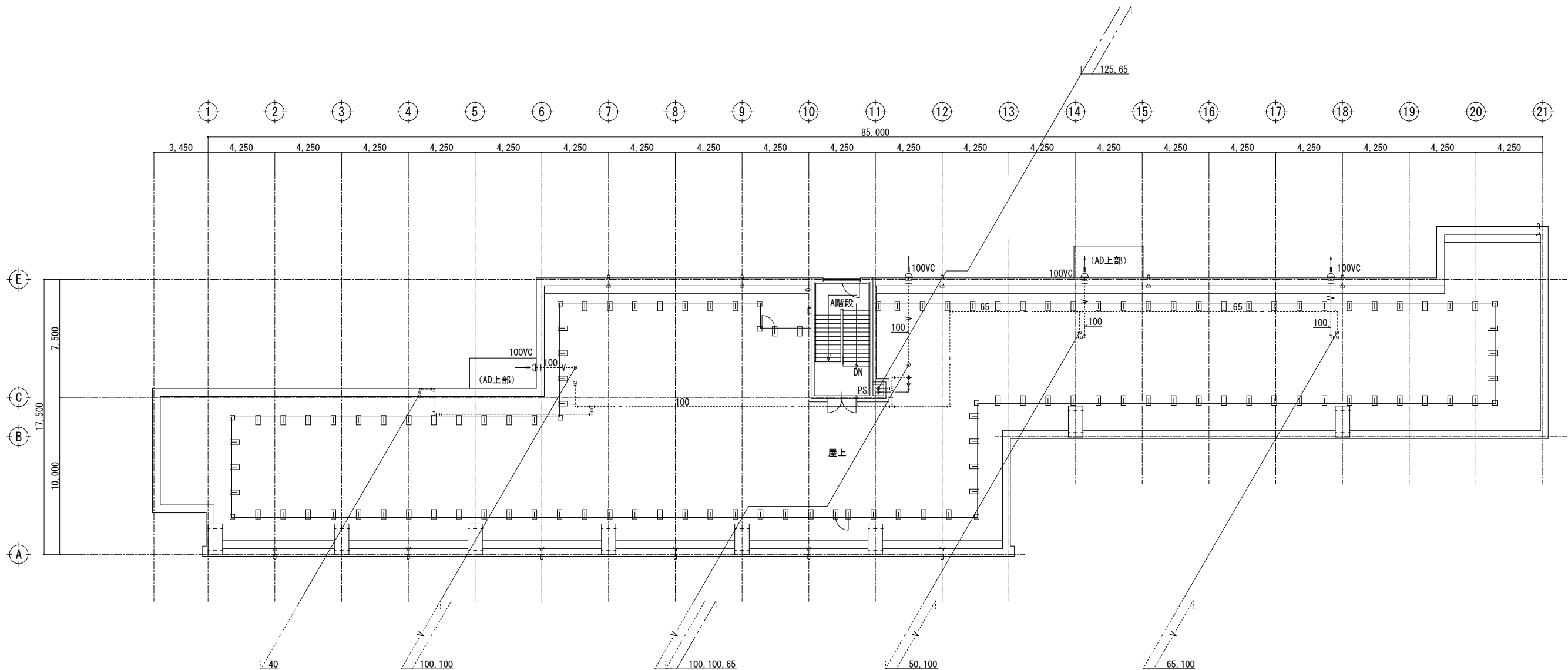
R階平面図

- 凡例
- 実線は新設を示す
 - 点線は既存残置を示す
 - 既設配管に接続を示す
 - 給水配管
 - 排水配管
 - 汚水配管
 - 排水配管
 - 通気配管

改修前



PHR階平面図



R階平面図

- 凡例
- 実線は撤去を示す
 - 点線は既存残置を示す
 - 既設配管の切断を示す
 - 給水配管
 - 排水配管
 - 汚水配管
 - 排水配管
 - 通気配管

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

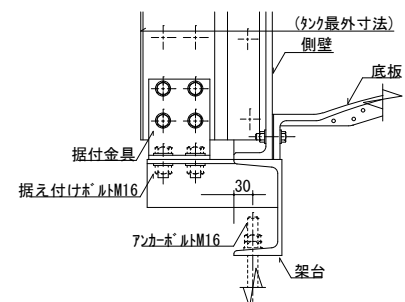
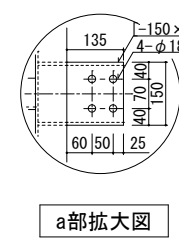
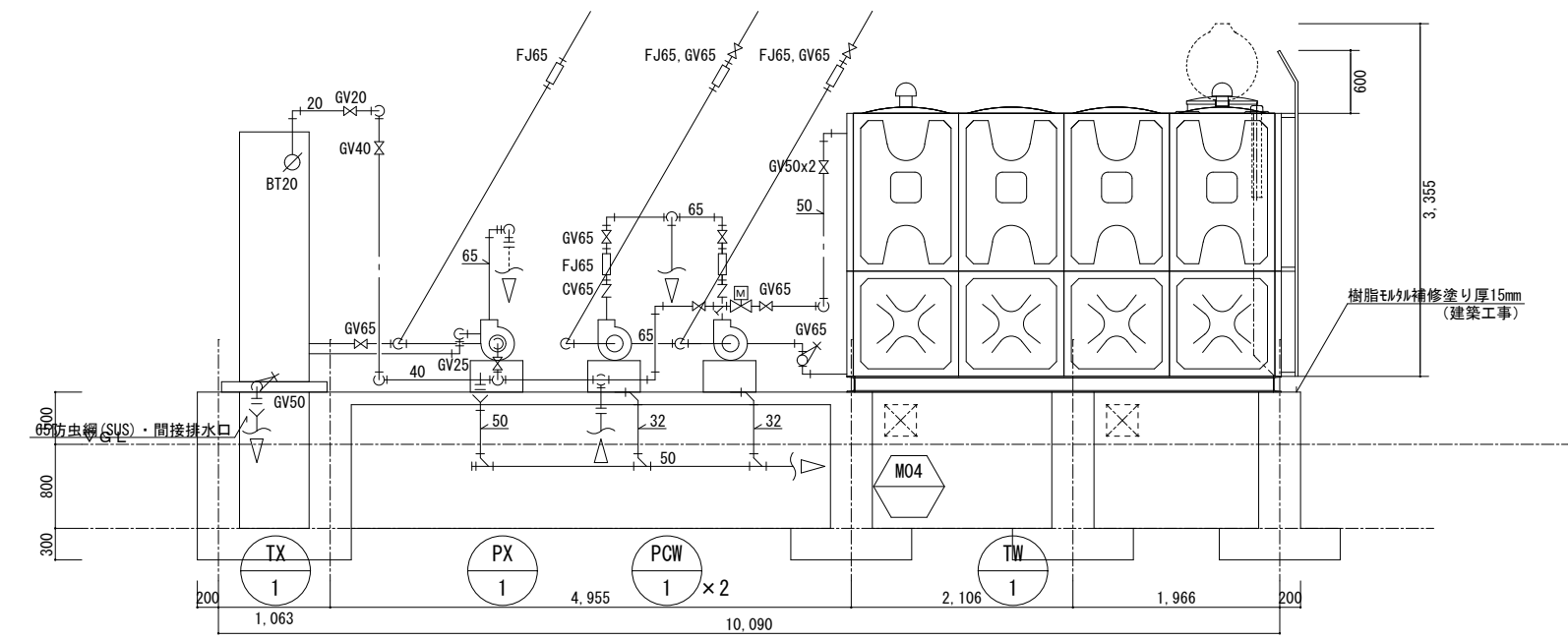
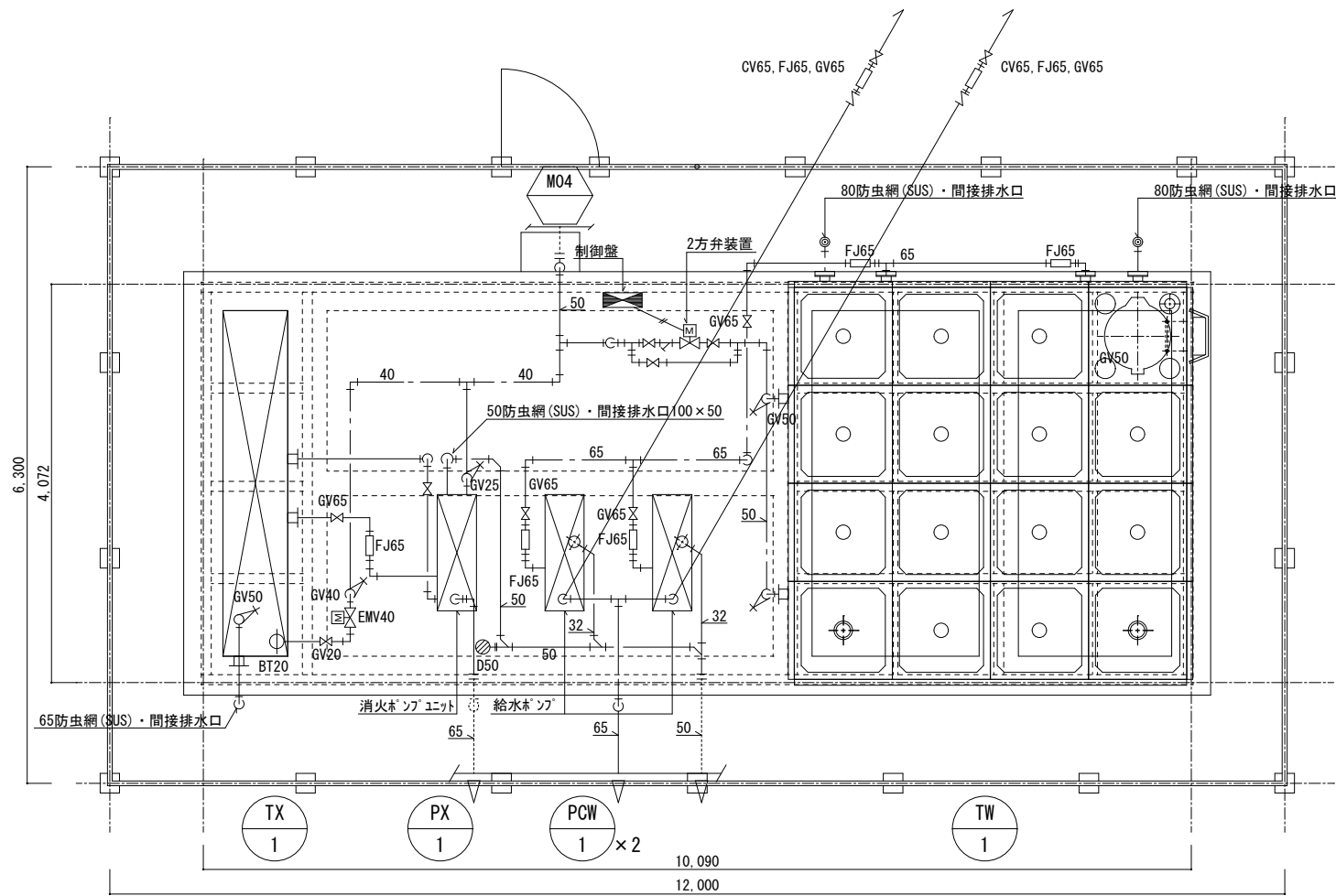
承認 設計 担当

縮尺 A1: 1/200
A3: -
設計年月日 2024. 1. 31

工事名称 狭山市立柏原中学校校舎外壁等改修工事
図面名称 衛生設備 R階平面図【改修】

M-11
No.

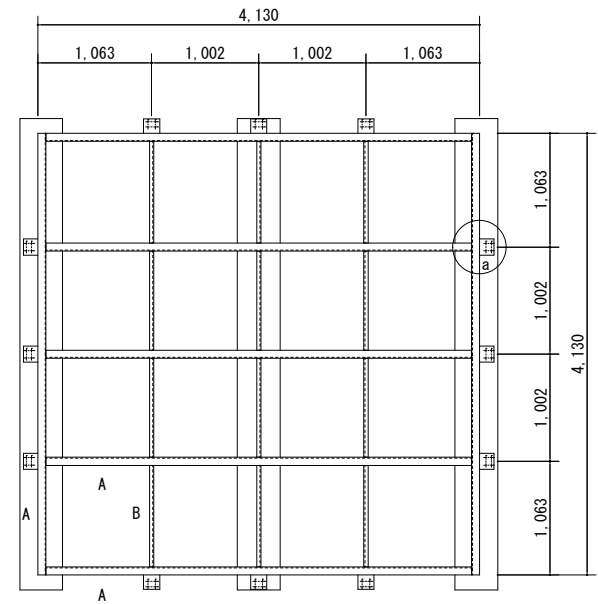
改修後



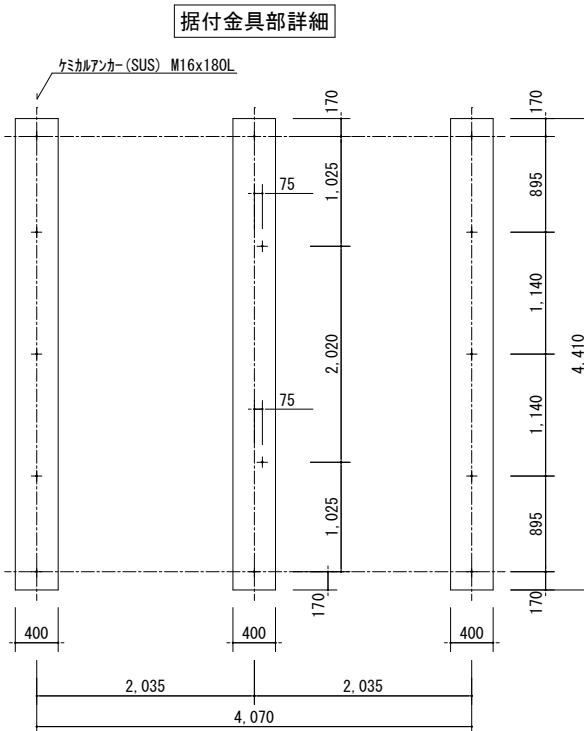
注記
タフ外観色は、74色です。(マンタ2.5Y9/2)
ハタ綿結用タフはSUS仕様です。
気相部は樹脂タンクタフ・タフ品です。
水槽質量は、1780kgです。
()内寸法はタフ最外寸法を示します。【本図面は参考図となります】
側壁・底板部の平均保温度は25mm、天井も複合板構造です。
1.7mを下回る水位でご使用の場合には、別途対策が必要となります。
公共建築工事標準（複合板）、SUSぼると仕様

TW-1 受水槽				
11	外梯子	SS	1	巾385
10	内梯子	PVC	1	巾300
9	電極取付用座	ABS	1	PF2 加へ、防波管付
8	通気口	ABS	2	100A 防虫網付
7	排水口			
6	溢水口			
5	出水口			
4	入水口			
3	入水口			
2	フタ	FRP	1	φ600 取外し兼用型 内ふた付
1	槽本体	FRP	1	

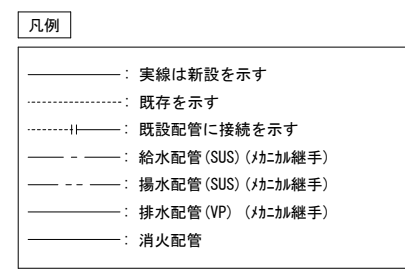
・鉄骨架台・フタ【撤去・新設】
・RC基礎は既存のまま（建築図参照）



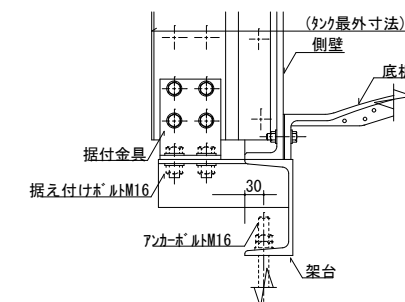
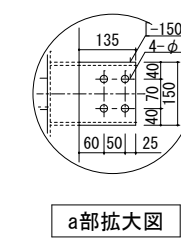
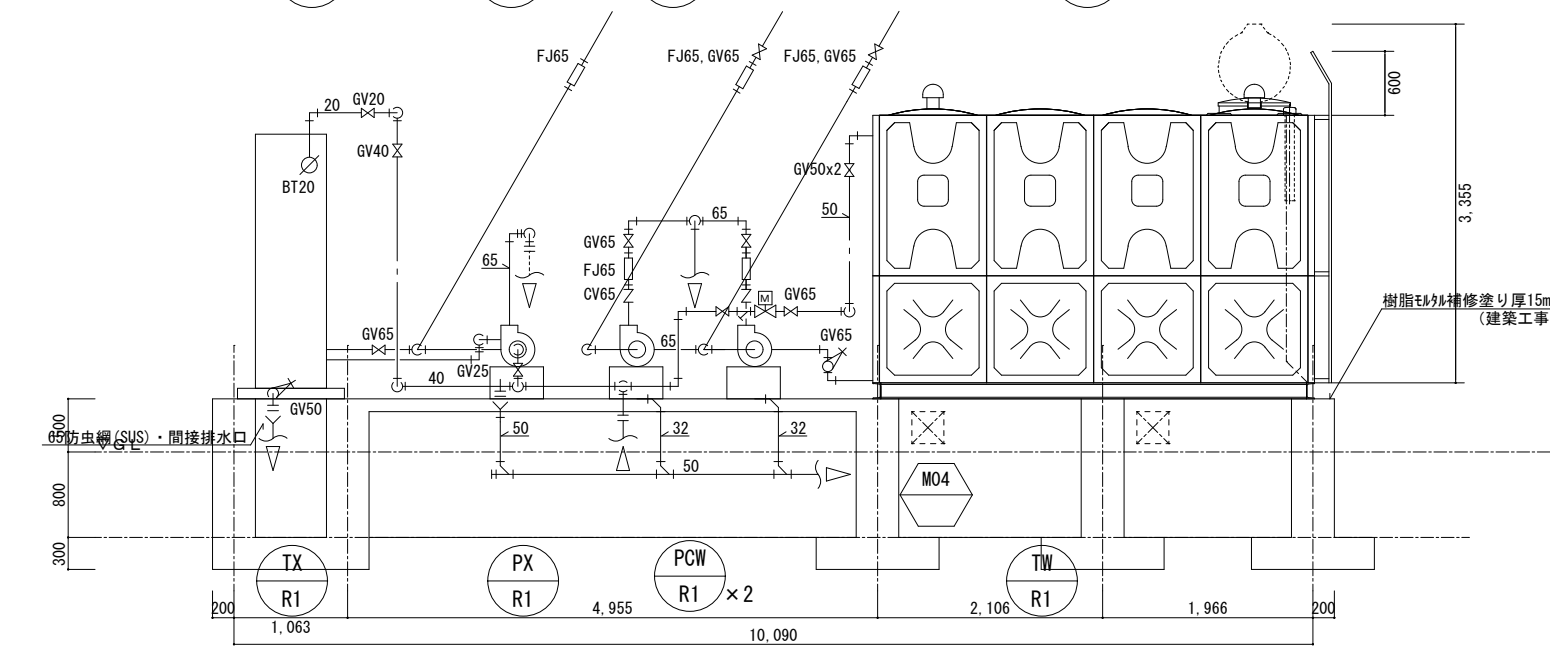
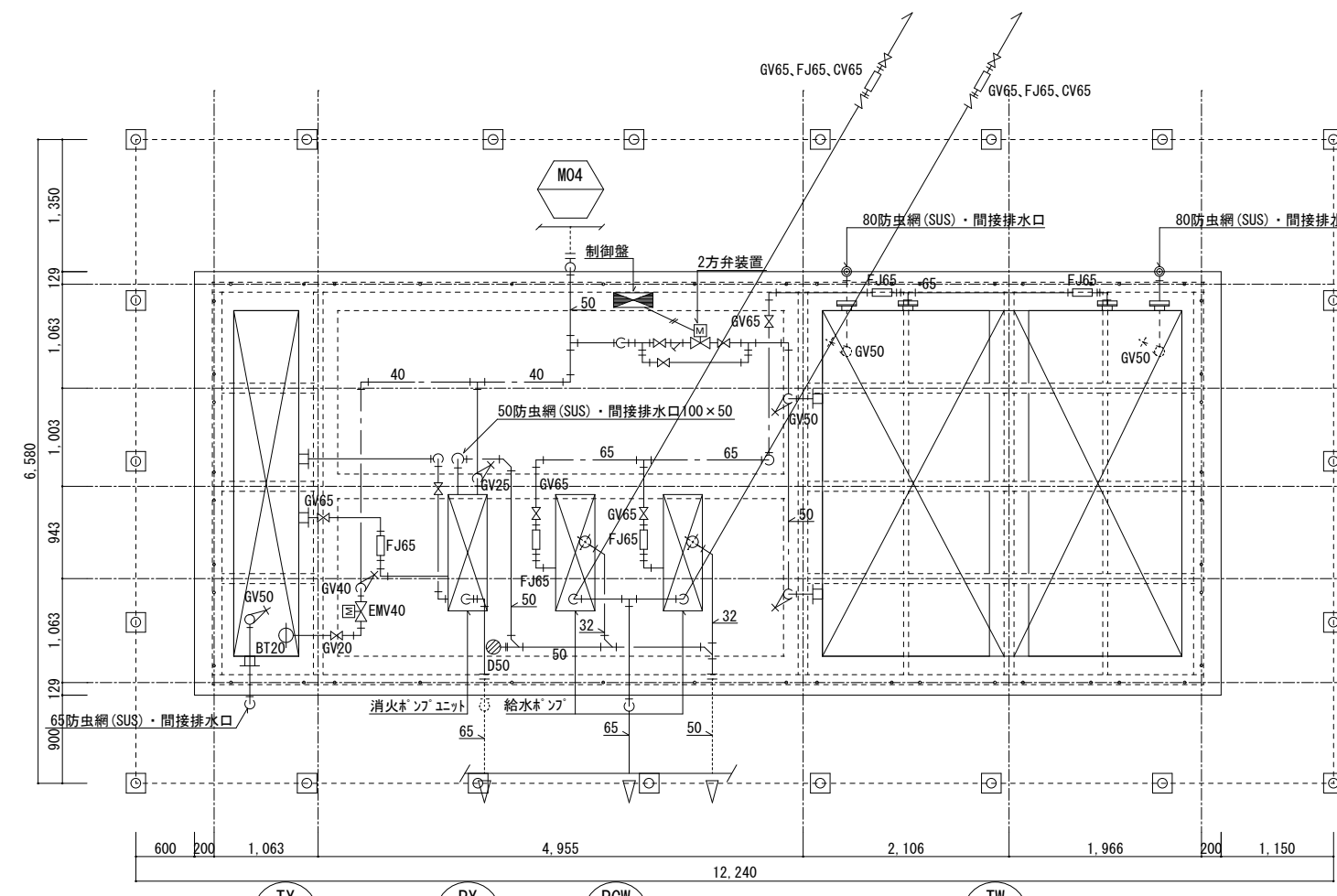
架台図
(溶融亜鉛めっき)



基礎参考図
(7カキタ位置図)



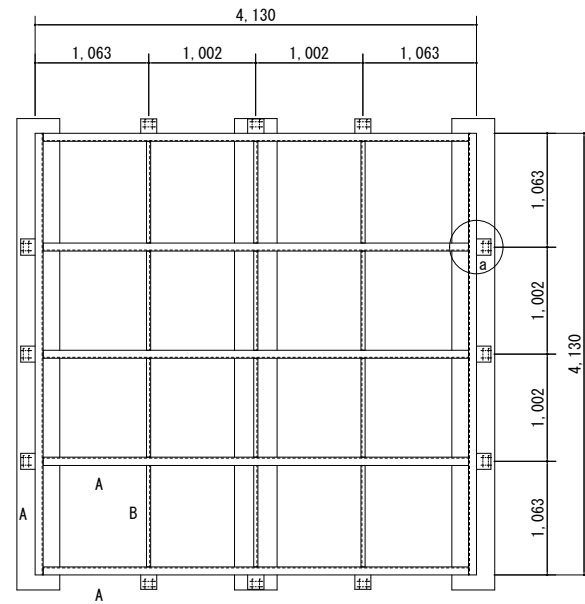
改修前



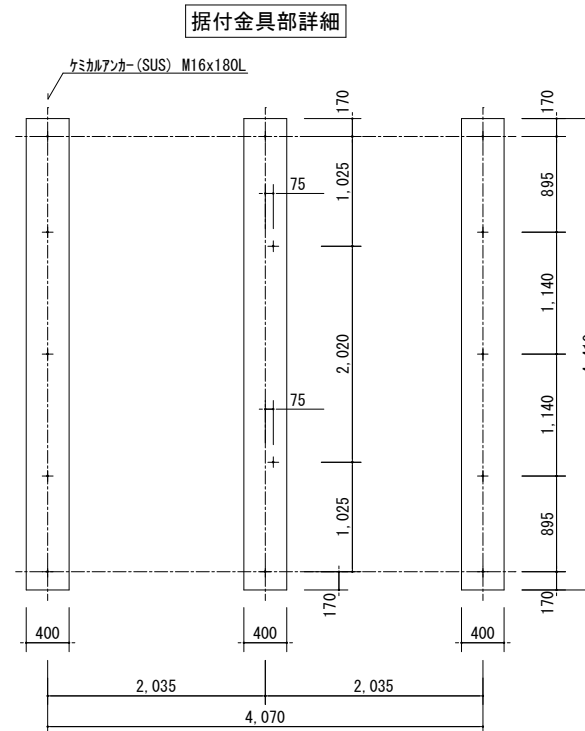
注記
タフ外観色は、74色です。(マンタ2.5Y9/2)
ハタ綿結用タフはSUS仕様です。
気相部は樹脂タンクタフ・タフ品です。
水槽質量は、1780kgです。
()内寸法はタフ最外寸法を示します。【本図面は参考図となります】
側壁・底板部の平均保温度は25mm、天井も複合板構造です。
1.7mを下回る水位でご使用の場合には、別途対策が必要となります。
公共建築工事標準（複合板）、SUSぼると仕様

TW-1 受水槽				
11	外梯子	SS	1	巾385
10	内梯子	PVC	1	巾300
9	電極取付用座	ABS	1	PF2 加へ、防波管付
8	通気口	ABS	2	100A 防虫網付
7	排水口			
6	溢水口			
5	出水口			
4	入水口			
3	入水口			
2	フタ	FRP	1	φ600 取外し兼用型 内ふた付
1	槽本体	FRP	1	

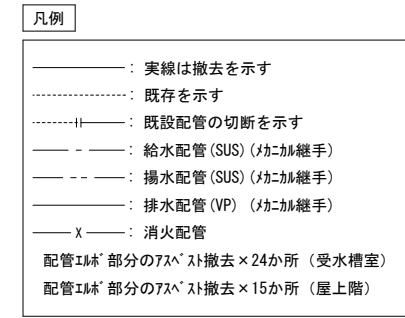
・鉄骨架台・フタ【撤去・新設】
・RC基礎は既存のまま（建築図参照）



架台図
(溶融亜鉛めっき)

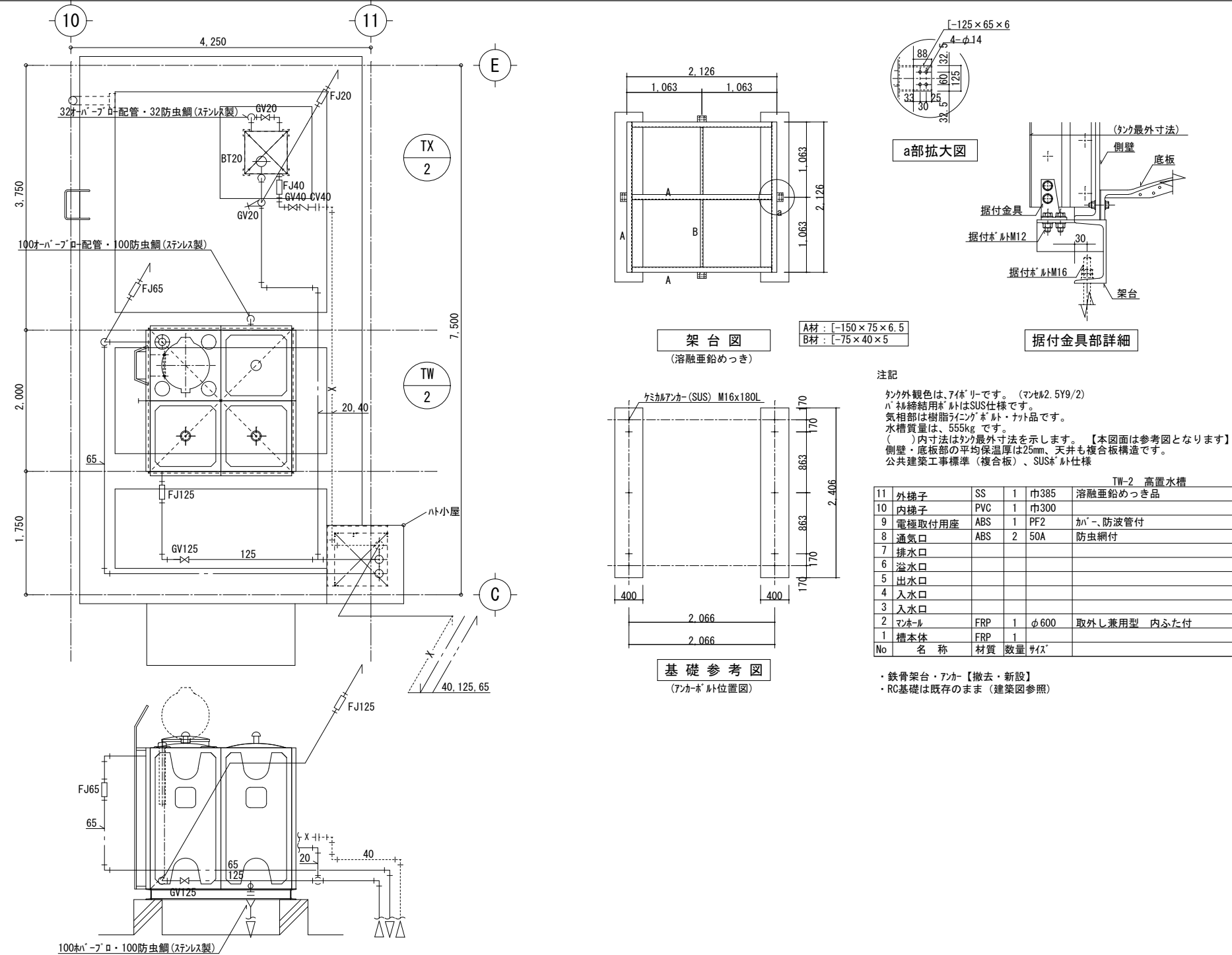


基礎参考図
(7カキタ位置図)



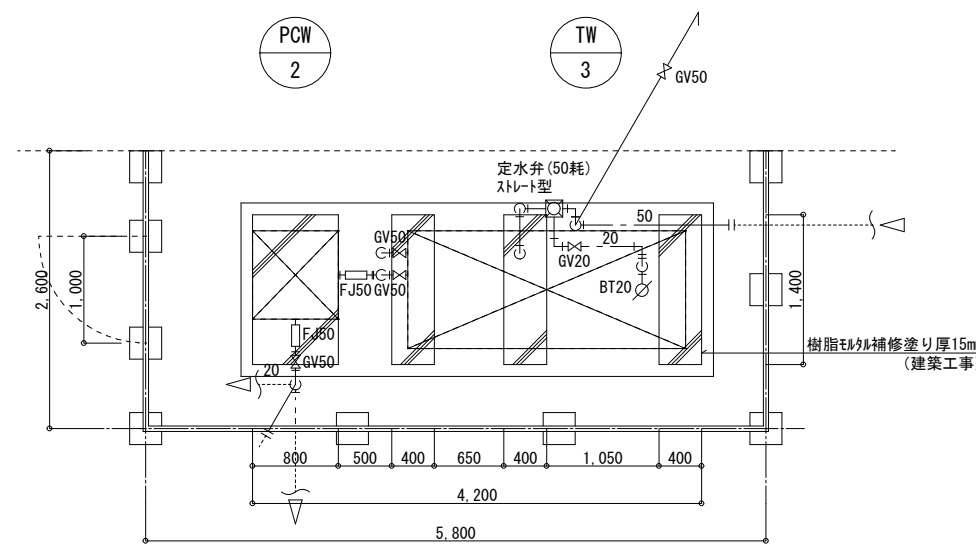
1	塔屋高置水槽 詳細図
---	------------

改修後



3	受水槽(散水専用) 詳細図
---	---------------

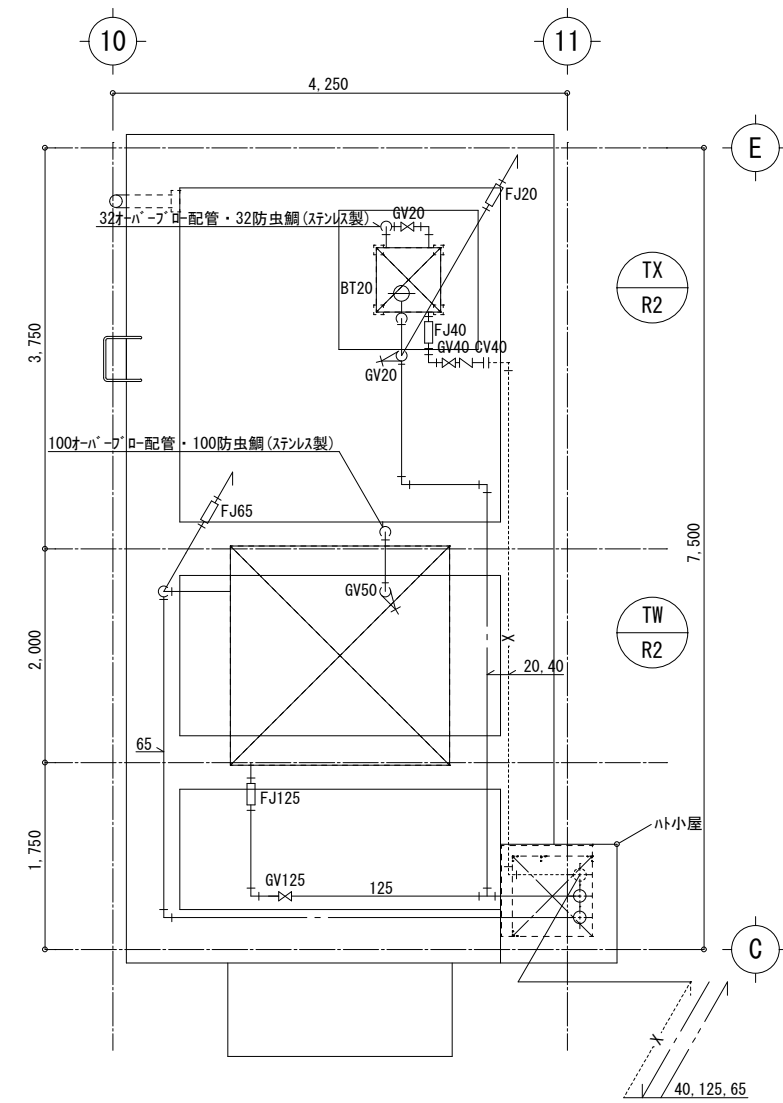
改修後



凡例	
—————	：実線は新設を示す
.....	：点線は既存残置を示す
—— ——	：既設配管に接続を示す
—— —	：給水配管
—— —	：揚水配管
—— C ——	：汚水配管
—— —	：排水配管
—— V ——	：通気配管
—— X ——	：消火配管

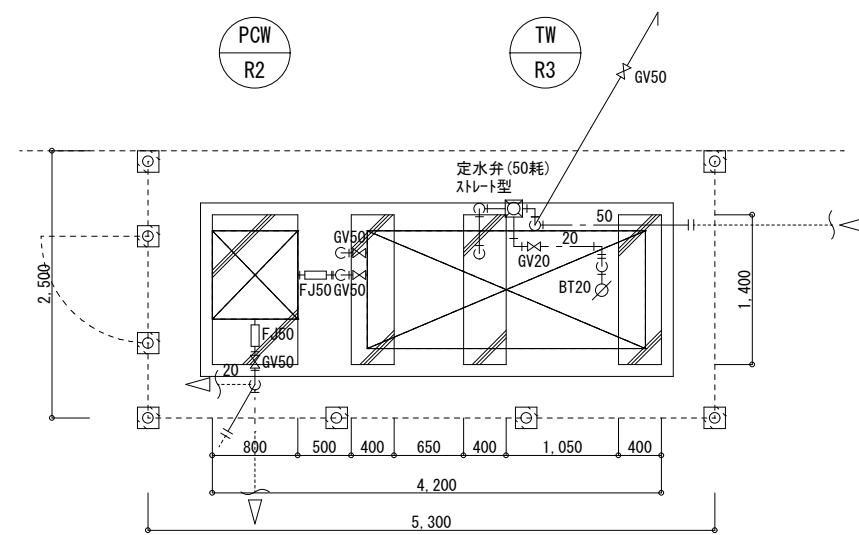
2 塔屋高置水槽 詳細図

改修前



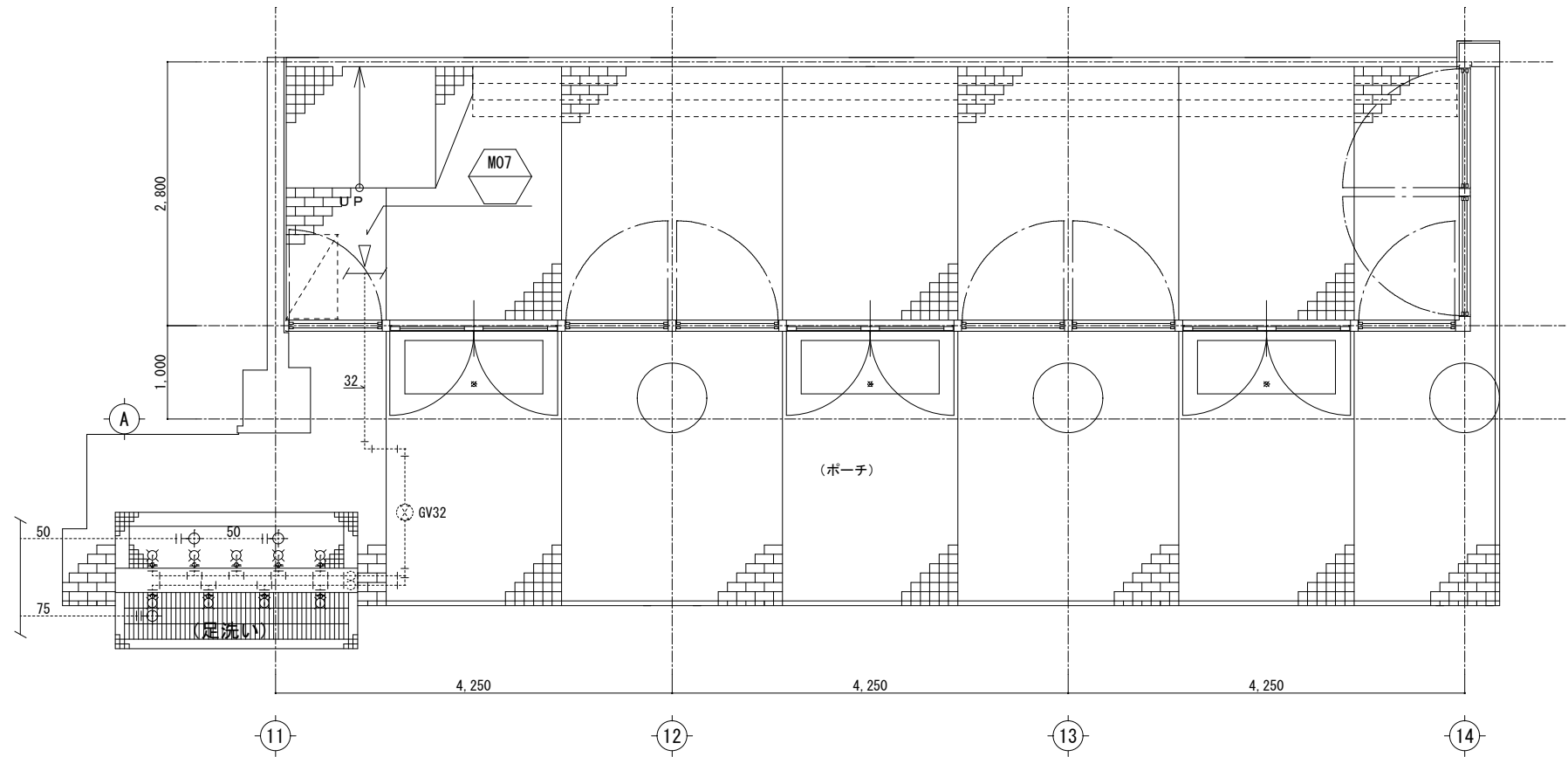
4	受水槽(散水専用) 詳細図
---	---------------

改修前



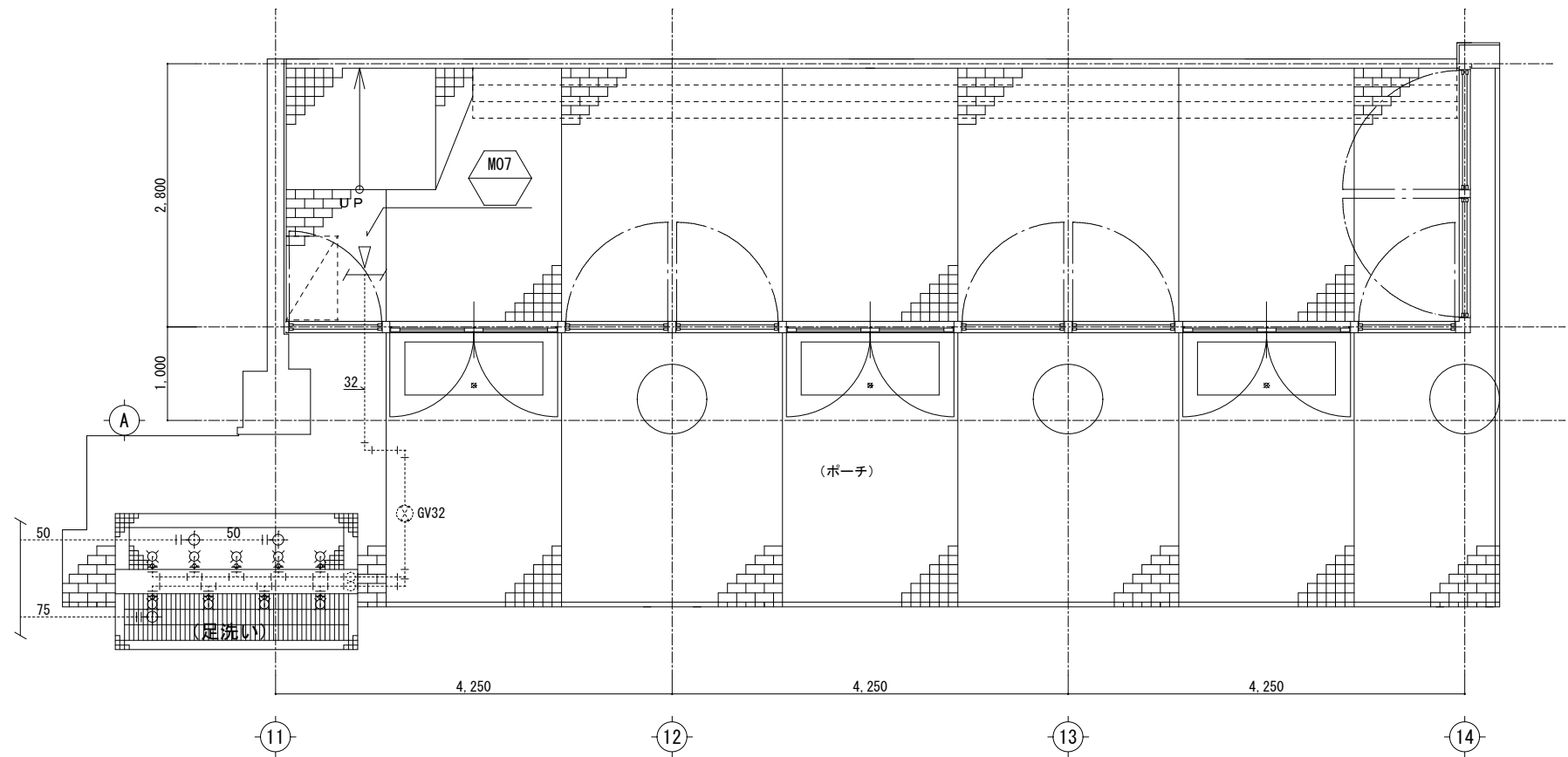
凡例	
_____	: 実線は撤去を示す
.....	: 点線は既存残置を示す
_____ _____	: 既設配管の切断を示す
_____—_____	: 給水配管
_____—_____	: 揚水配管
_____—C_____	: 污水配管
_____—_____	: 排水配管
_____—V_____	: 通気配管
_____—X_____	: 消火配管

改修後

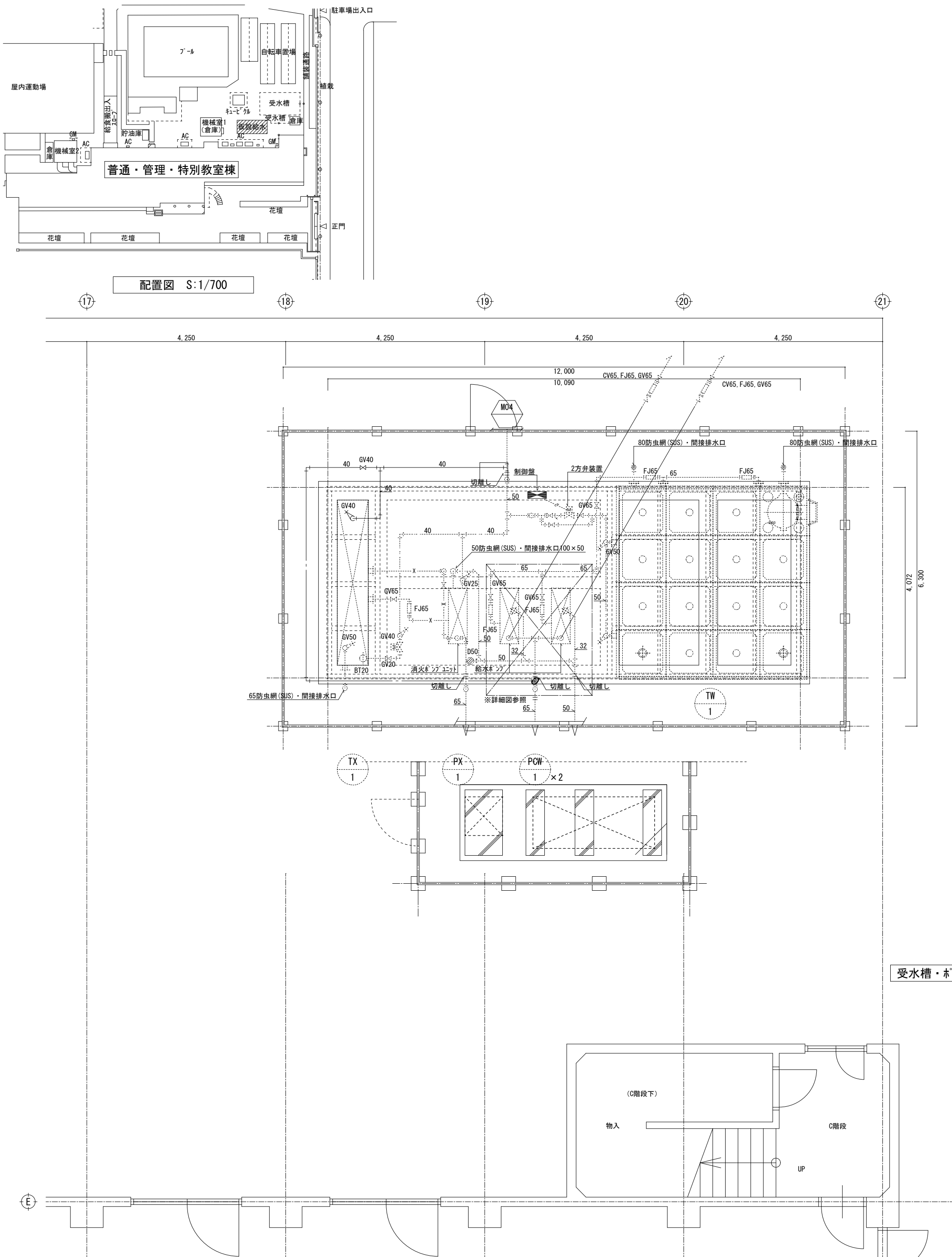


凡例	
—	：実線は新設を示す
.....	：点線は既存残置を示す
.....	：既設配管に接続を示す
—	：給水配管
- - -	：排水配管
—	：汚水配管
—	：排水配管

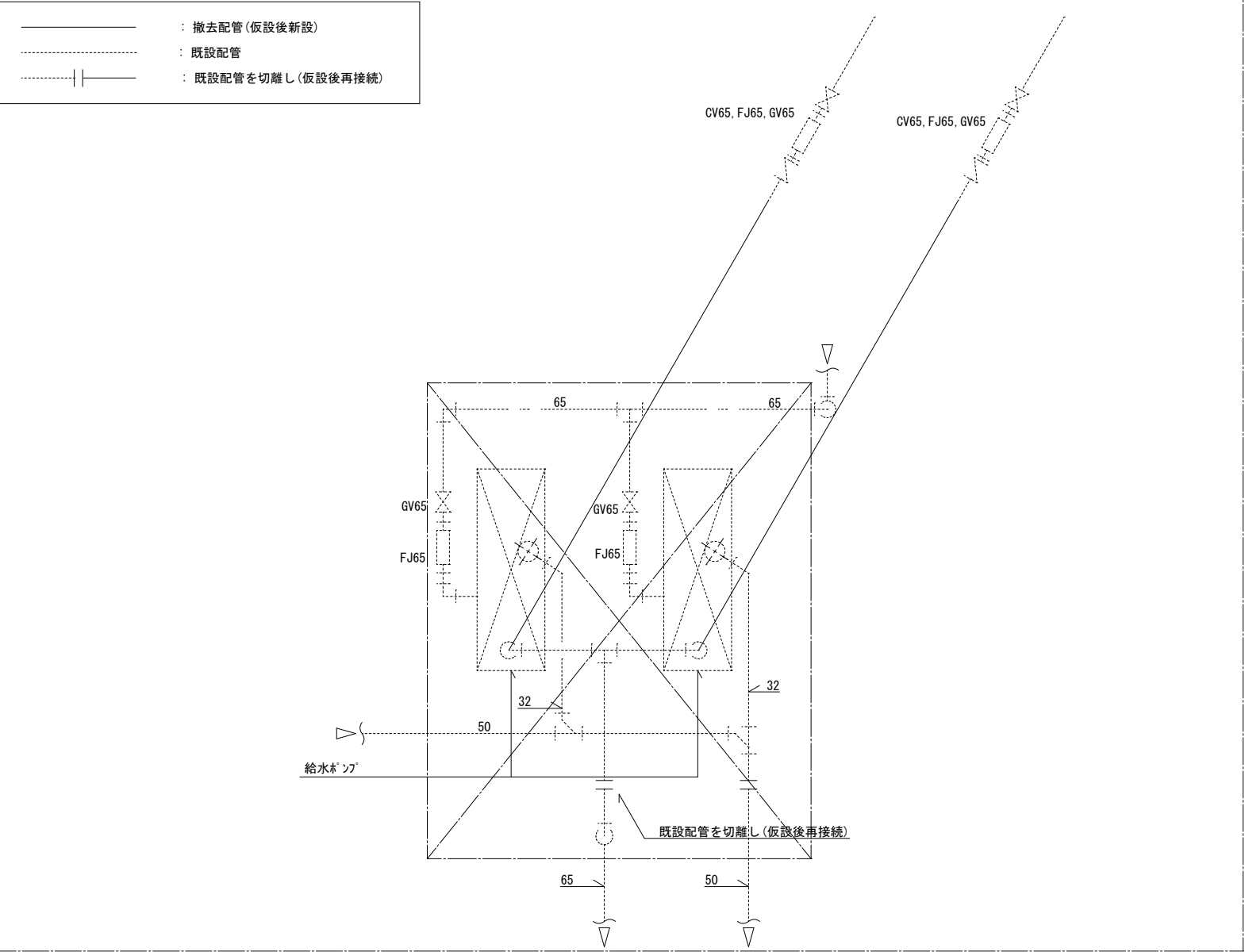
改修前



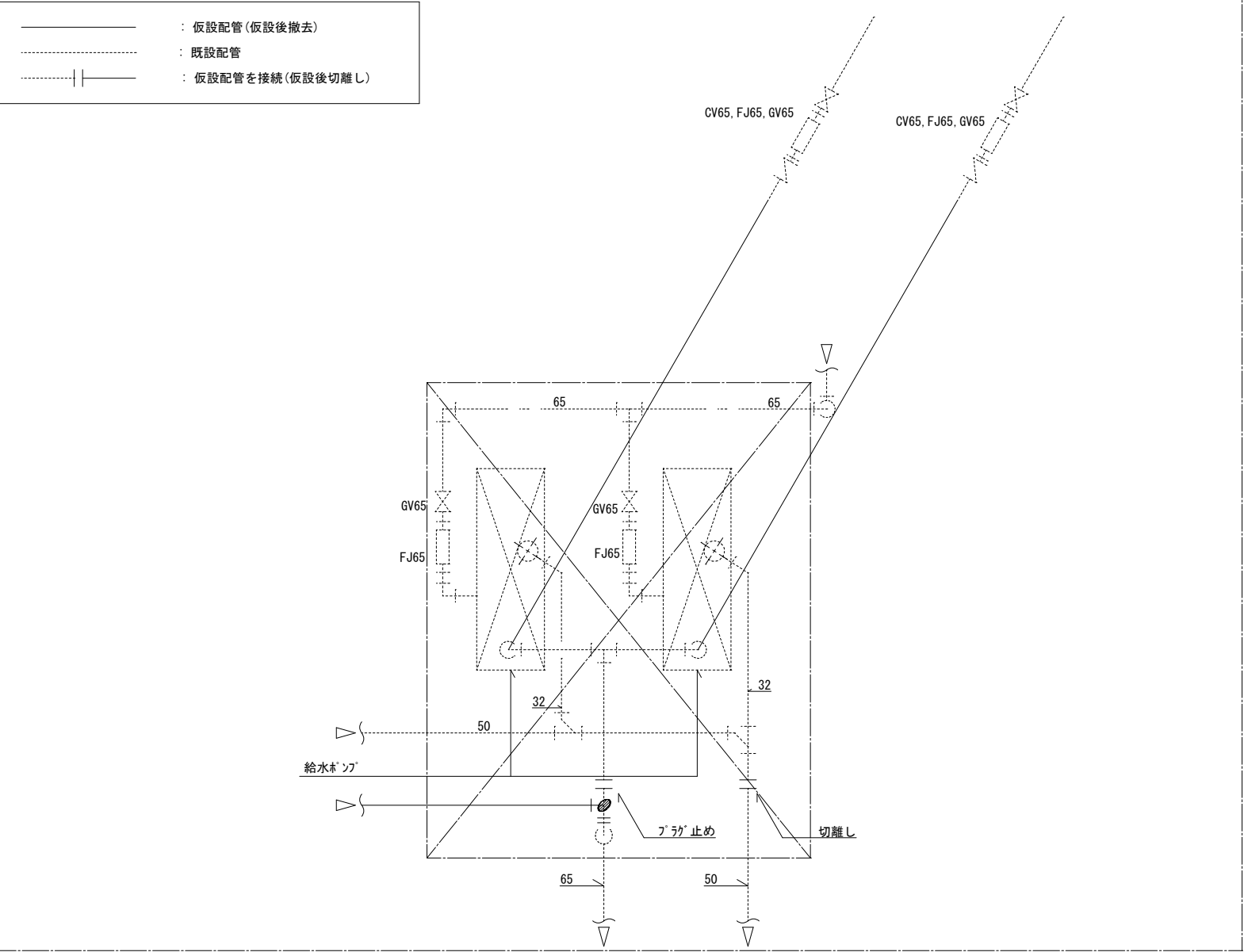
凡例	
—	：実線は撤去を示す
.....	：点線は既存残置を示す
.....	：既設配管の切断を示す
—	：給水配管
- - -	：排水配管
—	：汚水配管
—	：排水配管



PCW-1系統 配管接続部詳細図[仮設前・仮設後] S=1/25



PCW-1系統 配管接続部詳細図[仮設] S=1/25



受水槽・ポンプ室 詳細図 S=1/50